港北ニュータウン・サイン基本計画

昭和６０年５月

住宅・都市整備公団
港北開発局
山手総合計画研究所

港北ニュータウンは、地区の基盤的施設についてはその整備が進み、第一次入居も始まり、人々の来街の頻度も大きく増大してきている。

サイン・ネーミングはこうした港北ニュータウンの住民や訪ねる人々に街の構造をわかり易く伝え、自分のいる場所を明らかにし、目的地へと誘導して日常の利便性を高めるばかりでなく、港北ニュータウンのイメージやアイデンティティを伝えるメディア（媒体）であり、シンボルでもある。

また、現在港北ニュータウンに限らず、日本の地域開発は大きな転回点に到達しており、、新しい目標を模索している。港北ニュータウンも、その一つの自立した都市を目指して整備が進められているが、ここに蓄積されつつある高水準の環境ストックを、港北ニュータウンに住み、或いは訪れる人々にわかり易く伝える事は、港北ニュータウンの目標を人々に理解してもらい、事業の円滑な進行とより良いまちづくりのためにも重要である。

こうした観点から、私達は今回の作業を、「港北ニュータウンの諸計画をサイン・ネーミングを通して、いかに伝えるか」を中心に展開してきた。そのために私達が目標としたことは、次の２つに要約できる。

① 総合的なシステムだけに着目した普遍的な一般解としての計画ではなく、「港北ニュータウン」のイメージを醸成するデザインを目指すこと。そしてサイン・ネーミング自体が、地区のシンボル的意味をもつだけの完成度の高いものとすること。

② サインやネーミングは、人々の意識の中では水や空気のように普段は強く意識されず、必要な時にはその場に過不足なく在る、といった黒子的な存在でありたい。そのためには計画者が一方的に全てを律し切ってしまうのでなく、ニュータウン居住者の参画や時間の変化に応じて附加し、或いは改変できるように骨格的な部分に限ってデザインすること。

尚、作業に当たっては、横浜市関係部局の方々と調整をしながら進められた。今後の具体的な設置の中で、サイン・ネーミング計画の意図が、的確に実現されることを願う。

● 住宅・都市整備公団　港北開発局

・堀田　孝義
・中山　通生
・越智　武雄
・支倉　　紳

● 作業グループ　㈱山手総合計画研究所

・総括　　菅　　孝能（㈱山手総合計画研究所）

・サイン計画・設計　工藤　博文（㈱山手総合計画研究所）
　　松村　和雄（㈱山手総合計画研究所）
・ビジュアルエレメント計画　牧谷　孝則（㈱コミュニティー＆コミュニケーション）
・ネーミング計画　藤井経三郎（㈱ＲＩＶアソシエーツ）

● 港北ニュータウン・サイン基本計画の作業フロー

1 地区の特性の把握	→ 2 基本方針の策定	→ 3 基本計画	→ 4 モデル地区での詳細検討	→ 5 基本設計
1° 計画理念のレビュー 2° 交通システム 3° オープンスペース系 4° 地形構造	1° テーマコンセプト 2° サイン計画の目標と方針 3° サイン配置軸 4° 必要サインリストと管理形態	1° サインシステム 2° 配置システム 3° プロダクトデザイン 4° グラフィックデザイン 5° サイン数量とコスト概算	1° モデル地区の設定 2° 配置計画 3° サイン数量とコスト概算	1° ビジュアルエレメントのデザイン 2° グラフィックデザイン 3° プロダクトデザイン 4° コスト比較

○ 第1章　○ 第2章　○ 第3章　○ 第4章　○ 第5章

目次

第1章　港北ニュータウンにおける環境計画の特性
1. 計画理念のレビュー
2. 交通システムの特性
3. オープンスペース系の特性
4. 地域構造の特性

第2章　サイン計画の目標と基本方針
1 サイン計画のテーマコンセプトの設定
2 サイン計画の目標と方針
3 サイン配置軸の設定
4 必要サインと管理形態の方針
5 サインの管理形態に関する資料

第3章　サイン基本計画
1 サインシステム及び配置計画
2 プロダクトデザイン
3 ビジュアルエレメントデザイン
4 シンボルマークデザイン
5 表示内容の更新システム

第4章　モデル地区での展開
1. モデル地区の設定
2. サイン配置計画のモデル
3. 必要サインリストとコスト概算
4 バス・ストップシェルター

第5章　サイン基本設計
1 ビジュアルエレメントデザイン
2 グラフィックデザイン
3 一般道及び歩専道内サインのプロダクトデザイン
4 公園・緑道内サインのプロダクトデザイン

第6章　参考資料
1 サイン事例
2 道路標識令より抜粋
3 横浜市道路占用許可基準より抜粋

第1章 港北ニュータウンにおける環境計画の特性

1. 計画理念のレビュー

2. 交通システムの特性
   1. 幹線街路網の把握（グレーネットワーク）
   2. 歩行者専用道路網の把握（オレンジネットワーク）
   3. バスストップ網の把握

3. オープンスペース系の特性
   1. グリーンマトリックスシステム
   2. せせらぎ空間の把握

4. 域構造の特性
   1. 域構造の把握
   2. 大圏域の領域と横浜市におけるアイデンティティある
      イメージ圏域との比較

1 港北ニュータウンにおける環境計画の特性

港北ニュータウン建設事業は、横浜市にとっては6大事業の一つに位置づけられており新都市づくりの3つの基本理念と、それを受けた4つの基本方針が設定され、それらを実現化するための7つのシステムが考えられている。

1-1 計画理念のレビュー

● 4つの基本方針

1. 緑の環境を最大限に保存する街づくり

- 原況林の最大限の保存
- オープンスペースの系統化
- 歩行者系の系統化（グリーン系・オレンジ系）
- 緑の中の戸外生活が見出た満喫できる。
- 保存緑地・緑道と関係をもつ集合住宅地
- 街づくり協定
- 緑化 ― みどりを創り出す。

2. "ふるさと"をしのばせる街づくり

- 文化財の保存
- 開発前との時間的な連続性をつくる。
- 里山・屋敷林・寺社の保存
- 豊かな季節感を感じさせる。

3. 安全な都市づくり

- 自動車事故・交通公害のない道路システム
- 合理的な自動車交通処理 V_0〜V_4 ヒエラルキー段階構成
- ラダー状の道路体系
- 安全で快適な歩行者空間 ┌ 歩行道 ― オレンジ系ネットワーク（コミュニティ道路）
  └ 緑道 ― グリーン系ネットワーク
- 防災計画，災害時のヒナン…グリーンマトリックス
- 公的サービスによる生活の保護（医療・育児・教育・防犯防災）

4. 高い水準のサービスが得られるような都市づくり

- 公共交通機関の充実（地下鉄）
- 更名、オ3京浜との接続
- 歩行者の利便性：アクセシビリティの確保：コミュニティ道路
- ショッピング，通勤・通学の利便性
- 職住近接
- 余暇の充実 ・医療・教育施設等の充実
- 里出授地
- 街づくり協定

● 3つの基本理念

1° 乱開発の防止
2° 積極的な住民参加による都市づくり
3° 新しい都市農業の確立

● 7つのシステム

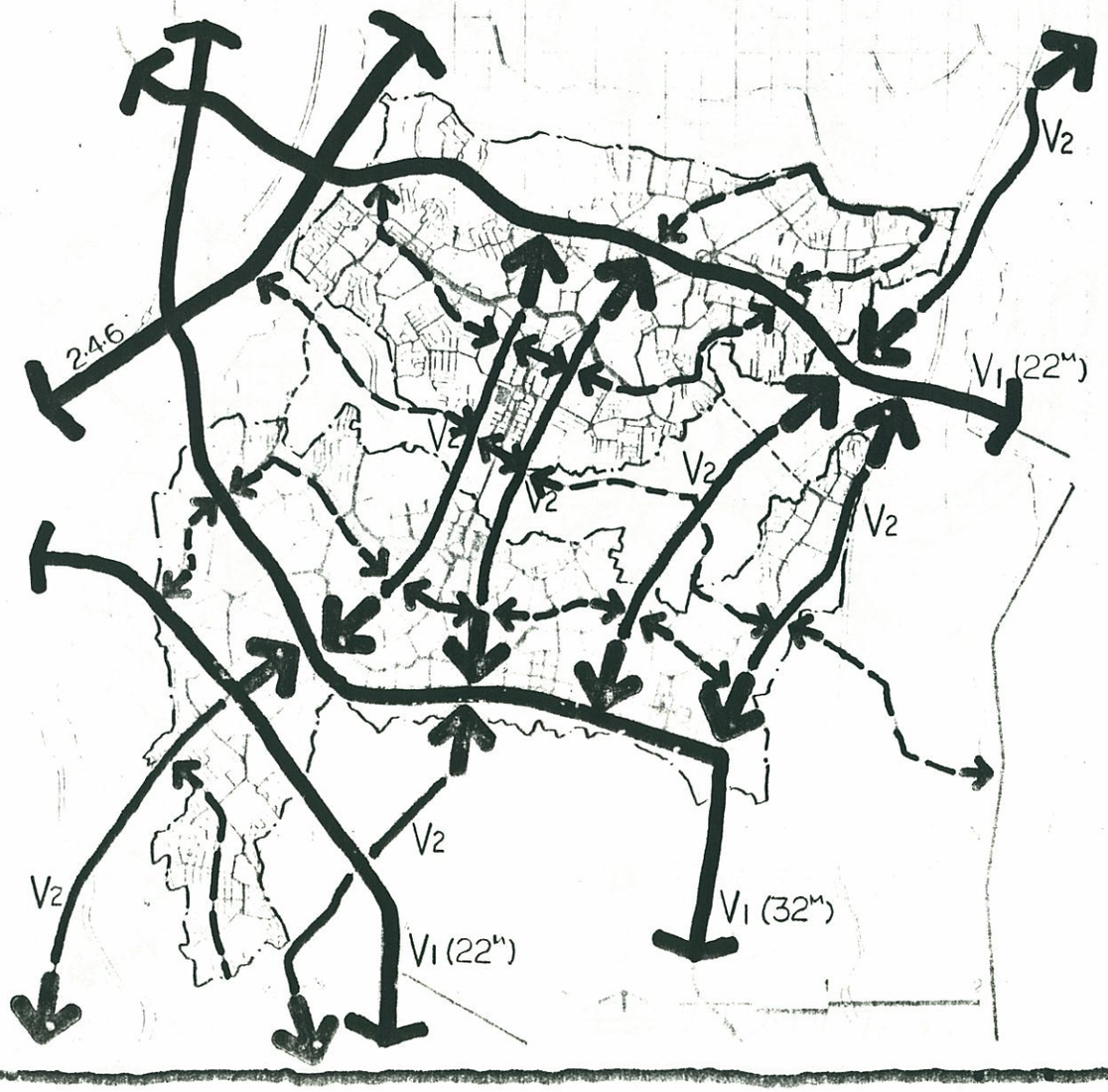
1. グリーンマトリクスのシステム
2. 社会施設システム
3. センターシステム
4. 交通システム
5. 住宅・住宅地供給システム
6. 供給処理システム
7. 住民参加のシステム

1-2　交通システムの特性

港北ニュータウンの交通システムは、一般道のネットワーク(グレーネットワーク)歩行者専用路のネットワーク(オレンジネットワーク)，緑道のネットワーク(グリーンネットワーク)とその利用形態によりネットワーク化がはかられている。

ここでは最も効果の高いサインシステムとサイン配置軸の設定のために、交通システムの特性を整理する。

1-21 幹線街路網の把握(グレーネットワーク)

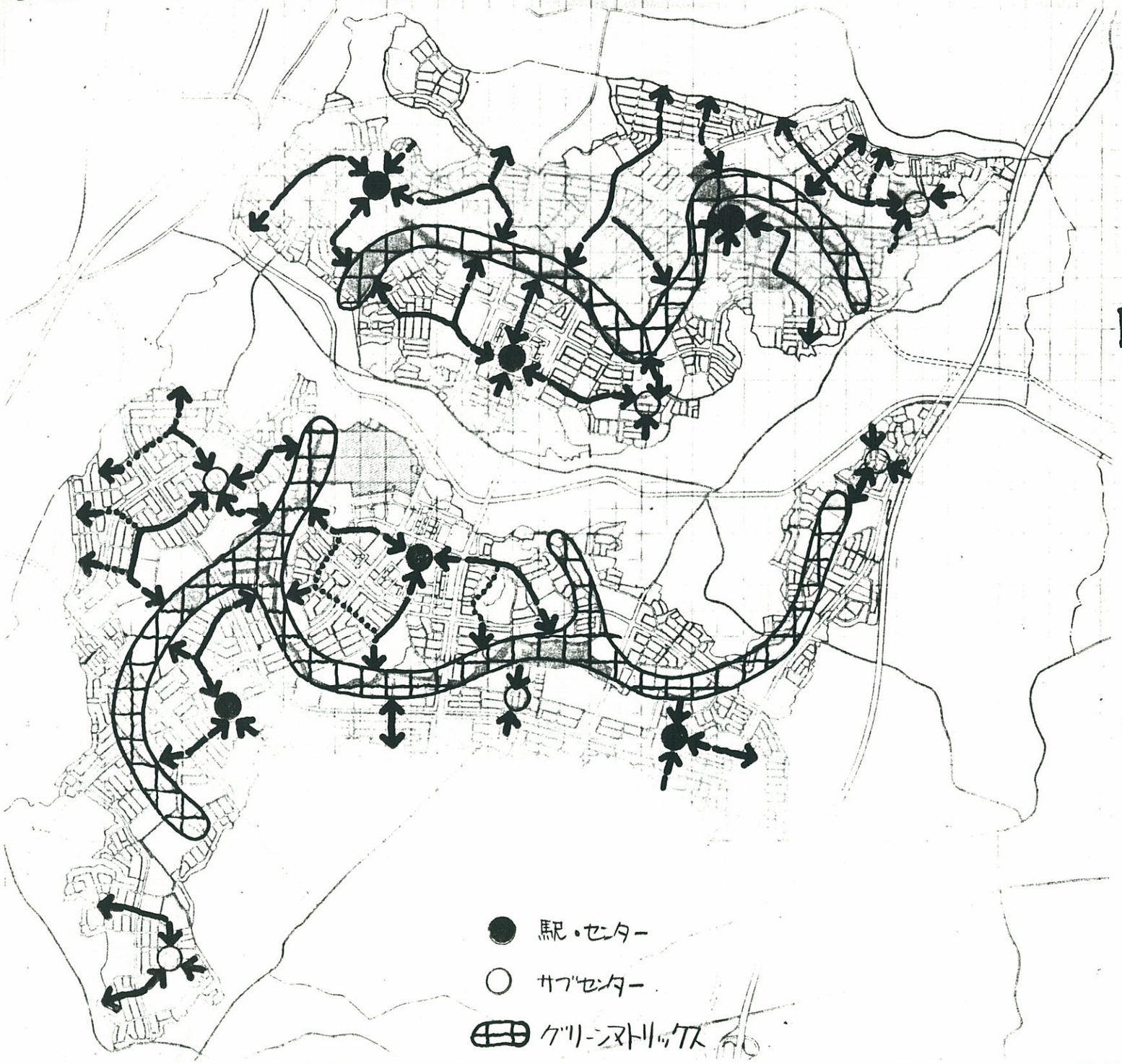


● 本計画においては、道路計画による V0～V4 の分類より、以下の様な分類とする方がより認識しやすいと考える。

V1	都市幹線	——	3本、主に東西軸。
V2	地区内幹線	——	1・2地区の主要幹線を南北に結ぶ
V3	地区内補助幹線		
V4	コレクター道路 (w=9m)	—	地区内補助幹線にループ状に取り付けられる。
V5	細街路 (w=6.5m)	—	コレクター道路から分岐し、原則としてループパターン。

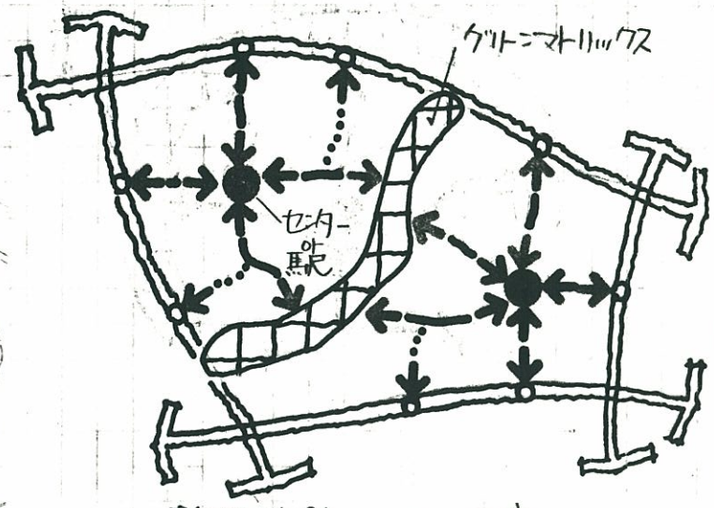
● これらの幹線街路にコレクター道路がループ状に取り付けられているため、ドライバーに対して、幹線幹路の主要交差点での方面表示に加えて、コレクター道路の入口部分での誘導表示が必要となる。

1-2-2 歩行者専用道路網の把握（オレンジネットワーク）



● 港北ニュータウンの歩行者専用路は駅やセンター，学校，バス停と住宅地とを結ぶ生活動線となっている。

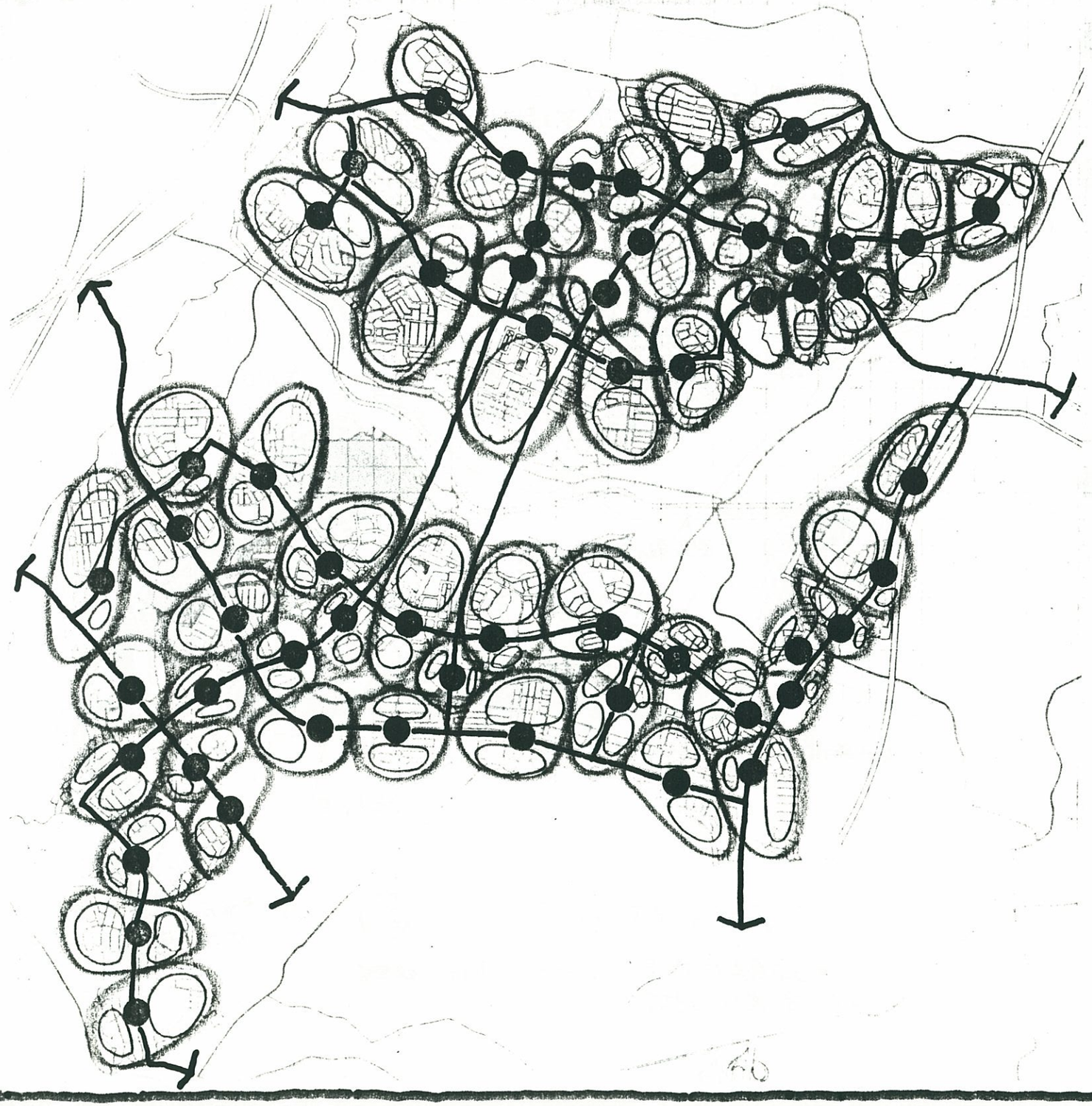
学校はグリーンマトリックスに組み込まれているため，歩行者専用路のパターンはほぼ以下の様に構造化できる。



● マイカーによらない来街者のオトの到着地点は，駅かバス停である。

オレンジネットワークは，それらと住宅地及び諸施設をネットワーク化しているため，駅やバス停，及び，歩道の主要な交差部において，歩行者用の情報を提供することが最も効果が高い。

1-2-3 バスストップ利用の把握。



● 港北ニュータウンでは、歩行者専用橋の取付部付近にバス停が設けられている。

これは歩行者にとっても車にとっても大きなサイン効果があり意識上も景観上も節(ノード)となり得る。

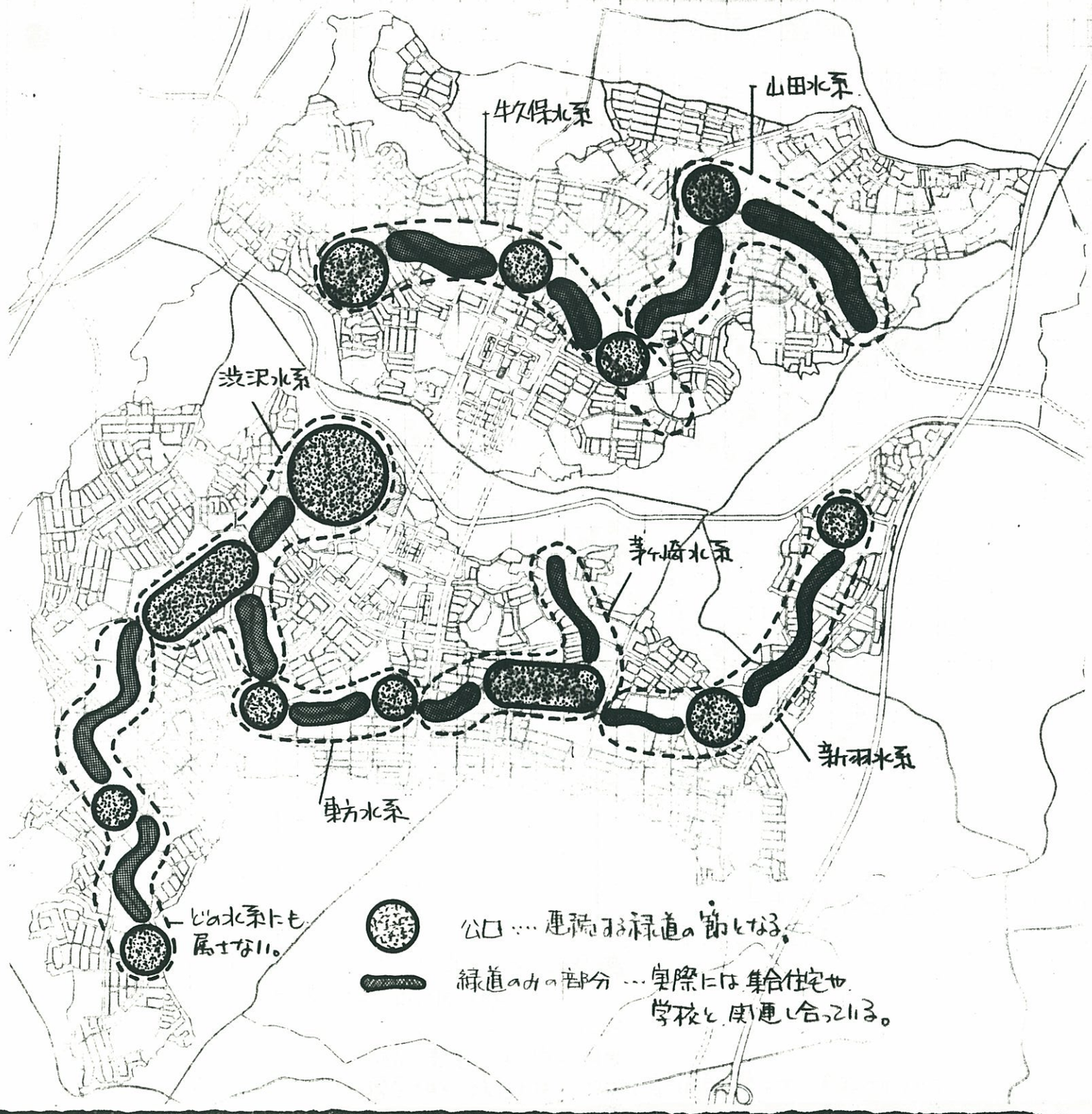
情報を提供するのに、最も効果の高い場所の一つである。

● グリーン系、オレンジ系の交差点等のノードでは

- 香りの強い木
- 特色のある花木
- 地区内にある馬頭観音、金石文

等のサインを配置する事も考えたい。

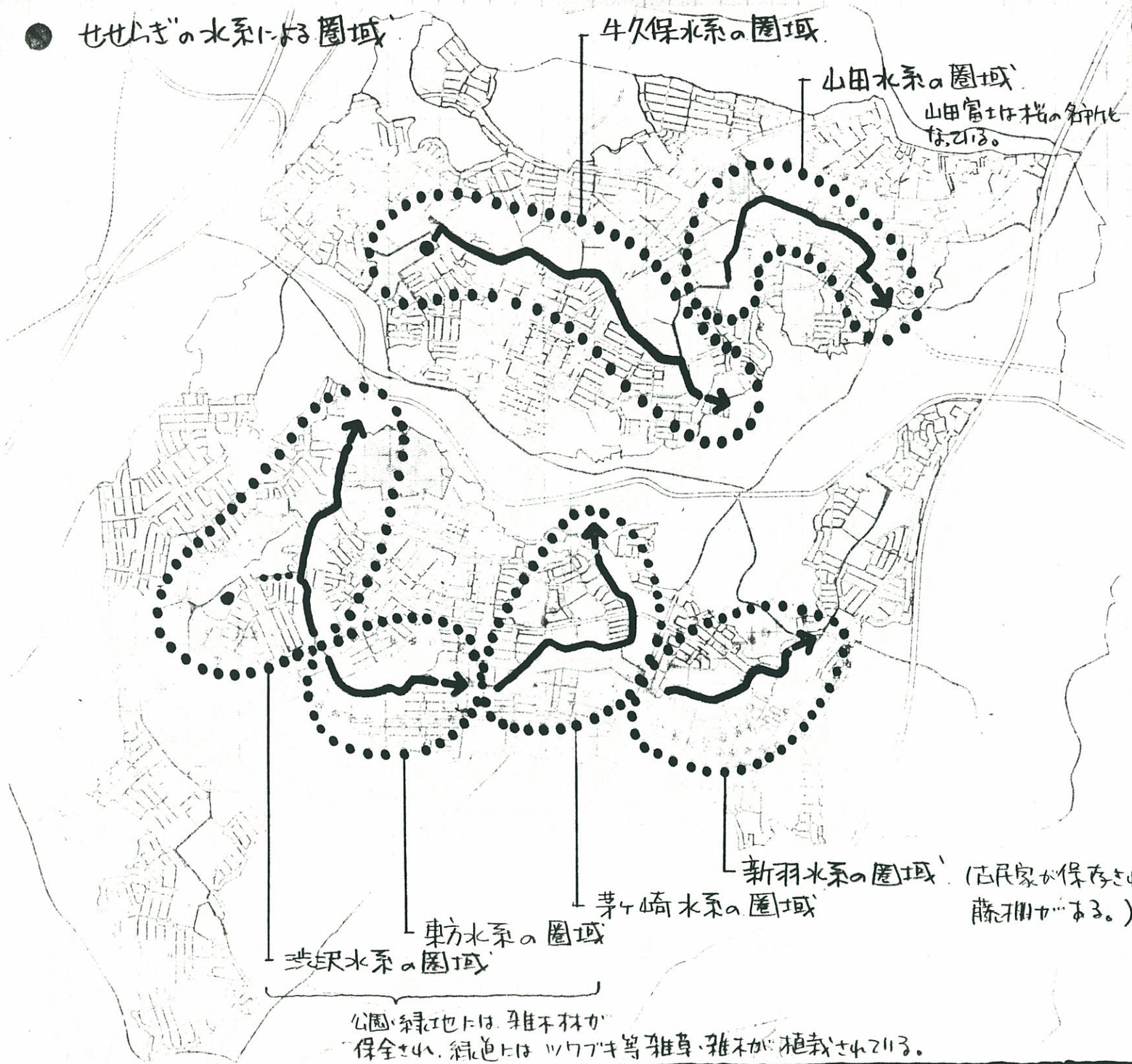
1-3-1 グリーンマトリックスシステム



- 港北ニュータウンの緑道はグリーンマトリックスシステムの骨格となり、オ1・オ2地区をリンクした形となっている。
- ここでは、せせらぎ空間の6つの水系によりグリーンネットワークを、分節化し、さらに、空間の節となる公口や広場の部分と、それらをつなぐ部分とに分節化し、性格の異なる部分、部分のつながりと見て、それぞれの性格づけを強化して行きたい。
- 港北ニュータウン全体を、オープンスペース系の土地利用でネットワーク化したグリーンマトリックスの中では、ジョギング・サイクリング・散策・樹木や史蹟等の解説などリクリエーション的要素のサインを配置し、リクリエーションリンクルート的なものをつくり出すことも考えられる。

1-3-2 "せせらぎ"空間の把握

● せせらぎの水系による圏域

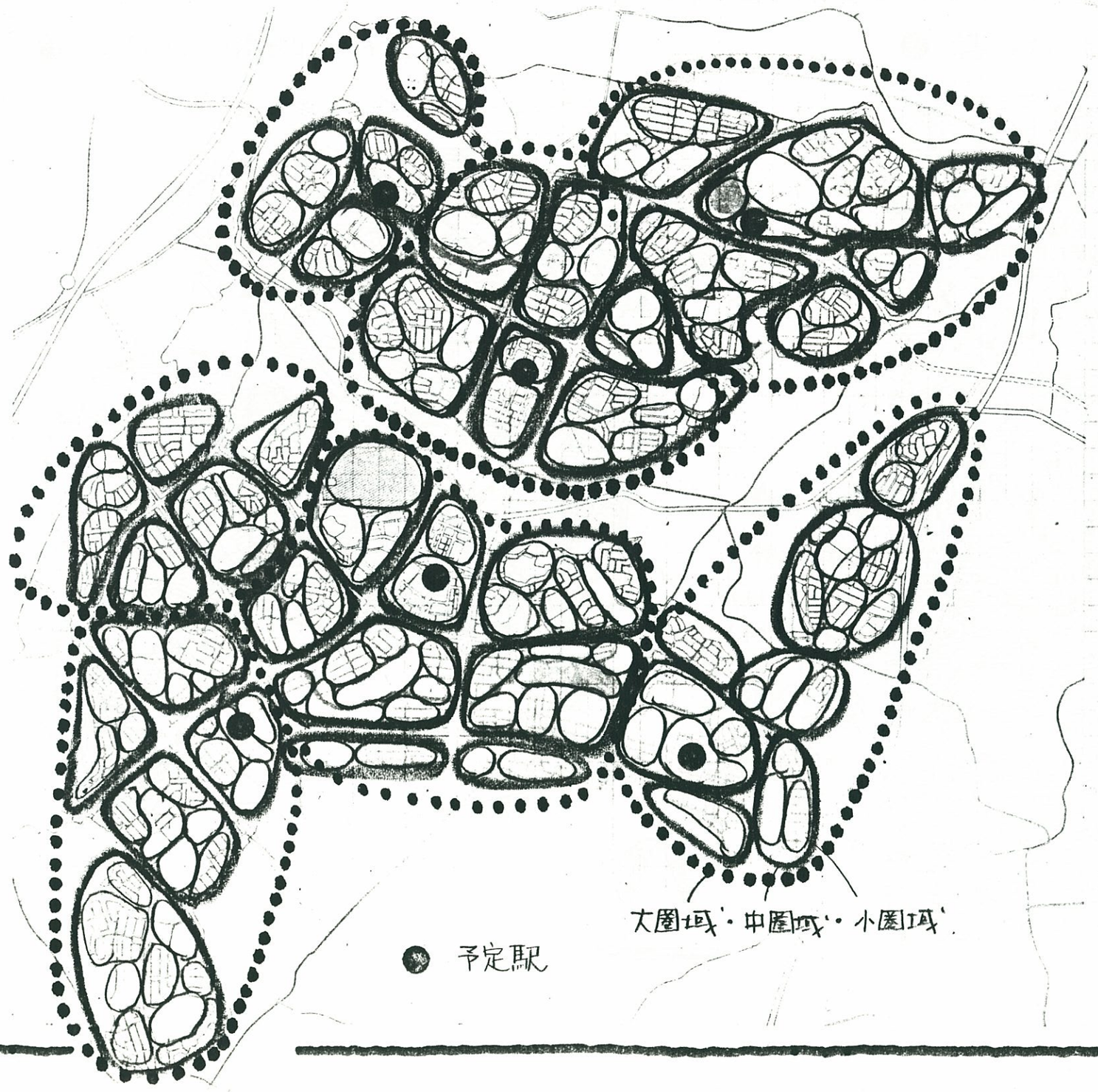


● 港北ニュータウンの"せせらぎ"は、6つの水系によって構成されている。

それぞれの"せせらぎ"を中心とする水系別の圏域を設定する事が出来る。

この6つの圏域はそれぞれ特徴ある性格を持たせたい。

1-4-1 域構造の把握（大圏域・中圏域・小圏域）



● 大圏域の設定方針

● 駅勢圏を中心に、水系や緑を媒介とする仮ジ領域。

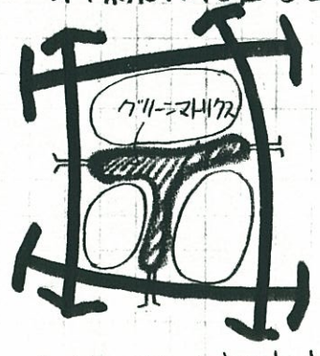
• 地区は7分割され一つの圏域面積が約200~300ha（人口3万~4万・2~3中・4~5小）となる。

↓

• 横浜市におきかえれば一つの圏域の面積的規模はちょうど、西口周辺・野毛山周辺・南内から港周辺・山手周辺・本牧地区周辺等にった大きさに対応しており一つの圏域イメージを持つにはちょうど良い大きさとなる。

● 中圏域の設定方針

● 幹線街路をエッジとする圏域。



◦ 原則として、グリーンマトリクスを媒介とする圏域となる。

◦ 他の圏域とは歩専橋によって結ばれる事により領域感の演出効果が大。

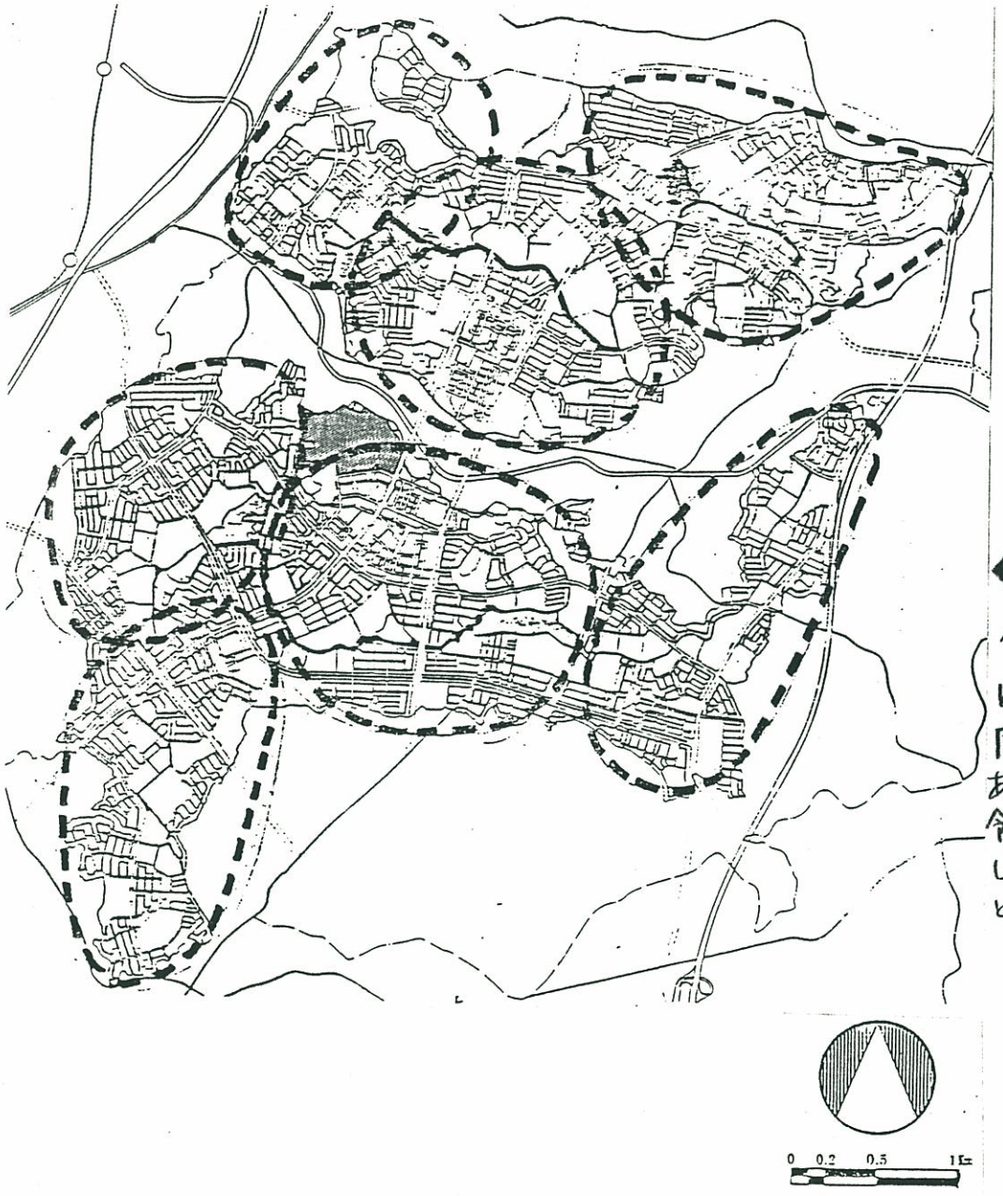
• 町名界にもほぼ合う。

● 小圏域の設定方針

● 一つのコミュニティ道路等を媒介とする。500m~1000m程度の街区のまとまり。

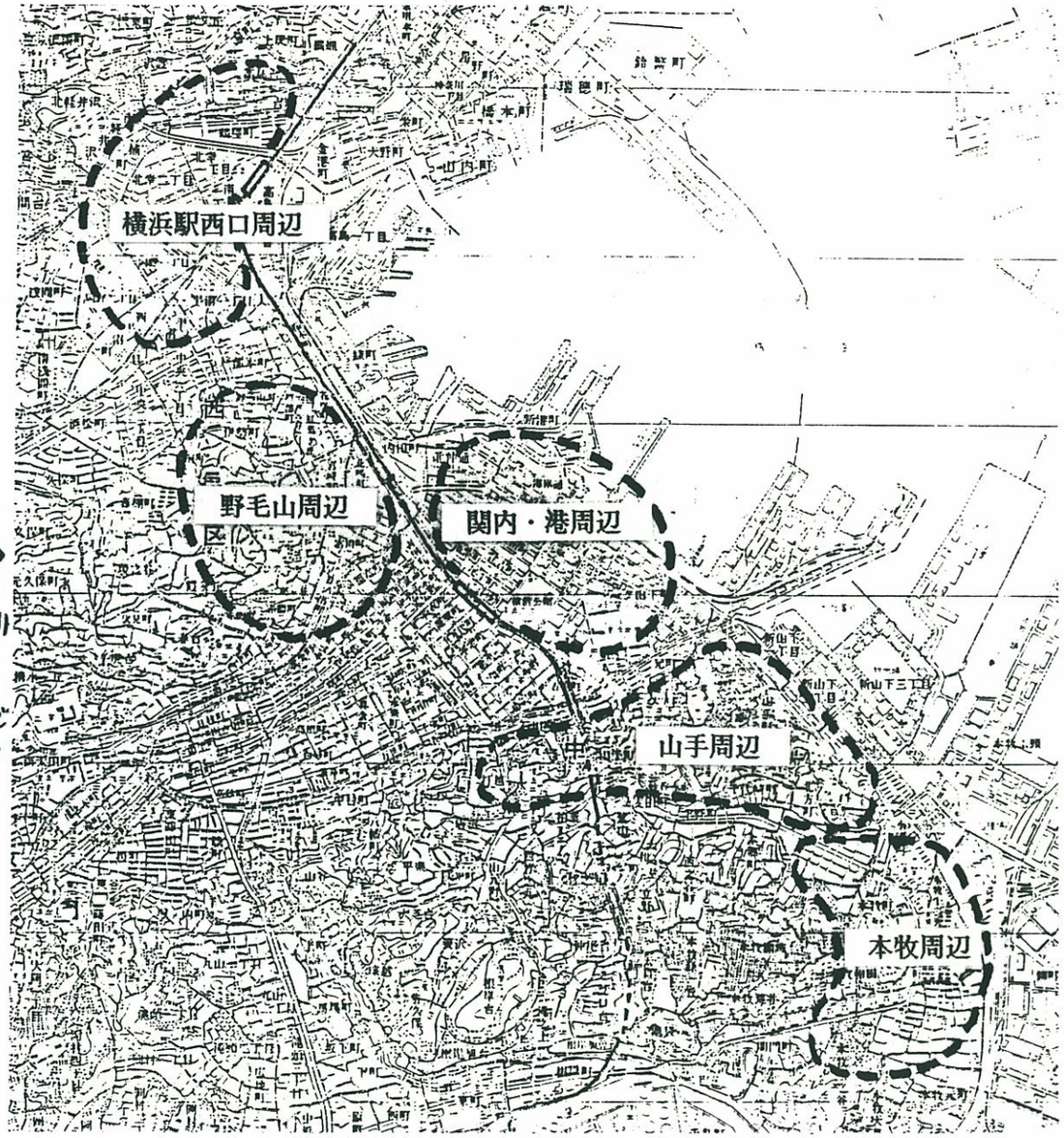
1-4-2 大圏域の領域と横浜市におけるアイデンティティあるイメージ圏域との比較

● 大圏域の領域の大きさ



領域の拡がりとしてはほぼ同様の大きさであり、一つのイメージ領域を形成し得る圏域と言えよう。

● 横浜市におけるアイデンティティあるイメージ領域の大きさ



※ 左右は同スケールのものである。

第2章　サイン計画の目標と基本方針

1. サイン計画のテーマコンセプトの設定
2. サイン計画の目標と方針
3. サイン配置軸の設定
4. 必要サインと管理形態の方針
   1. まちしるべ
   2. みちしるべ（一般道及び歩専道内サイン）
   3. コミュニティしるべ（公園・緑道内サイン）
5. サインの管理形態に関する資料
   1. 横浜市におけるサイン類現況
   2. 住宅団地におけるサイン類の維持管理例

1－1　サイン計画のテーマコンセプトの設定

● 港北ニュータウン計画における4つの基本方針に基づいて、設定した環境計画のためのフィジカルコンセプトを受け、先の調査「港北地区サイン計画策定調査　昭和58年」におけるサイン計画の4つの方針を、より具体的なテーマコンセプトとして表現する。

● 4つの基本方針に基づく環境計画のフィジカルコンセプト

1 緑の環境を最大限に保全するまちづくり「ゆたかな自然をいかし心に緑をつくるまちづくり」

- 「緑」・豊かな自然の緑を保全しながら、新しくさらに美しい緑をつくり出す。
- 「水」・自然の池・沢・水流をいかしながら、いっそうるおいのある水辺をつくり出す。
- 「動植物」・変化に富む地形に生息する豊富な動植物を素材に充実した保養と教育の場をつくり出す。

→ より豊かな自然を

2 ふるさとを偲ばせるまちづくり「のびやかな風土と歴史をいかし、新しい世代のふるさとを育てるまちづくり」

- 「歴史」・ながい歴史や伝統に培われた史蹟・遺跡・神社・文化財・風俗・くらしをいかす。
- 「風土」・地域独自の風土と気候が生み、はぐくんできた素材、色、かたちを大切にする。
- 「景観」・谷戸・坂・丘など豊富な地形をいかし、ふるさととよべるまちなみ景観をつくり出す。

→ より魅力あるふるさとを

3 安全なまちづくり「身のよりどころ、心のよりどころを生み出すまちづくり」

- 「安全」・人と車の分離及び、共存をはかりお互いに安全な道のネットワークを形成する。
- 「快適」・さまざまの目的の道、住宅、施設空間をわかりやすく、親しみやすく、快く、形づくる。
- 「領域」・人間的なスケールと質による領域性・場所性を求め、アイデンティティを高める。

→ より確かなやすらぎを

4 高い水準のサービスが得られるまちづくり「新しい横浜の生活文化と国際的な産業文化を創造するまちづくり」

- 「自立」・恵まれた交通・地理条件をいかし、先端技術産業を立地させ、職住近接の自立都市をめざす。
- 「文化」・地域に根づいたくらしと自発的な市民参加による新しい都市文化を醸成する。
- 「国際性」・国際港湾都市「横浜」のニュータウンとして、外国人の居住も促し、真の国際化をはかる。

→ より新しい都市文化を

● サイン計画のテーマコンセプト

1. 緑や自然に調和する素材とデザイン
2. 地区の歴史や風土にテーマをとったネーミングやサイン
3. 古びてもみすぼらしくならず、あきの来ない素材とデザイン
4. わかり易い配置システムの系統化、拠点づくり
5. 最小限のサインで最大の情報を伝達できる配置とデザイン
6. 場所性、領域性を強調するデザイン
7. これからの新しい都市生活の豊かさをイメージさせるデザイン
8. 横浜らしい外国人にもわかるサイン表示

● サイン計画の4つの方針「昭和58年サイン計画より」

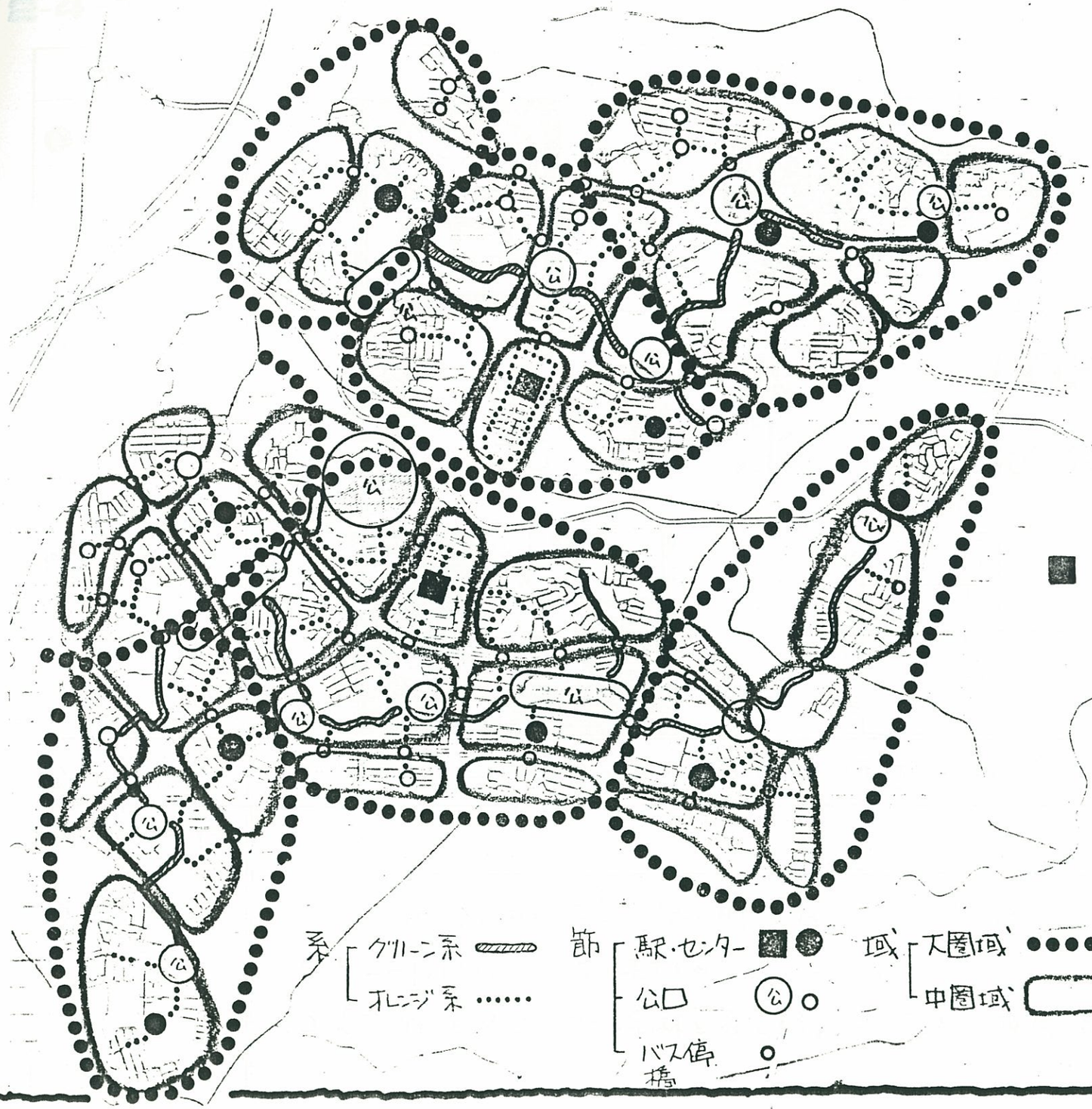
- ○ 地区の構造のわかり易さの確立
- ○ 集約化簡素化の確立
- ○ 街のアイデンティティ向上へのサポート
- ○ コミュニケーションの広がりを生む環境づくり

2-2 サイン計画の目標と方針

- 港北ニュータウンは広大な広がりを持ち、かつ単なるベッドタウンではないため外来者の数は他のニュータウンに比べ非常に多くなる事が予測される。
- 本計画では先づ、主として、外来者への道案内（居住者に対しても同様）としての「みちしるべ」を考える。
- さらに広大なニュータウンをまとまったイメージで結びつけるためのサイン「まちしるべ」と、ニュータウンに住む人と人、人とまちとのふれ合いを育くみ、豊かなコミュニティ形成の一助ともなる、地域社会内サイン「コミュニティしるべ」を考えるものとする。

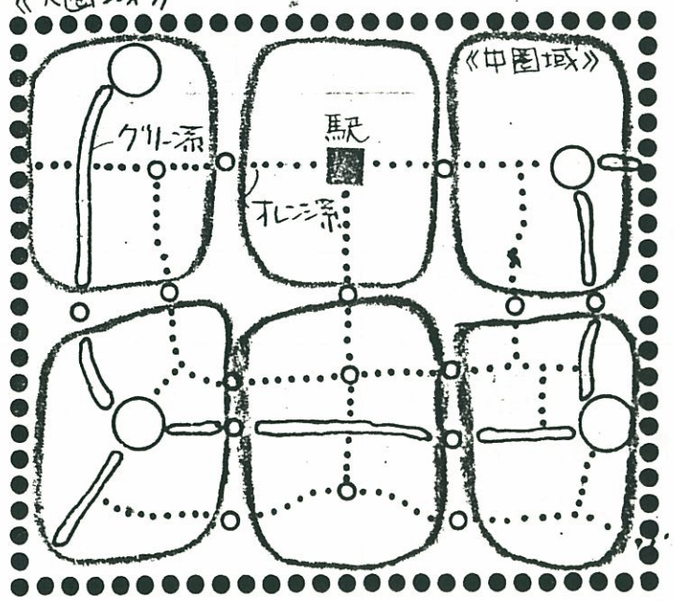
● サイン計画の目標	● サイン構成の方針	● 配置の原則
1　街のアイデンティティ向上へのサポート ・ニュータウン全体のアイデンティティをつくり、対外的にニュータウンの良好なイメージを伝達する。 ・各地区のアイデンティティをつくる。	→ まちしるべ （まちのアイデンティティを高める要素） ・シンボル・ロゴタイプ・カラリング ・形態・表示デザイン	＊ 領域、圏域ごとに特徴・個性を持たせたい。
2　地区構造のわかり易さの確立 ・居住者・外来者・通勤者を安全快適に目的地に誘導する。 ・電車・バス利用者及び、車・自転車利用者を主に対象とする。 ・人の多様な活動を補助する。	→ みちしるべ ・案内サイン　（総合案内・地区案内） ・方向指示サイン（施設へ・街区へ等） ・到達（名称表示）サイン（TEL.BOX, BUS STOP）	＊ 必要最小限のサインで情報を伝えるために配置システムを考える。 ＊ 利用者の交通手段により主に一般道路、及び歩行者専用道路上に配置。
3　コミュニティの広がりを生む装置づくり ・住民の地域社会形成を育むサイン ・人とまち、人と人とのふれあいを育むサイン	→ コミュニティしるべ・ひとしるべ ・コミュニケーション系 ・掲示板 ・コミュニティボード ・安全サイン ・レクリエーション系 ・史跡・解説サイン ・動植物解説サイン ・樹名サイン ・ジョギング・散策サイン	＊ コミュニケーション系は人の活動の中心となる場所、センター広場などに配置する。 ＊ レクリレーション系は主に公園・緑道内に配置する。
4　集約化・簡素化の確立	→ わかり易い配置システムとデザイン	

2-3 サイン配置軸の設定



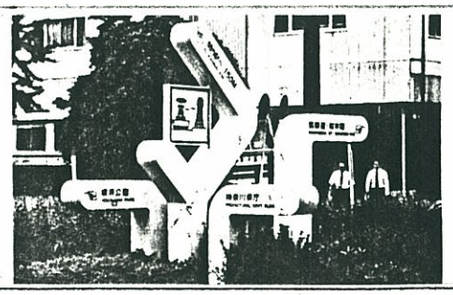
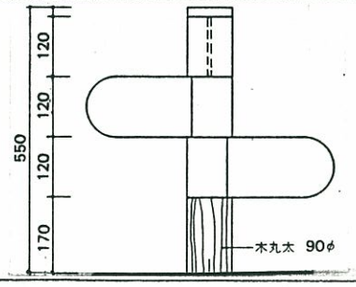
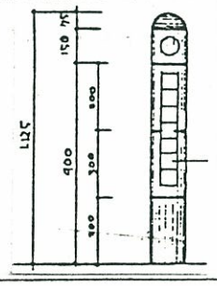
- 系(みちの構造)，節(ノードの構造)，域(圏域の構造)を重ね合せて，体系化すると左図の様になる。
- 大圏域は，駅勢圏を中心に，水系や，緑を媒介とするイメージ領域であり，領域の拡がりは横浜市の野毛山周辺，関内から港周辺，山手周辺と言うスケールにほぼ匹敵する。
- 中圏域は，一つ一つがグリーン系，オレンジ系を骨格として成立しており，中圏域と中圏域は歩行者ブリッジといった節で結ばれている。
- これらの系と域の節となる場所に「みちしるべサイン」を配置し，グリーン系の中に「コミュニティしるべサイン」を配置する。

■ 系・域・節の関係の模式図



2-4 必要サインと維持管理形態の方針 - 1°

2-4-1 まちしるべ

種類	例	備考
● シンボル シンボルマーク	厚木・森の里 高坂 松風かおる丘のまち	○ 町の象徴としてのサインとなる。
● ロゴタイプ°	港北 港北 港北 港北 KOHOKU KOHOKU	○ 字体によりイメージがかわる。 ○ 字体がサインとなる。
● 形態	  	○ 形態そのものがサイン性を持つ。
● カラーリング	○「馬車道は白とレンガ色」等、色彩が街のアイデンティティを創出す。	
● 表示デザイン		○ 表示方法・表示デザインがサインとなる。
● ゲートサイン	○ ニュータウン入口部の橋、をゲートサインとする。 …… シンボルカラーの塗布。シンボルマーク。 ○ ゲート樹としてのシンボル樹を植える。 ○ 表示サインとして、ニュータウン名称を表示する。 …… 柱状・板状、自然石等。	○ 通常は"みちしるべ"として、来街者への第1のサインとなる。

2-4-2 みちしるべ-1°（一般道及び歩専道内サイン）

1) 案内サイン・方向指示サイン

サインの種類	機能	設置場所	表示方法	形状	分類(体付点)	管理	設置基準等
● 総合案内サイン	● 港北ニュータウン全体を表示し、自分の位置を確認し、目的位置までの経路を知らせる。	● 地区内の計画駅及び	● N.T.全体を地図で表示。	● 板状 自立型又は壁に取付ける。	道路付属物	道路管理者	・道路標識令、道路構造令に準ずる。 ・駅広整備事業で駅広施設として設置
● バス停周辺案内サイン	● 港北N.T.の中での位置と、さらに細かな地区や往来区単位の表示をする。	● バス停付近	● バス停周辺の地図を表示。現在地の表示。	● 板状 自立型又は壁に取付ける。	道路付属物	道路管理者	・道路標識令、案内標識に準ずる。 (・都心プロムナードの案内板と同じ)
● まちかどサイン(大)	● 幹線道路の主要な交差点において、N.T内の方面誘導を行う。	● 幹線道路の主要な交差点。 (交差点の約30m手前)	● 主要な地名、道路名、公共施設名等の表示。方面と距離を表示。	● 基本的には既成のものを考える。 (サクリング、ロゴタイプ等は調整したい。)	道路付属物	道路管理者	・道路標識令、案内標識の(方面表示標識)
● まちかどサイン(小-1) コレクター道路導入部	● コレクター道路の導入部でドライバーに対し、往来への誘導を行う。	● コレクター道路導入部 (交差点の約10m手前)	● 街区名・施設名等を表示。 矢印等による誘導を行う。	● 柱状、板状	道路付属物	道路管理者	・道路標識令の地点表示、又は方面表示。
● まちかどサイン(小-2) 歩専道の分岐点	● 主要な歩専道の分岐点で、歩行者に対し誘導を行う。	● 主要な歩専道の分岐点	● 施設名、町丁目を表示し矢印等により誘導を行なう。	● 柱状	付属物	道路管理者	・道路標識令の方面、方向表示。

2-4-2 みちしるべ -2°（一般道及び歩専道内サイン）

2) 名称サイン

サインの種類	機能	設置場所	表示方法	形状	分類(本付・占)	管理	設置基準等
● 交差点名サイン	● 主として車・自転車利用者に自分の位置を確認させる	● 幹線街路の主要交差点	● 既定の表示方法にする。	● 既定の形状	道路付属物	道路管理者	• 道路標識令主要地点名に当る
● 道路名サイン	● 同上	● バス停及び主要交差点、等	● 道路愛称由来がある場合は説明文も表示したい。	● 自立型とするかまたは他のサイン・ストリートファニチュアと一体にする。	同上	道路管理者	• 道路標識令街路の名称に当る
● バス停サイン	●	● バス停	● バス停名称の表示	● シェルター型 ● シェルター無し	占用物	交通局又は事業者	• 横浜市道路占用許可基準
● 坂名、広場名、辻名表示サイン	● 特徴のある場所にネーミングする事により町への愛着を促す。	●	● 名称の表示。由来がある場合はその説明も表示する。 ● 方向指示サインも兼ねる。	● 柱状、板状、自然石等 ● 方向指示サインと同じ形態	道路付属物	道路管理者 ペデの場合、緑政局	• 道路標識令に準ずる。道路愛称及び主要地点名に当る
● 橋名サイン		● 親柱、高欄等	● 橋名の表示			道路管理者	
● コミュニティ道路表示サイン	● ドライバーにコミュニティ道路である事を認識させ、スピードを落させる。	● コミュニティ道路の出入口	● ピクトグラム等による表示	● ポールに表示板を取付ける。	道路付属物	道路管理者	• 道路標識令に準ずる。警戒標識に当る

2-4-3 コミュニティしるべ －1°（公園・緑道内サイン）

サインの種類		機能	設置場所	表示方法	形状	分類(本・付・占)	管理	設置基準
● 読切連載解説サイン		● 楽しみながら自然への理解を深める。	● 緑道内。	● 絵と文章による解説。	● 板状		緑政局	
● グリーンアドベンチャーサイン		● 樹名あてゲーム。	● 緑道及び公園内。	● 樹木に番号のついた札を下げる。	● 小さな板状		緑政局	
単独解説サイン	● 樹名サイン	● 樹名・樹形・花の咲く時期等を表示	● 生物相保護区。その他 公園 緑道内。	● 絵・ピクトグラム等で表示。	● 小さな板状		緑政局	
	● 小動物解説サイン	● そこに生息する小動物への理解を深める。	● 生物相保護区。その他 公園 緑道内。	● 絵と文章による解説。	● 小さな板状		緑政局	
	● 史跡・歴史解説サイン	● その場所の歴史について理解を深める。		● 絵と文章による解説。	● 板状		緑政局	
● 緑道名称（緑道全体の案内 水系別緑道の案内）		● 緑道の名称を知らせ緑道の案内を行う。	● 水系別緑道の起終点、及び主要な歩車道との接点等。	● 緑道名称と緑道ルートの表示。	● 板状又は自然石		緑政局	「横浜市公園・緑地標準図集」等に準ずる。
● 公園名称		● 公園の名称を知らせ緑道の案内を行う。	● 公園入口。	● 必要に応じて公園の案内サインと兼ねる。	● 板状又は自然石		緑政局	「横浜市・公園緑地標準図集」等に準ずる。
● ジョギングプサイン サイクリングプサイン		● ルート案内板でコース全体を案内し、コース内に目印となるサインを設けることにより活動を促す。	● 公園・緑道内等。	● 緑道名称サインにルート案内を表示する。 ● マイルストーン・絵タイル等の目じるしを置く。	● ルート案内サイン ・板状 ● めじるし ・マイルストーン ・絵タイル		緑政局	

2-4-3 コミュニティしるべ（公園・緑道内サイン）

サインの種類	機能	設置場所	表示方法	形状	分類(本庁占)	管理	設置基準等
● 山頂ビスタサイン及び山名サイン	● 公園緑地計画で設定された ビスタラインを表示する。	● ビスタサイン　山頂。 ● 山名サイン　登り口。		● 塊状 ● 板状		緑政局	
● 生物相保護区表示サイン	● 生物相保護区を示し、棲息する生物の紹介を行う。	● 生物相保護区へのアプローチ地点。	● 絵や解説文	● ポールに板を取付ける。		緑政局	
● 池名サイン		● 公園・緑地内の池	● 名称表示（ひらがな及び漢字）	● 自然石塊状		緑政局	
● 注意サイン安全サイン	● 注意文 警告文を表示し安全を保つ。	● 公園・緑道内等	● ピクトグラム及び文章で表示	● 板状		緑政局	
● 金石文							
● コミュニティボード（掲示板 広報板）	● 民間の広告や、行政の広報等が乱立せず、美化をはかるとともに住民相互のコミュニケーションの手だてとなる。	● 都市緑地		● 板状	占用物	○公共掲示板として設置する場合は緑政局	○「横浜市道路占用許可基準」（「屋外広告物管理要綱」）
● 電話ボックス		● バス停及びサイン拠点。			占用物	電々公社	○「横浜市道路占用許可基準」

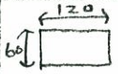
2-5-1 横浜市における サイン類 現況 (1)

サイン	設置者	管理者	許認可権者	設置場所	本体付属物	表示内容(規準・制約等)	設置基準	備考
道路案内表示	道路局 (施設課)	道路管理者 (施設課 土木事務所)	なし	・道路標識令による。	付属物	・道路名称・公共施設名称 ・地名・案内・キョリ・矢印・絵	・道路標識令	・道路標識の一つ ・道路標識は付属物。
交差点名称表示	同上	同上	警察と協ギ	信号に取付ける。	付属物	・交差点名 (庁例機関で表示方法の変更の検討中)	・同上 (基準では白地にブルーの字であるが、関連広場前は黒地に黄文字)	・道路標識の一つ 案内標識に当る。自立が原則であるが、交差点にかざして信号に取付ける。
道路愛称標識 (町丁名表示)	道路局 (管理課)	道路管理者 (管理課 ・土木事務所)	なし	歩道の車道側	付属物	・道路名称 ・横浜市の場合は町丁名表示も同時に行っている。	・道路標識令	・道路標識の一つ ・道路愛称事業 ・町丁名板は案内標識と地点名称板に当る。
バスストップ1° (一般のもの)	交通局 事業者	交通局 事業者	道路管理者 警察		占用物		・道路占用許可基準 横浜市	
バスストップ2° (駅元の特別なもの)	道路局 (施設課)	交通局	同上		占用物		・同上	
公共施設案内表示 (都心プロムナード)	・道路管理者	・土木事務所	なし	道路内 植栽帯	付属物	・地図・主要施設	・標識令に準ずる。	・都心プロムナード整備事業の一部。 ・案内標識の変形とみなす。
通り名称サイン1° (横浜のもの)	道路局 (管理課)	道路管理者	なし	交差点 歩道の車道側	付属物	・通り名称 ・上面には交差する通り名も全て表示されている。	・同上	・道路愛称事業 (24路線) ・通の起終点には由来も表示
通り名称サイン2° (地図が表示されているもの)	同上	同上	なし	同上	付属物	・上記のもの以外に地図を表示し、主要な通り名を地図内に表示。	・同上	・同上 ・より分かり易く、親しみを持たせるため名称表示のしかたを拡大解釈した。

2-5-1 横浜市における サイン類 現況 (2)

サイン	設置者	管理者	許認可権者	設置場所	本体付属物占用物	表示内容(規準・制約等)	設置基準	備考
都心プロムナード サインポール	道路管理者	中土木事務所	なし	植栽帯内	付属物	・道路名称・公共施設名 ・キョリ ・指差しのピクトグラム ・絵	・標識令	・都心プロムナード整備事業
都心プロムナード 絵タイル	同上	同上	なし	歩道	本体	・絵		・舗装材とみなす。
坂名愛称標識	道路局 (管理課)	道路管理者 (管理課)	なし	道路上	付属物	・坂名	道路標識令	・道路愛称事業
駅前総合案内板 (洋光台) (鶴ヶ)	道路局 (建設課)	道路管理者	なし	駅広内	付属物	・周辺案内図 ・公共施設名・キョリ ・矢印	道路標識令 道路構造令 に準ずる。	・駅前整備事業 ・駅広施設として設置
公共掲示板	緑政局 (計画課、風致係)	「緑の協会」に管理委託	・土木事務所 ・警察	歩道の車道側	占用物		・横浜市道路占用許可基準	・都市の美観風致の向上を目的。 「屋外広告物管理事業」
市広報板	市民局 (広報課)	市民局 (広報課)	同上		占用物		・同上	・4~5年前まで広報課で設置し業者にポスターの貼かえや管理を委託していたが現在は町内会の掲示板を使用。以前の広報板は町内会に引渡した。
町内会掲示板	町内会	町内会	同上		占用物		・同上	
町内会地図	町内会	町内会	同上		占用物	・地図、地番等	・同上	

2-5-1 横浜市におけるサイン類現況 (3)

サイン	設置者	管理者	許認可権者	設置場所	本体/付属物	表示内容(規準・制約等)	設置基準	備考
街区案内板(区整地区)	組合 開発事業者	組合→(自治会?) 今のところ曖昧。	道路管理者 警察	歩道の車道側	占用物	・地図による街区案内	・横浜市道路占用許可基準	・市民局、住居表示課が、開発者に設置を指導。例 神奈川区役所近く
町丁地番表示(ブルーのプレート)	市民局 (住居表示課)	市又は区! 曖昧。今のところ市の住居表示課で取替えている。	・電柱につける場合、道路管理者	・塀、壁等 ・電柱		・町丁名 (町名及び丁数字のみ)	・「住居表示関係法令」横浜市規則	 ブルーに白抜文字 組合等で設置な場合、色を変えた例もある。
町丁地番表示(電柱)	東電広告	同左	(道路管理者)	電柱	2次占用	・広告 ・町丁名	・看板としての設置基準を満たす事。	・2次占用物となり、道路管理者の許可が必要か?
町丁地番表示(タバコ屋)								・専売公社か?
住居表示(名中)	個人	同左		塀、壁等		・地番 (数字のみ)	・「住居表示関係法令」横浜市規則	 ・郵便局がつくり住居表示課が、配る。 ・住居表示実施区域には全ずこれをつける。
町丁地番表示(歩道橋)	道路局 (施設課)	道路管理者	なし	歩道橋側面	(付属物)	・町丁名(地名)		
橋名板(歩道橋)	道路局 (施設課)	道路管理者 (施設課 橋梁課(川の橋)				・ひらがな及び漢字		
公園名称板	緑政・施設課 開発業者	公園緑地事い所				・園名	・「公園・緑地標準図集」	・緑政・審査係で指導

2-5-2 住宅団地におけるサイン類の維持管理例

事例	事業主体	設置主体	サインの種類	設置場所	サイン類の移管
● 高坂ニュータウンの例	● 住宅、都市整備公団	● 同左	● 総合案内サイン ● 方向指示サイン ● 周辺案内サイン ● 樹名サイン ● 絵タイル ● 自転車通行帯絵タイル	都計道の植樹帯.歩専道 〃　〃　〃 近隣公園 歩専道の植樹帯.児童公園 歩専道 〃	● 都計道はサインを含めて移管ずみ(東松山市) ● 歩専道.公園については一部工事中であり、工事完了とともに市に移管することが、両者間で確認されている。
● 竜ヶ崎ニュータウンの例	● 住宅、都市整備公団	● 同左	● 自転車通行帯サイン ● 〃　絵タイル ● コミュニティー.ボード ● ジョギング用一丁塚サイン ● 樹名サイン	都計道の植樹帯 〃　〃 〃　歩道 〃　植樹帯 〃　〃	● 都計道が工事中のため、植樹帯の植物も含めて公団が管理中 ● 一定区間完了とともに、竜ヶ崎市に移管することが、両者間で協議ずみ
● 県営竜王住宅団地の例(徳島市)	● 徳島県住宅課	● 同左	● 方向指示サイン ● ジョギング絵タイル	県道の歩道上(植樹帯の外) 〃　〃	● 道路は道路保全課の管轄であり、県土木事務所が実際の維持管理にあたる。 ● サイン類については、住宅課が直接10年間にわたって管理する、10年以後については未定
● 汐見台ニュータウンの例	● 面試都市開発	● 同左	● 方向指示サイン(大)街路灯に共架 ● 方向指示サイン(小)板状のその(両看板型)	町道(幹線.準幹線のコレクター道路への入口)の植樹帯 町道(コレクター道路の細街路への入口)の植樹帯.緑道	● 75%入居時点で七ケ浜町への移管が協議ずみ ただし実際の維持管理は以下のように行う。 ● ディベロッパーと町との間で管理協定を結ぶ、町と住民の間で環境施設維持管理規約を取りかわす、入居契約時に一戸当り1律に10万円の管理基金を企業が預り工事完了後2年目に無利息で管理主体となる町会に移管、現在は1戸当り1,500円/年の管理費によって有線TV.を含めて企業が維持管理を代行しているが、将来は全て町会に町が委託することとなる、防犯灯についてのみ町から補助金が出るがその他のものについては管理基金と管理費によって行われる。

第3章　サイン基本計画

1. サインシステム及び配置計画
   1. 一般道及び歩専道内サインの配置計画
   2. 一般道及び歩専道内サインの配置及び設計方針
   3. コミュニティしるべによる「野外博物館（フィールドミュージアム）」構想、
   4. 「野外博物館」のサイン構成と配置の考え方
   5. 公園・緑道内サインの配置及び設計方針
   6. 必要サインの数量とコスト概算

2. プロダクトデザイン
   1. 形態の検討
   2. 素材の検討
   3. サインアイデア集

3. ビジュアルエレメントデザイン
   1. ロゴタイプの検討
   2. ピクトグラムの検討

4. シンボルマークデザイン
   1. シンボルマークの検討（1）
   2. シンボルマークの検討（2）
   3. シンボルマークの検討（3）　資料（横浜市におけるシンボルマーク）

5. 表示内容の更新システム
   1. 表示内容の更新システム

3-1-1 一般道及び歩専道内サインの配置計画

● みちしるべサインの配置システムは、基本的に前回調査「港北地区サイン基本計画調査 S.58」によるシステムを踏まえながら、今回設定したサイン計画のテーマ・コンセプトに従い、現実性の高いものを目指す。

● 外来者に対する誘導を中心に、幹線道路における方面表示（既存システム）から、各宅地の住居表示、住棟表示・施設名表示（既存システム）をつなぐサイン配置システムとして考える。

● また、テーマ・コンセプトによる「わかり易い配置システム」「最小限のサインで最大の情報を伝達できる配置」に従って、バス停サイン設置の簡略化・区画道路導入部でのサインのとりやめ、コレクター道路導入部の表示方法の見直し等の改善を行いたい。

○ 既存のサインシステム
● 新しいサインシステム

● 車対応サイン

メインシステム：ゲートシンボルサイン
→ ○ まちかどサイン(大)による方面表示。
　 ○ 交差点名称による位置の確認。
→ ● まちかどサイン(小-1)による、コレクター道路への誘導サイン。
→ ＊ ○ 街区表示
→ ＊ ○ 各戸の住居表示
　 ○ 集住宅地独自の案内サイン

サブシステム：
● 駅前総合案内板
● バス停周辺案内板
(○ 道路名称)
○ 施設名称

● 歩行者対応サイン

メインシステム：
● 駅前総合案内板
→ ● バス停周辺案内図
→ ● 歩専道(及び緑道)主要分岐点の誘導サイン
→ ＊ ○ 街区表示
→ ＊ ○ 各戸の住居表示

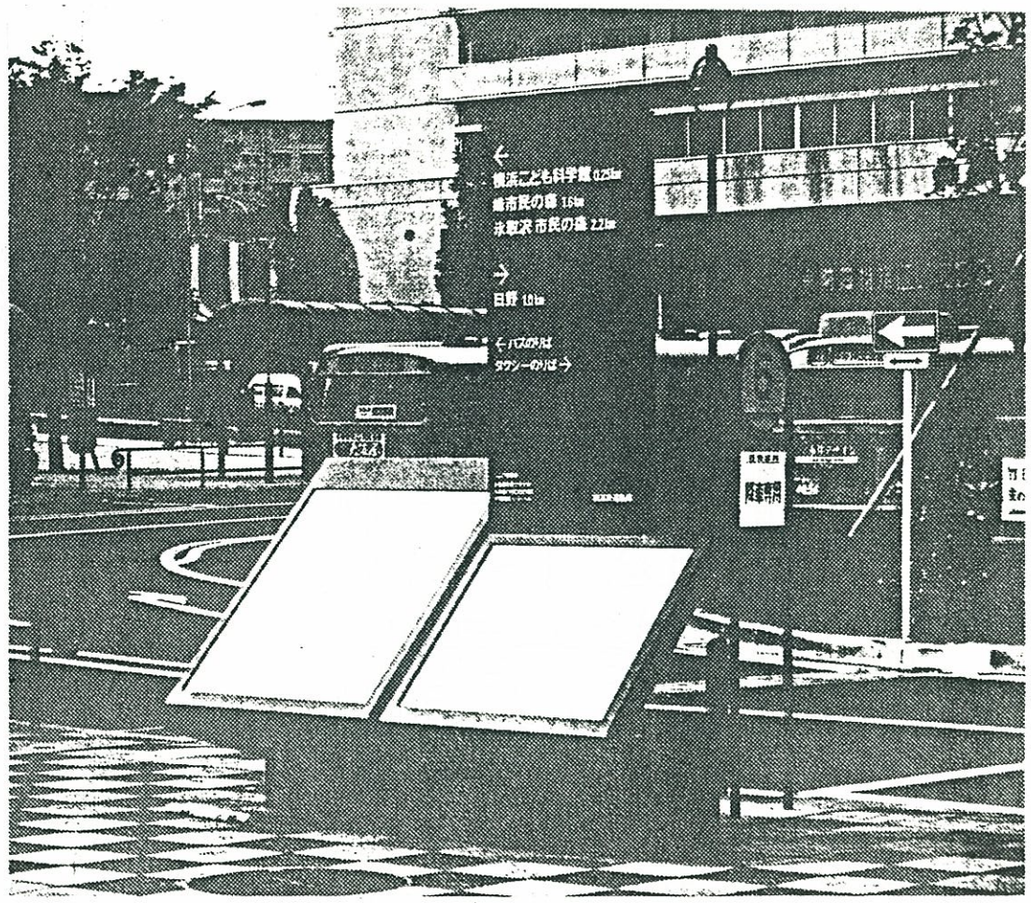
サブシステム：
● まちかどサイン(小-1)によるコレクター道路への誘導サイン
● 歩専道、緑道名称
○ 施設名称

＊ 区画整理事業の中では設置しない。
施設名称は、公団により設置する。

3-1-2 一般道及び歩専道内サインの配置及び設計方針

1) 駅前広場サイン拠点（案内標識として設置。道路付属物。横浜市では都心プロムナード及び駅前広場で設置）の設計方針

- 設置場所：駅前広場と駅前広場整備事業で設置する。
- 機　　能：鉄道、バスによる来街者に、地区全体（第1・第2地区）を案内する。現在地を知らせ、目的地までの道順を知らせる。
- 表示内容：港北地区全体の地図に、公共公益的施設を表示する。
  誘導サインも一体にする等も考えられる。
- 形　　態：駅広ごとのデザインに合わせて、それぞれ異なる形態とする。
- 表示板の大きさと、地図のスケール：
  表示板 - 1500×1500 程度
  全体図 - 1/4,500
  交通網図 - 1/200,000
- 例



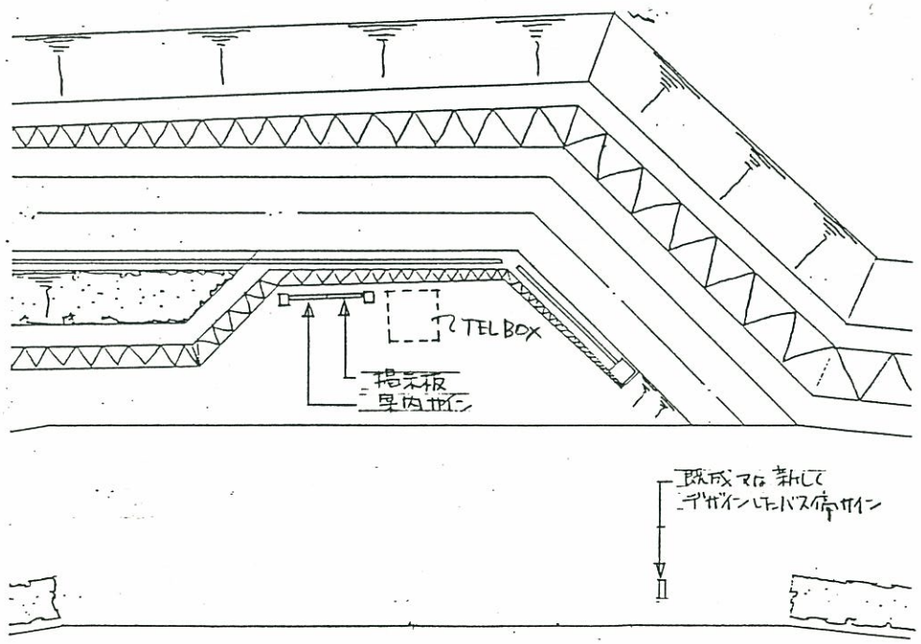
（港北台駅前広場）

3-1-2 一般道及び歩専道内サインの配置及び設計方針

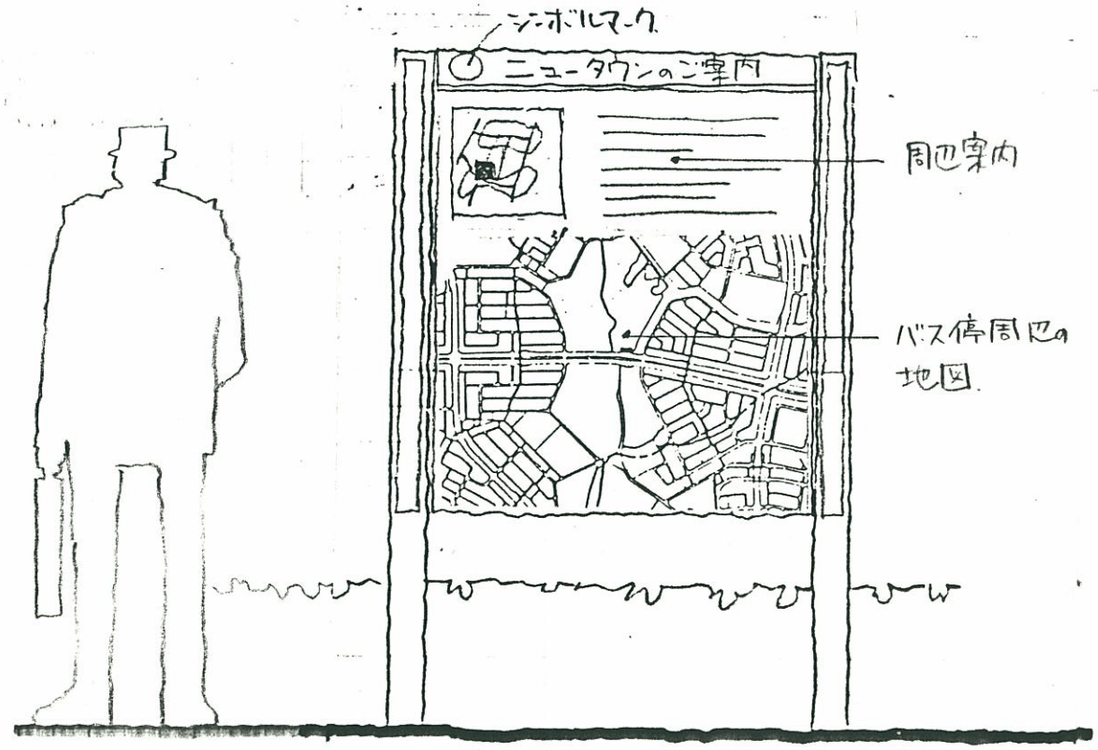
2）バス停周辺案内板（付属物上に設置する。）

- 設置場所：バス停付近
- 機　　能：バスによる来街者にそのバス停の徒歩圏、バス停圏域程度（中間域）の地図を用い周辺を案内する。
- 表示内容：地区全体の中での位置図とその部分の地図に公共公益的施設を表示する。
- 位　　置：

（例）

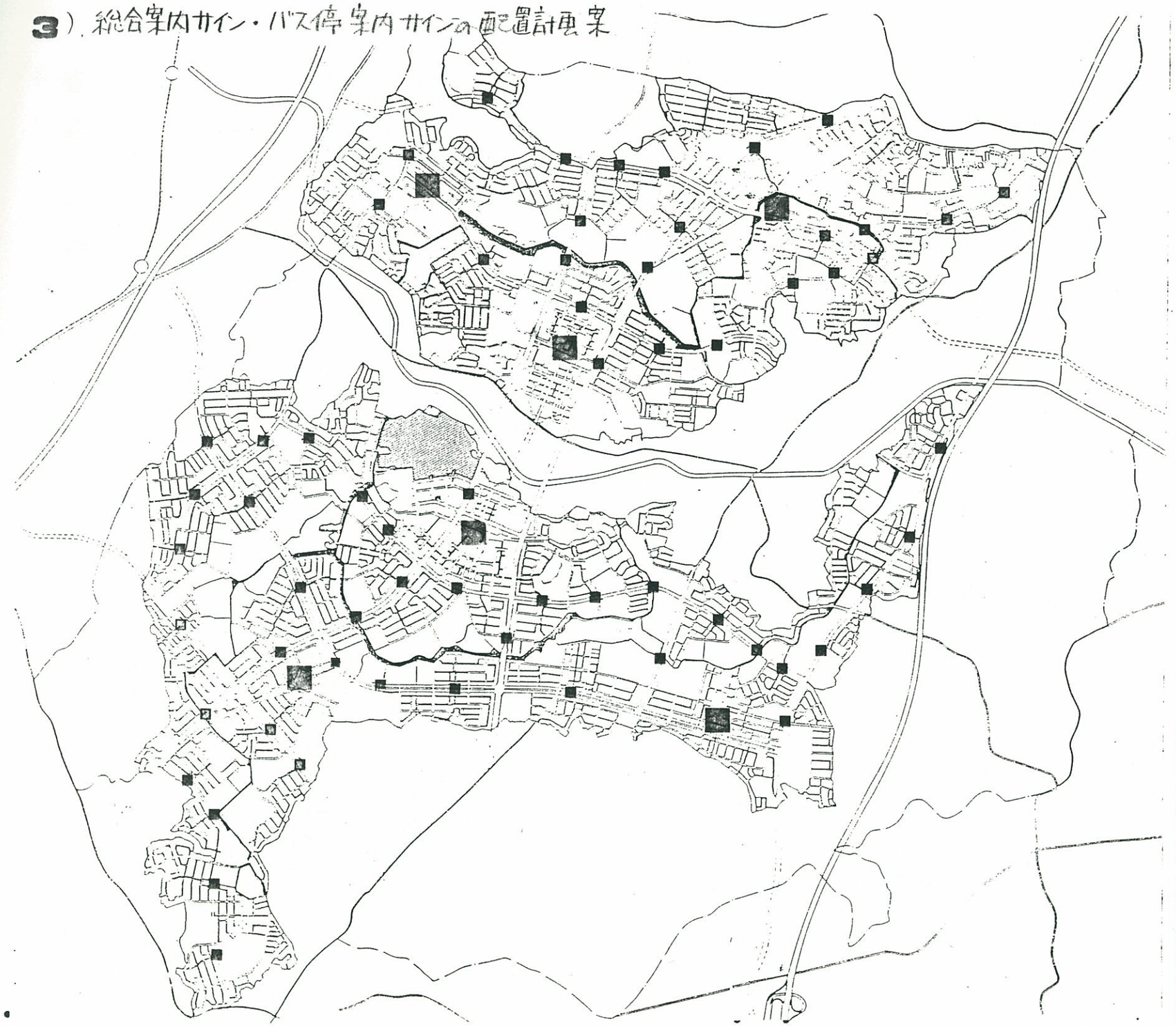


- 表示板の大きさと地図のスケール：
  - 表示板 － 500×1000程度
  - 周辺地図 － S＝1/2500で、500角程度
  - 全体図 － S＝1/25,000で、200角程度
- 形態のイメージ



3-1-2 一般道及び歩車道内サインの配置及び設計方針

3）総合案内サイン・バス停案内サインの配置計画案



● 配置と表示内容の原則

- 駅前に、第1第2地区全体の総合案内サインを配置する。
- バス停に、当バス停周辺の案内サインを配置する。

● 設置の原則

- バス停周辺案内サイン



・各バス停のアルコーブ部に設置
・車道側に表示面を向ける。

● 凡例

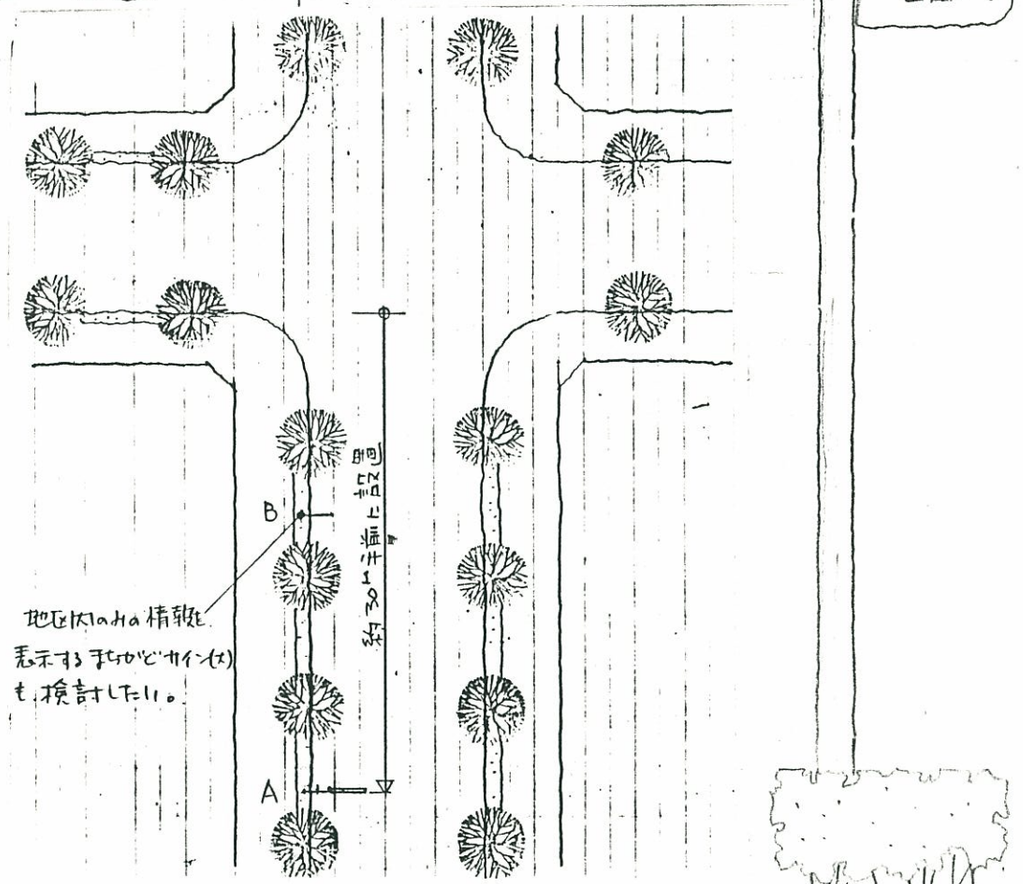
■ － 総合案内サイン　（6ヶ所）

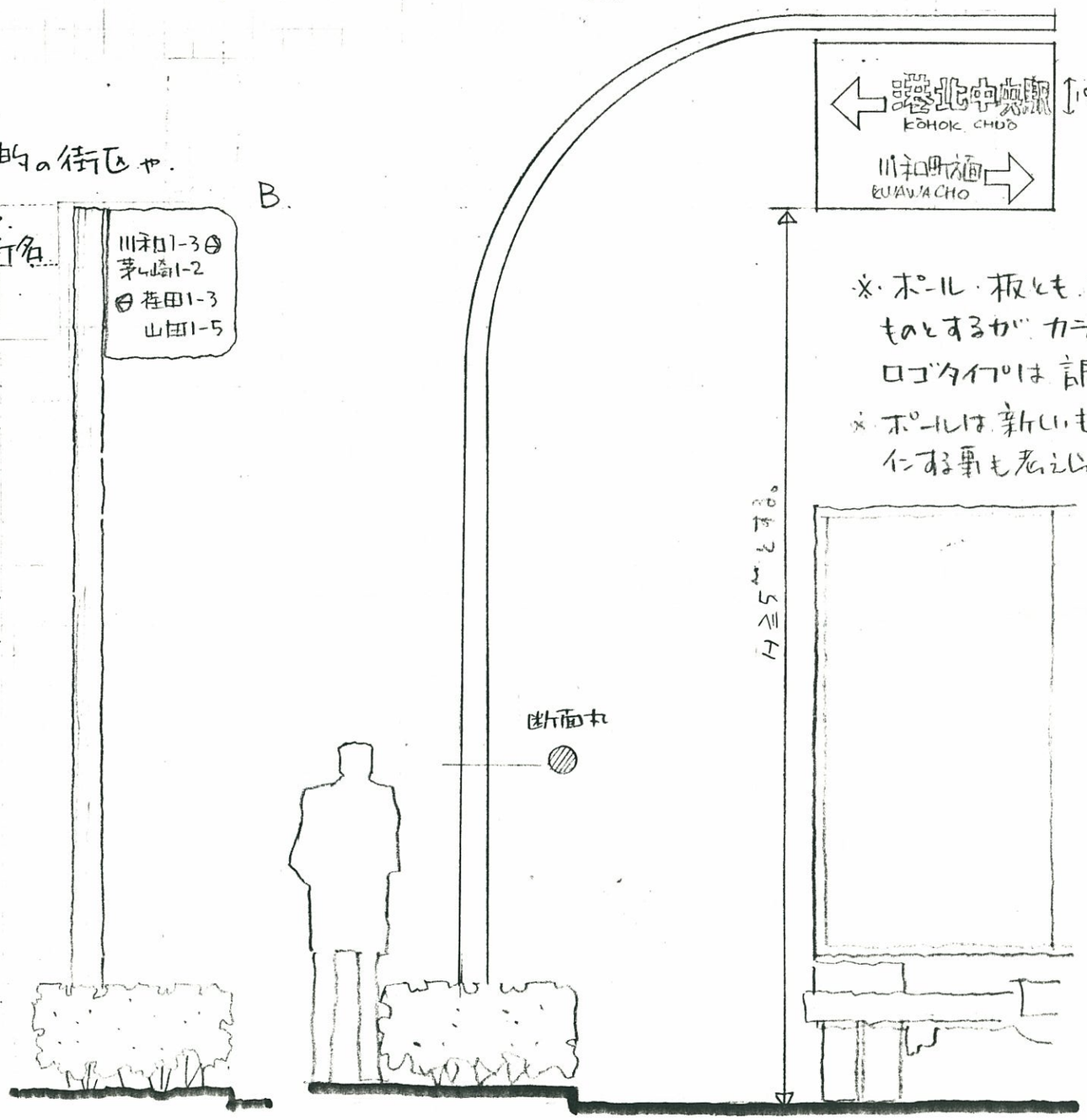
■ － バス停周辺案内サイン
（128ヶ所）

3-1-2 一般道及び歩専道の配置及び設計方針

4) まちかど サイン（大）の設計方針

- 設置場所：幹線道路の主要交差点。
- 機　　能：車による外来者を対象とし、目的の街区や、施設への方面表示を行う。
- 表示内容：駅方面，主要道路名，町名
- 位置



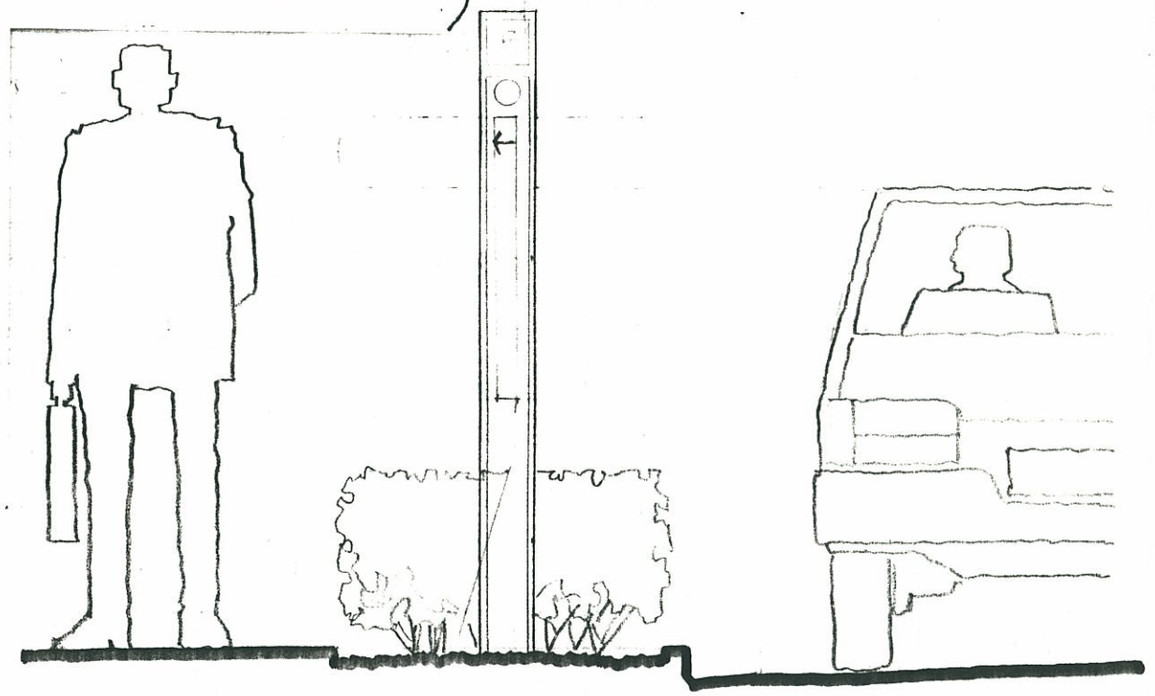


- 表示板の大きさと：表示板 － 1m×1.5m程度
  文字の大きさ　　文字 － 15cm角から20cm角程度。

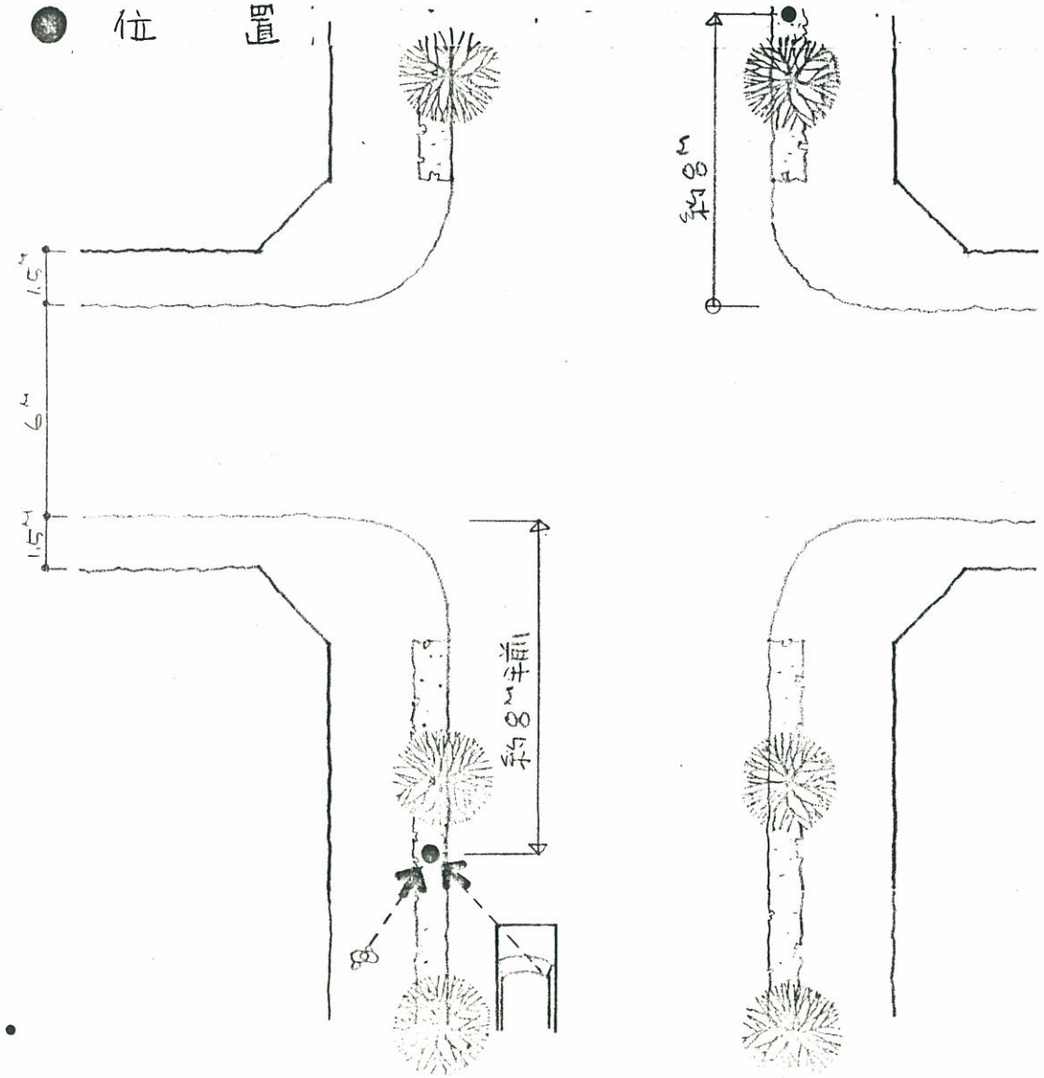
3-1-2 一般道及び歩専道内サインの配置及び設計方針

5) まちかどサイン(ST-1)の設計方針

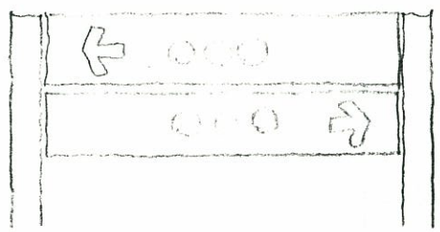
（道路標識の方面方向標識又は、地点名標識として設置。付属物。横浜市では都心プロムナードのものに当る。）



- 設置場所：コレクター道路(W=9m)導入部。
- 機　　能：車による外来者(ドライバー)を対象に、目的の住宅街区に誘導する。
  歩行者にも見える方が良い。
- 表示内容：町・丁名(日本文)道路愛称(英文併記)
  文字の大きさ 5cm角から10cm角程度
- 位　　置：



- タテ書き　○場所をとらない。
  ○2方向に誘導するのはむずかしい。
- ヨコ書き　○ドライバーには見やすい。



3-1-2 一般道及び歩専道内サインの配置及び設計方針

6) まちかどサイン(小-1) コレクター道路導入部サインとまちかどサイン大の配置計画



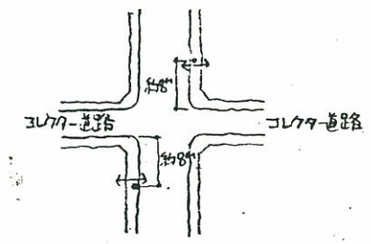
● 配置と表示内容の原則

[サイン小] コレクター道路導入部に配置し、基本的にはそのコレクター道路により、サービスされる町丁名を表示し、誘導する。

[サイン大] 幹線街路の主要交差部に配置し、次の主要交差部より以遠の主要施設、主要道路、町名等を表示する。

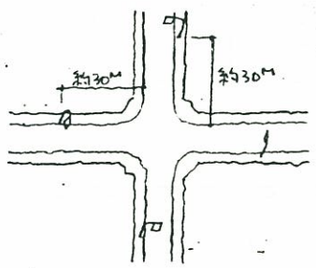
● 設置の原則

[サイン小]



- コレクター道路出入口の約8m手前に表示面を車道に直行させて設置する。
- 歩道と車道の境界の歩道内に設置する。

[サイン大]



● 想定設置箇所数

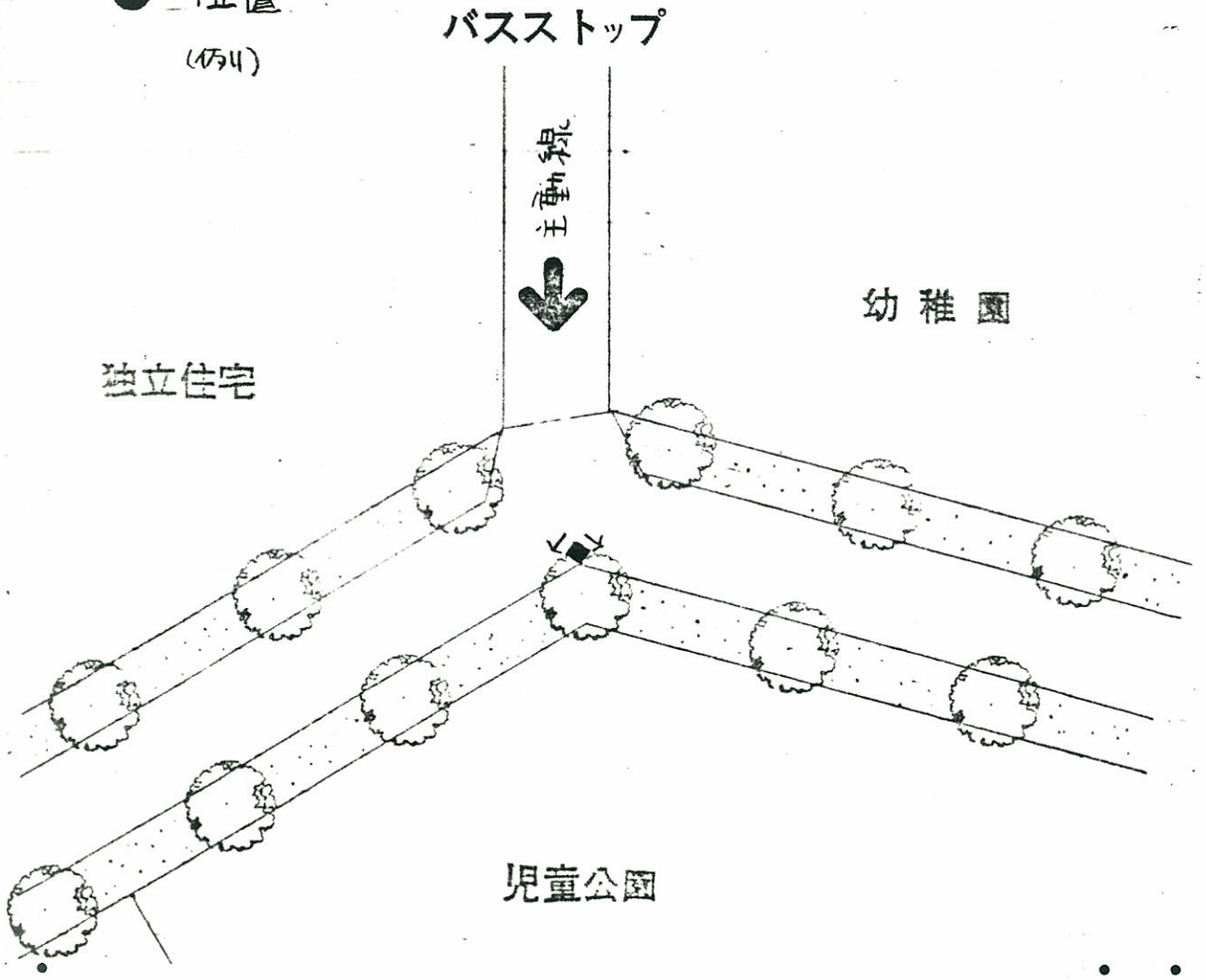
(大) 80ヶ所　(小) 190ヶ所

3-1-2 一般道及び歩専道内サインの配置及び設計方針

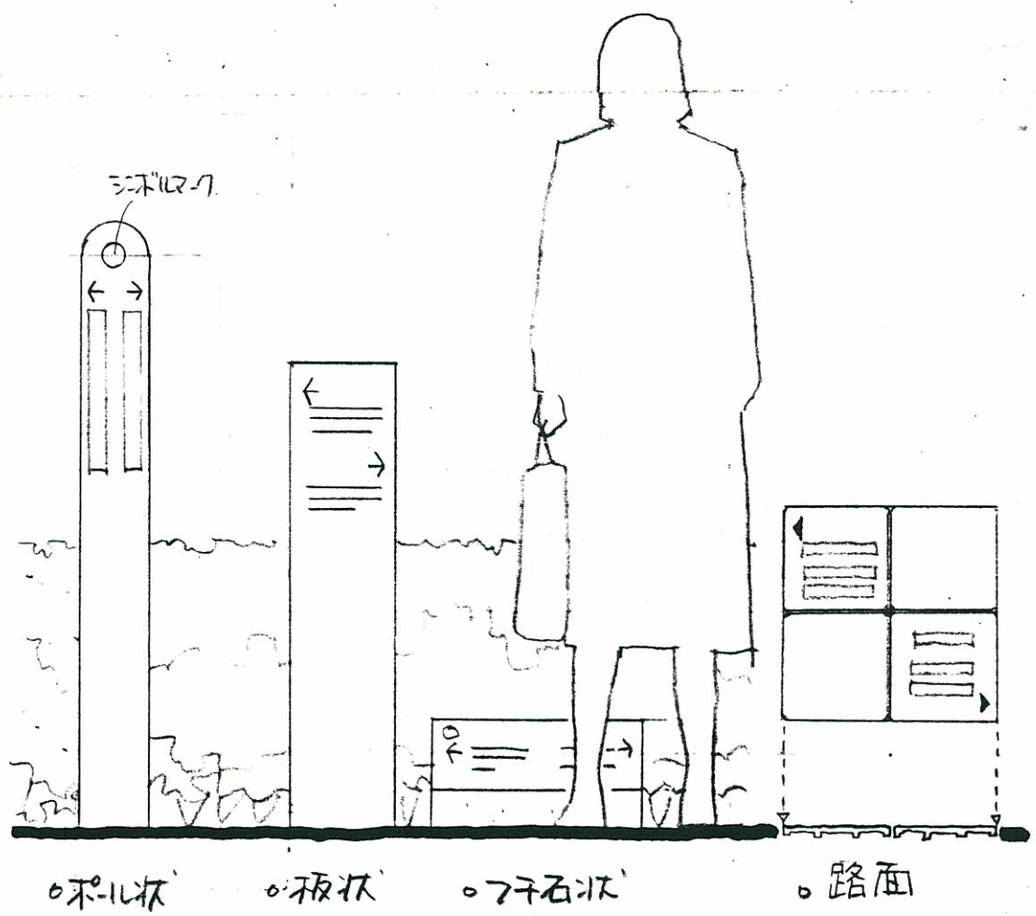
7) まちかど"サイン"(ホ-2)の設計方針　　(案内標識として設置。付属物とする。)

- 設置場所: 歩専道の主要な分岐点。
- 機能: バスから降りた外来者を対象とし、主要な分岐点で目的地へ誘導する。
- 誘導表示の原則: バス停からの歩行者動線の分岐方向のみを表示する。帰り方向(バス停方向)の表示は行なわない。
- 位置

(例1)



- 文字の大きさは 2.5cm角から 4cm角程度
- 形態のイメージ
  - ポール状、板状、床と考えられる。

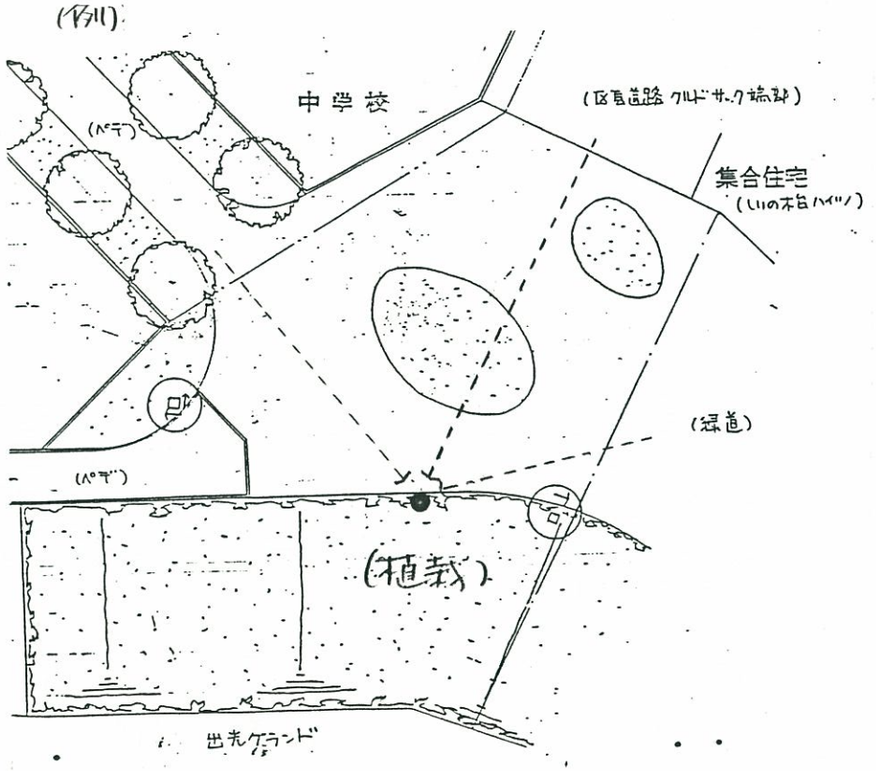


3-1-2 一般道及び歩車道内サインの配置及び設計方針

8)歩専道名・坂名（道路愛林標識として設置。道路付属物 横浜市では都心部の坂名愛林標識に当る。）

- 設置場所：愛林のある坂道や広場で、通交の防げとならない植栽の中等に設置
- 機　能：歩行者を対象とし、場所への理解と愛着を持たせると同時に、来往行者、居住者にソフトな道しるべとなる様にする。
- 表示内容：坂名・広場名、名称の由来を表示する。必要に応じて、誘導サインと兼ねた表示内容とする。
- 位　置：

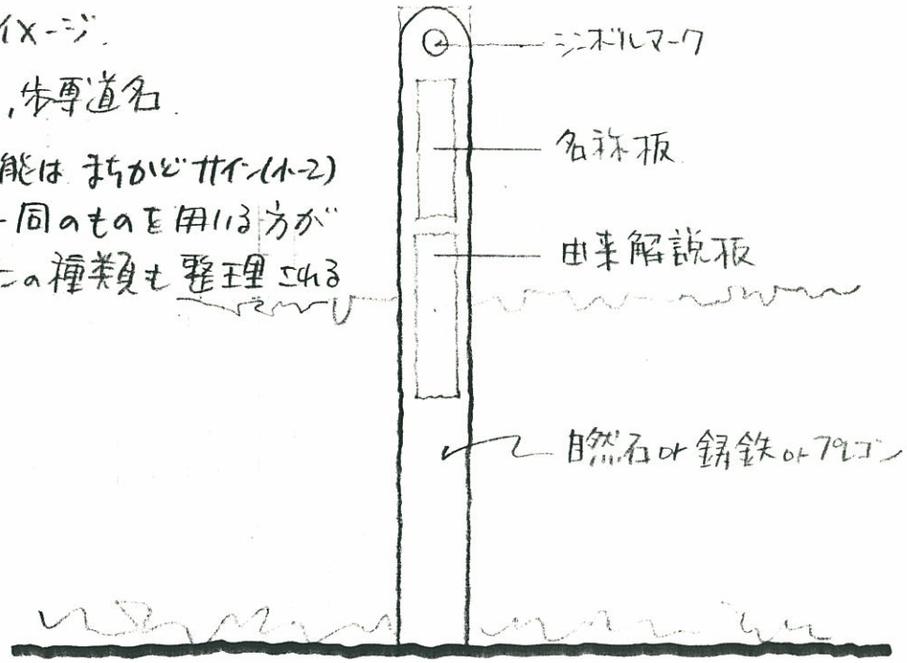
(例)



- 形態のイメージ

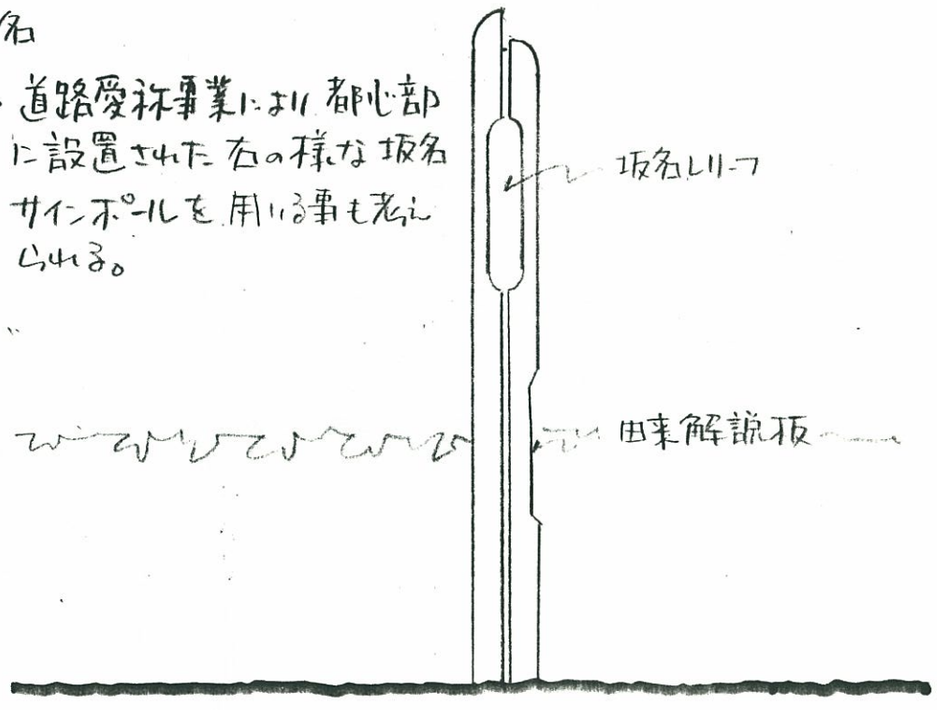
○ 広場，歩専道名

- 形態は まちかどサイン(1-2)と一同のものを用いる方がサインの種類も整理される



○ 坂名

- 道路愛林事業により都心部に設置された右の様な坂名サインポールを用いる事も考えられる。

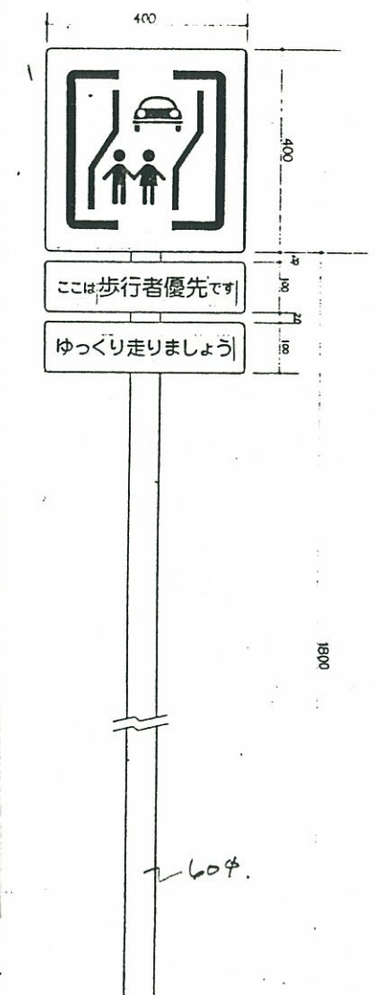


3-1-2 一般道及び歩車道内サインの配置及び設計方針

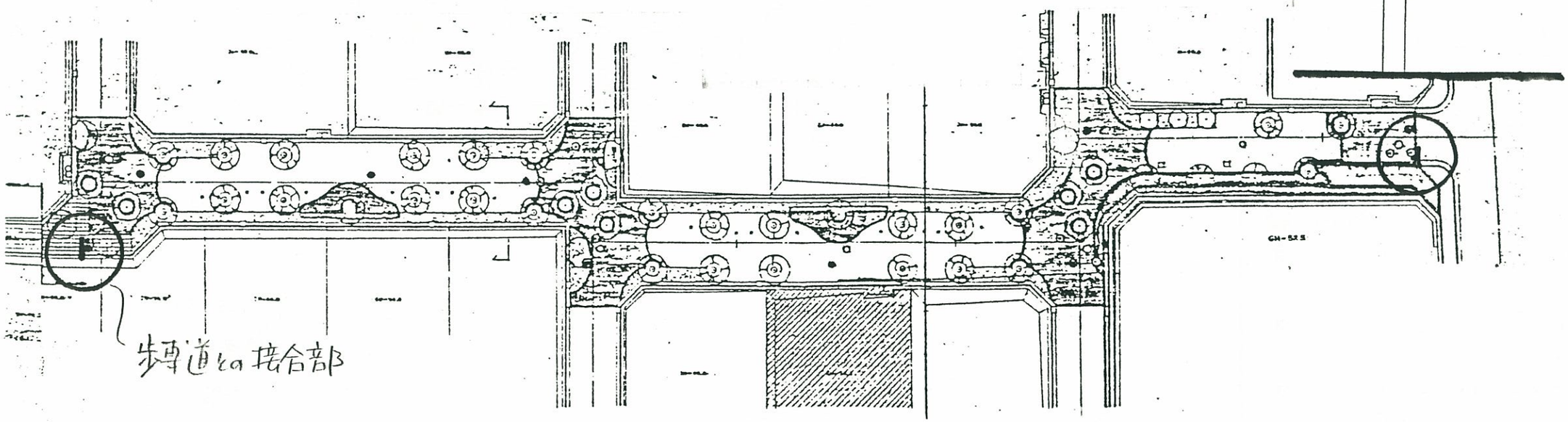
9)コミュニティ道路表示サイン（道路標識の警戒標識として、設置する。
「公団・高取N.T」で設置。横浜市では金沢シーサイドタウン。）

- 設置場所　：コミュニティ道路起終点。
- 機　能　：ドライバー対して、コミュニティ道路である事を表示し、スピードを落とさせ、安全運転を促す。
- 表示内容　：ピクトグラム，制限速度等。
- 位　置　：

例1.



● 形態のイメージ



3-1-2 一般道及び歩専道内サインの配置及び設計方針

10) まちかどサイン(小-2) 歩専及び緑道内用とコミュニティ道路表示サインの配置計画案



- 配置と表示内容の原則

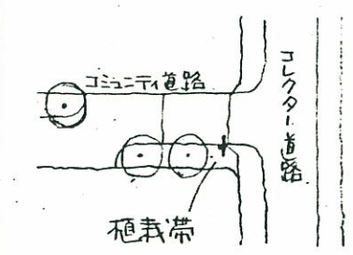
[サイン小] 歩行者専用路の主要な交差部に配置し、主要公共施設、駅、バス停、町名を表示し、方向指示する。

[コミュニ] 一本のコミュニティ道路の両端に1ヶ所づつ配置する。
コミュニティ道路のマーク及びドライバーに対する注意文を表示する。

- 設置の原則

[サイン小] 歩専道の交差部の床にタイルとして埋込むか又は、通行のさまたげとならない様、植栽の中に設置する。

[コミュニティ]



植栽帯等の車の通行部以外の場所に設置し車道に直角に表示面を向ける様設置する。

- 凡例
  - ◉ - 歩専道名称も表示するサイン (36ヶ所)
  - ● - 方向指示のみ表示するサイン (47ヶ所)
  - ■ - コミュニティ道路を表示するサイン (72ヶ所)

3-1-3 コミュニティ(ほべ)による「野外博物館(フィールドミュージアム)」構想.

1)　「野外博物館」の提案

● グリーンマトリックス システムにより体系づけられた、公園と緑道は、一体の連続する空間としてとらえ、全体に関連性のある解説サインを設置する事により、全体で約100haの「野外博物館」と呼べる様な公園・緑道空間となる様、解説サインを展開する事を提案する。

● この「野外博物館」は、単に港北ニュータウンに住む人のみでなく、電車やバスで遊びに来ても良い様、駅前のサイン拠点では「野外博物館」の紹介や解説を行う事が望ましい。

● 「野外博物館」では、動植物や地形、史跡、厚史の解説板を設置するのみでなく、「樹名当てゲーム」等の自然の中でのゲームが楽しめる様なしかけも考えたい。

● こうしたサインの整備が進むと、ニュータウン内外の小・中学生の校外授業の場としてのみでなく、大人の教養的なレクレーションの場としても注目されよう。

又、こうしたサイン類を使って、植物オリエンテーション大会を催す等、居住者の工夫による新しいコミュニティ活動への一助ともなろう。

2)　「野外博物」のサインコンセプト

● 「野外博物館」の発想の原点の一つは港北ニュータウンの自然、風土、厚史等を、公園・緑道の植栽や水系や山等のつくりに合った形で解説し、公園・緑道の魅力をさらに深めさせようとする事である。

そのため、解説サイン等は、サインが公園や緑道のつくりと分離したかたちで存在するのではく、公園や緑道のつくりになじみ、公園緑道のつくりを強調していく様に展開される必要がある。

1)　自然の恵みや美しさを理解し守り育てる情感を表出する。

- 多様なテーマの設定とわかりやすい表示。

2)　地域の風土性を尊重し、各地区の特質をアイデンティファイする。

- 水系や植生等に対応したテーマの設定とサインデザイン。

3)　人々のふれ合い、いこい、やすらぎの媒体となる。

- ピクトグラムや絵を用いた分りやすく楽しい表示デザイン
- 「樹名当てゲーム(グリーンアドベンチャー)」や「ジョギングサイン等　遊びの要素も入れたサイン展開。

4)　自然に調和した新しい都市文化の創出に、共する。

- 自然になじみ暖かみのある素材とデザイン。
- 博物館らしく屋外でも耐久性の強い素材
- (表示系の書き換え、取替え等維持管理に対する問題解決)

3-1-4 「野外博物館」のサイン構成と配置の考え方.(1)

1) サイン構成

- 緑道全体の案内サイン.(緑道名称サインと兼ねる。)
- 水系別の案内サイン(緑道名称サインと兼ねる。)
- 説切連載解説サイン ※
- 各種単独解説サイン(樹名、小動物、史跡等)
- グリーンアドベンチャー サイン.(樹名あてゲーム)
- サイクリングルート サイン
- ジョギング サイン.
- 山名 . 池名 サイン.
- 山頂 ビスタサイン
- 生物相保護区 サイン.
- 注意 . 安全サイン.
- 金石文

※ 単独では無く連続して同じテーマのものを解説し、より理解を深める。(詳細は後述)

2) 配置の考え方.

1° 駅等のサイン3如点で「野外博物館」の案内や解説を行ない、外来者にも歩く興味を持たせる。

2° 駅からの緑道の入口には、緑道全体の案内サインを配置し全体の中の現在地とどちらに進めば何があるかを知らせる。

3° 緑道単位(水系別)の起終点及び主要な歩専道との交差部に、緑道ごとのルート図入りの名称サインを設置する。(約500m間隔)

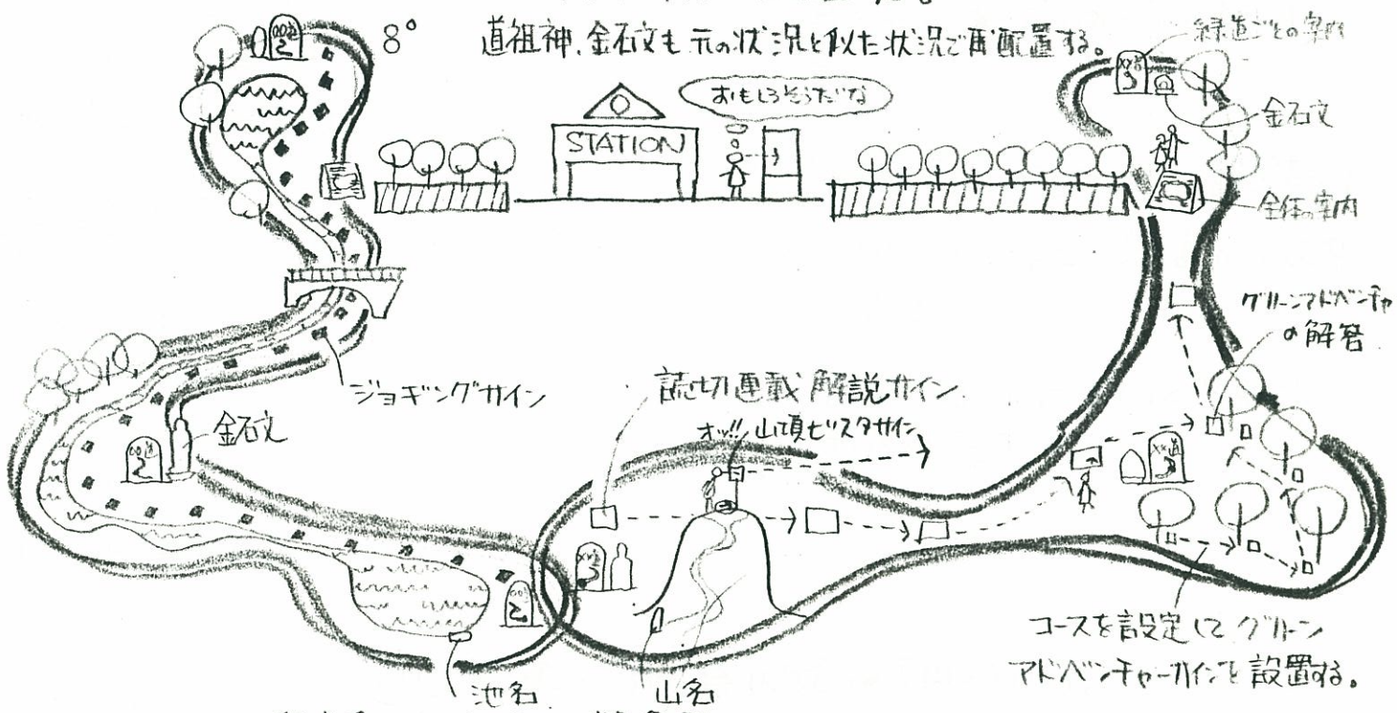
4° 約300m～400m間隔に、説切連載解説サインを配置する。

5° 駅や主要施設の近くの出入口には誘導も行う。

6° サイクリングルートにはその起終点と主要な緑道、歩専道との交差部にサインを配置する。(約500m間隔)

7° 緑道内でリンクするジョギングルートを設定し、約200m間隔でジョギングサインを配置する。

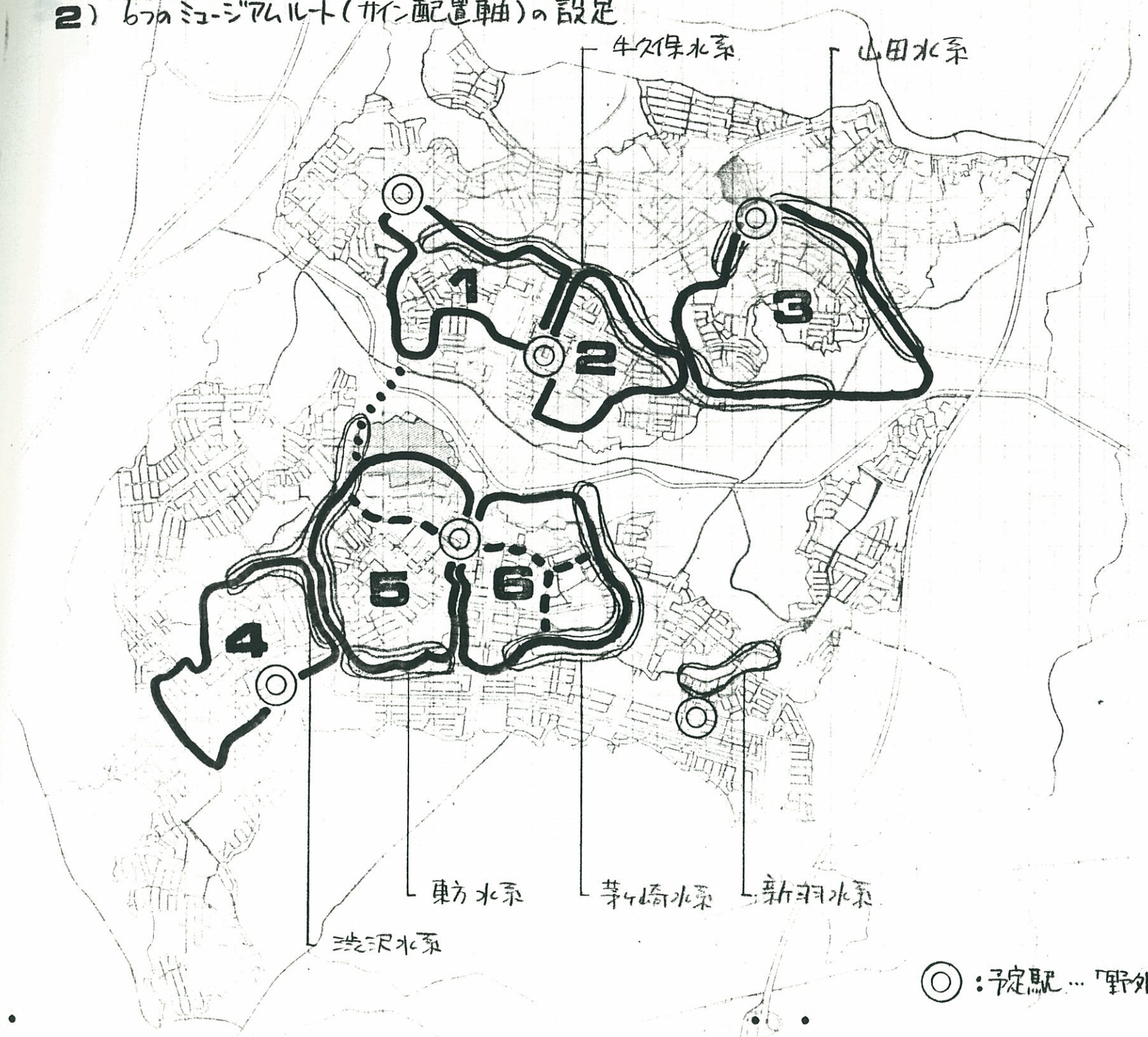
8° 道祖神、金石文も元の状況と移した状況で再配置する。



— 緑道系サインシステムの概念図 —

3-1-4 「野外博物館」のサイン構成と配置の考え方 (2)

2) 6つのミュージアムルート（サイン配置軸）の設定



◎：予定駅…「野外博物館」の案内を行なう。

- 6つのミュージアムルートの設定
  - 駅を中心に、1周、1.5km～2km程度の周遊ルートを設定する。
  - ニュータウンでは、左図の様に、6つのルートが考えられる。

- この6つのルートをコミュニティほべのサイン配置軸と設定する。
  6つのルートには部分的に歩専道も含まれているが、コミュニティほべは基本的に緑道の中にのみ配置する。

- 読切り連載解説サインの設置原則
  - プロムナード十上の緑道及び公園内に設置する。
  - 設置の間隔は約300m～400m程度が望ましい。

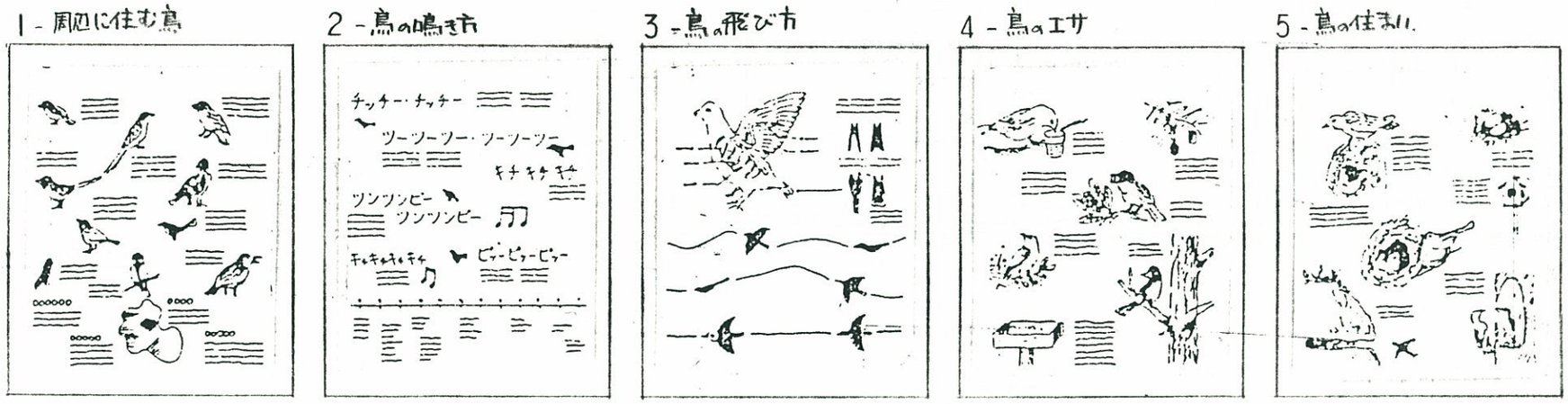
3-1-4 野外博物館のサイン構成と配置の考え方 (3)

3) 読切り連載解説サインのテーマ例と展開例

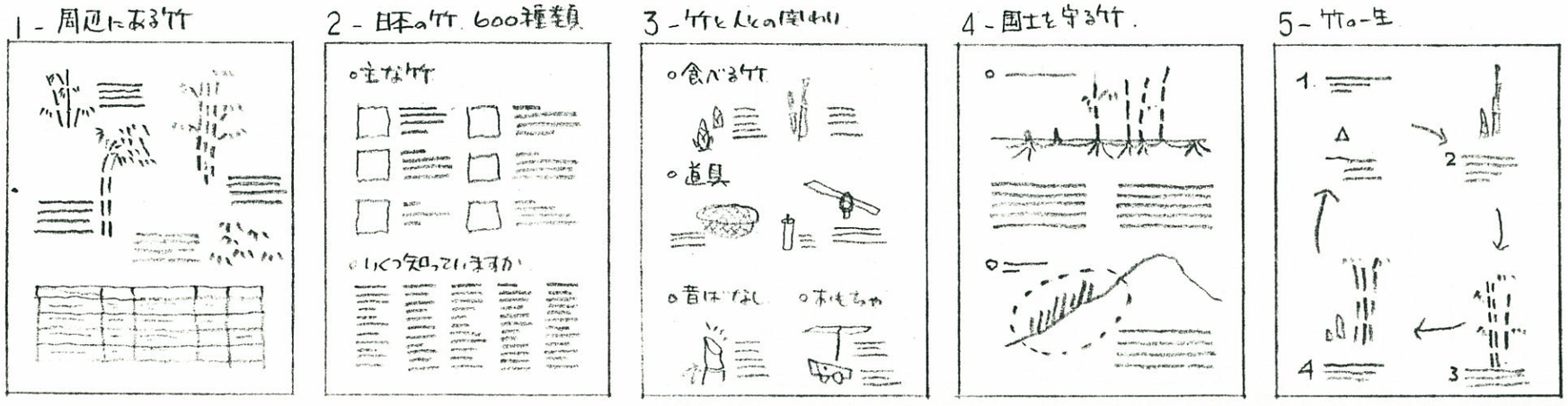
■ テーマ例

- 周辺の植物
- 周辺の昆虫
- 周辺の野鳥
- 地誌
- 森と林の移り変り（人の暮らしとの関係）
- 6つの水系と人の生活

■ 展開例 (1)　周辺の野鳥



■ 展開例 (2)　竹



3-1-5 公園・緑道内サインの配置及び設計方針

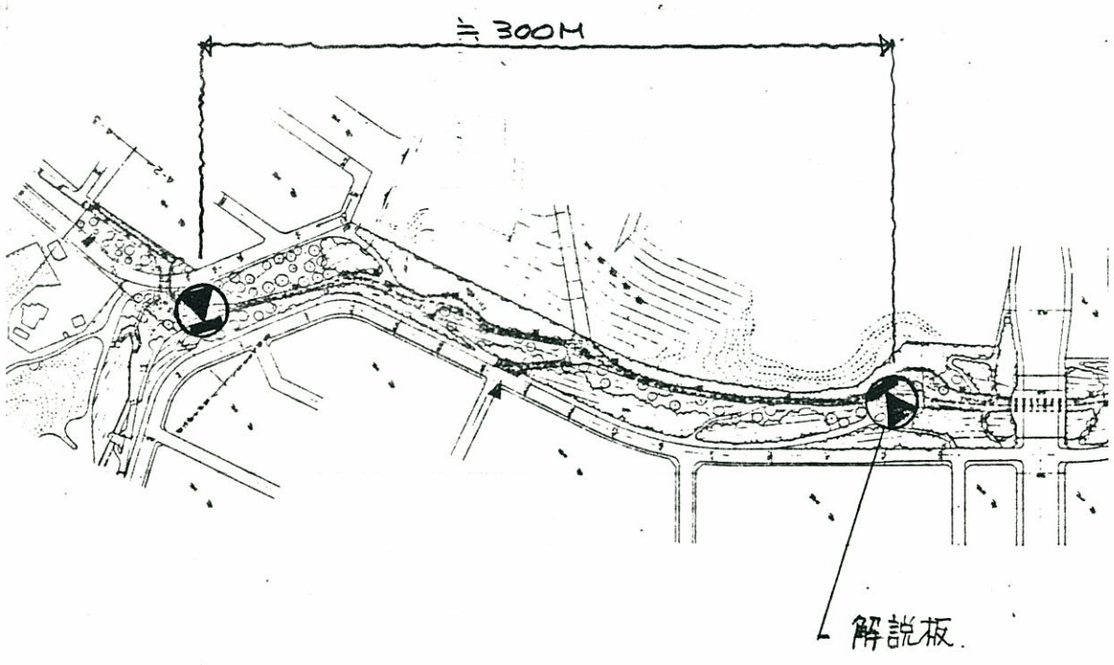
1）読切り連載解説サインの設計方針

● 設置場所：「野外博物館」のルート上の緑道の植栽の中に、約300M～400M間隔で設置する。遠くからは目立ちにくい位置がよい。

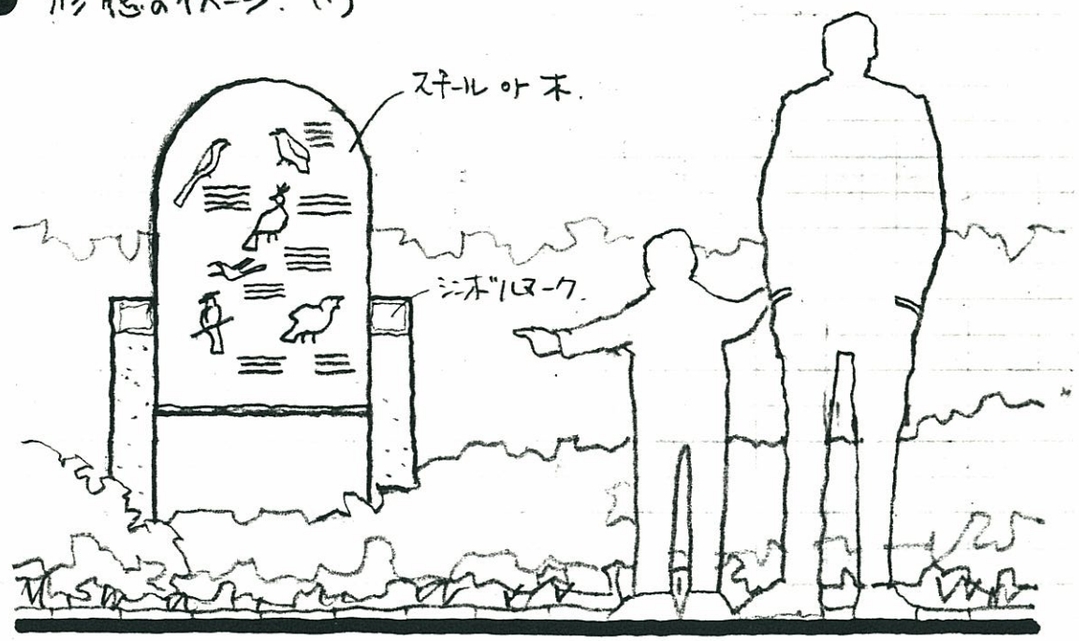
● 表示内容：テーマごとにストーリー性を持った解説を絵を用いてわかりやすく表示する。

● 位　　置：

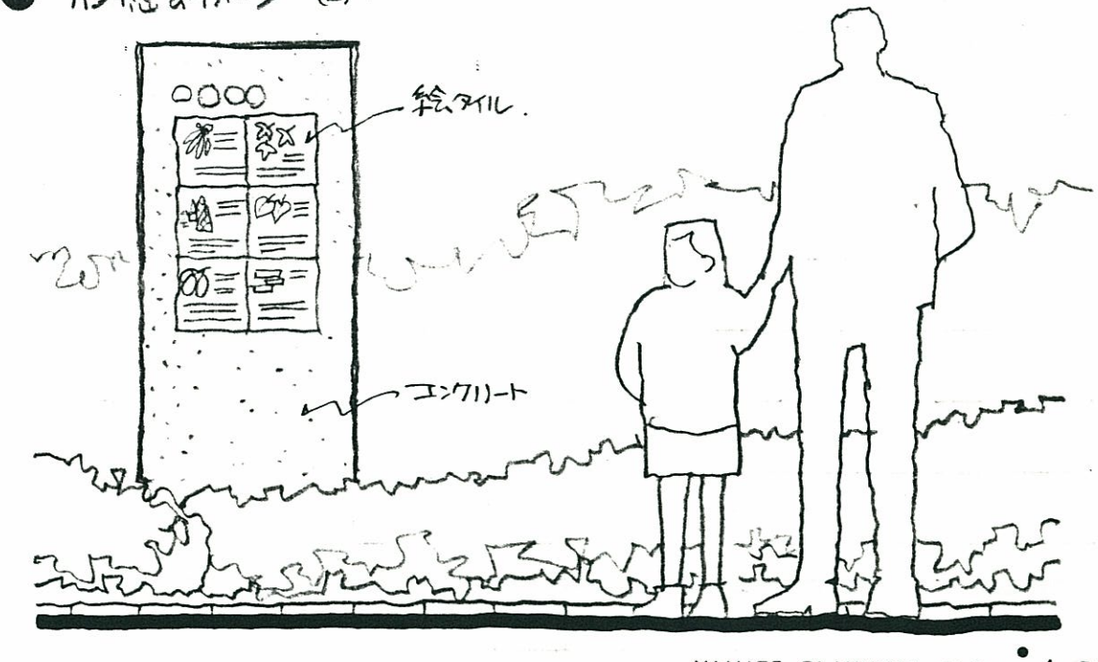
（例）



● 形態のイメージ（1）



● 形態のイメージ（2）

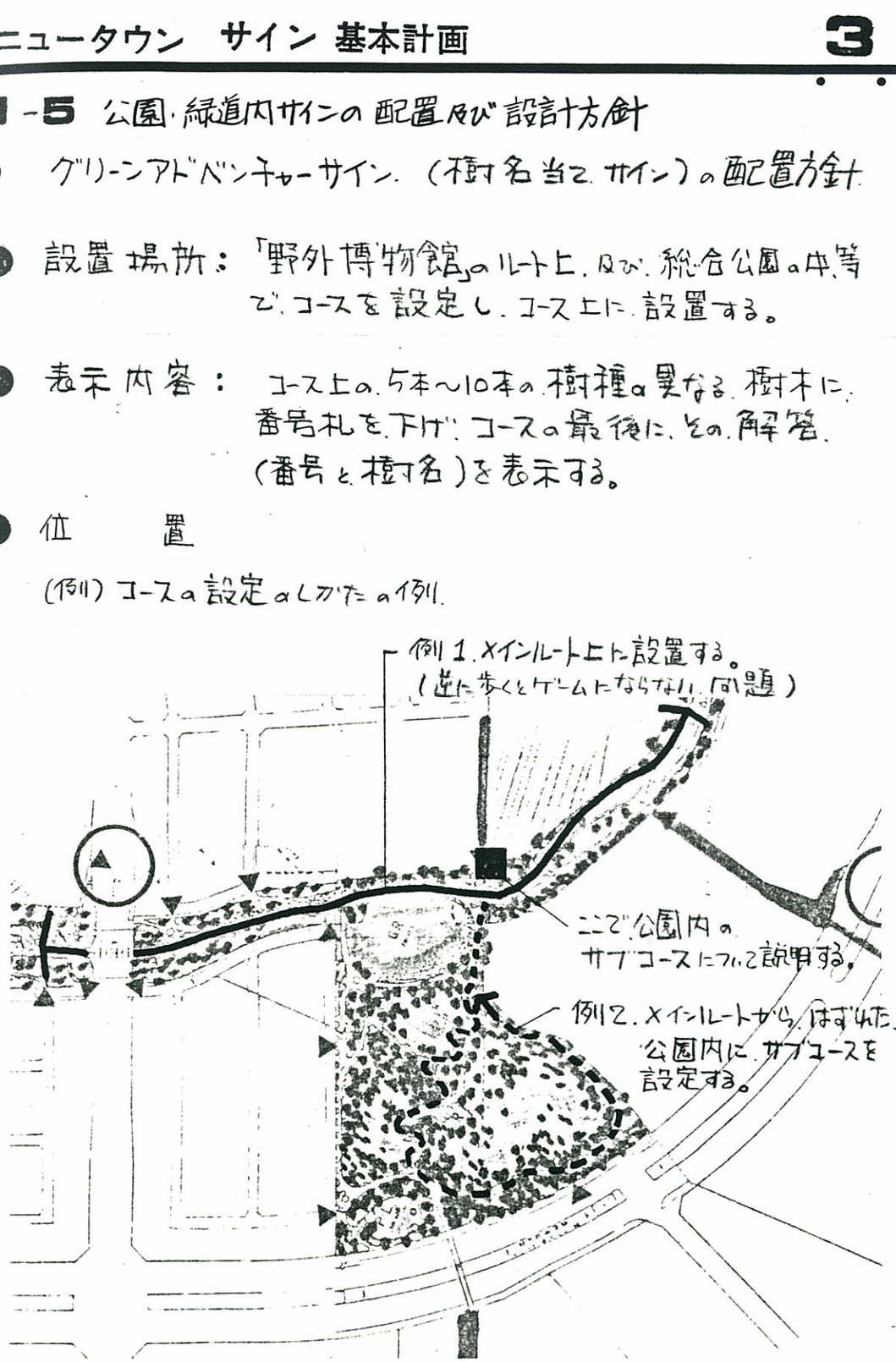


3-1-5 公園・緑道内サインの配置及び設計方針

2) グリーンアドベンチャーサイン（樹名当てサイン）の配置方針

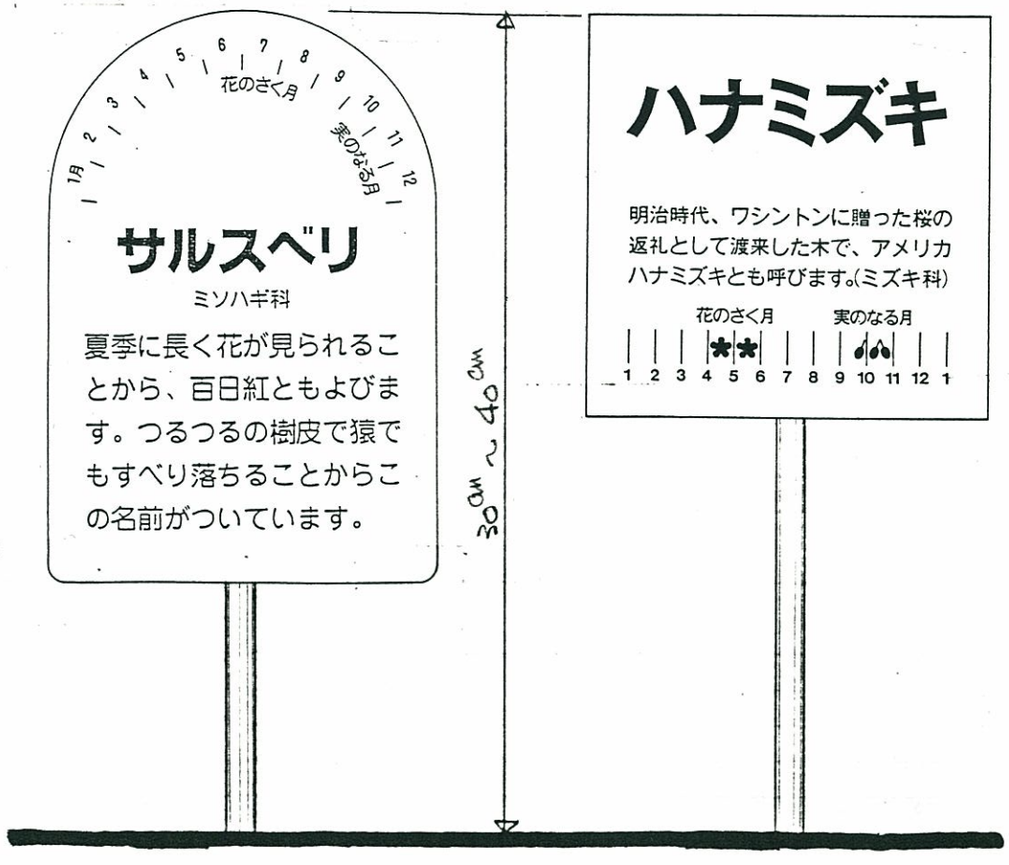
- 設置場所：「野外博物館」のルート上、及び、総合公園の中等で、コースを設定し、コース上に、設置する。
- 表示内容：コース上の、5本～10本の樹種の異なる、樹木に、番号札を下げ、コースの最後に、その解答、（番号と樹名）を表示する。
- 位　　置

（例）コースの設定のしかたの例



4) 樹名サインの設計方針

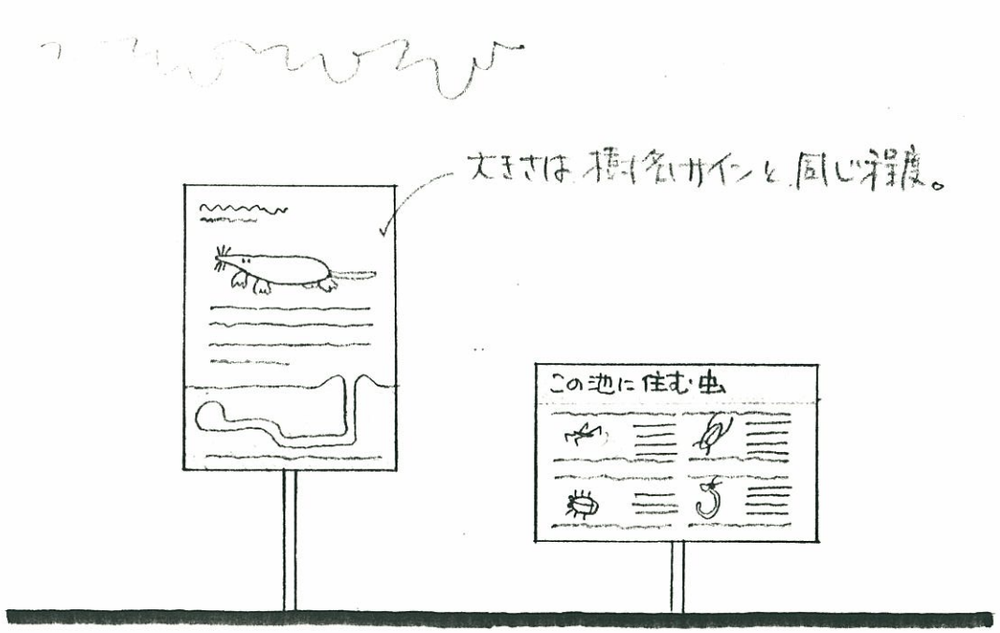
- 設置場所：その樹種の、典型的な樹形をした木等を、適宜選んで設置する。
  木にかけるか、又は、木の近くに、自立させる。
- 表示内容：樹名、花のさく時期、実の成る時期、必要に、応じて、葉・花・実・樹形等の絵を表示する。
- 形態が表示のイメージ。



3-1-5 公園・緑道内サインの配置及び設計方針

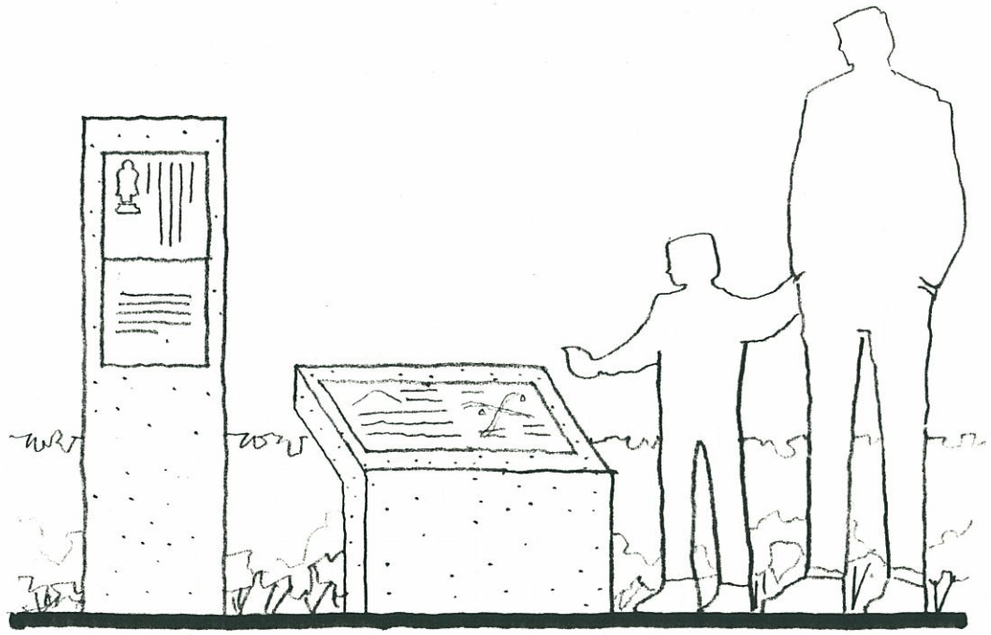
3) 小動物の解説サインの設計方針

- 設置場所：　現実に棲息する場所付近に設置する。
- 表示内容：　棲息する、昆虫、鳥類、魚類、ハ虫類、ホ乳類（ねずみ・もぐら・りす他）等の絵と、名称、特徴、エサ、巣、棲息する環境の特徴等を表示する。
- 形態のイメージ。



6) 史跡、厂史、由緒等解説サインの設計方針

- 設置場所：　史跡や由緒のある地点付近に設置する。
- 表示内容：　出土品や、厂史に関連する絵及び解説文。
- 形態のイメージ。

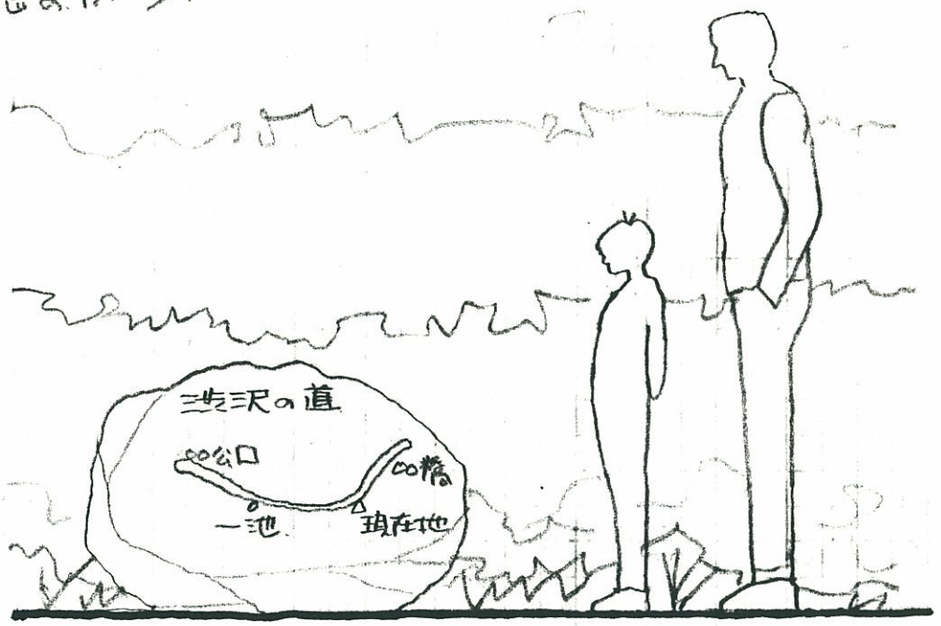


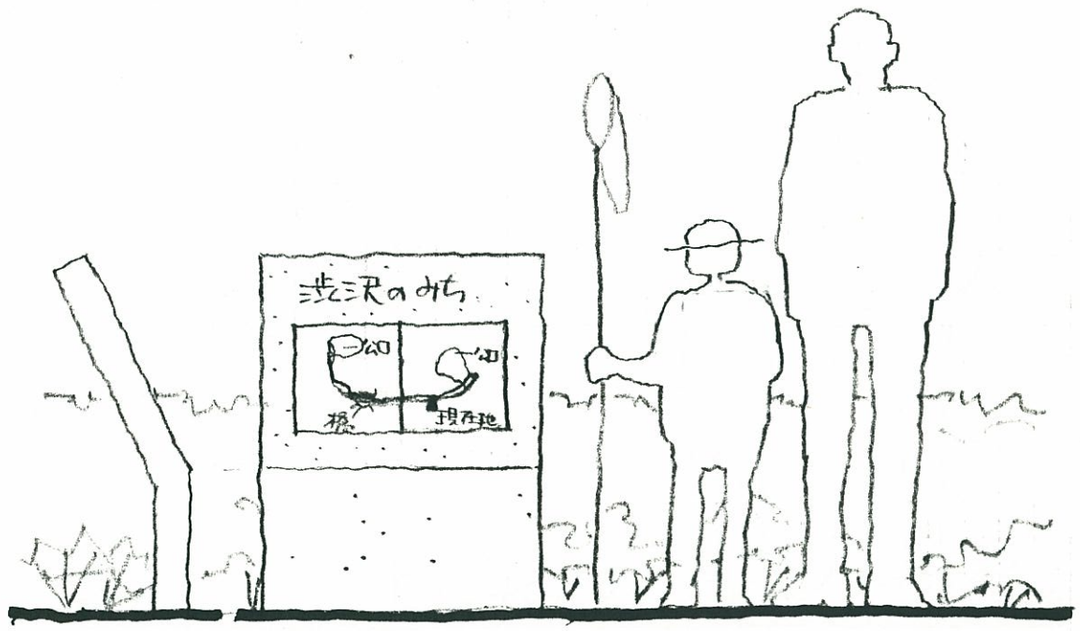
3-1-5 公園・緑道内サインの配置及び設計方針

4）緑道名称サインの設計方針

- 設置場所：北系別緑道の起終点、及び主要な歩行者専用路との交差部に、概ね500M間隔程度の密度で設置する。
- 機　　能：緑道の愛称を表示すると共に、緑道の案内を兼ねる。
- 表示内容：愛称。　北系別緑道のコースの略図及び公口・橋・池等を表示。
  第1及び第2地区の緑道全体の案内を表示するものも、考える。

- 形態のイメージ





3-1-5 公園・緑道内サインの配置及び設計方針

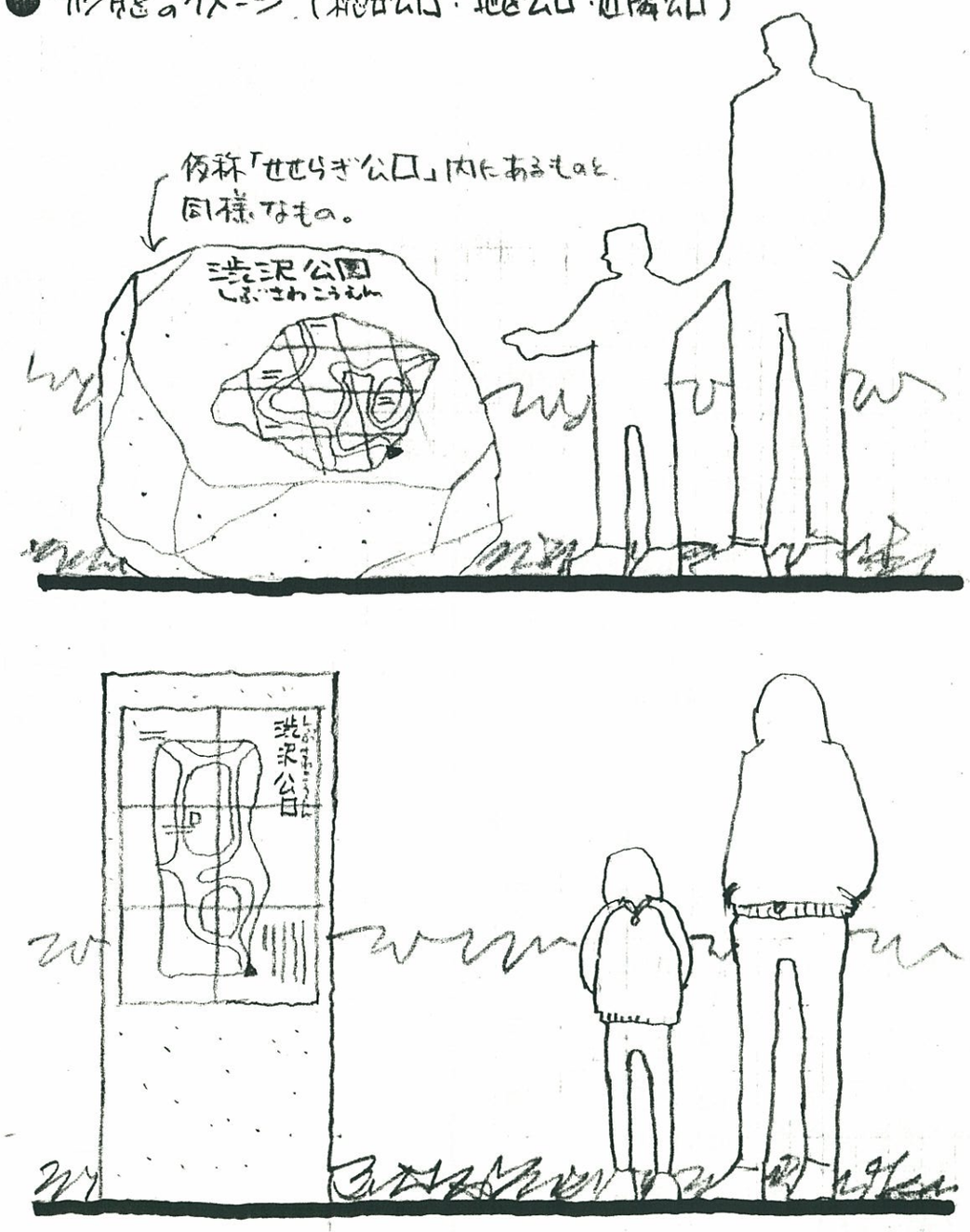
5）公園名称サインの設計方針（横浜市「公園緑地施設標準図集」に準じたものとする。）

● 設置場所：
- 児童公園については、サインの出入口に1ヶ所。
- 総合公園については、緑道、歩専道及び一般道からのサインの出入口にそれぞれ1ヶ所。
- 地区公園・近隣公園については、一般道からの主要な出入口に一ヶ所、緑道又は歩専道からの主要な出入口に一ヶ所設置する。

● 機　　能：公園名称を表示し親しみと愛着を持たせると共に、みちしるべの補助的役割を持つ。

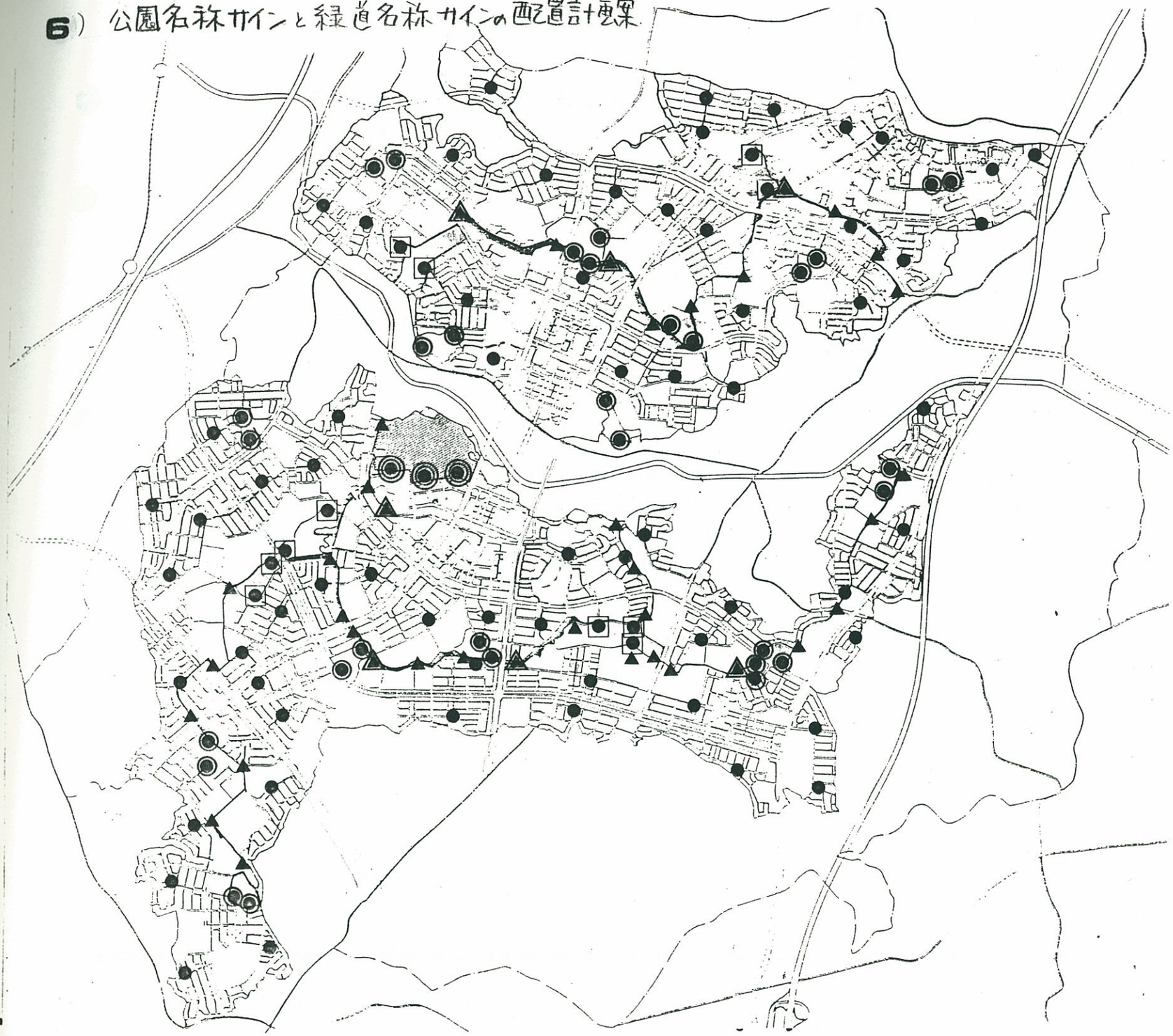
● 表示内容：原則として、公園名称を漢字及びひらがなで表示する。
必要に応じて、公園の略図を表示し、公園の案内を兼ねる事も考える。

● 形態のイメージ（総合公園・地区公園・近隣公園）



3-1-5 公園・緑道内サインの配置及び設計方針

6) 公園名称サインと緑道名称サインの配置計画案



● 配置と表示内容の原則

[公園名称]
- 児童公園にはメインの出入口に各1ヶ所設置し、公園名を漢字及びひらがなで表示する。
- 総合公園，地区公園，近隣公園では原則として、緑道又はペデに面する、メインの出入口に1ヶ所と一般道に面するメインの出入口に1ヶ所 配置する。表示内容は、公園名称のみでなく、公園の簡単な案内図を表示する。

[緑道名称]
- 水系別緑道の起終点、及び主要ペデとの交差部に概ね500m間隔で配置し、緑道名と緑道の案内図を表示する。

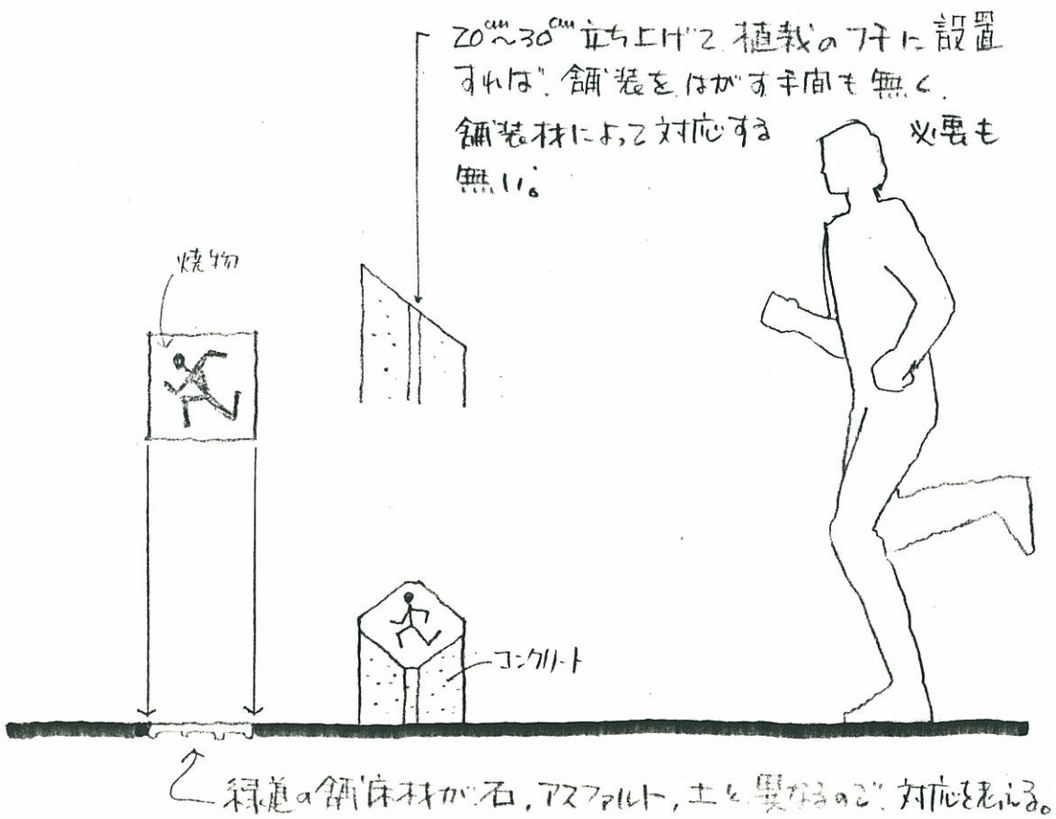
● 設置の原則
- 植栽帯の中など、通交のさまたげとならない場所に設置する。

● 凡例
- ◎ - 総合公園　(3ヶ所)
- ▣ - 地区公園　(11ヶ所)
- ◉ - 近隣公園　(31ヶ所)
- ● - 児童公園　(65ヶ所)
- 第1・第2地区全体の緑道の案内 (7ヶ所)
- 水系別の緑道の案内 (31ヶ所)

3-1-5 公園・緑道内サインの配置及び設計方針

7) ジョギングサイン

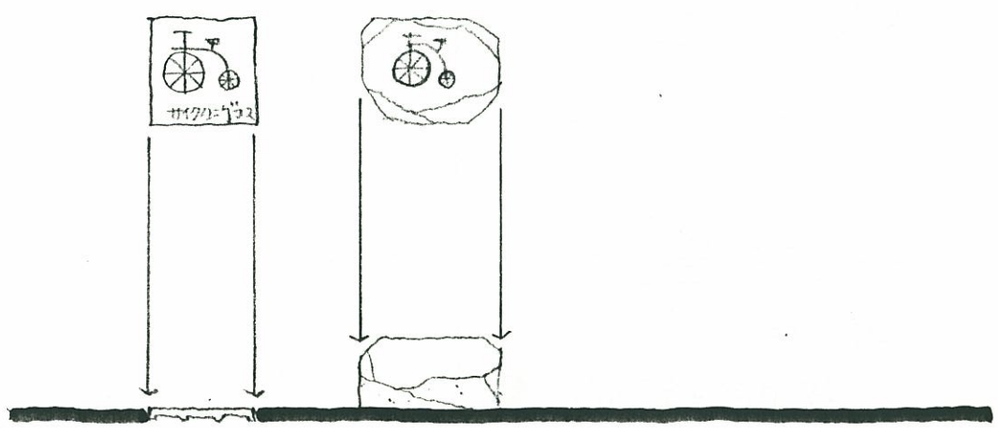
- 設置位置：緑道内に、ジョギングコースを設定し、約200M間隔程度に設置する。
- 表示内容：ジョギングコースを表示し、ジョギングを促すピクトグラム等を表示する。
  必要に応じて、コース起点からの距離を表示する。
  （ジョギングサインに、句を入れた例もある。
  茅ヶ崎ニュータウン）
- 形態のイメージ



緑道の舗床材が石、アスファルト、土と異なるので、対応を考える。

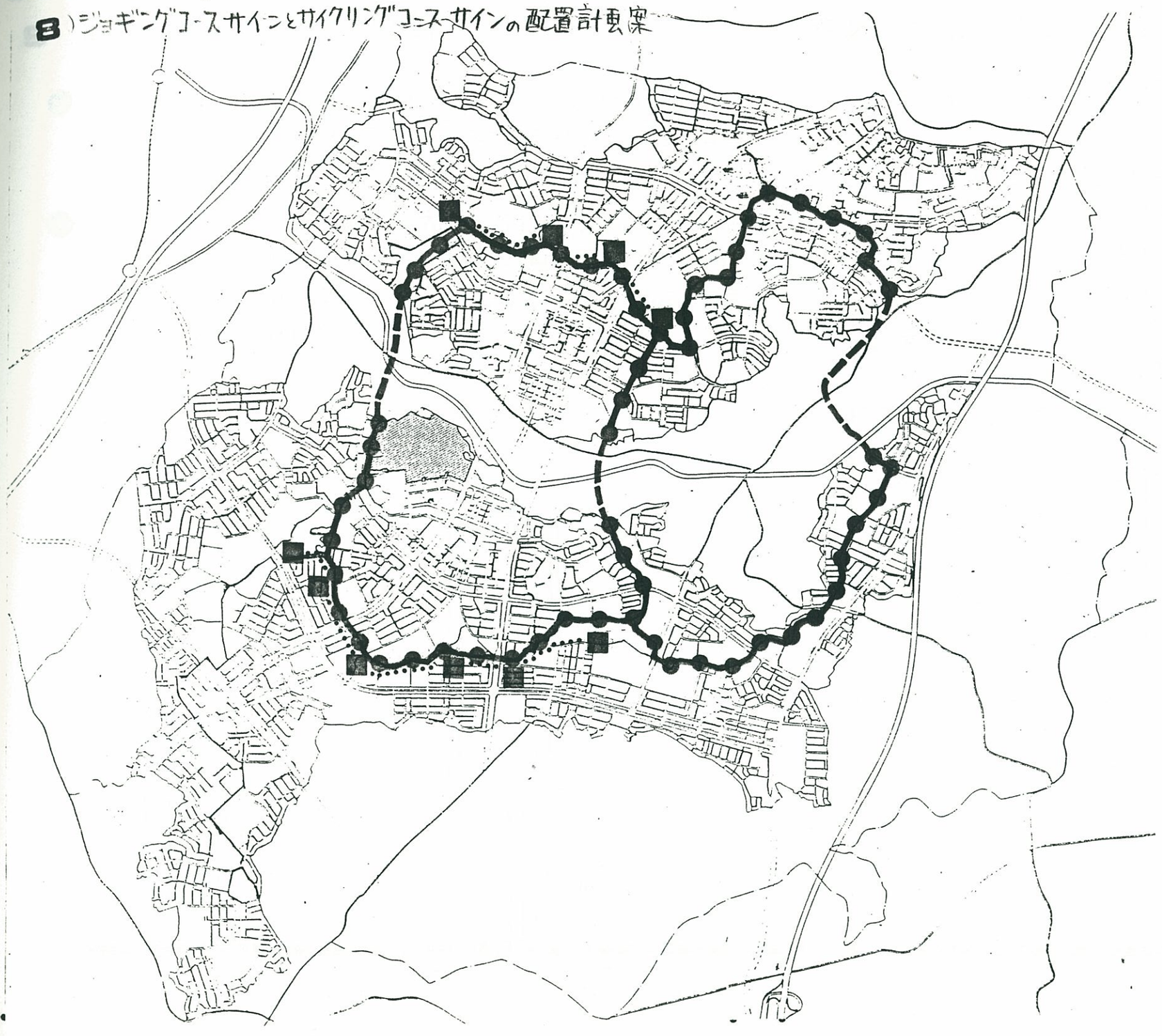
14) サイクリングコースサイン

- 設置位置：公園・緑道の計画において設定されたサイクリングコース（北1・北2地区にそれぞれ1コース）上の起終点及び歩道、緑道の主要な交差部に設置。全体では400M～500M間隔となる様設置する。
- 表示内容：サイクリングコース等をピクトグラム等で表示。
- 形態のイメージ



3-1-5 公園・緑道内サインの配置及び設計方針

8) ジョギングコースサインとサイクリングコースサインの配置計画案



● 配置と表示内容の原則

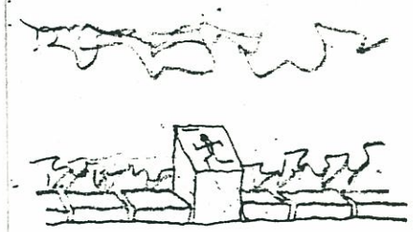
- 200M間隔に配置（ジョギングコース）
- コース起終点、及び中間の主要な交差点に配置。約500M間隔
- 表示はピクトグラムが主。（サイクリングコース）

● 設置の原則

・ジョギングサイン



（床）



（植栽の縁）

・サイクリングサイン



（床）



（植栽の縁）

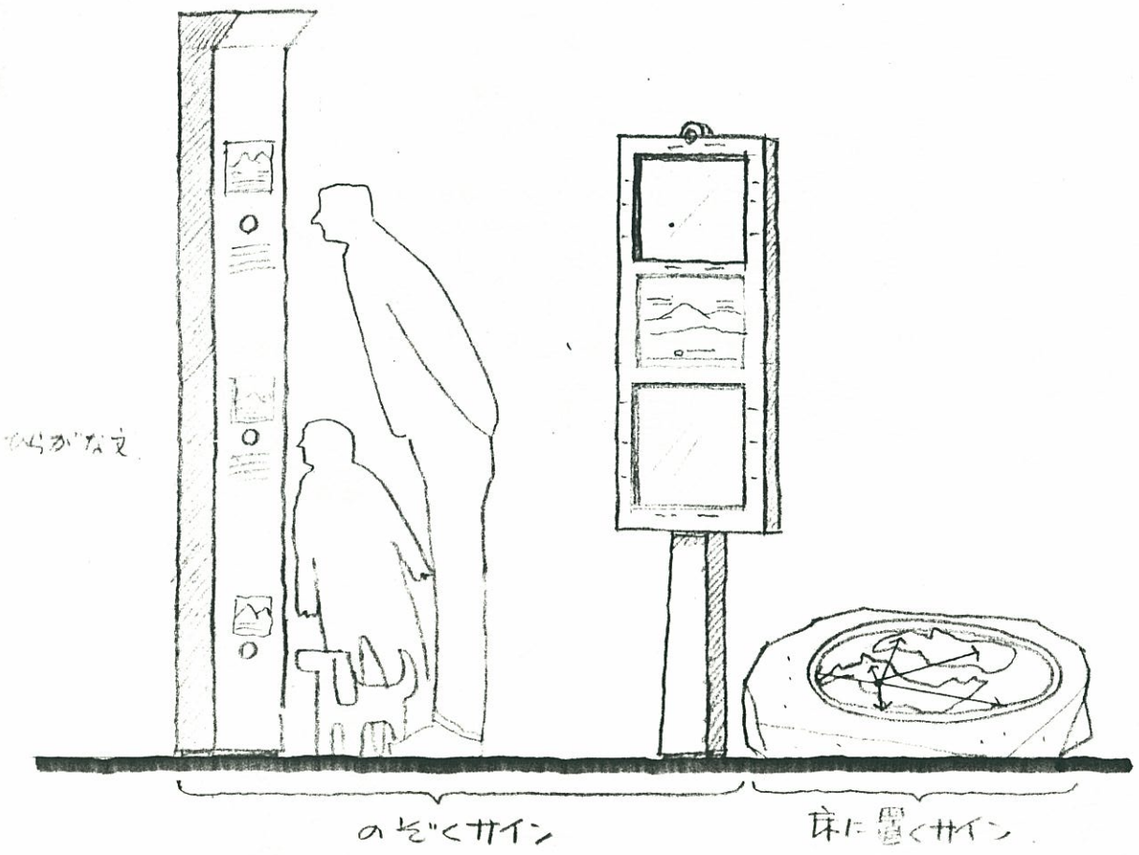
● 想定設置箇所数

・ジョギングコース	・サイクリングコース
約50～60ヶ所	10ヶ所

3-1-5

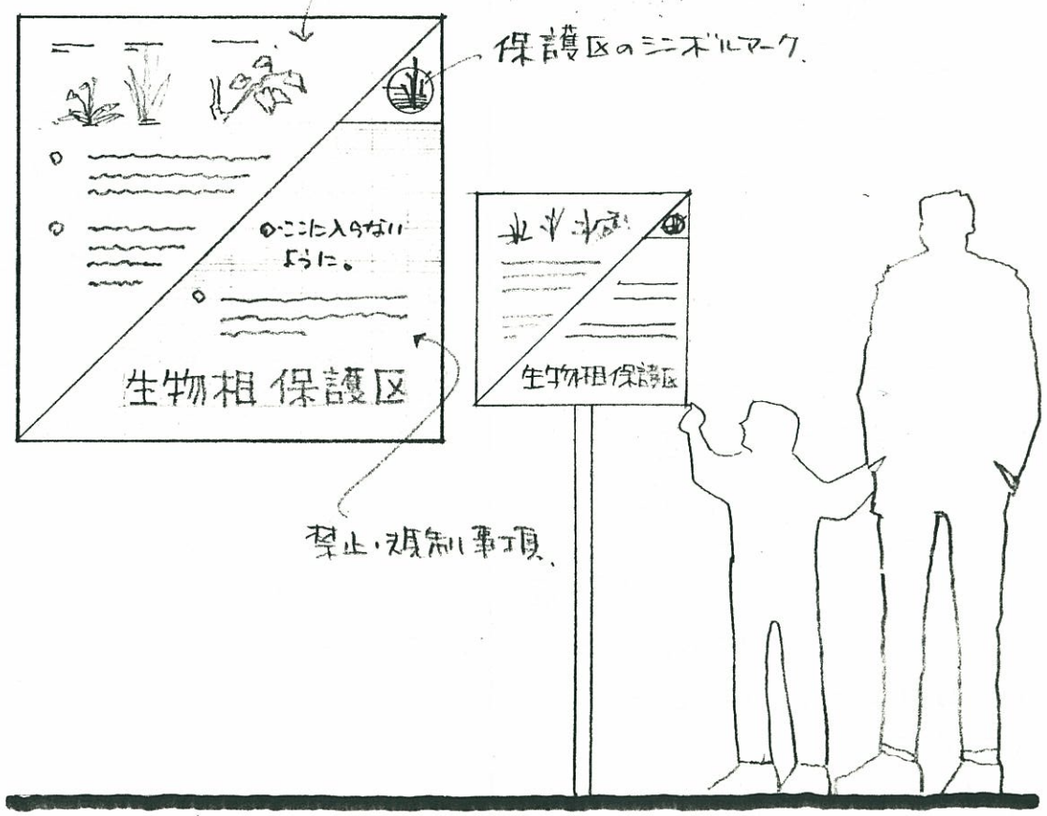
9) 山頂ビスタサイン、の設計方針

- 設置位置：　公園・緑地計画の中で、山頂からのビスタラインが設定されているものについて、その頂山のポイントに設置する。
- 表示内容：　ビスタラインの方向と、対象の名称、必要に応じて解説文も表示する。例えば、昔の地形と今の地形や、その山頂から見える景観についての四季の解説等。



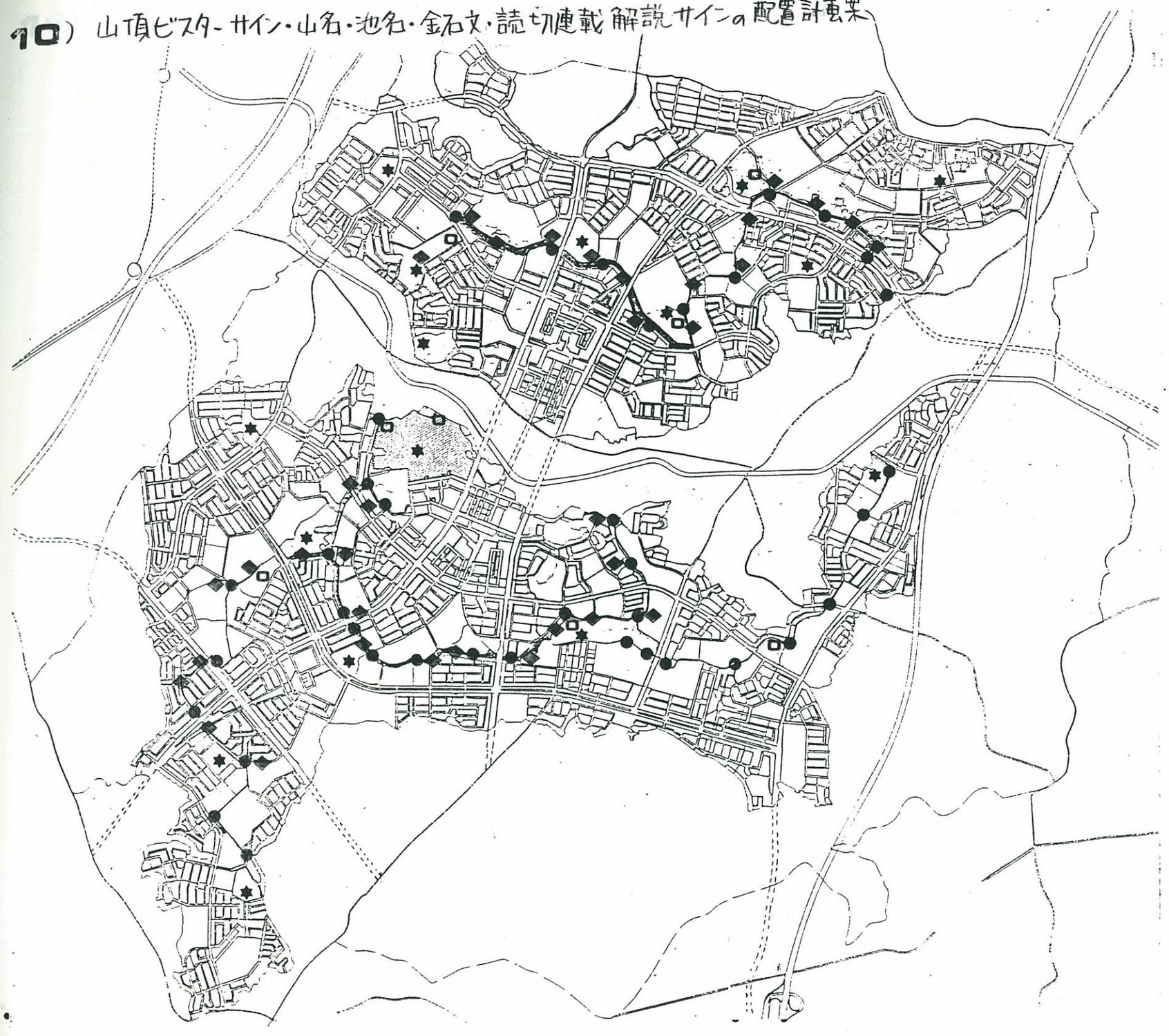
17) 生物相保護区サインの設計方針

- 設置位置：生物相保護区
- 表示内容：生物相保護区の表示，禁止・規制事項。何故保護区に指定されているか、どの様な意味があるのかの解説。及び保護区内の植物等の解説を絵入りで行なう。
- 形態と表示のイメージ



3-1-5 公園・緑地内サインの配置及び設計方針

10) 山頂ビスタ・サイン・山名・池名・金石文・読切連載解説サインの配置計画案



● 配置と表示内容の原則

1) 山頂ビスタサイン及び山名サイン

公園緑地計画において山頂からのビスタラインが考えられている地点、に山頂ビスタサインを配置しその山の登口に山名サインを配置する。

2) 池名サイン

公園計画において計画されている池。

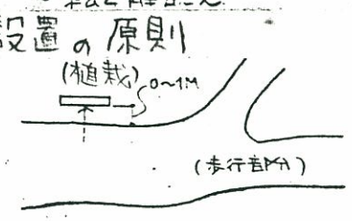
3) 金石文

基本的に"緑地の名称サイン"とペアかまたはその近くに配置する



- 300M～400M間隔
- 絵と解説文

● 設置の原則



- 歩行部分が狭い場合は植栽帯の奥に1M程度引いて設置する。
- 表示面から視点までのキョリが1M～1.5M程度となる様設置する。

● 凡例

◆ - 解説サイン (35ヶ所)

★ - 山頂ビスタサイン及び山名サイン (各16ヶ所)

□ - 池名サイン (84ヶ所)

● - 金石文 (384ヶ所)

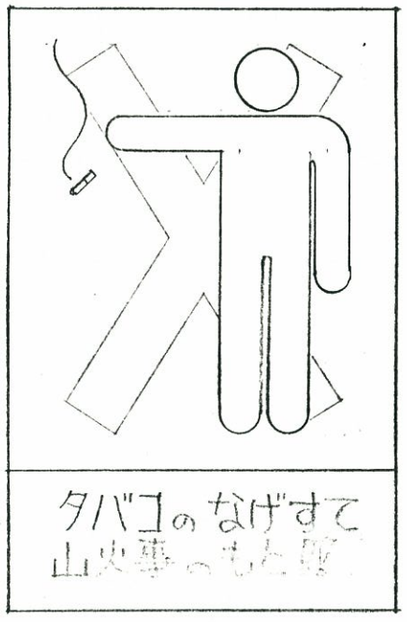
YAMATE PLANNING CABIN

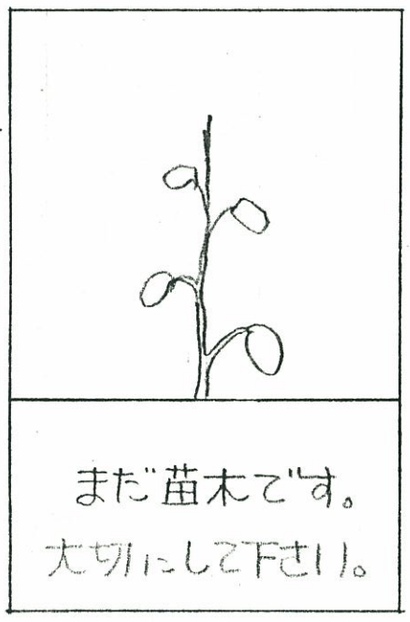
3-1-5

11) 注意、安全サインの設計方針

- 設置場所：禁止、規制、注意が特に必要な場所。
- 表示内容：ピクトグラムや絵、及び文字で表示する。

例)





19) 金石文

- 設置場所：緑道の中で、もと在った状況と同様な場所に置く。
  例えば：村落（ニュータウン）の出入口。道すじの分岐点、等。
  緑道名称も、同様なポイントに設置されるので、緑道名称とペアで配置する事も考えられる。

3-1-6　必要サインの数量とコスト概算

1）一般道及び歩専道内サインの数量とコスト概算

設置位置＼サイン	駅前総合案内サイン	近隣センターサイン拠点	バス停周辺案内サイン	まちかどサイン(大)	まちかどサイン(小-1) コレクター道路	まちかどサイン(小-2) 歩専道	コミュニティ道路表示サイン	計（万円）
一般道			128ヶ所	76ヶ所	190ヶ所		72ヶ所	26.520
歩専道	6ヶ所	7ヶ所				79ヶ所		4.480
単価（万円）	250	200	80	100	40	20	15	
計（万円）	1.500	1.400	10.240	7.600	7.600	1580	1.080	31,000

公園・緑道内サインの数量とコスト概算

設置位置＼サイン	読切り連載解説サイン	グリーンアドベンチャー	樹名解説	緑道名称サイン	公園名称サイン	ジョギングサイン	サイクリングサイン	山頂ビスタサイン	山名サイン	生物相保護区	池名サイン	金石文	コミュニティボード	まちかどサイン緑道	計（万円）
緑道・公園	35	175（読切り連載解説サインの5倍とする）	50	・全体案内 7ヶ所 水系別 31ヶ所	・総合・近隣地区公園 45ヶ所 ・児童公園 65ヶ所	60	10	16	16	10	8	38	2（道所緑地）	4	
単価（万円）	45	1	4	45 30	100 25	3	5	40	15	15	15	5（重複・すえ分）	50	20	
計（万円）	1.575	175	200	1.240	6.125	180	50	640	240	150	120	190	100	80	11.065

合計　42,065 万円

3-2-1　形態の検討

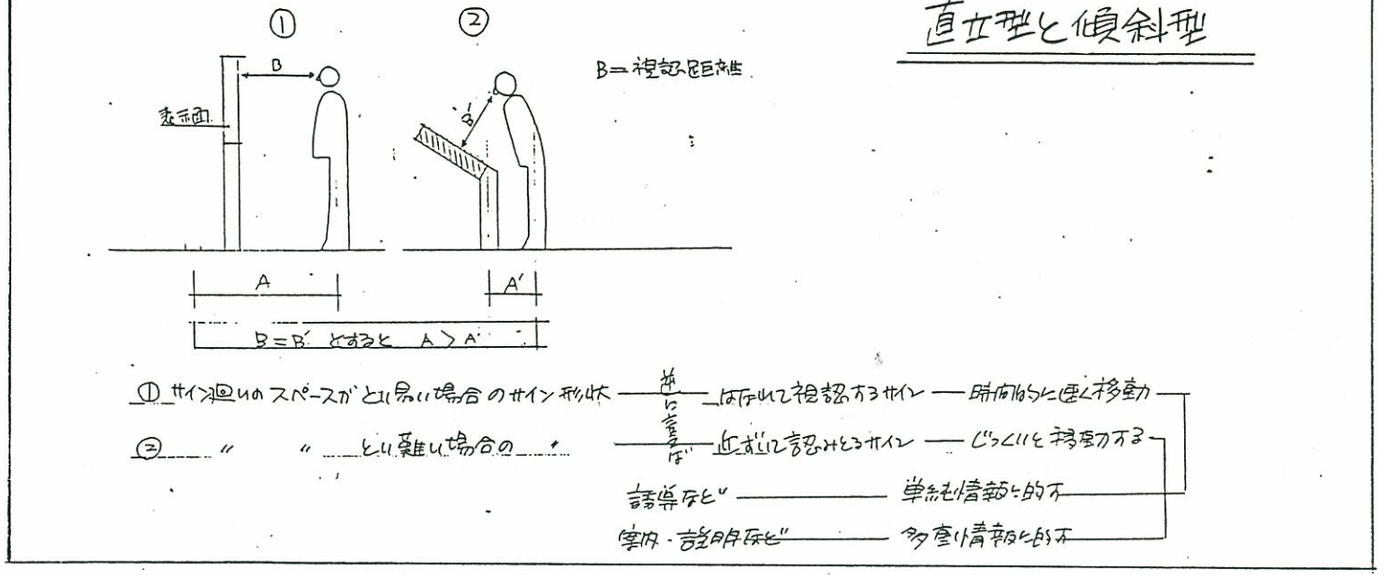
● サインの目的に最も適した形状を考慮する。

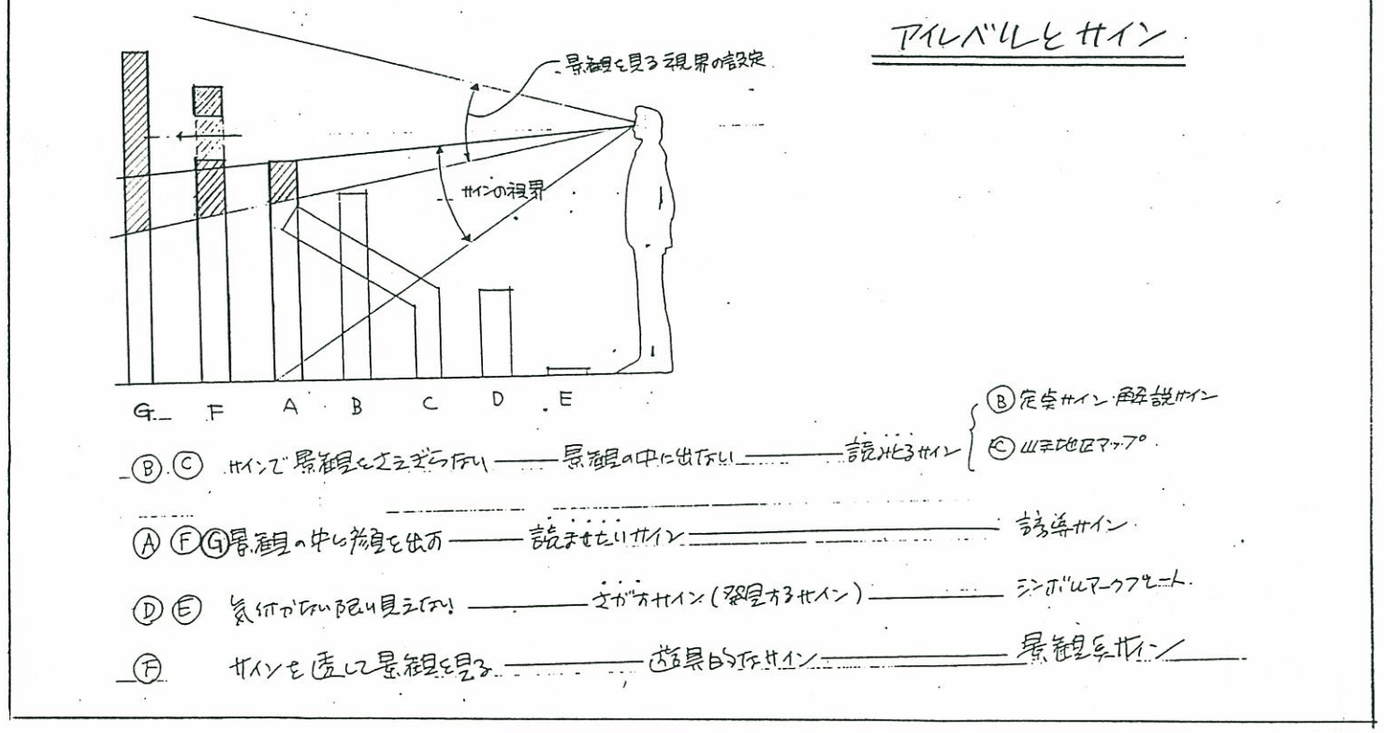
1) みちしるべ ――・離れて視認させる。

- まちかど サイン (ホ-1) は　G タイプ
- 〃　(ホ-2) は　B,D,E タイプ
- 案内サイン(地図板) は　G タイプ
- 名称サイン　は　B,D,E タイプ

2) コミュニティしるべ ――・近くでじっくりと読ませる。
・景観をさえぎらない形状。

- 解説サイン　は　A,B,C タイプ
- ジョギング / サイクリング) サイン　は　D,E タイプ
- 樹名・小動物名 サイン　は　D タイプ
- 禁止・規制サイン　は　A,B タイプ





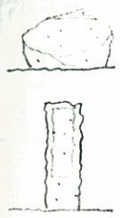
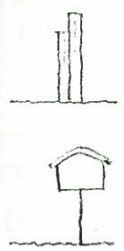
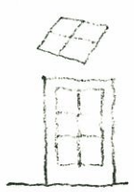
3-2-2 素材の検討 (1)

● サイン計画のテーマコンセプト

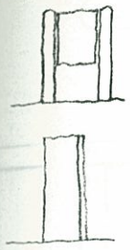
- 緑や自然に調和する素材とデザイン
- 古びてもみすぼらしくならず"あきの来ない素材とデザイン
- これからの新しい都市生活の豊かさをイメージさせるデザイン

→ 「壊れる」のではなく「風化していく」素材を用いる。

下に於ける ◎ 適する。 ○サインの種類によっては使用できる。 ×使用しない。

素材	表現		特性		維持管理	コスト	港北ニュータウンにおける適用候補
	形態	仕上	強度・耐久性	施工			
● 自然石 	● 形態の自由度は高いが板状・ポール状・塊状等、単純な形態が望ましい。 ● 自然環境にも人工的な環境にもマッチする。	● 粗いものから光沢きまで表情は豊か。 ● 表示は、彫込みかスはプレートを埋込む。	● 耐久性が大きいので、表示内容が変わらない、長く残すサインに適する。	● 単純な形態であれば加工は容易 ● 重量があるため運搬・設置を考慮した大きさとする。	● メンテナンスフリー	● 加工の楽な形態であれば"鋳造で同形態のものより安くなる場合もある。	● 緑道及び歩道内の名称サイン等。 ◎
● 木 	● ポール状かボードに板を取付けた形態になる。 ● 自然環境にマッチする。	● 直刷可能であるが耐久性は低い。 ● 彫込みかスは、他の金属板に印刷したものを貼付ける。	● 耐久性が小さいので臨時サインや永続性を要求されないものに適する。	● 加工及び運搬据付も容易	● クリア材等を塗布し、てる毎ごとに塗り替える必要がある。	● 安い	● 緑道内の方向指示サイン、施設サイン等。 ○
● 除板 	● 床に埋込むかスは他のポールや板状のものに埋込む。 ● 自然環境にも人工的環境にもマッチする。	● ゾウガン焼込みやシルクスクリーン焼付け	● 耐久性 大	● 容易	● メンテナンスフリー	● 高価	● 緑道内の解説サインや歩道内の方向指示サイン等。 ◎

3-2-2 素材の検討

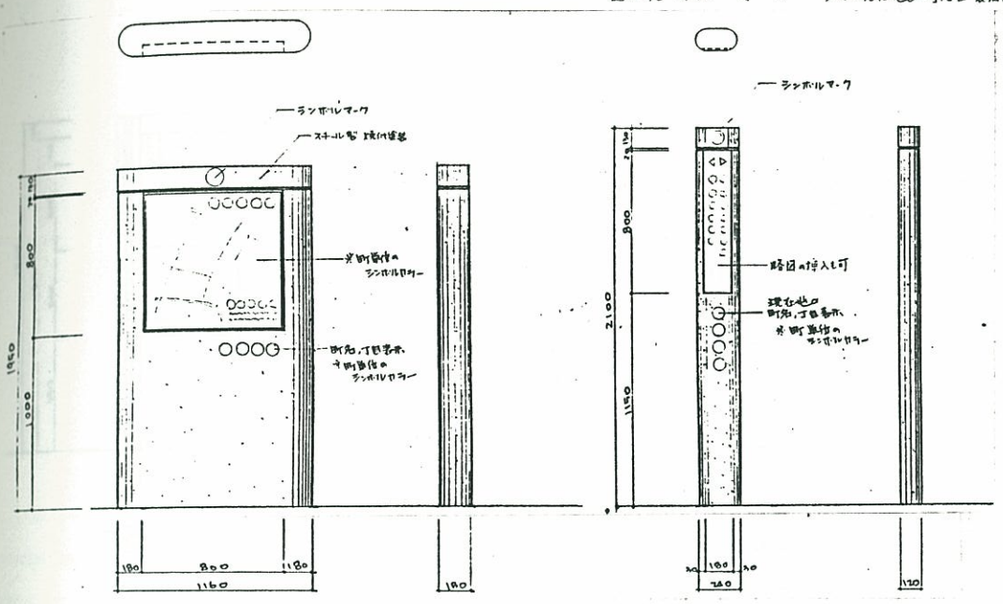
素材	表現		特性		維持管理	コスト	港北ニュータウンにおける適用候補
	形態	仕上	強度，耐久性	施工			
●PCコンクリート 	●形態はかなりの自由度があり，柔らかい表現から硬い表現まで可能。 ●コンクリート厚は100㎜前後以上必要	●クリア塗装，着色塗装 ●砕石混入 ●表面加工（小たたき，びしゃん仕上　サンドブラスト等）等 方法多数 ●シルクスクリーンの直刷りが可能	●施工監理とメンテナンスを十分行なえばかなりの強度が得られる。	●骨材，砂等の監理を十分に行なわないと強度的に大きな差が生じ易い ●重量があり運搬，設置に大変な場合がある。	●クリア材等を塗布し2～3年ごとに塗り替える必要がある	●中程度 ●重量のため現場費用がかさむ場合もあり	○歩道内および一般道の案内サイン，方向指示サイン ◎
●錆鉄（アルキャスト） 	●デザインの仕方によりひずみ割れが生じ易く肉厚10㎜前後が強度面からも適している。 ●複雑なデザインに適している。	●表面の強度を得るために表面を黒色仕上をするのが望ましく，塗装方法によっては色が限られる。（錆鉄） ●地の色が着色塗装（アルキャスト） ●シルクスクリーンの直刷り不可能	●デザインに大きく影響される。 が材料自体は非常に高い	●やや難	●故障は少ない。塗装面はキズがついたら，ハケで補修する程度	●複雑なデザインにも対応できるが，簡単なデザインであるとコスト的に割高である	○同上 ◎
●スチール（型鋼）	●ランプルで細く薄い表現になる。 ●規格材なので単一的表現になり易い	●焼付塗装	●軽量であるが非常に高い	●非常に容易	●焼付塗装は耐久性が強くメンテもあまり必要としないがキズがつくときれいな補修が難かしい。	●安い	○同上 ○
●スチール（曲げ加工）	●固ばった下ザインになり易い ●厚さは80㎜前後以上必要	●焼付塗装 ●シルクスクリーンの直刷り可能	●高い	●容易	●同上	●やや安い	○同上 ×
●FRP	●形態的にかなりの自由度があり柔らかい表現も硬い表現も可。細かく複雑なデザインに対応できる ●構造材としては不適で他の材との組合せ（型枠にコンクリート）で使用	●色彩豊富 ●シルクスクリーンの直刷り可能	●衝撃，耐久性に非常にすぐれている。	●容易	●ほとんど必要なし	●コンクリートと同程度	○同上 ○

3-2-3 サインアイデア集（1）　サインファミリーのアイデア ｐ

A) PCコンクリート板によるサインファミリー（1）

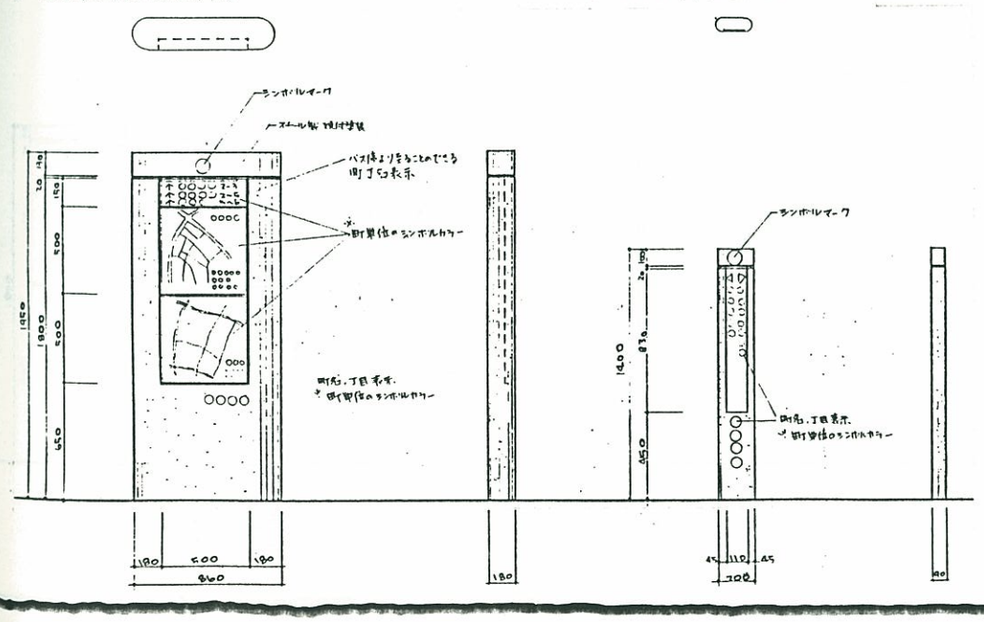
● 地区案内サイン（地区センター 宮の前）

● 方向指示サイン（駅周辺 用）
　誘い先 サイン（　〃　）※現在地の町名・丁目表示は省く

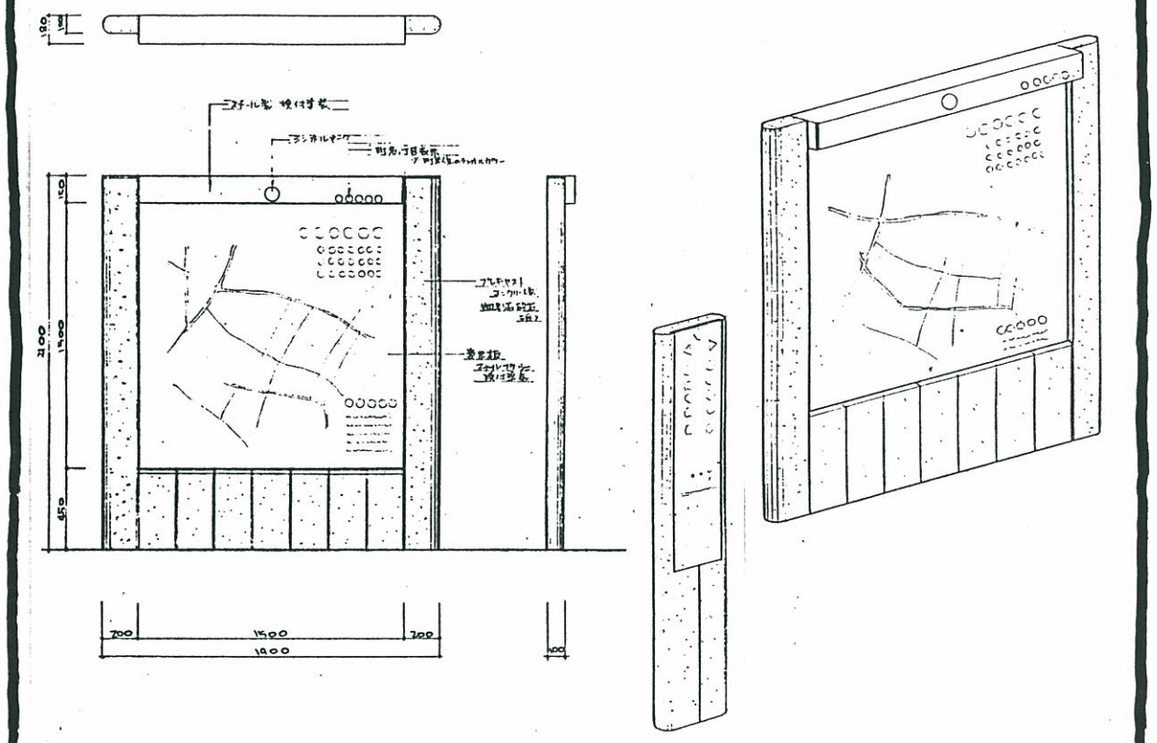


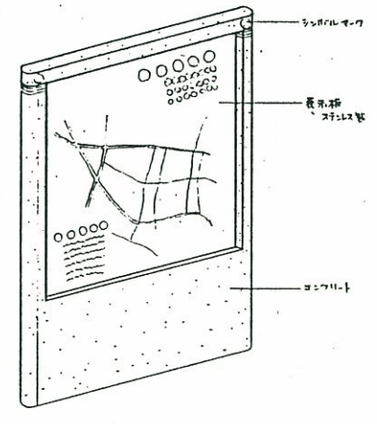
● 地区案内サイン（バス停用）

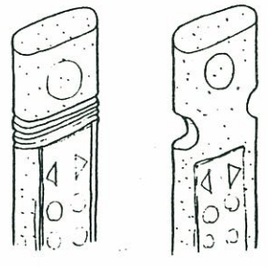
● 方向指示サイン（市電道路）

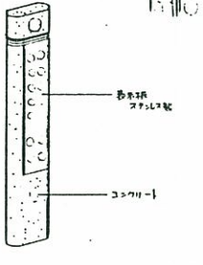


B) PCコンクリート板によるサインファミリー（2）





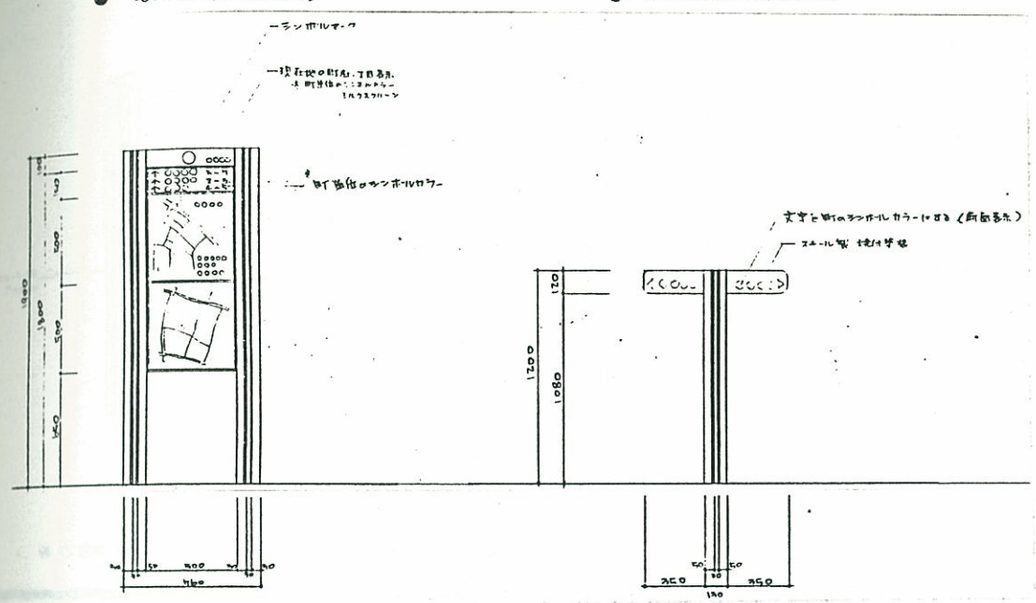




3-2-3 サインアイデア集 (2) サインファミリーのアイデア 2°

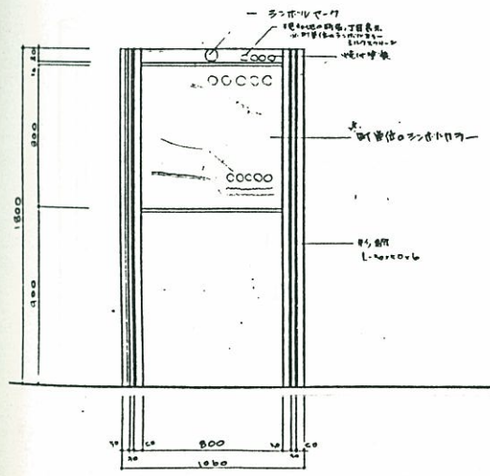
C) 型鋼材によるサインファミリー

● 地区案内サイン（バス停用）

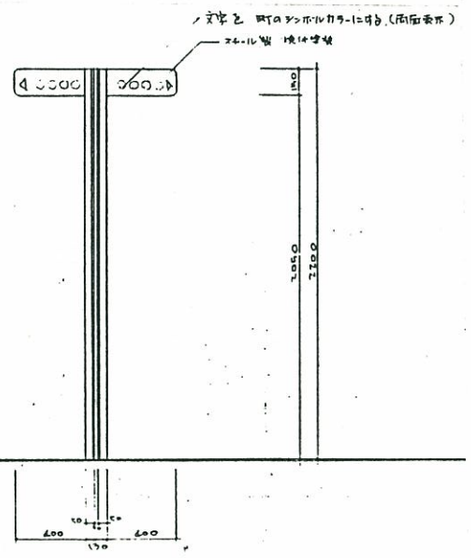


● 方向指示サイン（歩車道用）

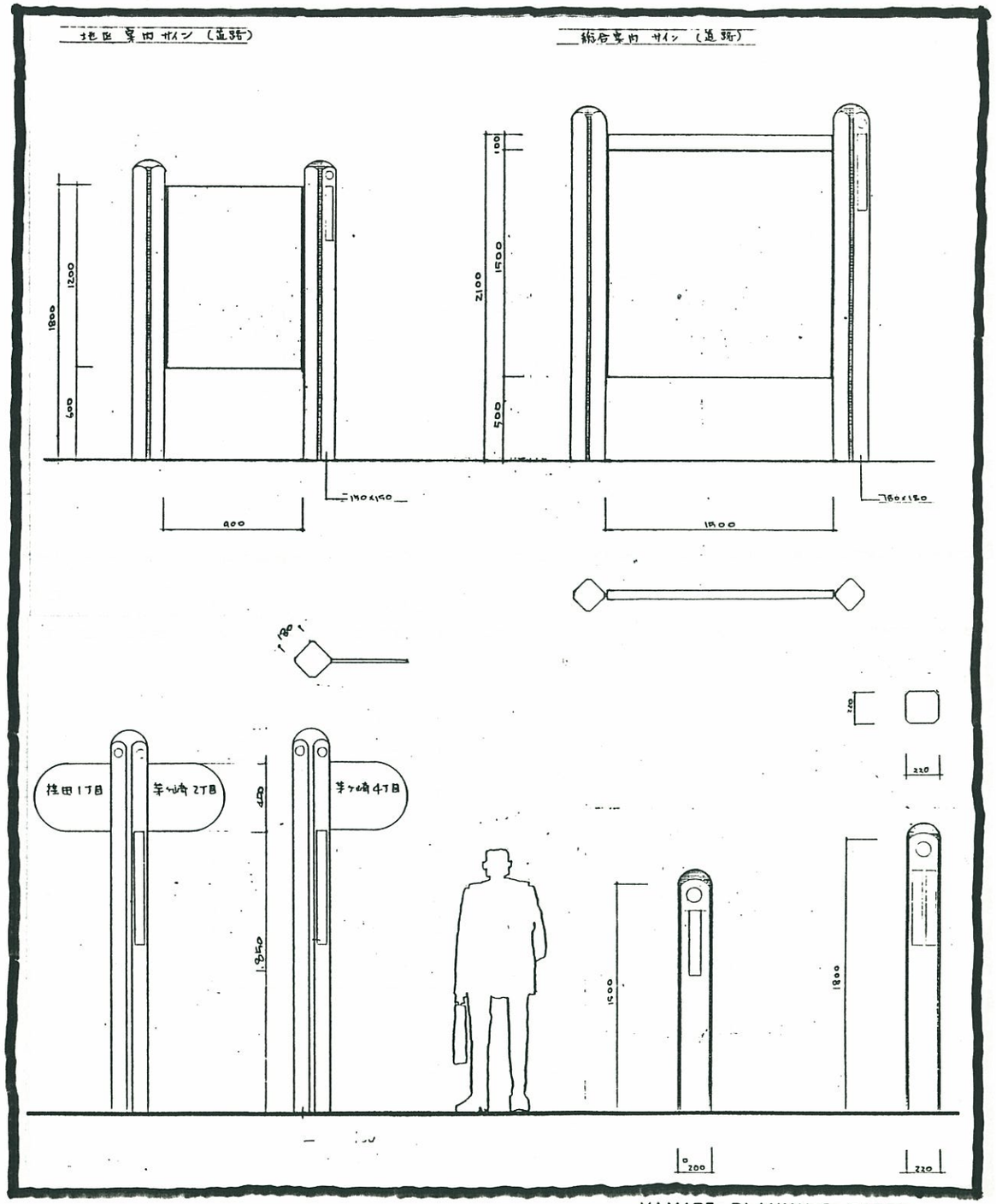
● 地区案内サイン（地区センター等の前）



● 方向指示サイン（車優先）
通り名サイン（〃）

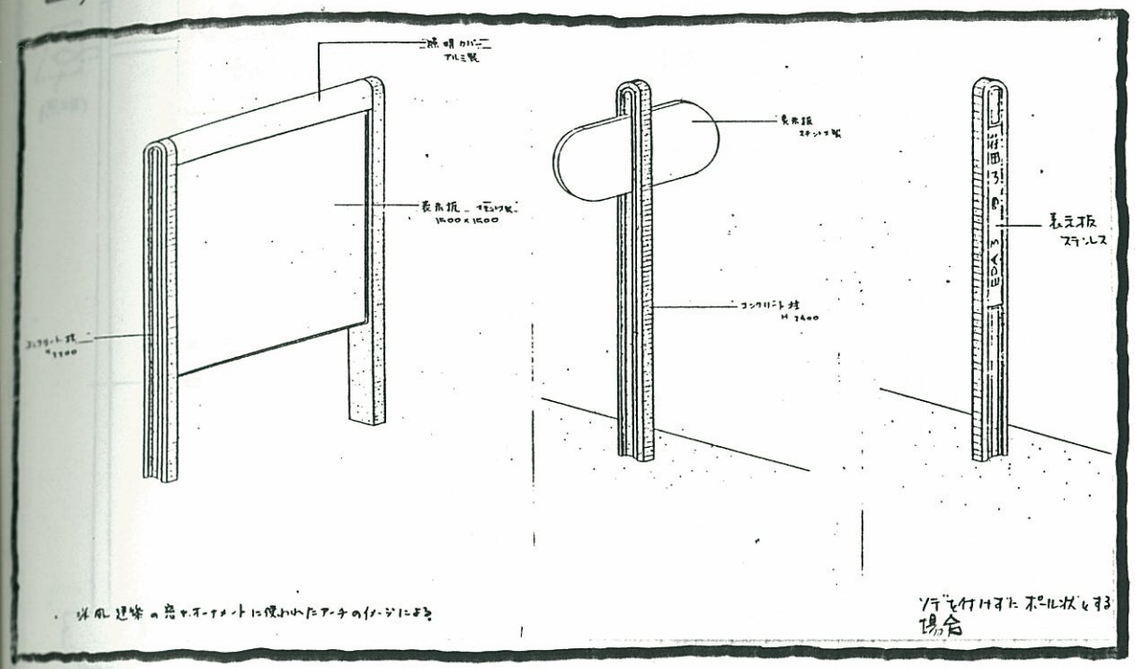


D) PC コンクリート柱によるサインファミリー (1)

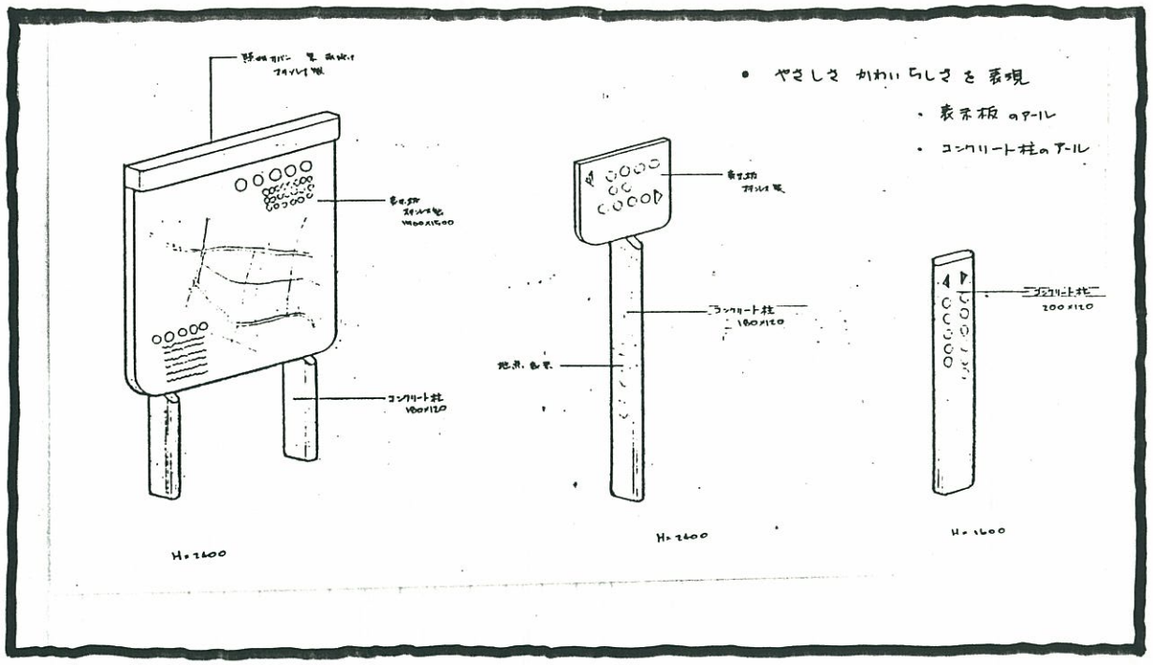


3-2-3 サインアイデア集 (3)　◦サインファミリーのアイデア 3°

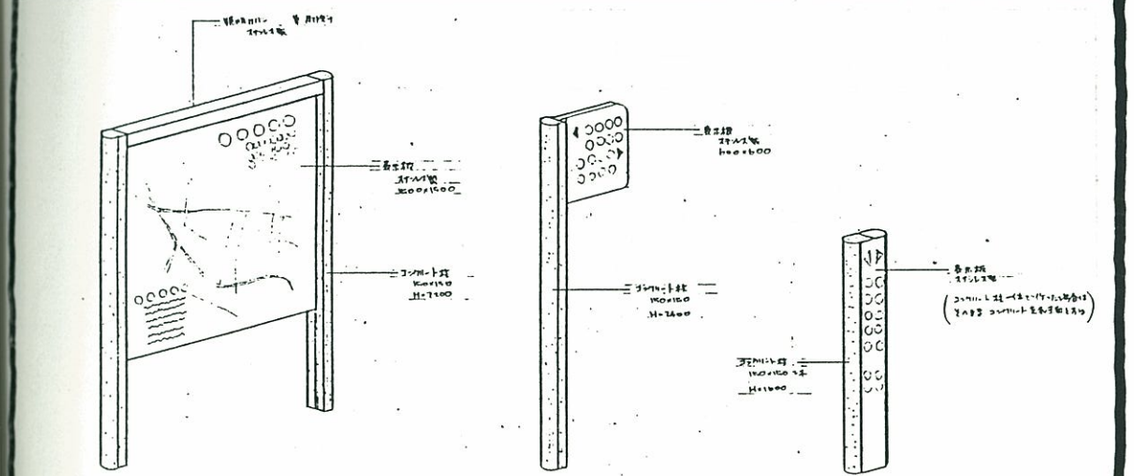
E) PCコンクリート柱によるサインファミリー (2)



G) PCコンクリート柱によるサインファミリー (4)

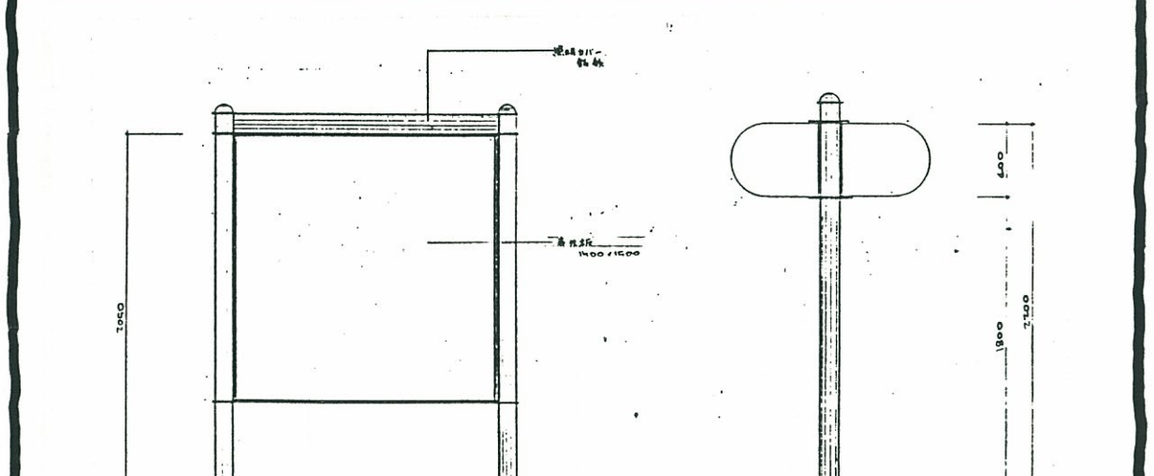


F) PCコンクリート柱によるサインファミリー (3)



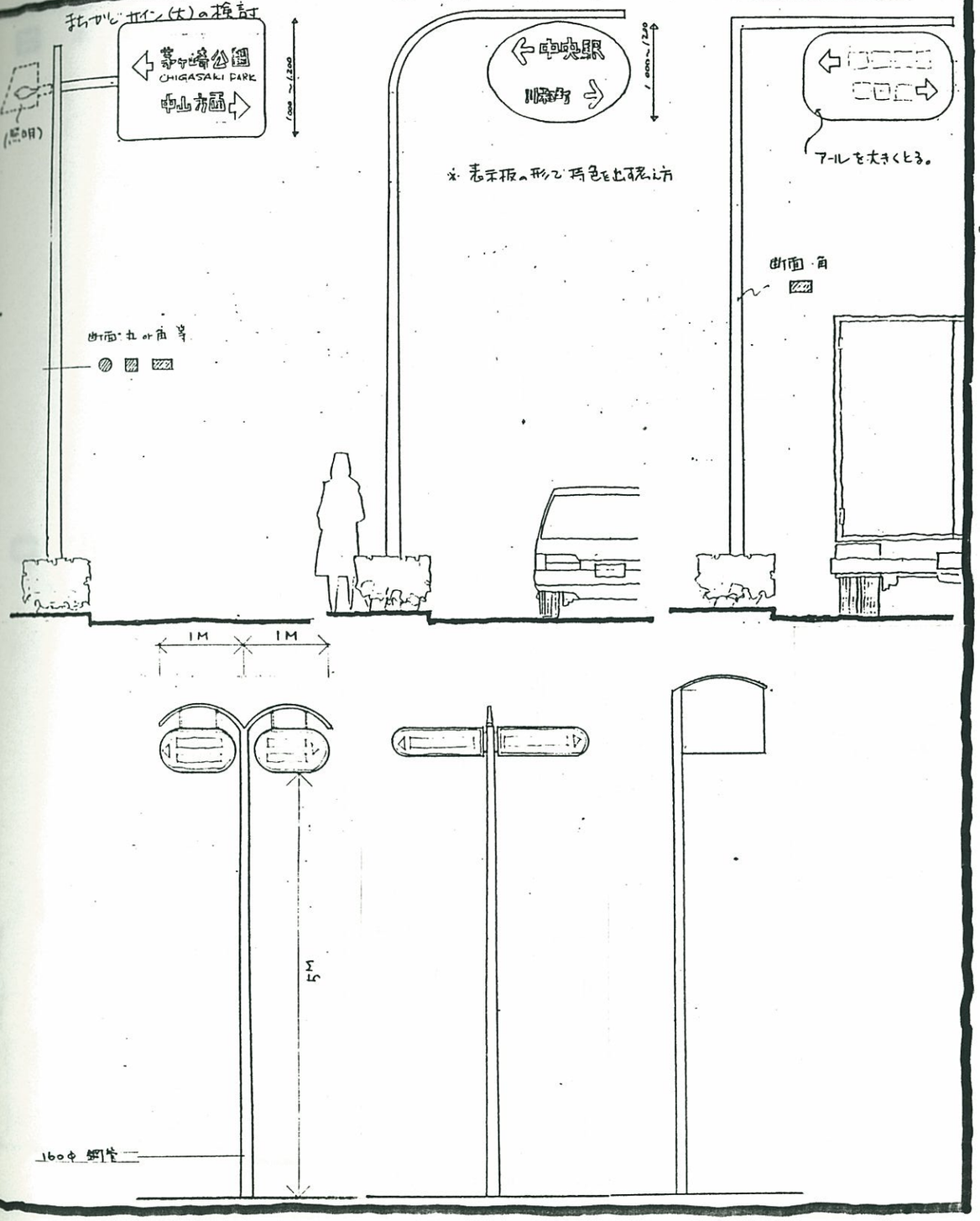
- 円と矩形の組み合せの幾何形態とやさしさと近代的イメージを表現
- P.C コンクリート製でコストダウンをはかる。

H) 鋼鉄管によるサインファミリー



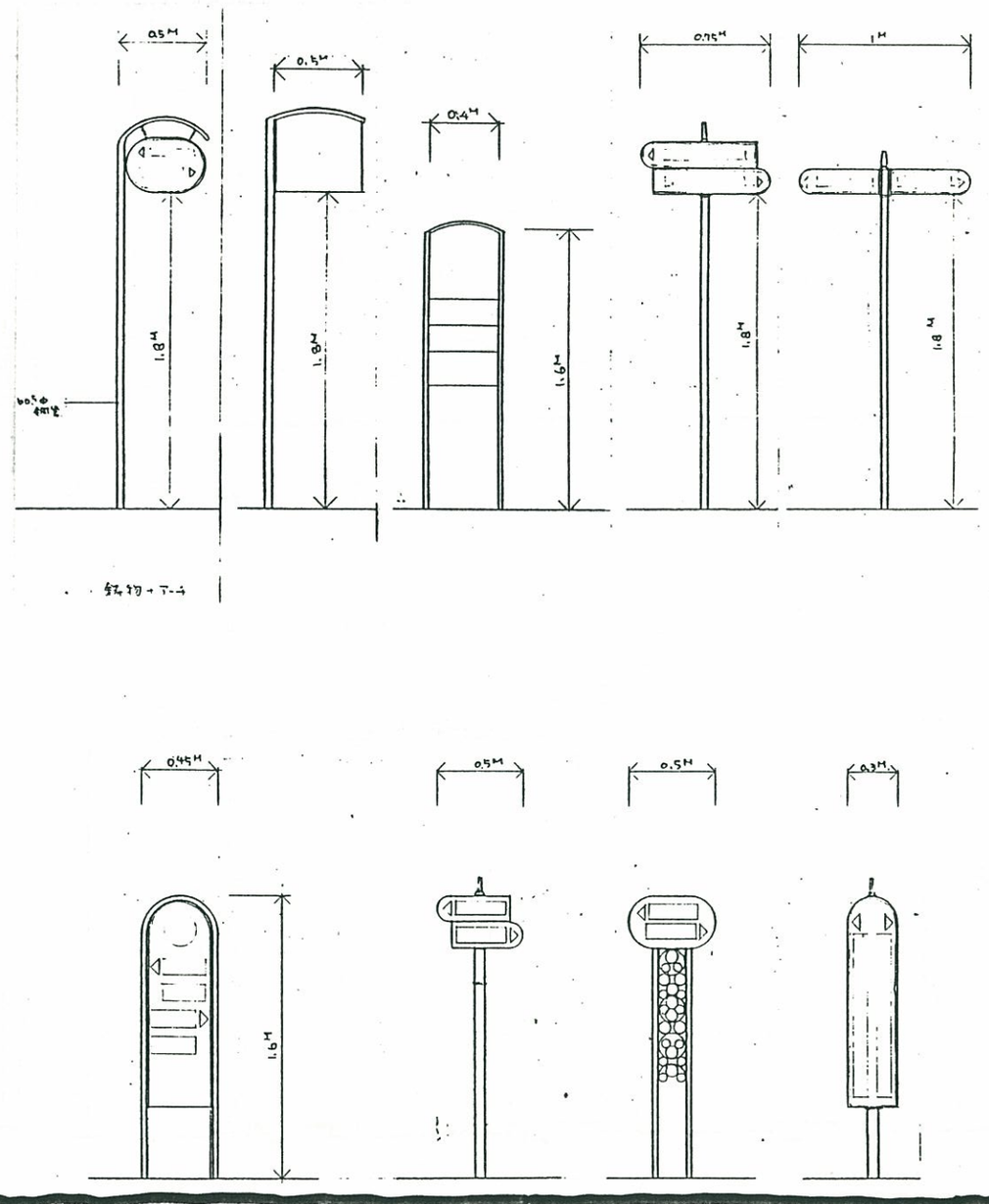
3-2-3 サインアイデア集(4)　○まちかどサイン(大)のサインアイデア

まちかどサイン(大)の検討



○まちかどサイン(小)-コレクター道路誘導サイン-のサインアイデア　イ

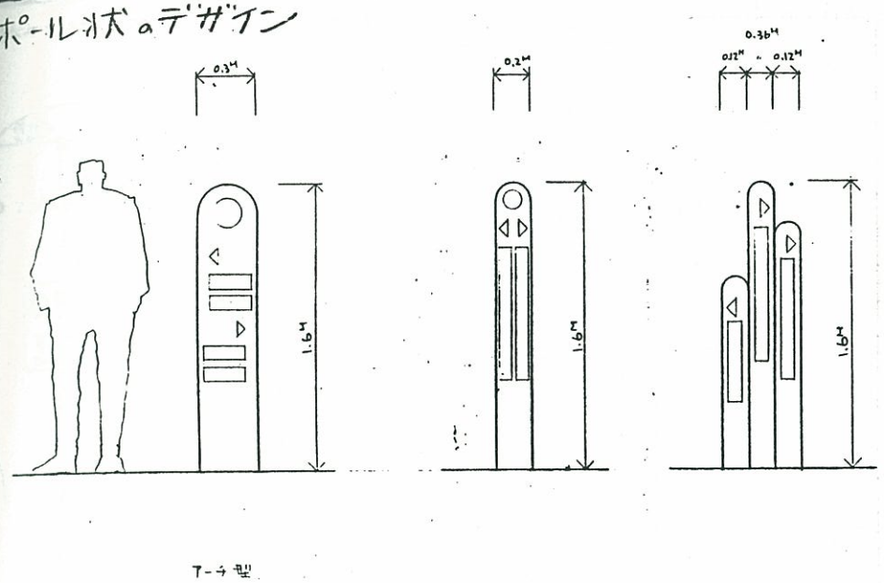
A まちかどサイン(大)と同様に「ポール＋板」とするデザイン案



YAMATE PLANNING CABIN

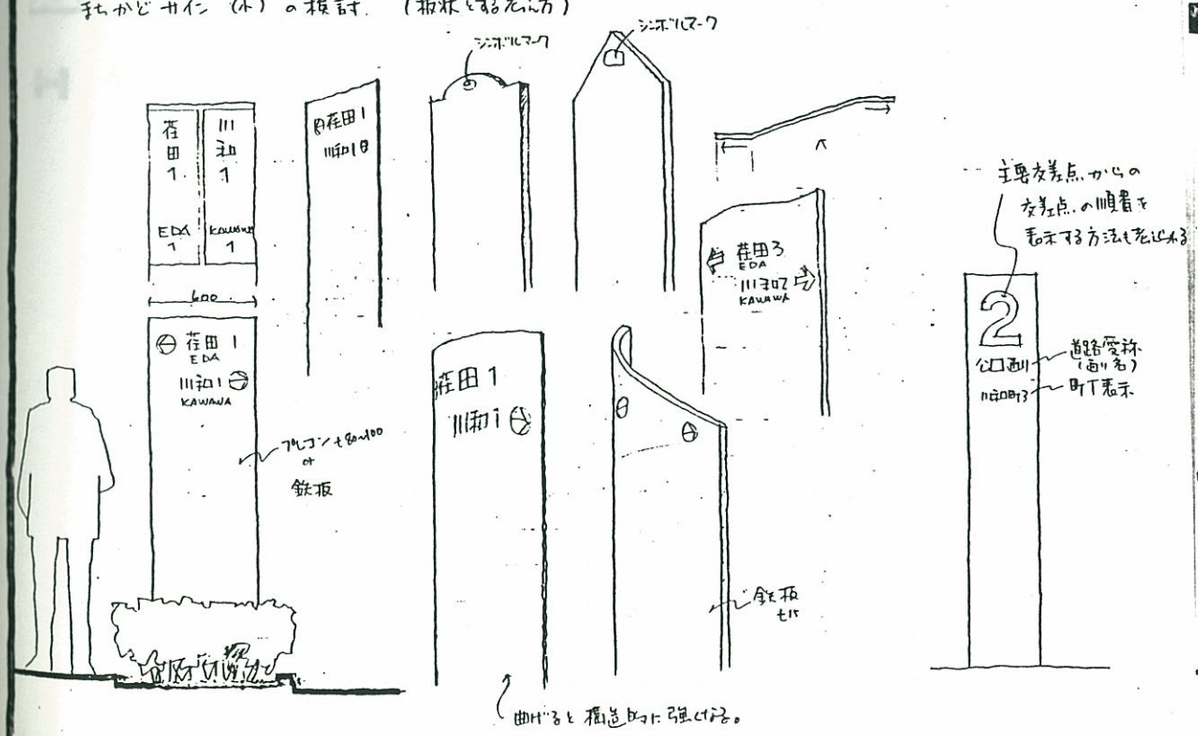
3-2-3 サインアイデア集(5)・まちかどサイン(小)のサインアイデア 2°

B ポール状のデザイン

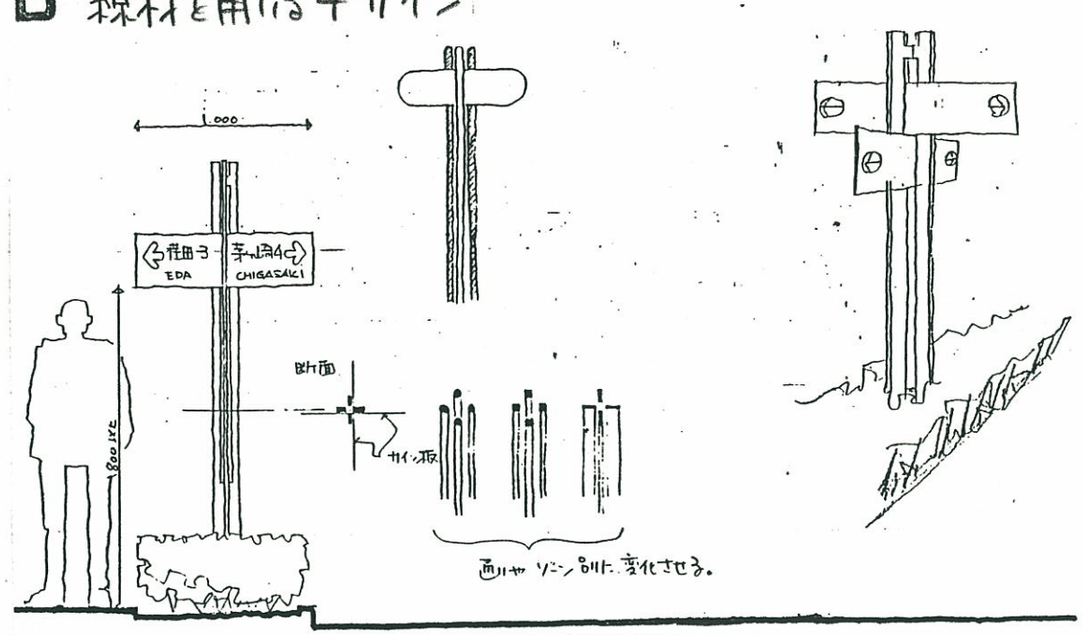


C 板状のデザイン

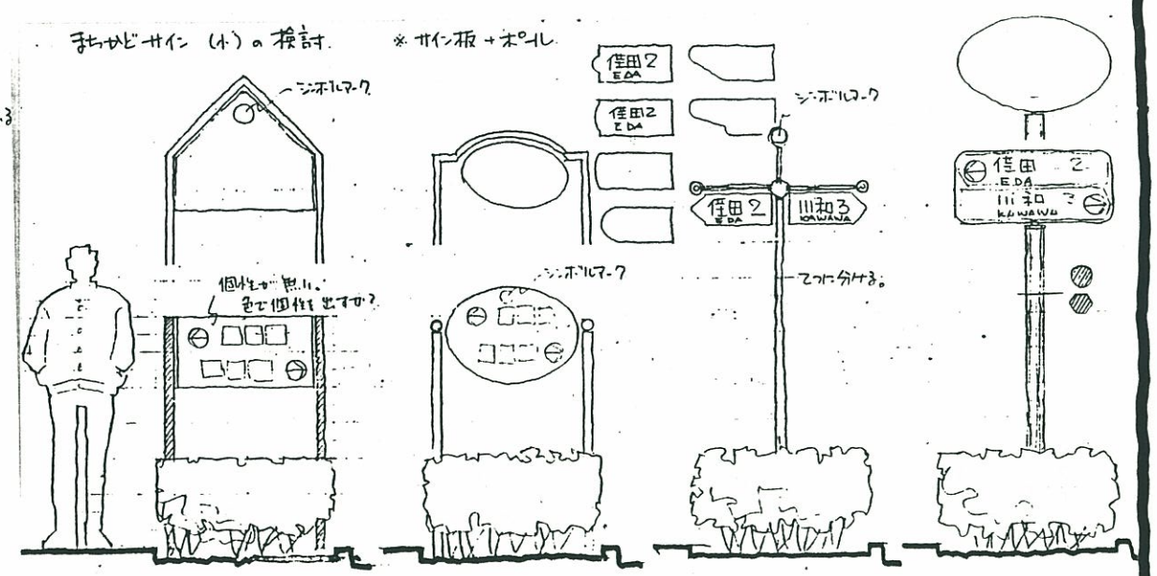
まちかどサイン（小）の検討.（板状とする考え方）



D 線材を用いるデザイン

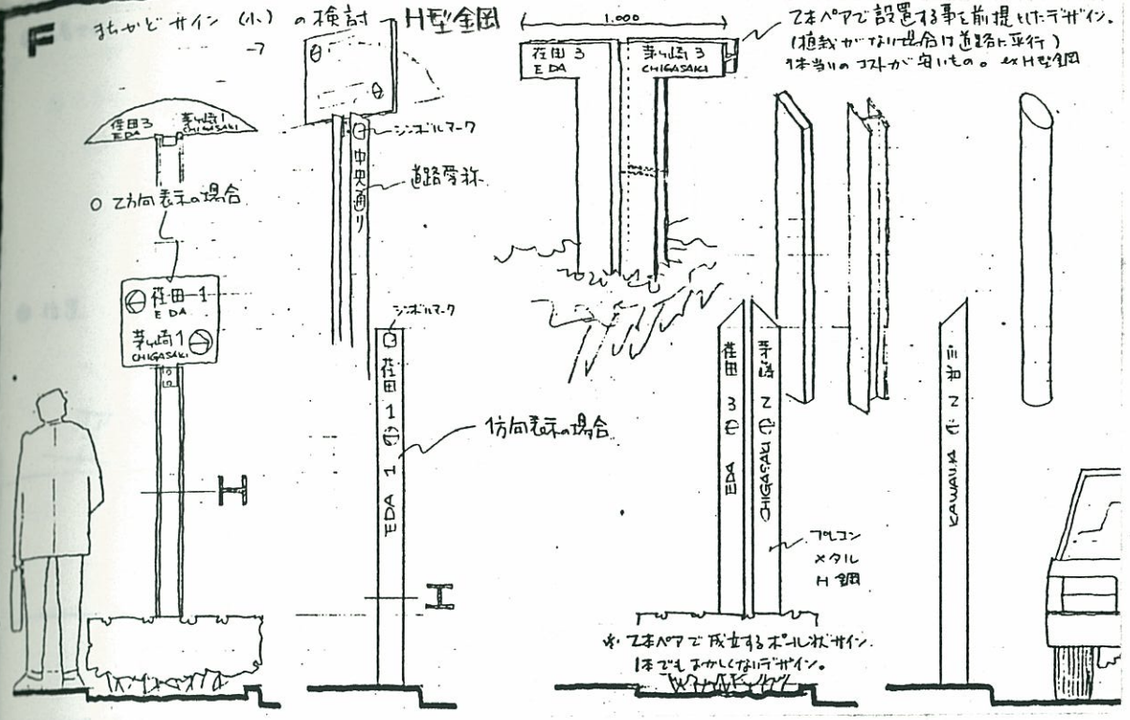


E ポール＋板とするデザイン

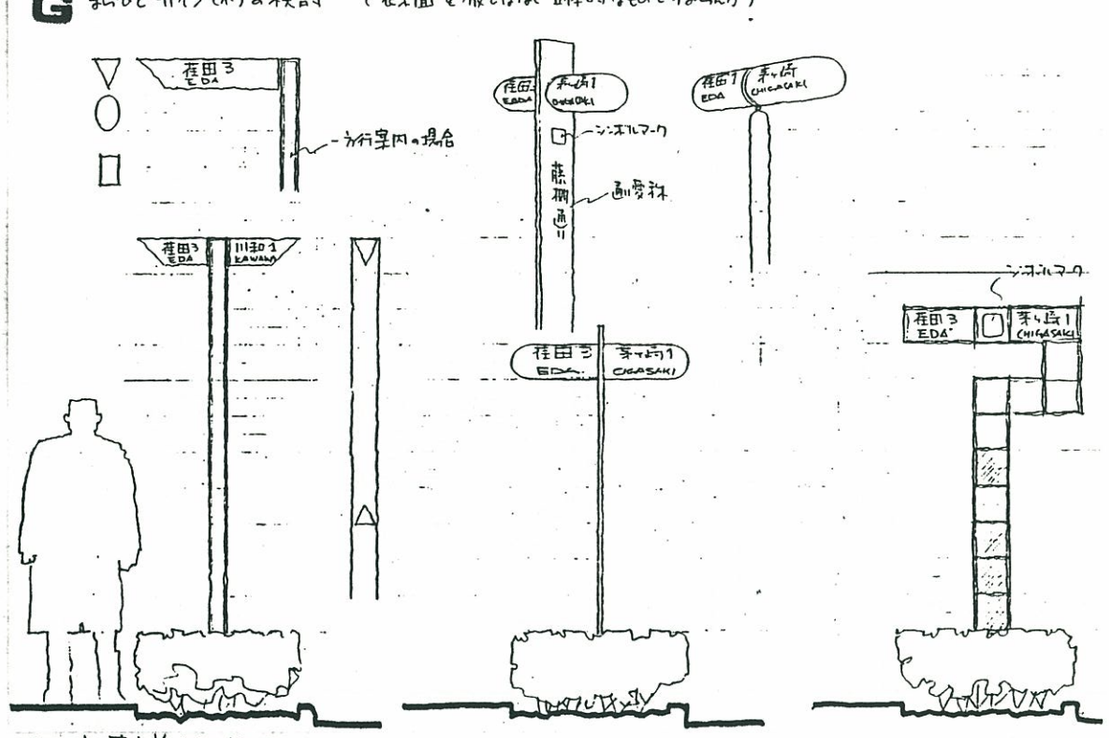


3-2-3 サインアイデア集(6)。まちかサイン(小)のサインアイデア 3°

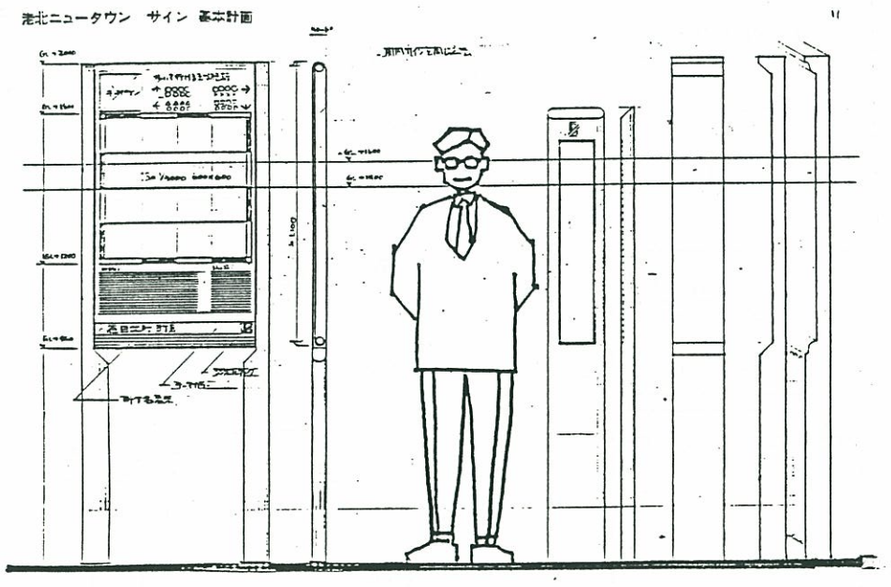
F まちかど サイン (小) の検討



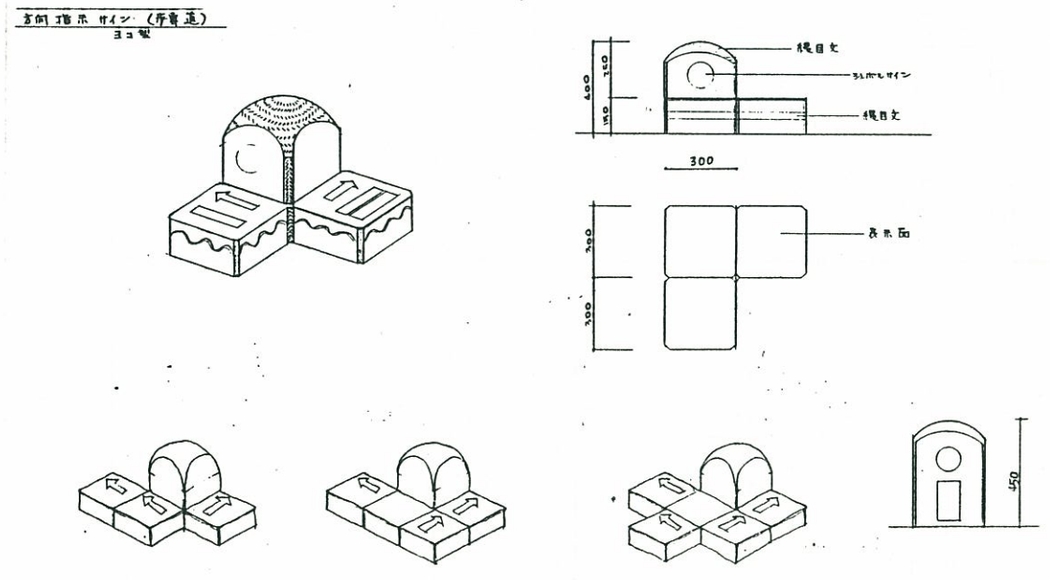
G まちかど サイン (小) の検討　(表示面を取ってなく立体的なものとする考え方)



H 鋳鉄によるサイン。 - 案内サインと同一表示方法のもの -



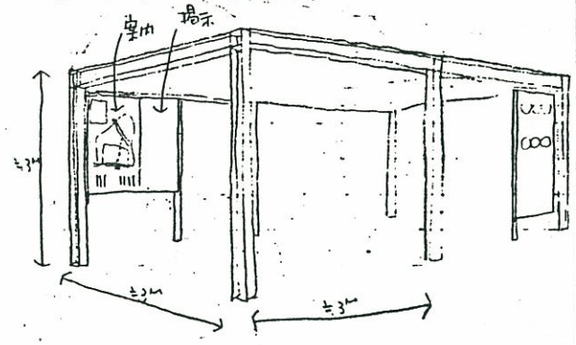
I 歩道内サイン。



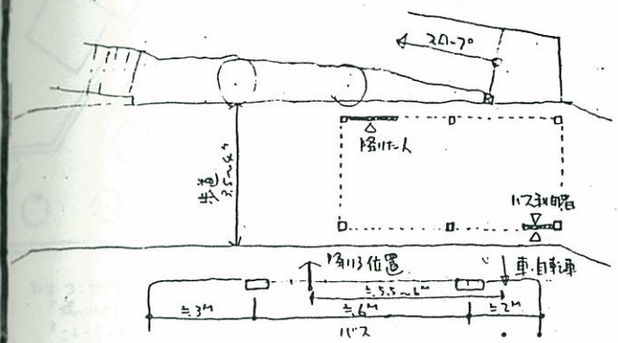
3-2-3 サインアイデア集（1）。バスシェルター，バス停サイン拠点のサインアイデア。

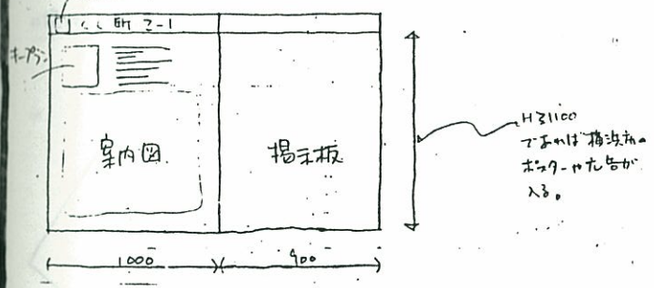
● 必要サイン
- バス利用者
  - バス停名称
  - バスルート
  - 時刻表
- バスを降りた人
  - 案内板
  - （町名）
  - （通り名）
- 車自転車
  - 通り名
  - 町丁地番名
  - バスストップ名

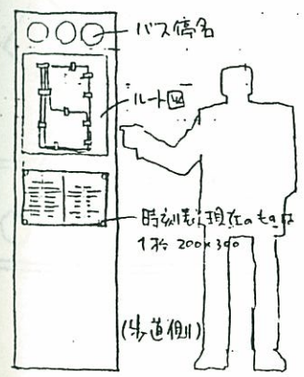
● 形状（上屋がある場合）

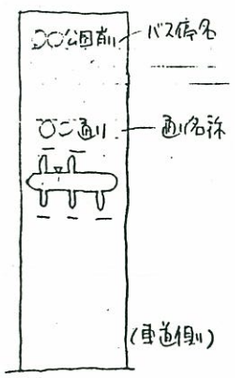


● 位置

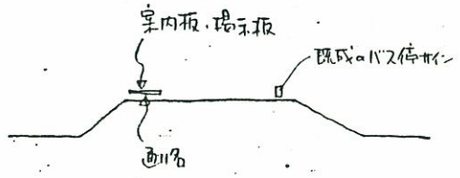


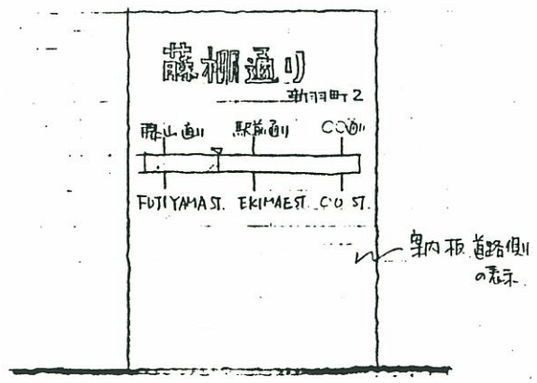


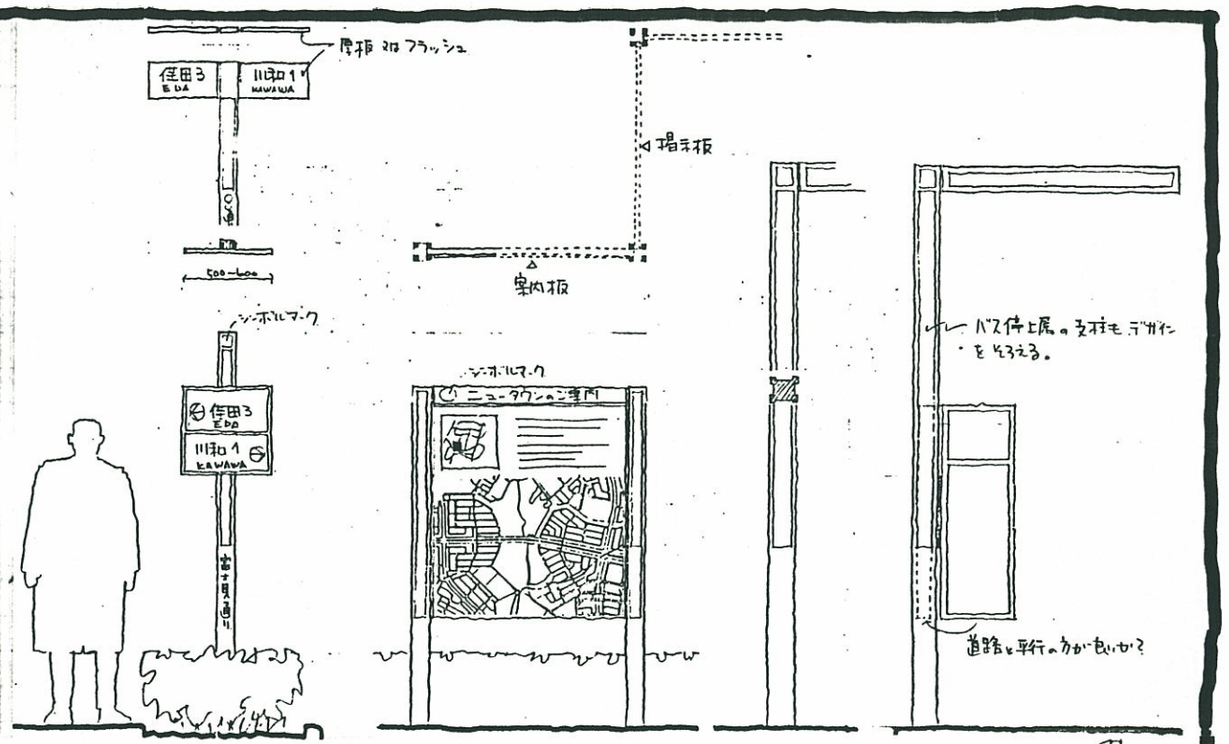




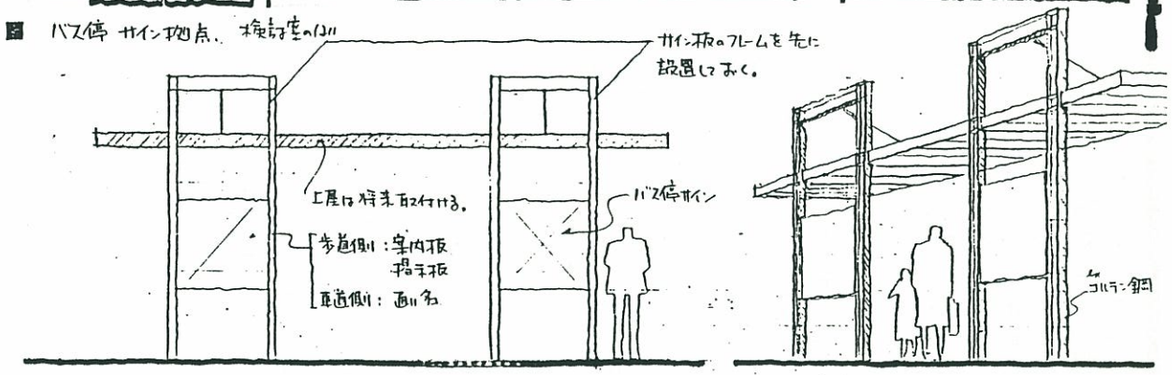
● シェルター無しの場合はサインを自立型とする。バス停サインも既成のものとする場合。

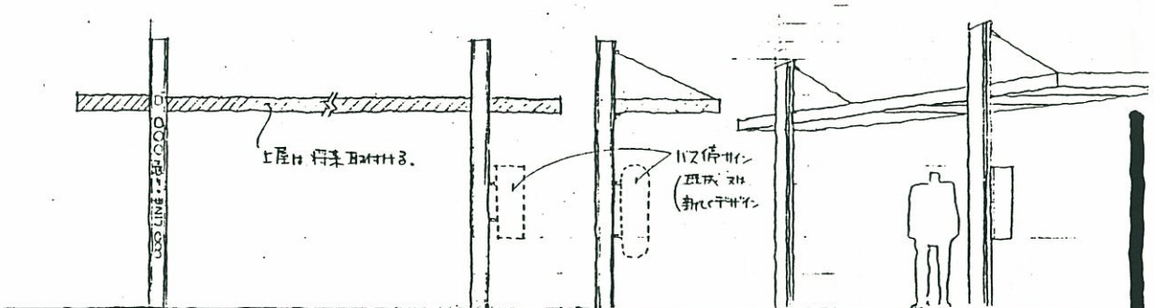






■ バス停 サイン拠点，検討案のA



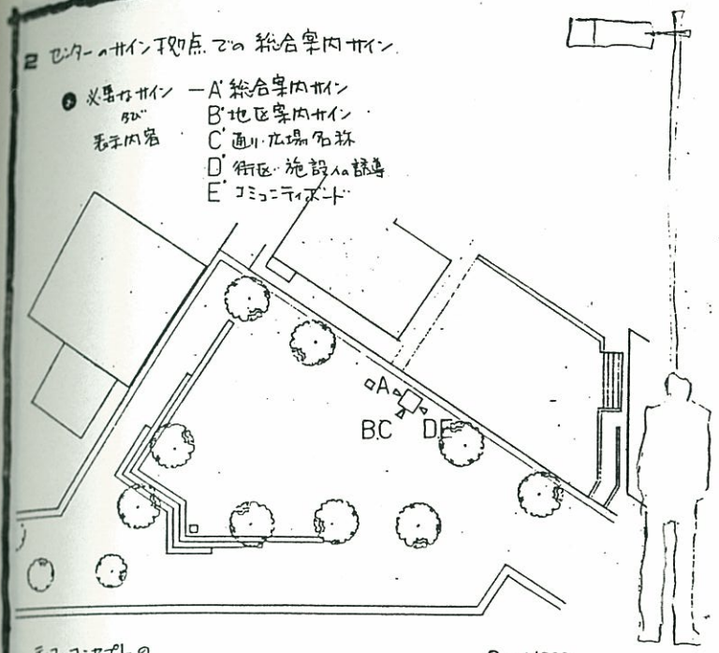


YAMATE PLANNING CABIN

3-2-3 サインアイデア集（8）・地域センターサイン拠点のサインアイデア（商店組合の占用物件と考える。）

2 センターのサイン拠点での総合案内サイン

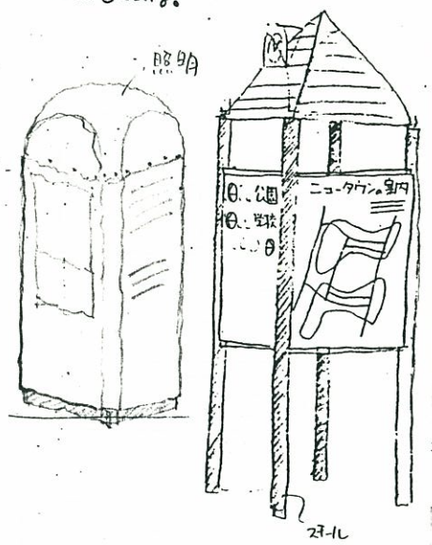
● 必要なサイン　－A' 総合案内サイン
　　など　　B' 地区案内サイン
　　若干内容　C' 通り・広場名称
　　D' 街区・施設への誘導
　　E' コミュニティボード



S = 1/300

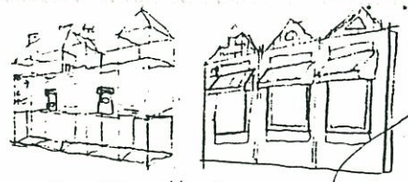
テーマ・コンセプトの
「場所性・領域性を強調するデザイン」
「これからの新しい都市生活の豊かさをイメージさせるデザイン」
「極めて高い個別性のあるデザイン」
に従って、サイン効果はそれぞれの場所にあった個別のデザインとしたい。

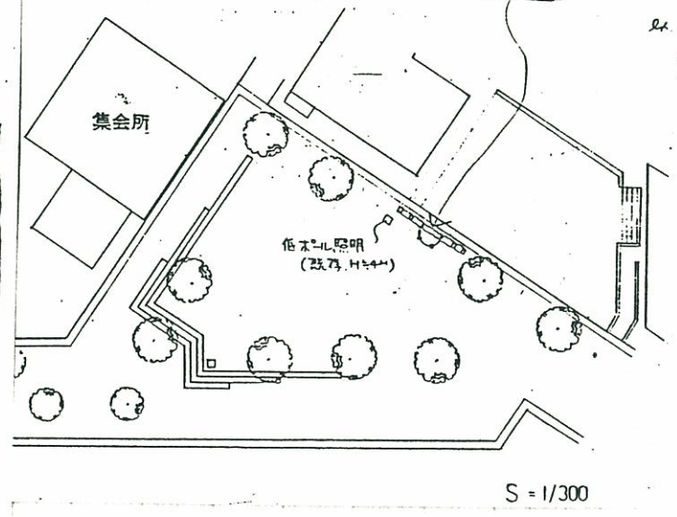
※ 公共掲示板として、緑政局の占用物件または道路付属物として設置する。
横浜市では駅前広場等で案内板、誘導板等が一体となったものを駅元施設（付属物）として設置している。



■ 地域センター サイン拠点（4）

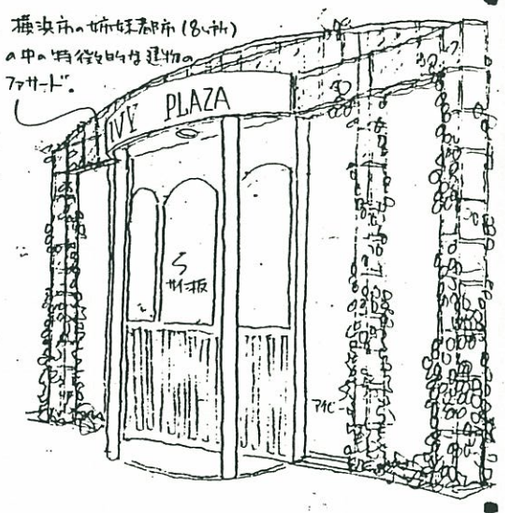
● 特徴が無い空間であるので、広場の背景となる有効な舞台装置を設け、特徴のない広場に特色を出す様なサインの検討も行なう。

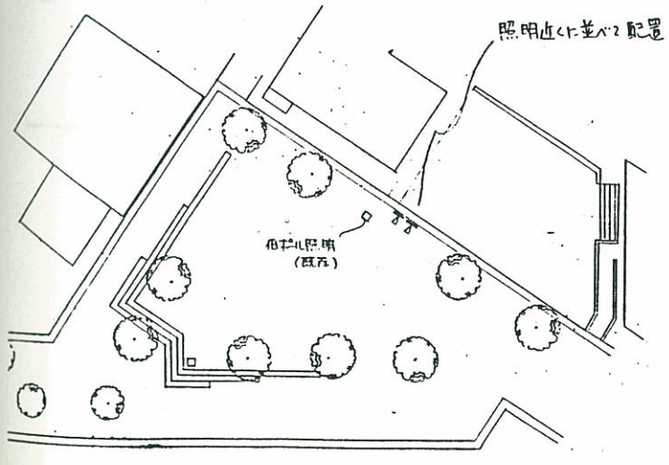




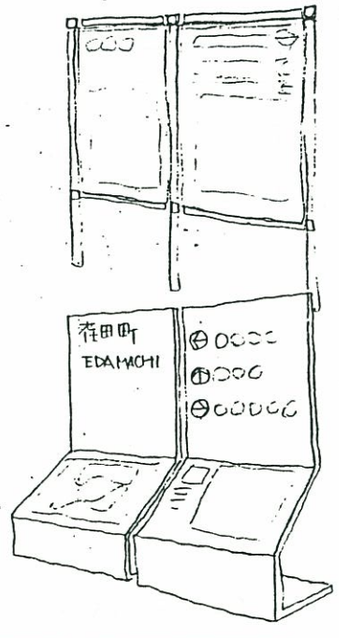
S = 1/300

a. 横浜市の姉妹都市（8ヵ所）の中の特徴的な建物のファサード。

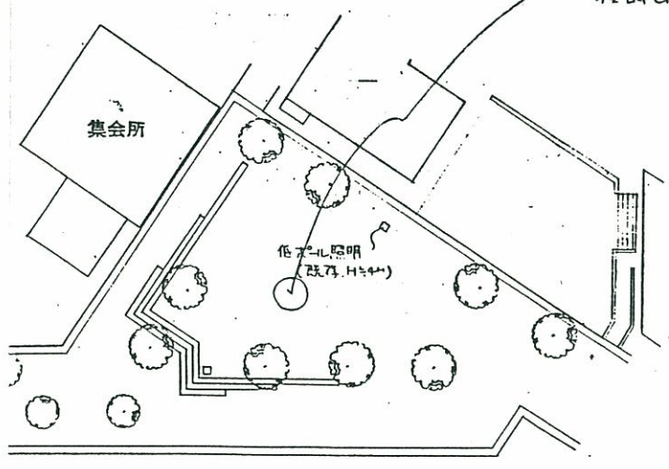




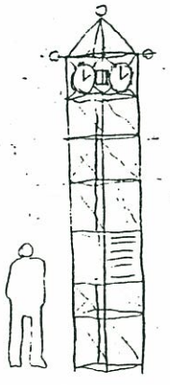
S = 1/300



サイン拠点ごとに異なるオブジェ的なサインも検討したい。

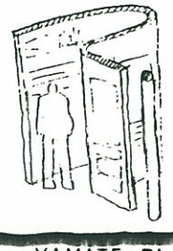


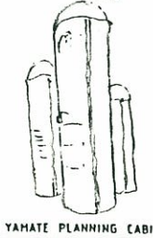
S = 1/300



○駅前のサイン拠点を除くサイン拠点の数は15ヶ所+4ヶ所であり、センターのサイン拠点は1及び2地区で8ヶ所である。
・ガンバリテ、それぞれ異なる特徴あるデザインとし、特徴のないところでは逆に場所の特徴をつくる様に考えたい。





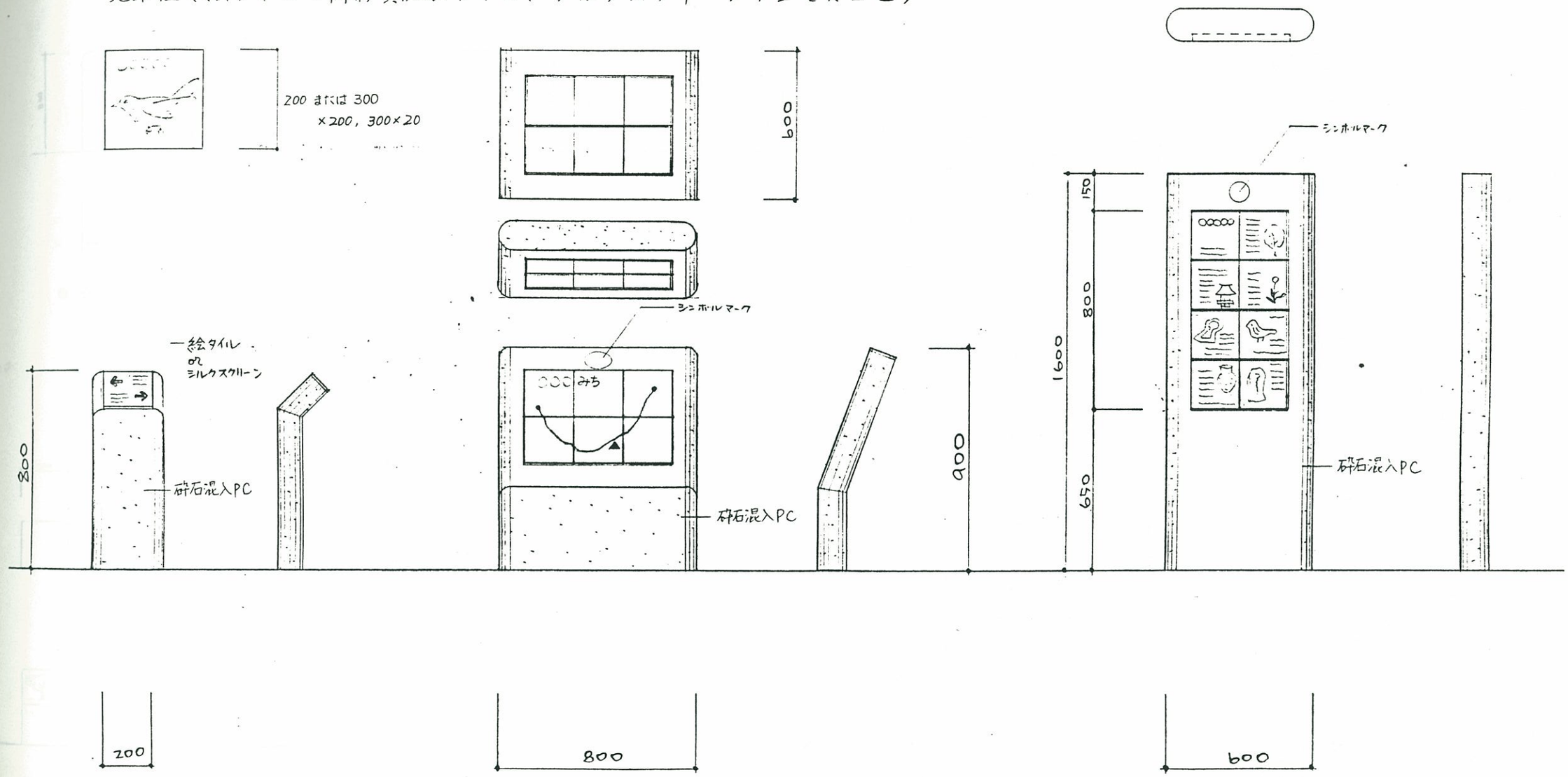


YAMATE PLANNING CABIN

3-2-3 サインアイデア集 (9) ・コミュニティしるべのサインアイデア 1°

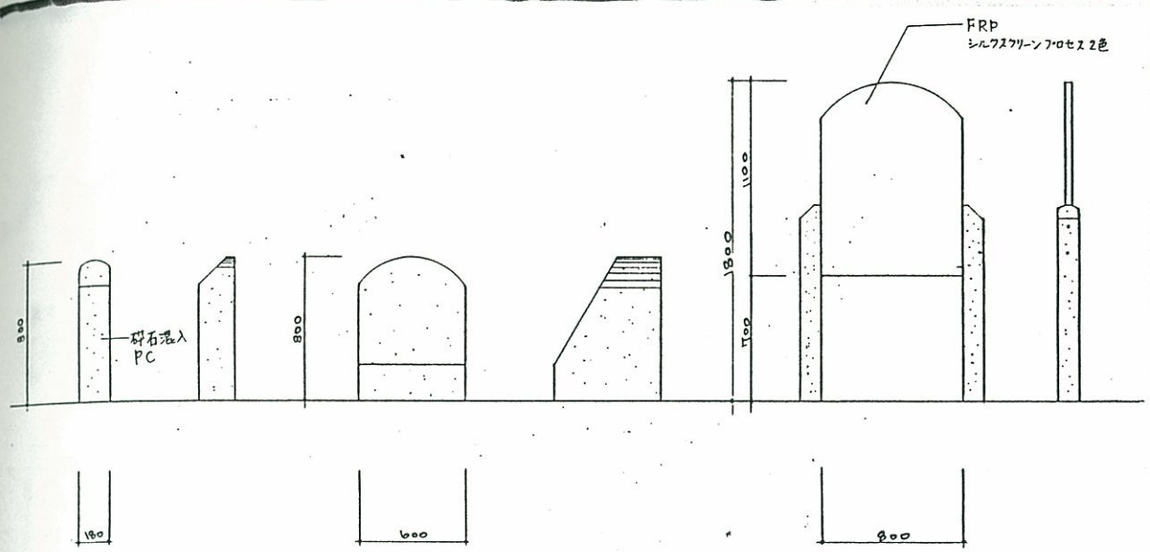
■ 緑道内サイン　---- サインにファミリー性を持たせる。

元単位（絵タイル：御影質磁器タイル、シルクスクリーンプロセス2色）

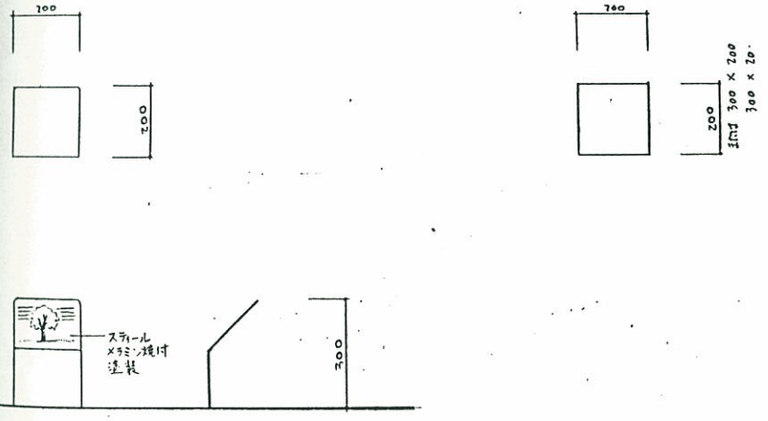


● 誘導サイン　● みち名，みちの案内　● 読み切連載風解説サイン

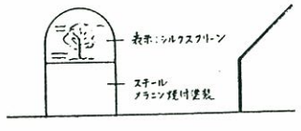
3-2-3 サインアイデア集(10)　◦コミュニティしるべのサインアイデア 2°



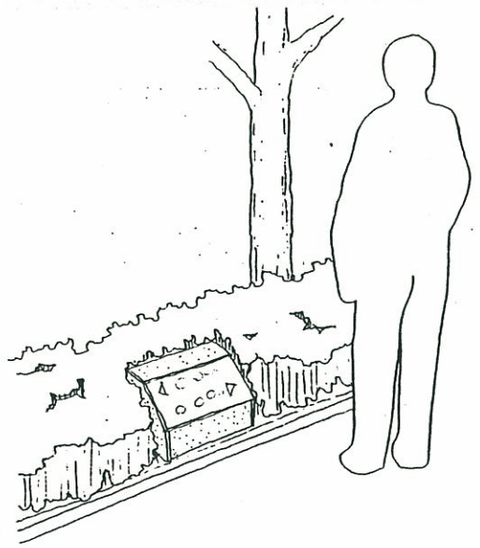
● 誘導サイン　● みち名，みちの案内　● きもみの建載風土紹説サイン



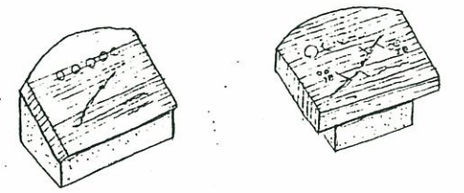
● 樹名板　● ジョギングサイン



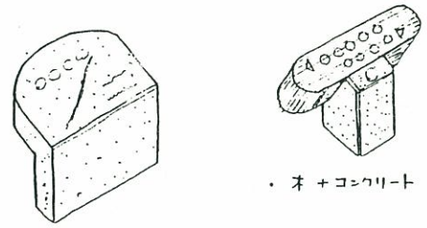
● 樹名板



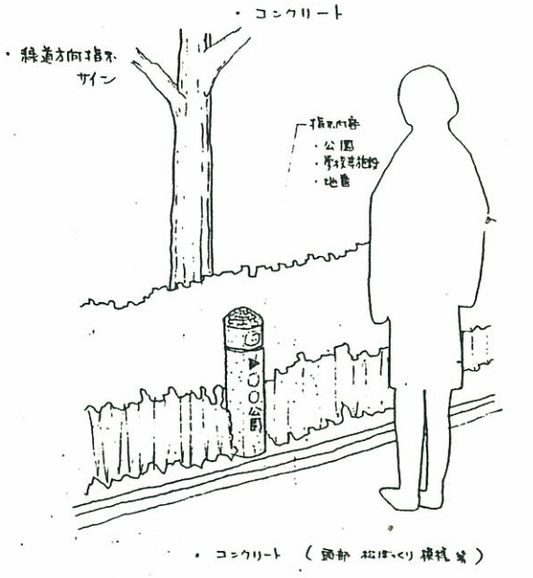
・コンクリート



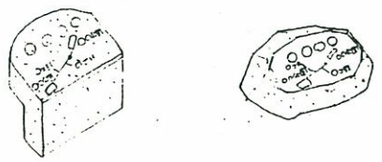
・木＋コンクリート



・木＋コンクリート

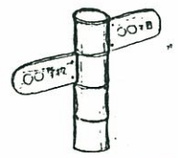


・木＋コンクリート　・コンクリート（頭部 松ぼっくり模様）

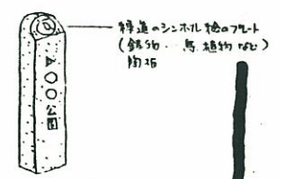


・コンクリート

・自然石

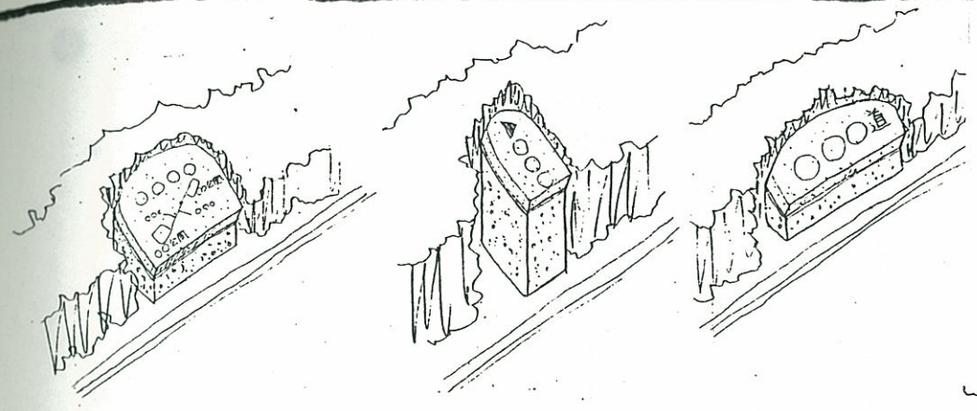


・鉄鉄（竹節模様）＋木

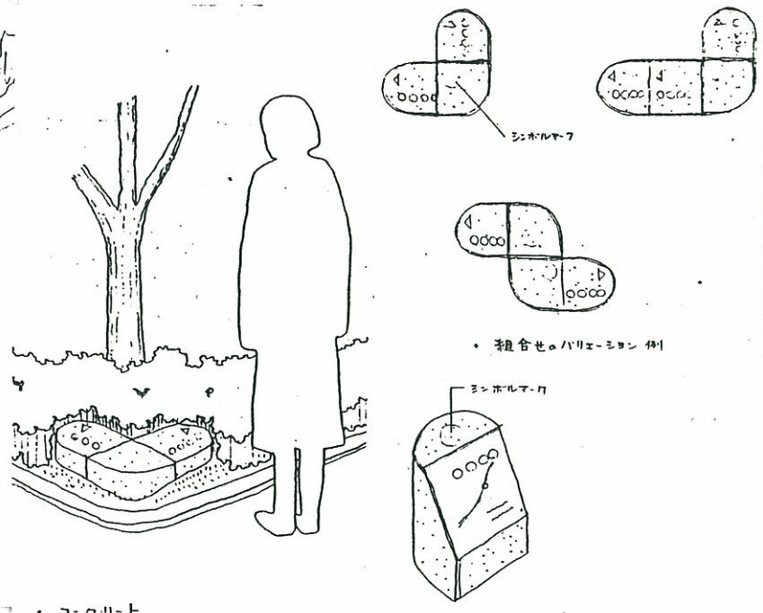


・コンクリート＋鉄鉄プレート肉抜

3-2-3 サインアイデア集 (11) ・コミュニティほべのサインアイデア 3°



・ 上部 (自然石 / 凝石 / 陶板 / 木 / スチール / ステンレス / アルミ) + 下部 (コンクリート / 凝石) による 組合せ

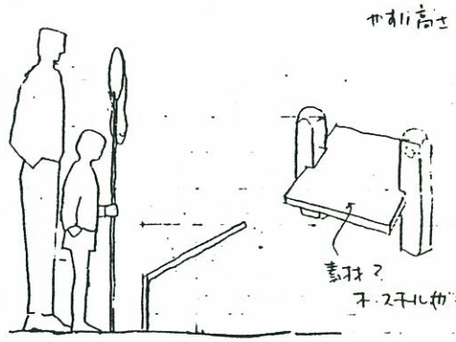


・ 組合せのバリエーション 例

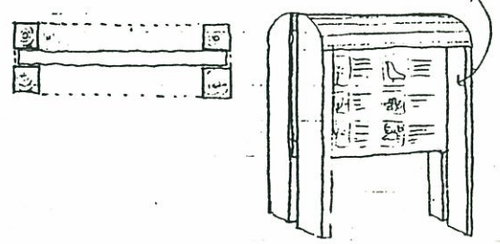
・ コンクリート

・ コンクリート

1. 緑道内のものは低くおさえる事も表現する。子供にも親しみやすい高さ



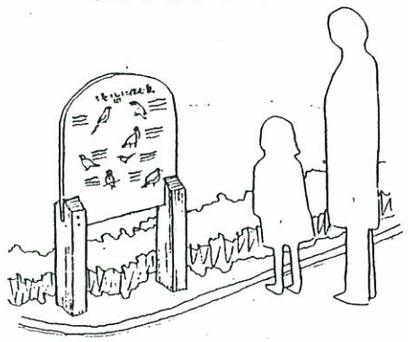
2. 木等自然の素材を使いたい。



掲示内容 …… 四阿, トイレ, 水飲 など

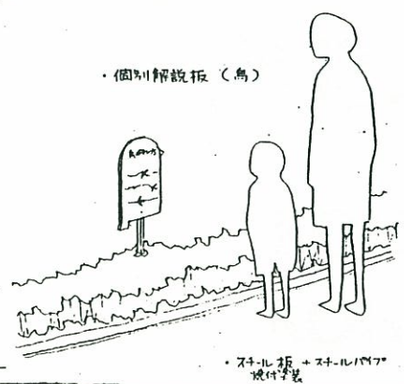
・ フィールド 博物館

・ 総合解説板 (大・中)



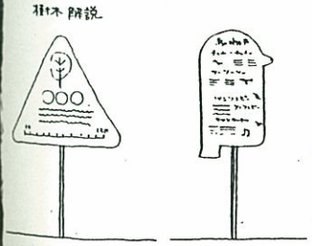
・ スチール板フラッシュ + 木 焼付塗装

・ 個別解説板 (鳥)

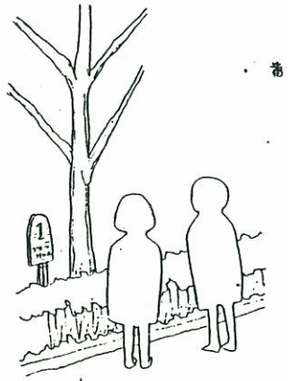


・ スチール板 + スチールパイプ 焼付塗装

樹木解説

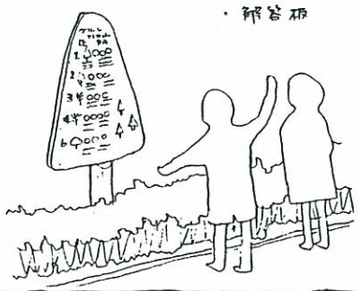


・ グリーン アドベンチャー

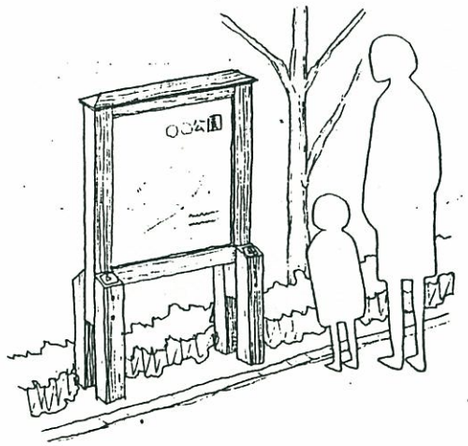


・ 番号板

・ 解答板



・ 公園 案内 サイン



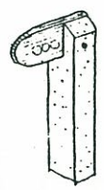
・ 木 + スチール板焼付塗装

公園のシンボル絵プレート
・鋳鉄
・陶板

公園のシンボル絵のプレート
・鋳鉄 …… 鳥, 植物など
・陶板

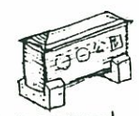


・ 木 + 鋳鉄プレート 陶板



・ 木 + コンクリート

・ 公園名 サイン



・ 木 + コンクリート

3-3-1　ロゴタイプの検討

● 書体選定の方針

- コレクター道路の導入部等ドライバーに対するサインもあるため、視認性・可読性の高い書体とする。
- 活用範囲が広く、案内板、方向指示板等に対応した選択幅を持つ書体とする。
- 多様な仕上げの加工にも対応しやすい書体とする。

港北ニュータウン　24

港北ニュータウン　24

港北ニュータウン　24

港北ニュータウン　24

港北ニュータウン

KOHOKU Newtown

KOHOKU Newtown

港北ニュータウン　24

港北ニュータウン　24

KOHOKU Newtown

3-3-2　ピクトグラムの検討

- 表示される情報を視覚化することによって伝達効果を高めたり、また、オーガニックな構造を持つ地図区画の硬さを柔らげるため、ピクトグラムを使用する。

- 造形処理については、具象的な部分を残しながら単純化した処理とする。また、案内板*の設置場所が飛行場や駅などの特定空間でないため、心がなごむ雰囲気を持つ処理とする。

＊右の見本は案内板の地図（立ち止まって見る）内に使用されることを前提としている。そのため、視認性を高めるための極端な単純化をしたものではない。

［例］



3-4-1 シンボルマークの検討 (1)

シンボルマーク設定へのアプローチ

港北ニュータウンに住む人たちがまちへの愛着を深めるために、また訪れる人たちがまちを理解しやすく認識も高めるために、コミュニティアイデンティティ〔ＣＩ〕計画といった手法の導入が望まれる。そのひとつとして港北ニュータウンに、そのまちづくりの理念や将来のビジョンを盛りこんだ新しい名称、またそれに連動したシンボルマーク、ロゴタイプ・カラーといった視覚的な要素の設定が不可欠となる。

ここではネーミング計画の一端として考えられている、港北ニュータウンの新しい名称案および横浜における港北ニュータウンの位置・機能等をテーマにして、シンボルマークへのアプローチを試みた。また、この試みにより適切なマークが選定されれば、そのデザインから新しい名称の発想が得られることも期待できよう。

① シンボルマーク設定の方法

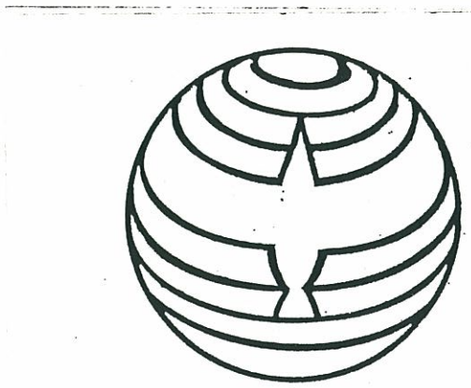
シンボルマーク設定にいたる方法として次のようなものが考えられる。

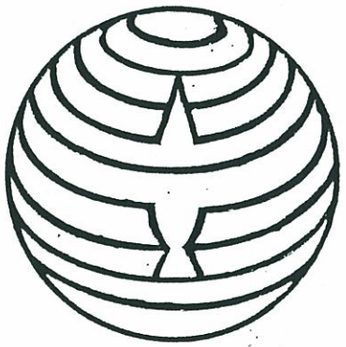
1) 計画側においてまちづくりの理念、将来のビジョン等シンボルマークが持つべき意味・役割・機能を十分に盛り込んだデザインを行い設定する。
2) 計画側で1）の過程を経た複数の候補案を用意し、住民および一般市民の人気投票を行い決定する。
3) ひろく住民・一般市民・専門家によびかけるデザインコンペとする。
4) シンボルマークの重要性からみて、デザインコンペの第1段階で複数の候補作を選定し、計画側および専門家の助言、要望等を加え、候補作品の作者を指名して行うコンペを再度実施し決定する、いわゆる2段階コンペとする。

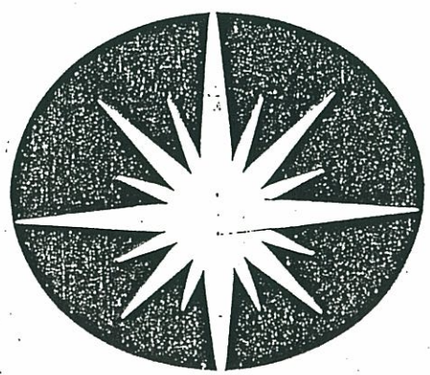
この方法は、シンボルマークのデザインコンペとしては初の試みとしてＰＲ効果が期待できよう。

いずれの場合もシンボルマークの設定・プロセスの発表等はさまざまなのメディアを活用し、またコミュニティーホールなどでの展示も行ってその訴求の徹底を図るべきである。

1)「横浜(北)」をイメージし、オリエンテーションで示す例。





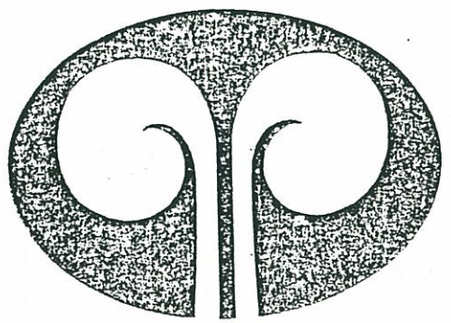


2)「千歳」永遠をイメージし、飛翔する鳥をＹで示す例



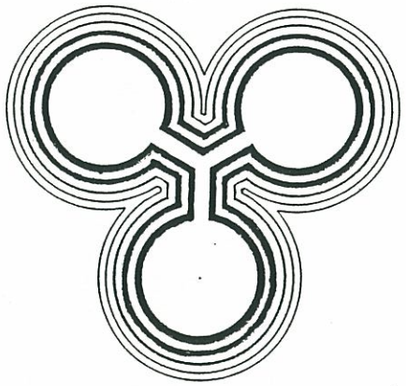
3)「若葉」若さをイメージし、若葉のかたちをＹで示す例

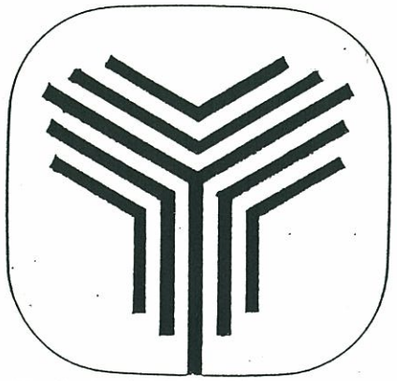


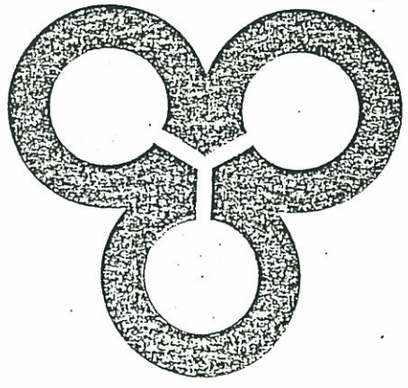


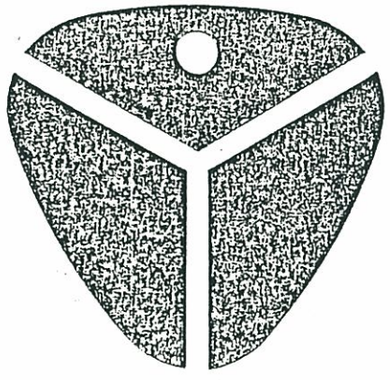
3-4-2 シンボルマークの検討 (2)

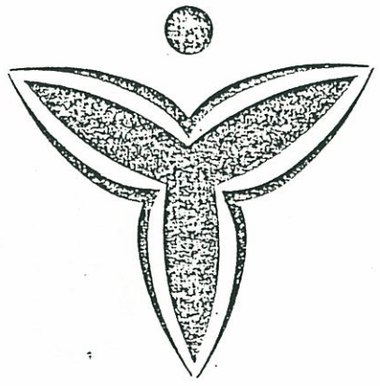
4) 「発生」ひろがりと調和をイメージし、やまと横浜のYを示す例。







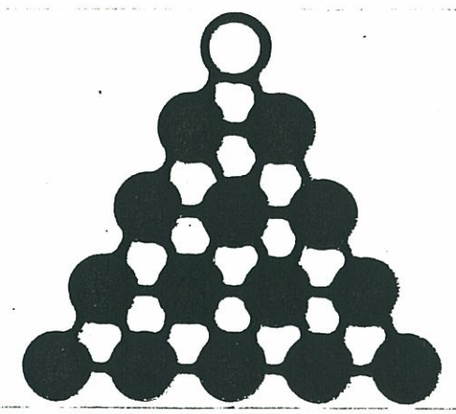




5) 横浜市域のかたちの抽象化と港北NTの位置を示す例。



6) 1番目の区な可能性から、5のかたちで示す例。





3-4-3 シンボルマークの検討(3)　資料(横浜市における シンボルマーク)



● 保土ヶ谷区のシンボルマーク



● 磯子区のシンボルマーク



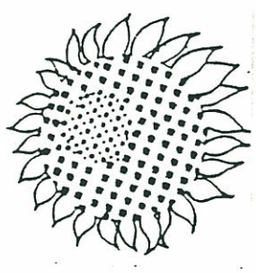
● M.M.21のシンボルマーク



● 新本牧のシンボルマーク



● 旭区のシンボルマーク



● 港南区のシンボルマーク



● ポート・オブ・ヨコハマのシンボルマーク



● 神奈川区のシンボルマーク



● 西区のシンボルマーク



● 市営地下鉄のシンボルマーク

3-5-1 表示内容の更新システム

◎部分的に情報を追加する場合

シルクスクリーン・プロセスによつて、現場で直接刷り込む。

◎情報を部分的に更新する場合

文字情報やピクトグラム等点的なものの場合は、薬品によって消して、直接刷り込んで更新する。ただし、地図などと重なっている場合は不可。

そのほかの場合は、パネルごとの更新となるが、ステンレス・ヘヤーラインでは、印刷を全面的に削った上でヘヤーラインをかけなおす。パネルを全面的に取り替えるよりは安い。

鋳鉄やコンクリートへの直か刷りの場合は、更新は困難である。

◎その他

最近のシルクスクリーン・プロセス用のインクは、かなり堅牢になっているので、表示面が痛むのをまって更新を考えることは、あまり現実的ではない。

第4章 モデル地区への展開

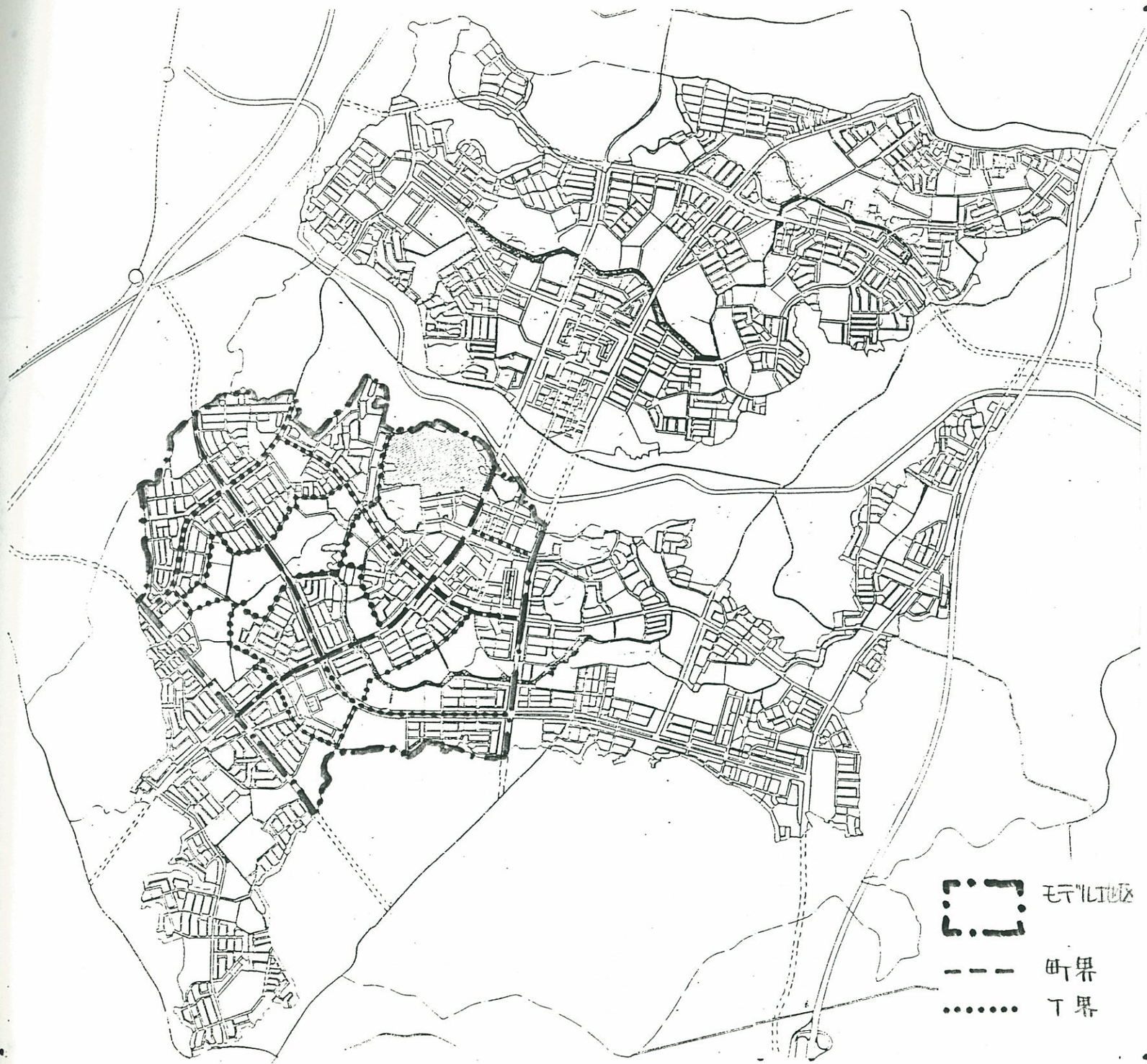
1. モデル地区の設定
   1. モデル地区の設定
   2. モデル地区内の案内対象施設等

2. サイン配置計画のモデル
   1. 一般道及び歩専道内サインの配置計画案(1)
   2. 一般道及び歩専道内サインの配置計画案(2)
   3. 公園・緑道内サインの配置計画案(1)
   4. 公園・緑道内サインの配置計画案(2)

3. 必要サインの数量とコスト概算
   1. 一般道及び歩専道内サインの数量とコスト概算
   2. 公園・緑道内サインの数量とコスト概算

4. バス・ストップシェルター
   1. バス・ストップシェルター(第1案・第2案)
   2. バス・ストップシェルター コスト試算(直接工事費)
   3. バス・ストップシェルター(アイデア案)

4-1-1 モデル地区の設定



● モデル地区の設定

初期利用開始部分を含む左図のエリアをモデル地区とする。

4-1-2 モデル地区内の案内対象施設等



● 凡例

A 学校及び公共公益施設

- 01 荏田高校
- 02 荏田南中
- 03 計画中
- 04 荏田南小
- 05 荏田東第1小
- 06 計画小(1)
- 07 〃 (2)
- 08 〃 (3)
- 09 〃 (4)
- 10 計画駅
- 11 余熱利用施設
- 12 病院

B 公園

- 01 総合公園
- 02 地区公園
- 03 近隣公園
- 04 〃
- 05 〃
- 06 都市緑地

4-2-1 一般道及び歩車道内サインの配置計画案（1）

案内サイン（総合案内・バスストップ周辺地区案内）の配置計画案



凡例

- 駅前総合案内サイン（7ヶ所）
- バス停周辺案内サイン（42ヶ所）

4-2-2 一般道及び歩専道内サインの配置計画案(2)

まちかどサイン（大・小-1・小-2）の配置計画案

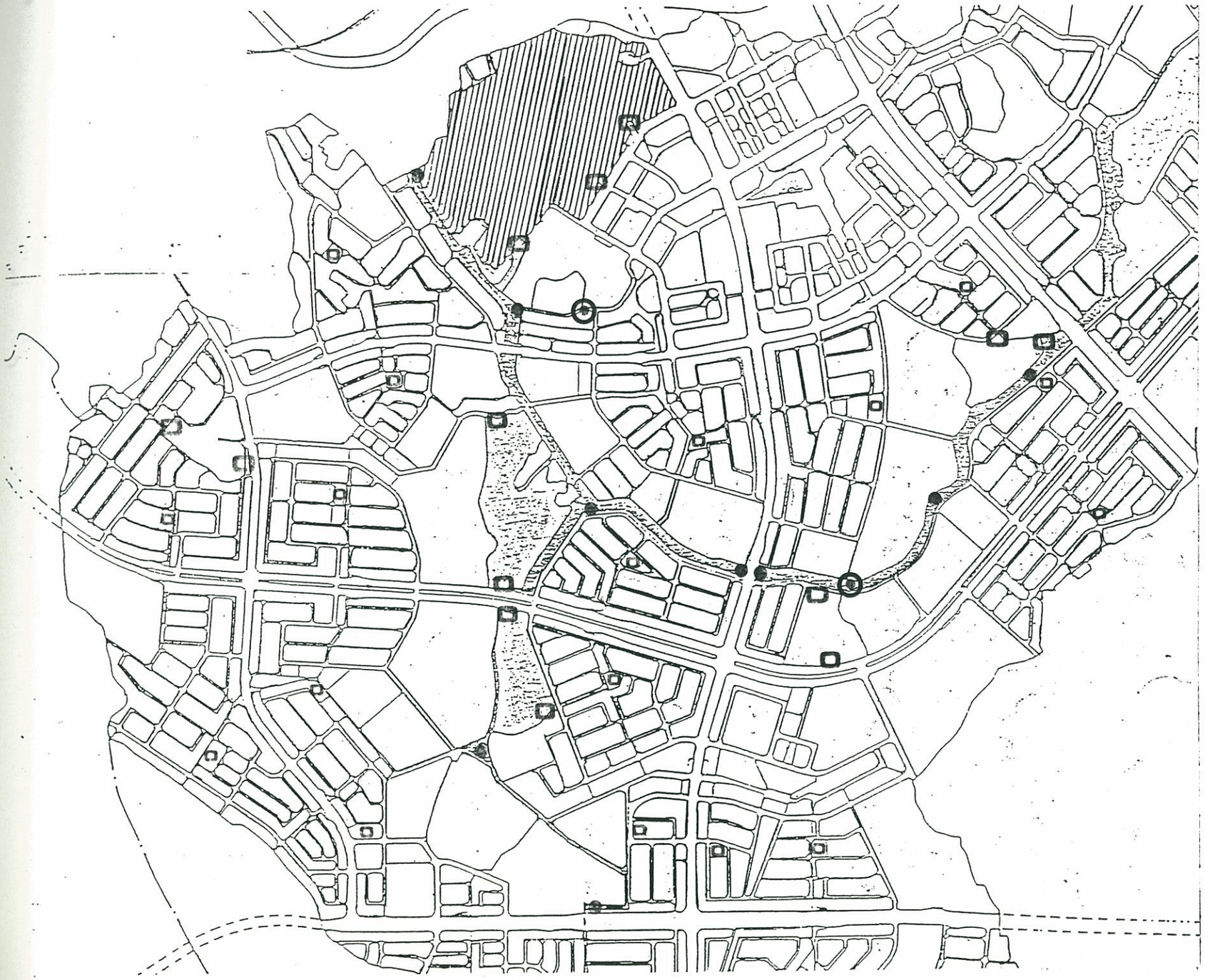


凡例

- まちかどサイン(大)　(30ヶ所)
- 〃　(小-1)　(62ヶ所)
- 〃　(小-2)　(31ヶ所)
- コミュニティ道路表示サイン　(28ヶ所)

4-2-3 公園・緑地内サインの配置計画案（1）

緑道名称・公園名称サインの配置計画案



凡例

- ◎ 緑道全体の案内サイン　（2ヶ所）
- ● 水系別緑道案内サイン　（9ヶ所）
- ▭ 公口名称サイン　（13ヶ所）
- ▫ 児童公口名称サイン　（17ヶ所）

4-2-4 公園・緑地内サインの配置計画案（2）

コミュニティしるべの配置計画案



凡例
- ▲ 地名サイン　（3ヶ所）
- ● サイクリングロードサイン　（4ヶ所）
- ● ジョギングサイン　（12ヶ所）
- ◻ 山頂ビスタサイン　（4ヶ所）
- ■ 読切連載解説サイン　（10ヶ所）
- ★ コミュニティボード　（1ヶ所）

4-3 必要サインの数量とコスト概算

4-3-1 一般道及び歩専道内サインの数量とコスト概算

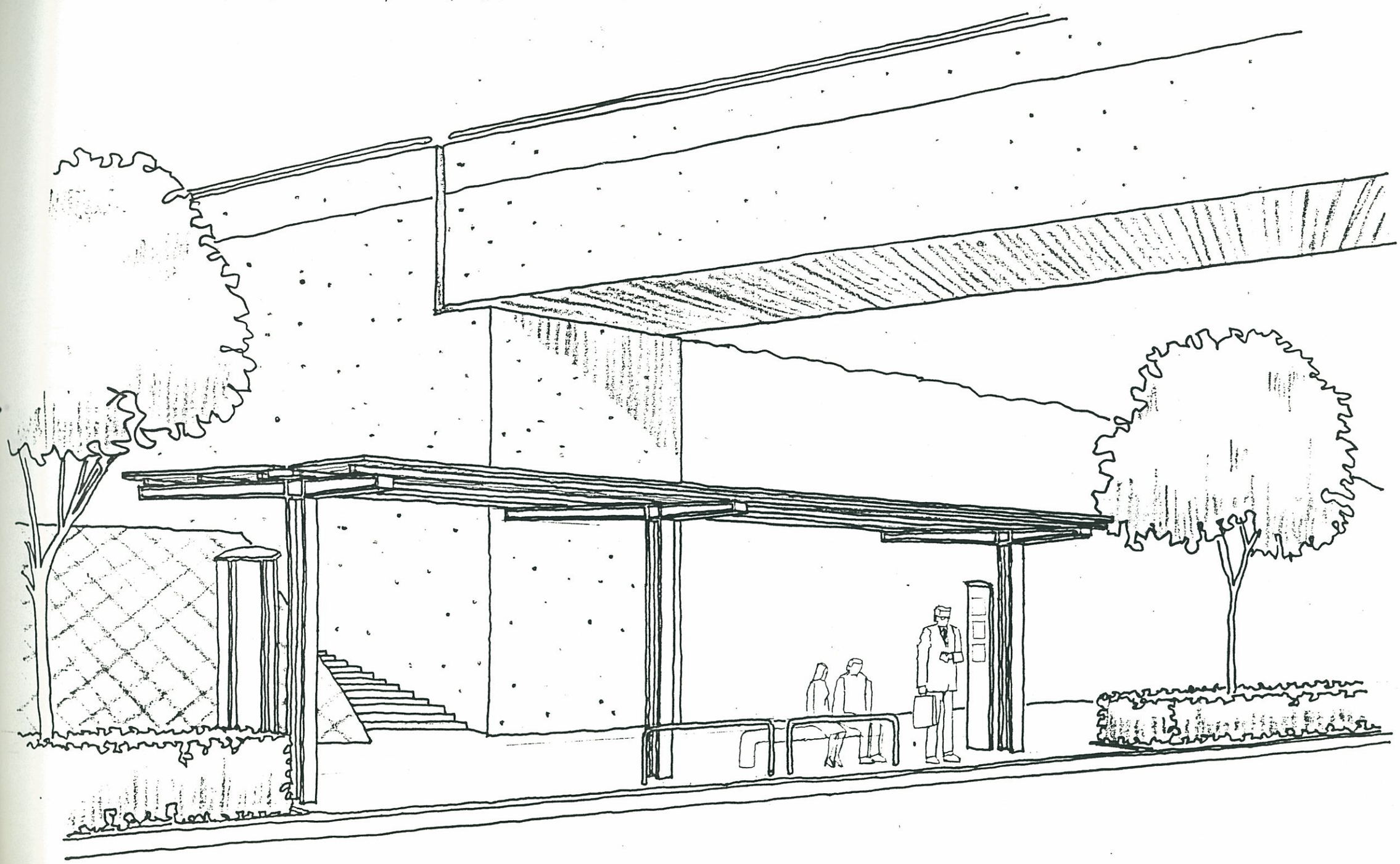
設置位置＼サイン	駅前総合案内サイン	バス停周辺案内サイン	まちかどサイン(大)	まちかどサイン(ルート1)コレクター道路	まちかどサイン(ルート2)歩専道	コミュニティ道路表示サイン	計　(万円)
一般道		42ヶ所	30ヶ所	52ヶ所		28ヶ所	8.860
歩専道	2ヵ所				30ヶ所		1.100
単価　(万円)	250	80	100	40	20	15	
計　(万円)	500	3.360	3.000	2.080	600	420	9.960 万円

4-3-2 公園・緑道内サインの数量とコスト概算

設置位置＼サイン	読切り連載解説サイン	グリーンアドベンチャー	樹名解説	緑道名称サイン	公園名称サイン	ジョギングサイン	サイクリングサイン	山頂ビスタサイン	山名サイン	生物相保護区	池名サイン	金石文	コミュニティボード	まちかどサイン緑道	計　(万円)
緑道・公園	10ヶ所	50 (読切り解説サインの5倍とする)	10	・全体案内 2ヶ所 ・木彫り 9ヶ所	・総合 近隣 地区公園 13ヶ所 ・児童公園 17ヶ所	12	4	4	4	7 (想定)	3	11	1 (都市緑地)	1	
単価　(万円)	45	1	4	45 30	100 25	3	5	40	15	15	15	5 (重複・オリ付)	50	20	
計　(万円)	450	50	40	360	1.725	36	20	160	60	105	45	55	50	20	3.176 万円

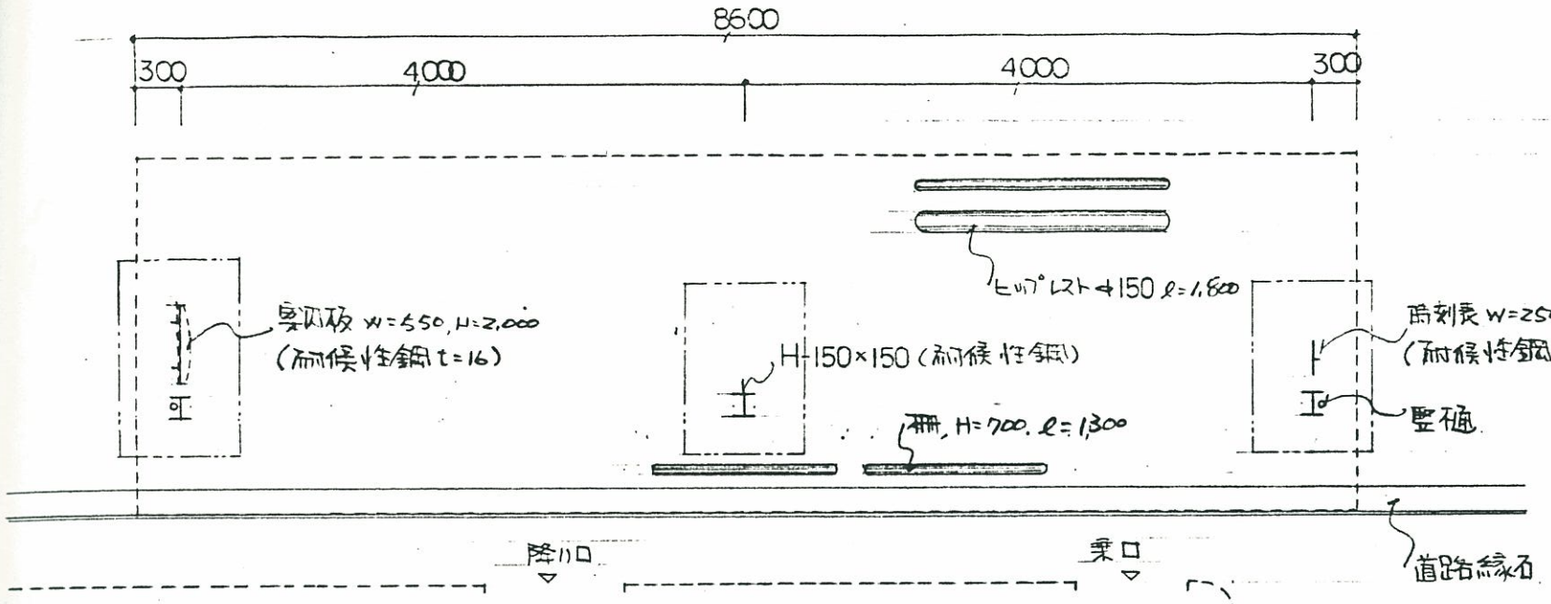
合計　13,136 万円

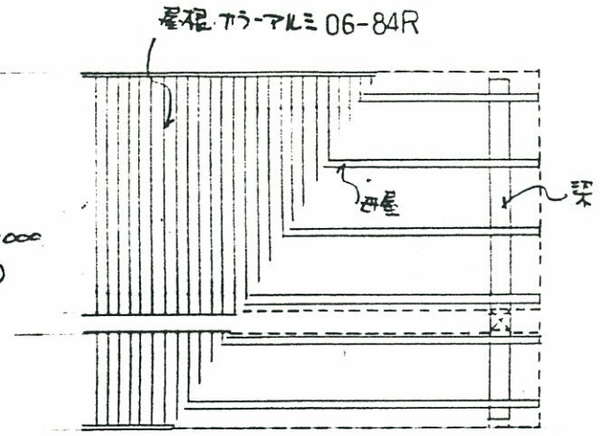
4-4-1 バスストップシェルター（第1案）イメージスケッチ

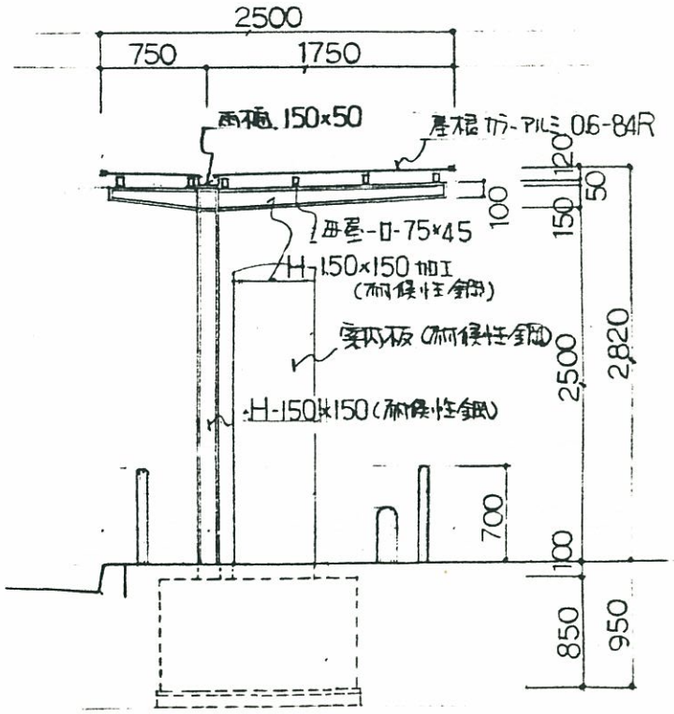


YAMATE PLANNING CABIN

4-4-1 バスストップ・シェルター（第1案）詳細図

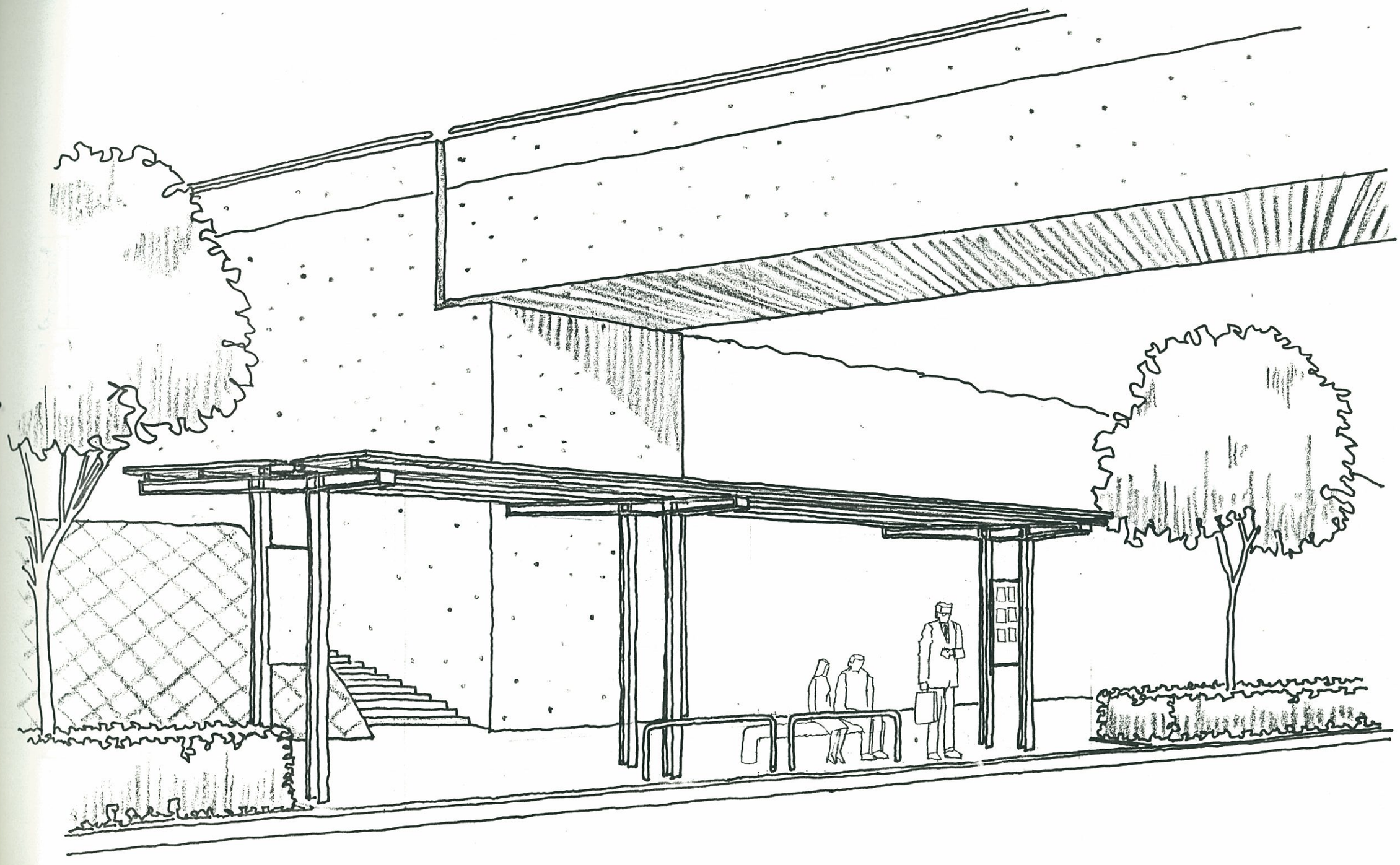




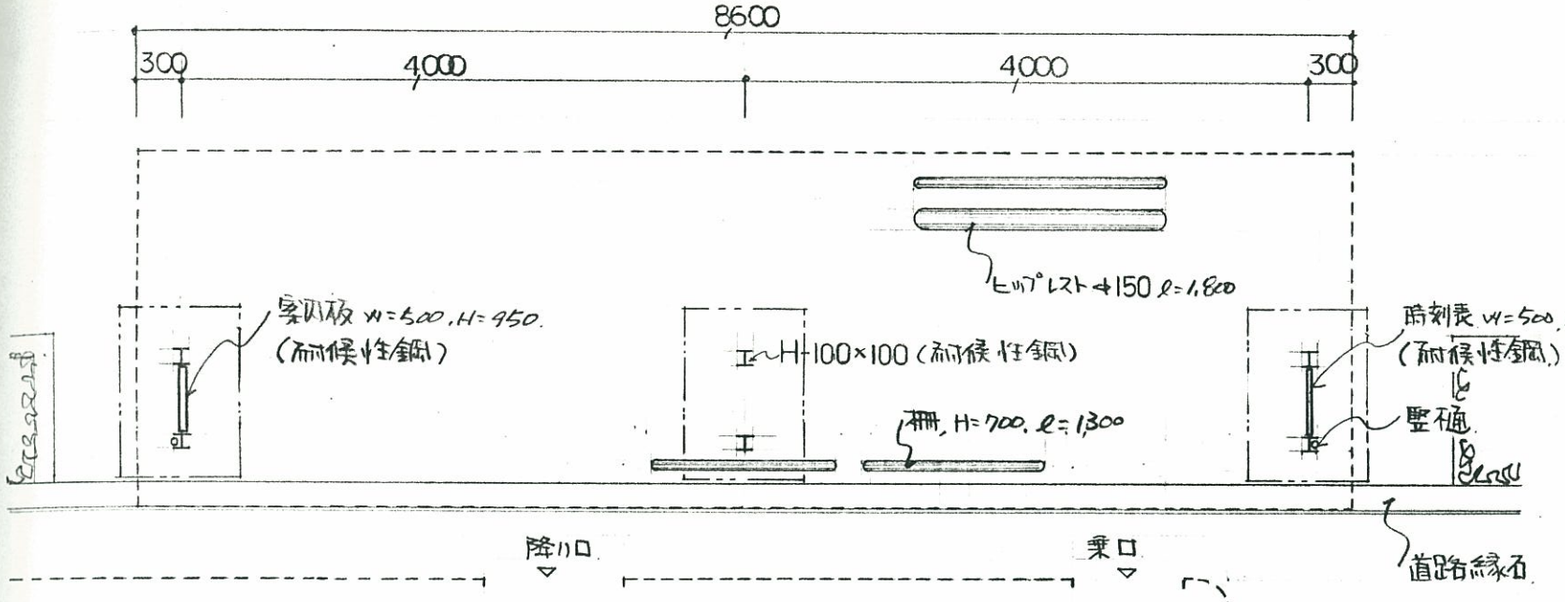


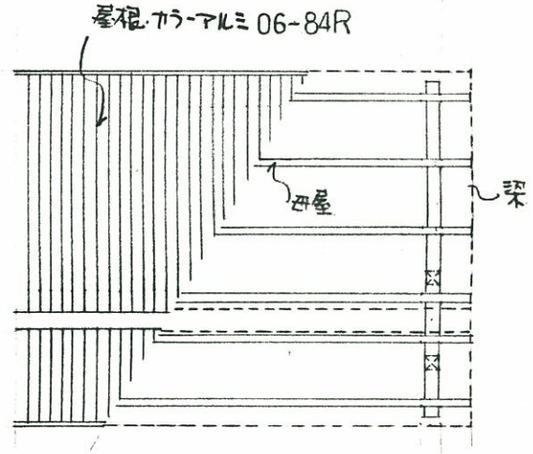
YAMATE PLANNING CABIN

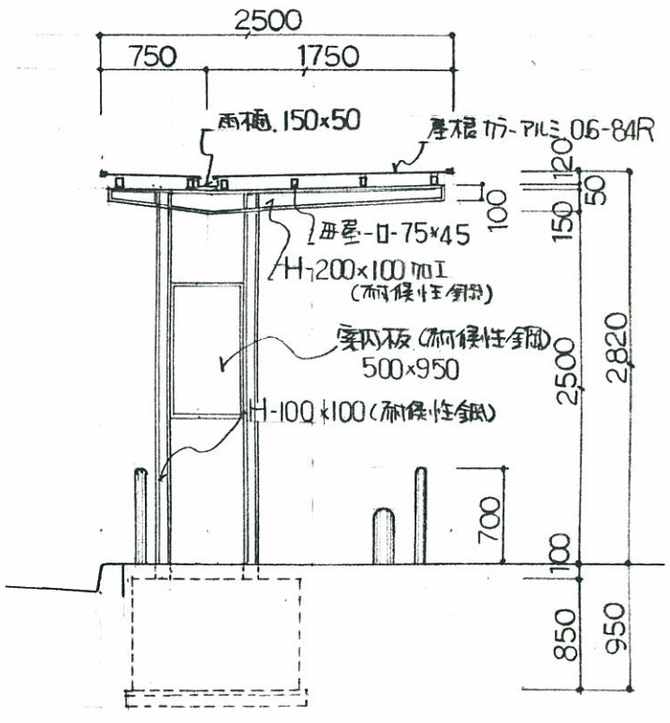
4-4-1 バスストップ シェルター（第2案）イメージスケッチ



4-4-1 バスストップシェルター（第2案）詳細図







4-4-2 バスストップシェルターコスト試算（直接工事費）

○第1案

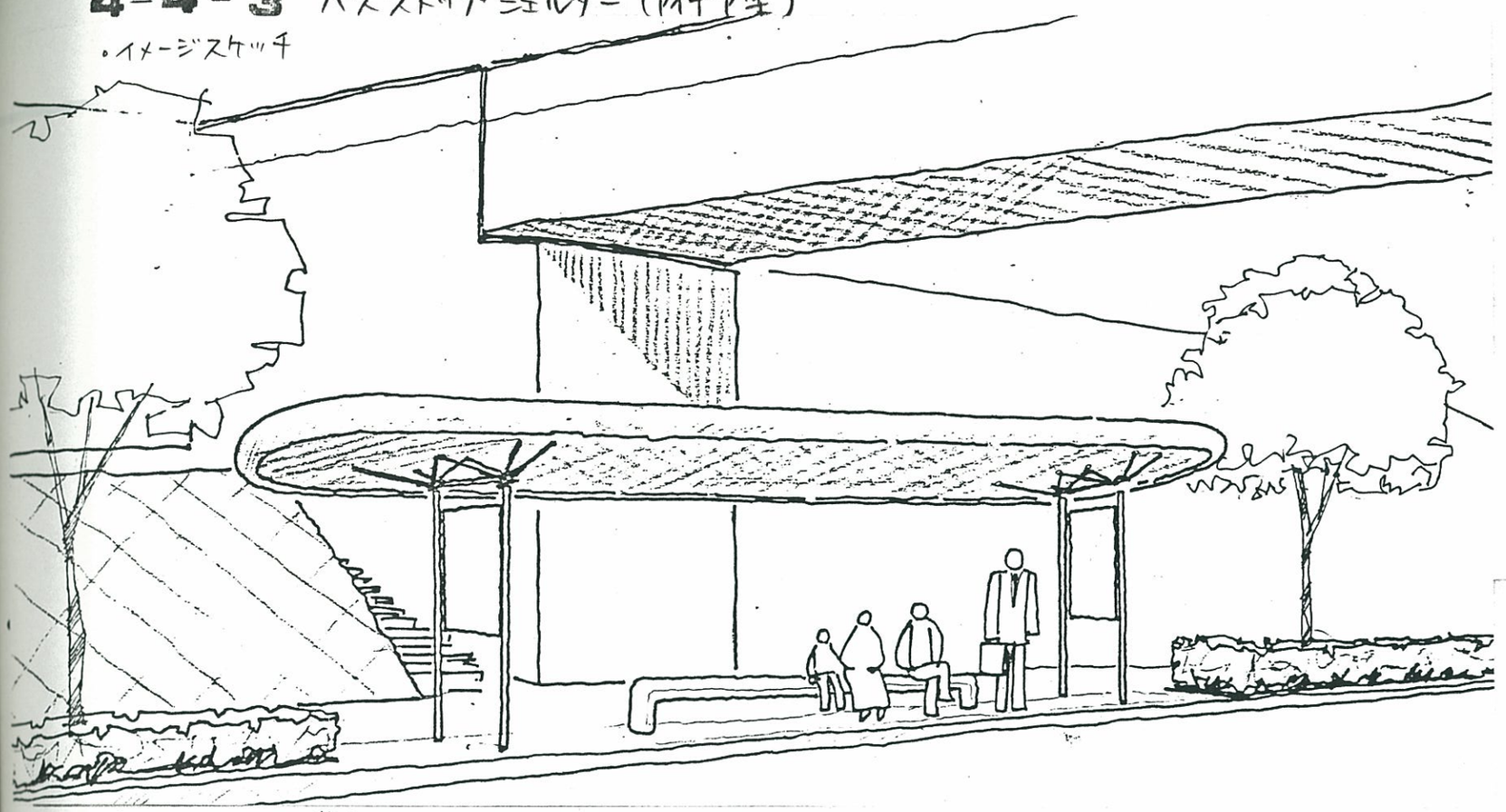
1. 鉄骨（材料，加工，処理）	650kg × 790円/kg =	513,000円
2. 鉄骨建方	650kg × 250円/kg =	162,500円
3. 基礎（3ヶ所）	一式	300,000
4. 屋根（カラーアルミt=0.6）	21.5㎡ × 20,000円/㎡ =	430,000円
5. その他（棚，ヒップレスト）	一式	100,000円
小　計		1,505,500円
		（70,000円/㎡）
6 サイン板（案内板）		402,000円
（時刻表）		95,000円
計		2,002,500円

○第2案

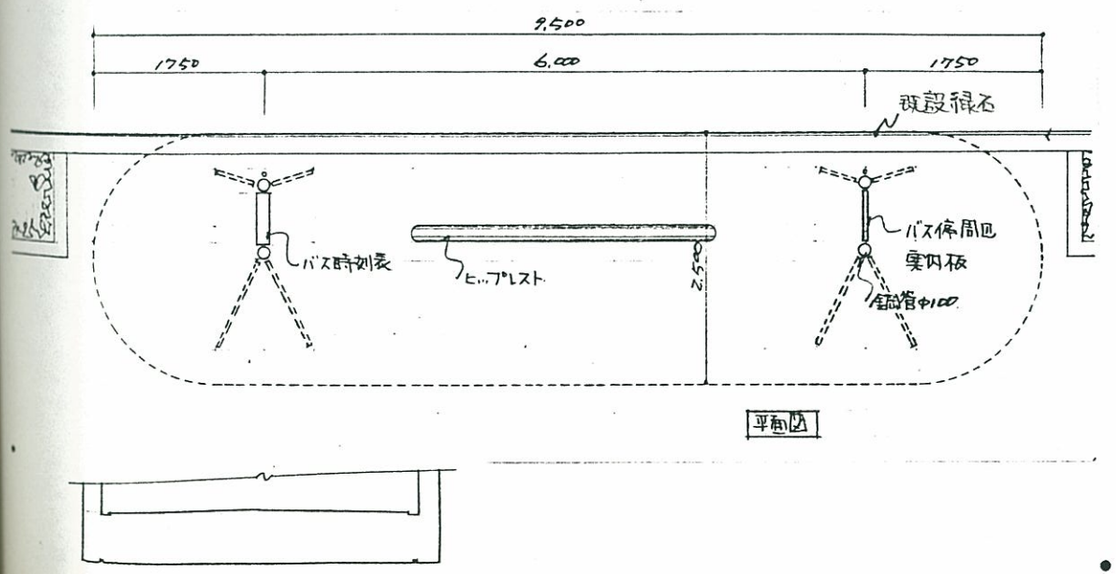
1. 鉄骨（材料，加工，処理）	670kg × 790円/kg =	529,300円
2 鉄骨建方	670kg × 250円/kg =	167,500円
3. 基礎（3ヶ所）	一式	300,000円
4. 屋根（カラーアルミt=0.6）	21.5㎡ × 20,000円/㎡ =	430,000円
5 その他（棚，ヒップレスト）	一式	100,000円
小　計		1,526,800円
		（71,000円/㎡）
6 サイン板（案内板）		312,000円
（時刻表）		120,000円
計		1,958,800円

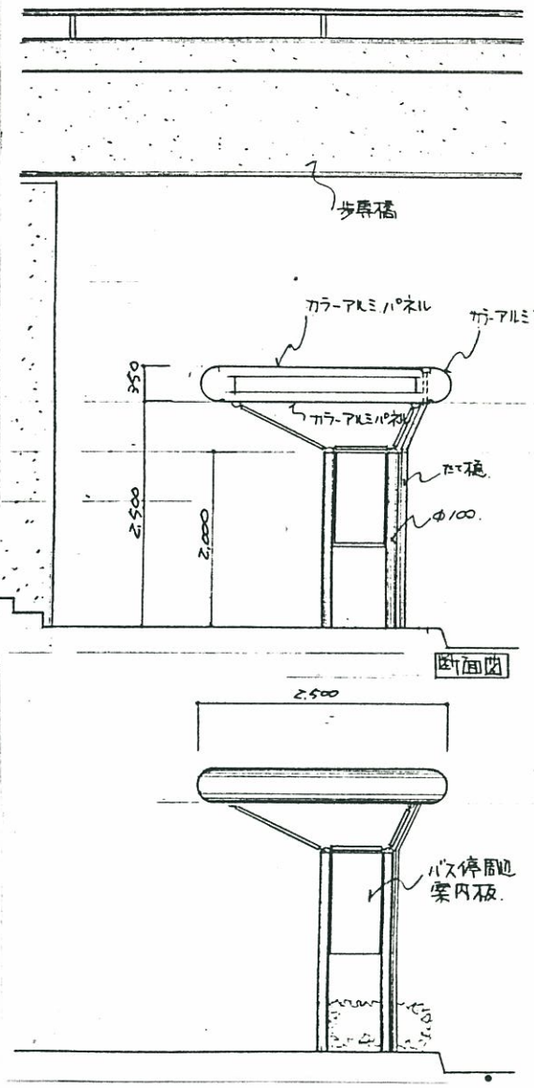
4－4－3 バスストップシェルター（アイデア集）

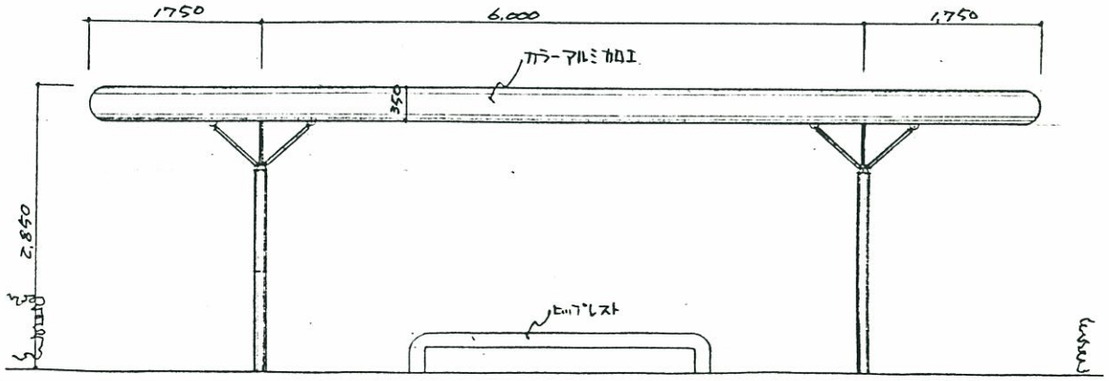
・イメージスケッチ



バスストップシェルター　詳細図（S＝1/50）







※コストは17万円/m²（基礎含む）、一つ当り約450万円

YAMATE PLANNING CABIN

第5章　サイン基本設計

1. ビジュアルエレメントデザイン
   1. 書体の選定
   2. オリエンテーションとスケールのデザイン案
   3. 現在地マークのデザイン案
   4. 案内図表示―バス停に設置する地区案内サインの案内図の表示原則
   5. カラーリング
2. グラフィックデザイン
   1. 表示板のグラフィックデザイン
3. 一般道及び歩専道内サインのプロダクトデザイン
   1. PCコンクリートによるサイン
   2. メタルキャストによるサイン
   3. 耐候性鋼によるサイン
   4. P.Cコンクリート柱によるサイン
   5. アルミ型材によるサイン
   6. コミュニティ道路表示サイン
   7. 表示板の取付け詳細
   8. 一般道及び歩専道内サインのコスト比較
4. 公園・緑道内サインのプロダクトデザイン
   1. 読切連載解説サイン
   2. 史蹟解説サイン・緑道名称サイン
   3. 樹名・小動物名等解説サイン A案
   4. 樹名・小動物名等解説サイン B案
   5. 自然石による公園名称(公園案内)及び緑道名称(緑道案内)サイン
   6. コミュニティしるべのコスト試算

5-1-1 書体の選定 (1)

1) 書体(和文)の比較と選定案

書体名、級数、

◎ 港北ニュータウン ── 港北ニュータウン ── ゴナB、44級、正体、字間送り 左：44歯(ベタ)送り 右：ツメ印字

港北ニュータウン ── 港北ニュータウン ── 石井特太ゴシック体(EG-KL) 44級、正体、字間送り 左：44歯(ベタ)送り 右：ツメ印字

港北ニュータウン ── 港北ニュータウン ── Eナール、44級、正体、字間送り 左：44歯(ベタ)送り 右：ツメ印字

港北ニュータウン ── 港北ニュータウン ── 石井特太明朝体(EM-A-NKL) 44級、正体、字間送り 左：44歯(ベタ)送り 右：ツメ印字

● 使用書体 ──「ゴナ」選択の理由

- 直線処理を主体とした、シャープでスピード感のある書体である。
- カナの字枠が漢字と同様に大きくとられているためラインが揃う書体である。そのため、バランスがとれ、視認性・可読性が高い書体である。
- ファミリーが多いため活用範囲が広く、案内板・方向指示板・その他の設置タイプに対応した文字の選択幅がある。また、いろいろな仕上げの加工にも対応しやすい書体である。

＊使用書体は、写植印字したものを使用する。

5-1-1　書体の選定 (2)

2) 書体 (和文) ―― 「ゴナ」のファミリー

	書体名
港北ニュータウン ―― 港北ニュータウン	ゴナM
港北ニュータウン ―― 港北ニュータウン	ゴナD
港北ニュータウン ―― 港北ニュータウン	ゴナDB
港北ニュータウン ―― 港北ニュータウン	ゴナB
港北ニュータウン ―― 港北ニュータウン	ゴナE

＊ 印字級数は 44級. 正体。
字間送りは左が44歯 (ベタ) 送り
右がツメ印字。

＊ 上記書体の他に. 最も細い書体で
ゴナL が、最も太い書体でゴナUがある。

5-1-1 書体の選定 (3)

3) 書体(数字と英字)——書体の併記

- 書体は、ユニバースを使用する。
- ゴナ(和文)の書体とユニバースとの組合せは下記の通りである。

[数字の併記]

ゴナDB —— ユニバース55・メディウム (E102-24)

ゴナB —— ユニバース65・デミボールド (E102-34)

[英字の併記]

英字は和文よりも長くなることを考慮し、全てユニバース・メディウム・コンデンス (E102-22) とする。但し、地図内での使用に限る。

- 数字の大きさは、和文の天地寸法に揃えることとする。
- 英字の大きさは、下記の通りである。

和文の級数	英字の級数
38級	28級 (1.35)
32級	24級 (1.33)
28級	20級 (1.4)
24級	18級 (1.33)
20級	15級 (1.33)

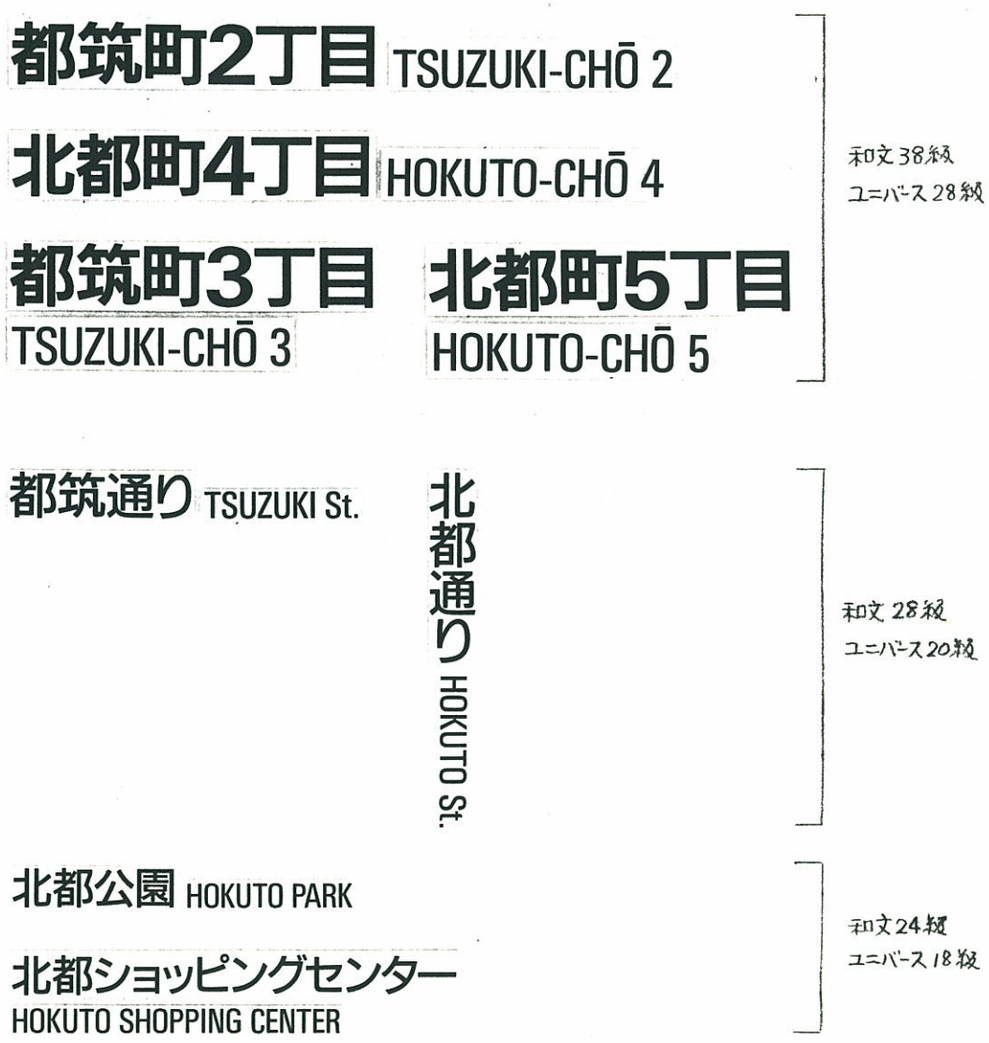
*( )内の数字は割合である。上記以外の大きさの場合はこれらの比率を参考にすることとする。

- 和文が上、英字が下に配置される場合の行間は、和文天地の1/3のアキを標準とする。

(注)英文の使い方

横浜のまち 港北ニュータウンらしさを表現すること、および外国人利用者が、他の団地にくらべて多いことなどを考慮して地図内の表記に英文を用いる。ただし、案内系統すべてに表示するときわめて煩雑になるため、案内サイン地図内の全てには用いない。

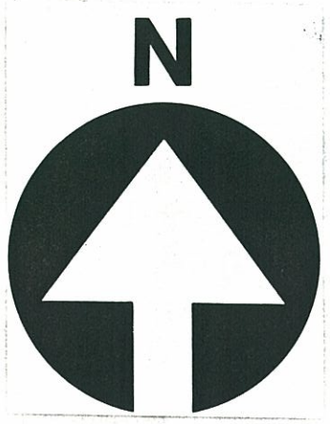
[組合せ例] (バス停留所前の案内板の場合)



5-1-2 オリエンテーションとスケールのデザイン案

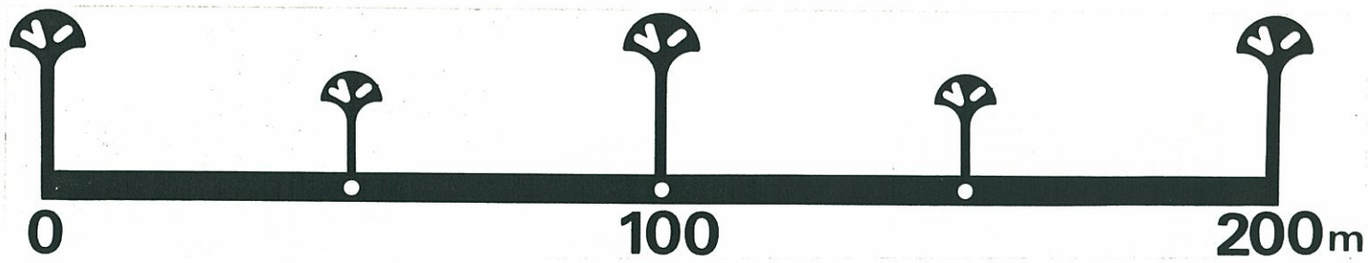
- オリエンテーションは、地図内では目立つ必要はないが、小さくとも面としての強さと、はっきりとした方向性を機能として持つ必要がある。これらを満たす処理として、面(正円)と方向性(矢印)を組合せ、さらに一般化しているアルファベットのNを併記している。

[例]





- スケールは地図内では重要な情報である。それにもかかわらず、デザインはつけ足し的な処理にされることが多い。
  右の例は、楽しさを感じとってもらうことと同時に、機能を強調させるために目盛り線を神奈川県の県木であるイチョウをデザイン化したものである。





- 英字と数字は、ユニバース65・デミボールドを使用。

5-1-3　現在地マークのデザイン案

- 現在地マークは、設置されている案内板の位置と見る人の関係が適確に表現されなければならない。
- 案内板の設置場所に、帯状の板面を合わせ、見る人が表示面と向かい合う形で視覚化されていることが望ましい。
  また、設置場所は縦・横・斜めなど多種にわたるため、デザイン処理はこれらの条件を満たす必要がある。
- マークには「現在地」の文字と英文を併記する。

[例]

A案





B案





5-1-4 案内図表示 ― バス停に設置する地区案内サインの案内図の表示原則

● 表示項目	● 表示の仕方	● 和文の書体	● 級数（ ）内は英字	● ピクトグラム	● 記号	● 備考
○ 道路　一般道　車道	形状の面処理	ゴナＤＢ＊	２８級（２０）			・文字表示は主要道路
歩道	形状の面処理					
歩行者専用道	形状の面処理	ゴナＤＢ	２０級	表示＊		・ところどころに表示
緑道	形状の面処理	ゴナＤＢ	２０級	表示＊		・ところどころに表示
○ 住宅地	形状の面処理	ゴナＤＢ＊	３８級（２８）			・町丁名
		ユニバース６５＊	（２０級）			・数字のみ表示．地番
丁目区分	点線処理					
○ 公園　地区・近隣公園	形状の面処理	ゴナＤＢ	２４級（１８）	表示		・面処理に模様を入れる
児童公園	形状の面処理	ゴナＤＢ	２０級	表示		
池	形状の面処理	＊		表示		・主要なもの
水路	形状の面（線）処理					
○ 河川	形状の面（線）処理	ゴナＤＢ	２４級			
○ 学校	形状（区域と建物）の面処理	ゴナＤＢ	２４級（１８）＊	表示		
○ 公共施設	形状（区域と建物）の面処理	ゴナＤＢ	２４級（１８）	表示＊		・各種施設
○ センター	形状（区域と建物）の面処理		２４級（１８）			
○ 駐車場	形状の面処理			表示		
○ 公衆電話・便所・ポスト				表示		
○ 橋	形状の面（線）処理	ゴナＤＢ	２０級			
○ バス停留所		ゴナＤＢ	２０級	表示		

注）ベース地図は、2500分の1を使用する。色彩表示については別紙参照

5-1-5 カラーリング (1)

1) 色彩の設定

(1) 港北ニュータウン基準色の設定

①落ちつきや安らぎ、同時に力強い生命力などを表出できる色。

②自然に恵まれている港北ニュータウンの特質にイメージ上で一致するとともに、自然の緑との「心理的な補色」の関係にあることによって、「色相の対象による調和」を保てる色。

以上の視点から、6YO（黄味を持った茶）を選定し、同色のトーン系列による段階から6色の同系色を選び基準色として設定した。

基準色は、地図表示の背景的な色として多様したり、サイン本体の色として用いて、ニュータウン全体にわたって散見できることで、港北ニュータウンの基礎的な色彩イメージを統一的につくることを意図している。（次頁の表参照）

(2) 変化づけのための色の設定

①基準色が背景的な色なのに対して、変化づけを行う色を設定する。

②変化づけの色は、若さ、活気、楽しさ、近代性等のイメージを表出できる色。

③ただし、基準色との色面積比を大きくし、変化色は小さなポイントや線状で用いる。

④変化づけのなかにも統一性を持たせるため、複数の変化色はトーンが統一するよう選定する。

⑤色相の間隔が知覚的に等間隔になるよう選定する。

以上の視点から、心理的には最も鮮やかな色に感じる「ビビッドトーン」から色を選定した。トーンを同一にすることで、「トーンの同系による調和」も変化色群全体で作ることとなる。

(3) 変化づけ 色の使い方

変化色は地図表示の線や記号に用いたり、町単位のシンボルカラーとして設定したりする。（次々頁の表を参照）

5-1-5 カラーリング (2)

2) 基準色の選定案

色番号*1	色名	色見本	使い方の原則*2
734	膚色	DIC 734 膚色(はだいろ)	地図の背景色や，サインの構造体，柱に使用。
735	杏色	DIC 735 杏色(あんずいろ) 3版	
742	萱草色	DIC 3版	地図内の道路(全体概略図などの道路を色で表示する場合)や，鉄道の表示に使用。
748	金茶色	DIC 3版	
F80	カフェ	DIC F80 Café カフェ 1版	
F256	サングリエ	DIC F256 Sanglier サングリエ 1版	サインの構造体や柱に使用。文字の一部に使用。(例えば拡大図で道路を白抜きで表示した場合の道路名)など
960	墨色	DIC 960 墨色(すみいろ) 3版	文字。薄めて集合住宅や学校等の建物表示に使用。

*1 DIC番号

*2 色によっては薄めて使う場合もある。

3) 変化づけ色の選定案

(大日本インキ化学「日本の伝統色」「フランスの伝統色」より選定)

色番号*1	色名	色見本	使い方の原則*3
715	薔薇色	DIC 3版	ショッピングセンター地区表示(面)
F87	カピュシーヌ	DIC 1版	図書館等の文化施設地区表示(面)
805	たんぽぽ色	DIC 3版	行政支所等の公的施設地区表示(面)
830	鶸色	DIC 3版	医療施設地区表示(面)
829	若草色	DIC 3版	児童公園，近隣公園等公園関係地区表示(面)(樹木を暗示するような質的表示を重ねる。)
846	鸚鵡緑	DIC 3版	
F57	ブルー・ヴェルダス	DIC 1版	緑道・ペディ
F41	ブルー・ジターヌ	DIC F41 Bleu gitane ブルー・ジターヌ 1版	河川表示
F128	ジャンシャーヌ	DIC 1版	湖沼・池
F269	チュリップ	DIC F269 Tulipe チュリップ 1版	公的施設や河川等の一部の名称に使用。
F90	スリーズ	DIC F90 Cerise スリーズ 1版	駅名・鉄道名・有料道路等の一部の名称に使用。

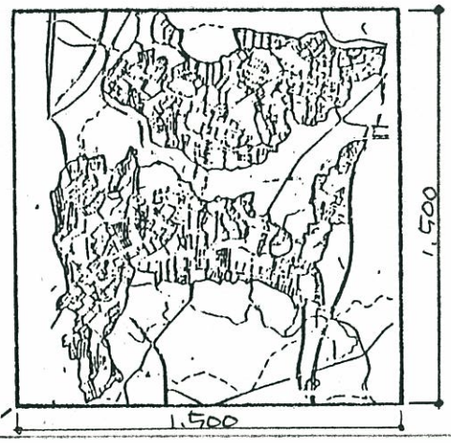
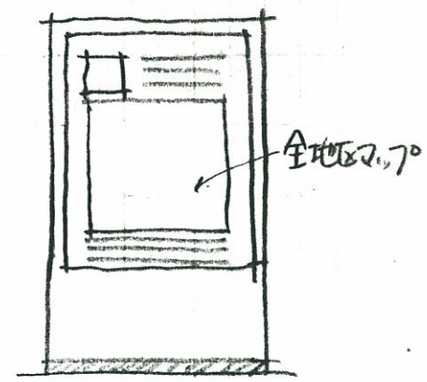
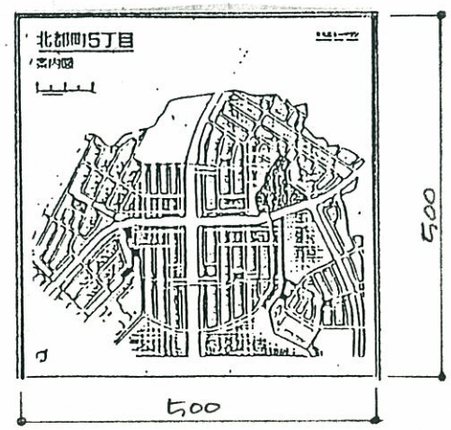
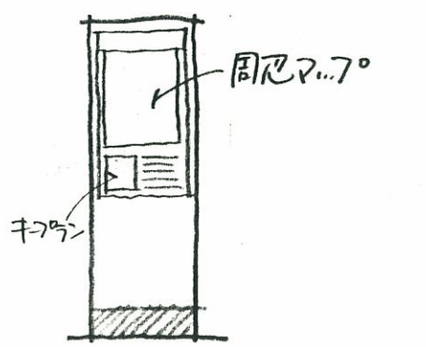
*3 色によっては薄めて使う場合もある。全色とも地区のシンボルカラーとして用いる。

5-2-1 表示板のグラフィックデザイン

1) 地図表示システム

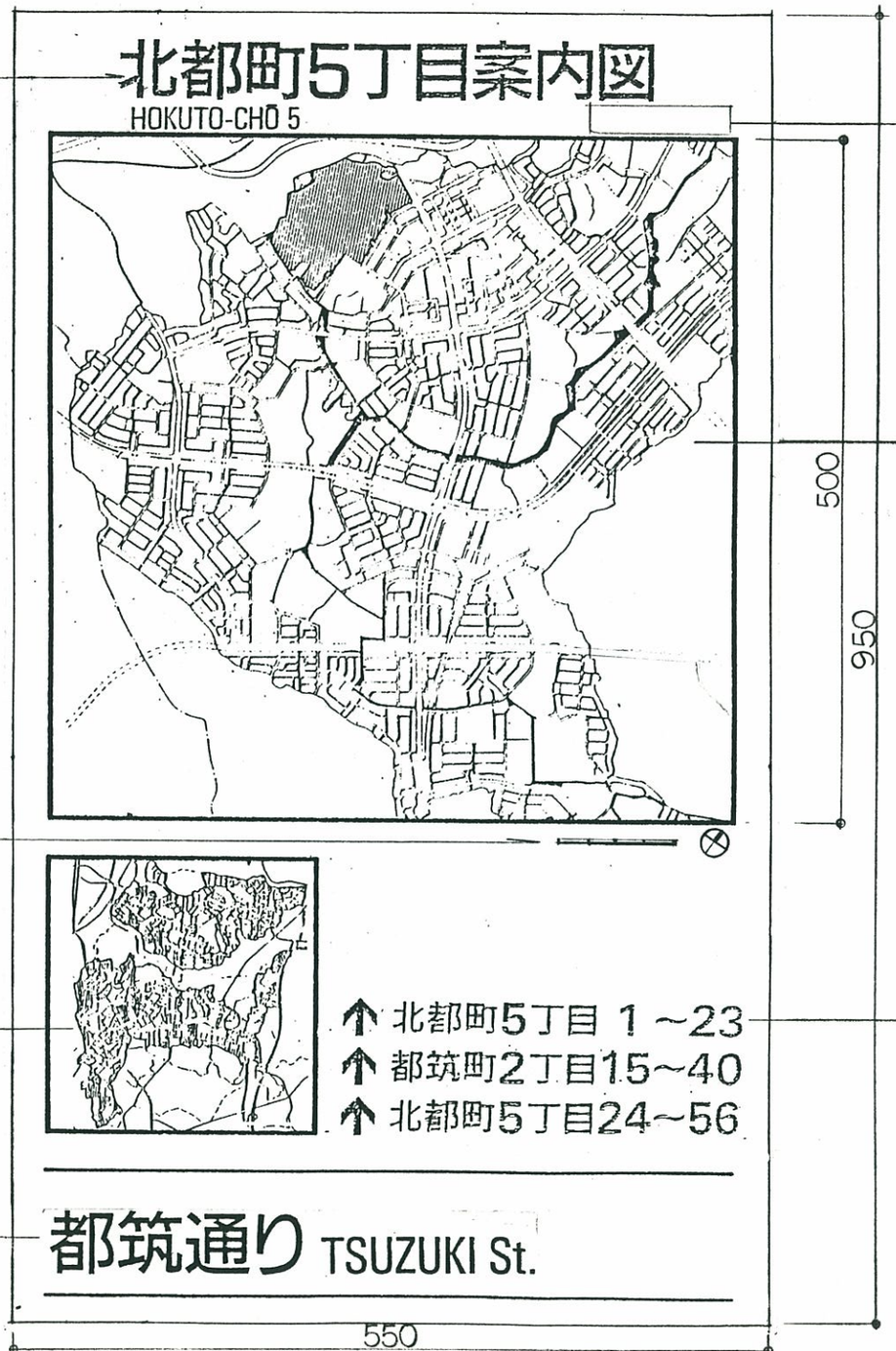
基本的な考え方

- 製作上の問題及び可視範囲より地図の最大サイズを 1500mm×1500mmとする。
- バス停周辺案内サインは必要数量が多いので、地図のサイズを小さくして、コストダウンをはかる。
- 地図表示システムは簡略でわかりやすいものとする。

	設置場所	地図表示の考え方	構成例
総合案内板	• 地区内計画駅 計 6ヶ所 （江田駅・あざみ野駅にも設置すべき）	 周辺交通系図 S = 1/20,000 ～ 1/25,000 ＋  	◦ 全地区を表示する。S=1/5000 ◦ 表現は、土地利用図程度のもの ・町名 ・駅名 ・公共公益的施設（ヒント） ・通り名	
バス停周辺案内板	• 地区内 各バス停 63ヶ所×2 計 126ヶ所	 全体のキープラン S = 1/40,000 ～ 1/60,000 ＋  	◦ バス停周辺の範囲、S=1/2500 で～3ヶ所のバス停で同一の掲示が使えるようにする。 ◦ 表現は土地利用図程度のもの ・町・丁・地番 ・公共公益的施設（ヒント） ・通り名	

5-2-1 表示板のグラフィックデザイン

2) バス停周辺案内サインのグラフィックデザイン例(A案)

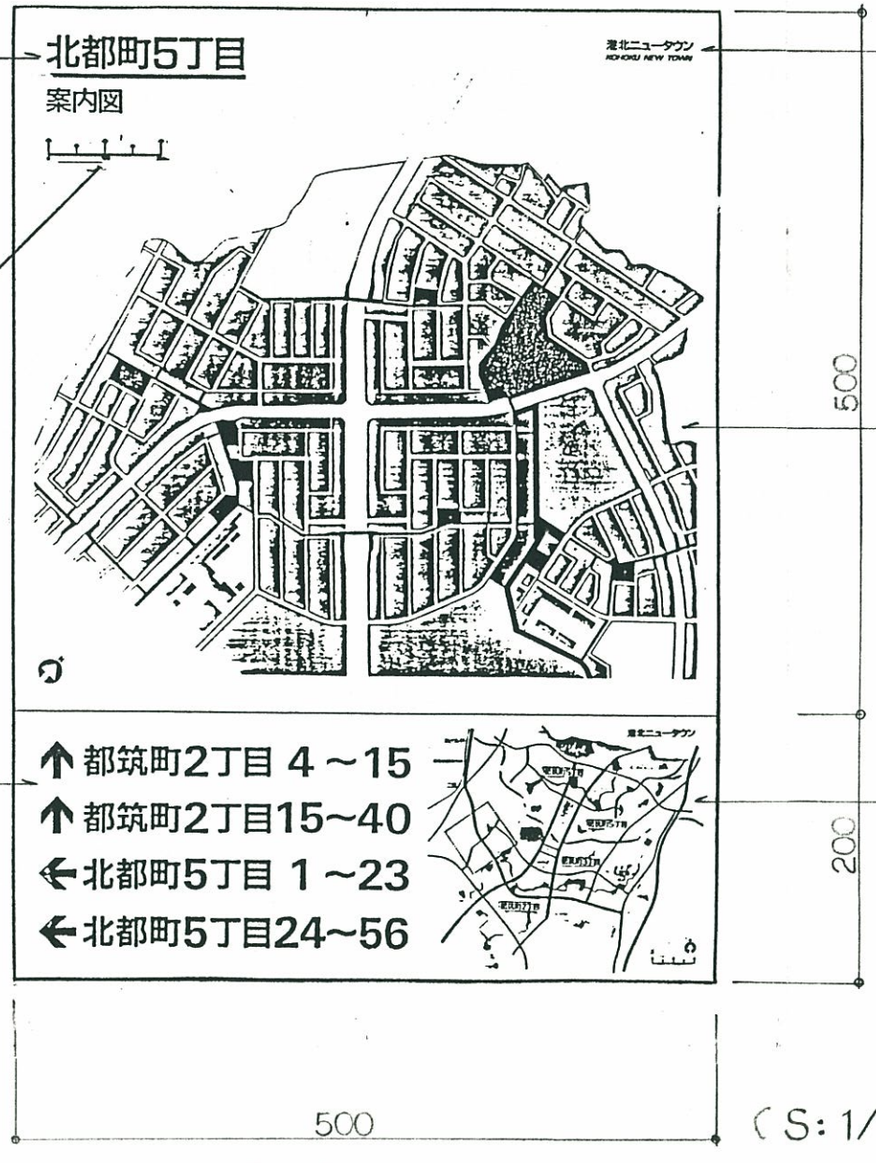


- タイトル文字を大きくとる。
  (10m程度離れても読めるよう5cm□程度)
  地図の中に入れない。
- ニュータウン名称
  英文併記
- 大圏域程の範囲を
  S=1/2500又は1/5000で表示する。
- 同一の版下を6~8ヶ所
  のバス停で使用する。
- 地区内外ともに表示
  するが色調を変えて
  違いを出す。
- オリエンテーション・スケール等
  も地図の中に入れず一定の
  位置に表示する。
- ニュータウン周辺交通細図
  20cm□の中に表示し幹線
  道路名,駅名等を表示する。
- 当該地点から徒歩
  範囲内にある町名・
  主要施設名等を表示
  し方向指示する。
- 通り名称を表示する。
  停車すればドライバーにも
  読めるよう5cm~8cm□程度

(S:1/5)

5-2-1 表示板のグラフィックデザイン

3) バス停周辺案内サインのグラフィックデザイン例（B案）



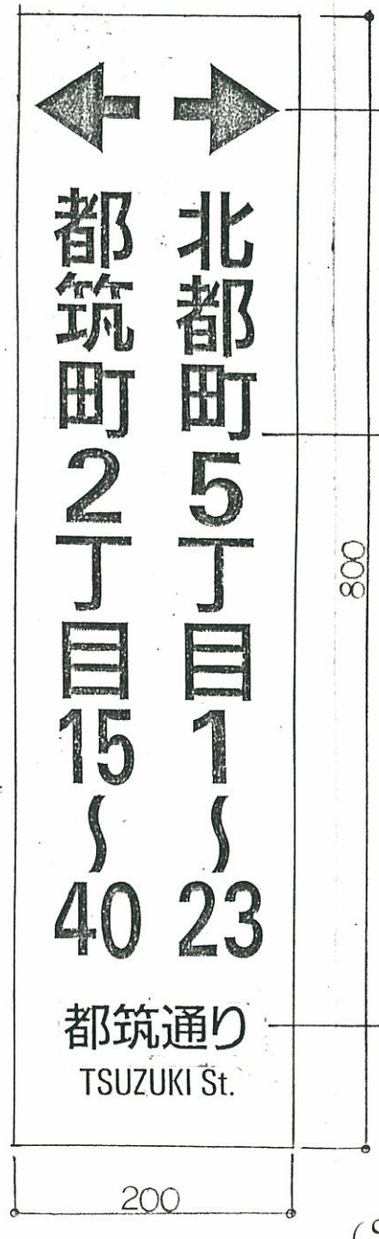
- 設置地点の町名表示
  「○○町○丁目周辺の御案内」
  といったタイトルとする。
- 表示は地区内のみとし
  余白にスケールオリエンテーション
  タイトル文字等を記入する
- 当該地点から徒歩範囲にある町名・主要施設名等を表示し方向指示する。
- ニュータウン名称
  英文併記
- 大圏域程度の範囲を
  S=1/2500で表示する。
- 同一の版下を6～8ヶ所のバス停で使用する。
- ニュータウン周辺の交通網図を
  200㍉×200㍉の範囲に表示し、幹線道路名駅名等を表示する。

（S:1/5）

5-2-1 表示板のグラフィックデザイン

4) 方向指示サインのグラフィックデザイン（案）

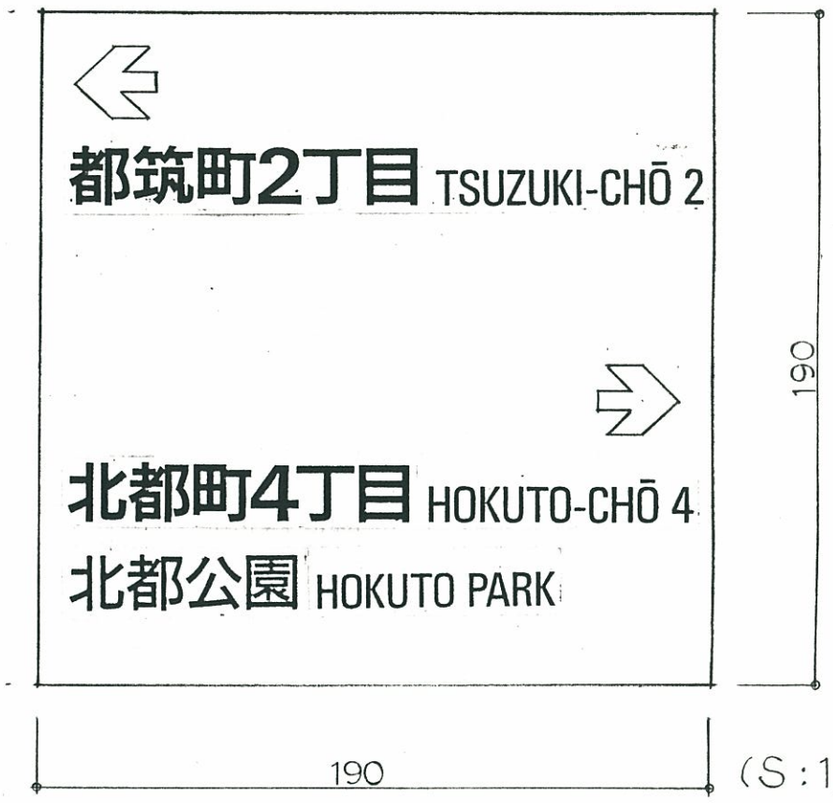
■ まちかどサイン（ハ-1）コレクター道路誘導サイン案



(S:1/5)

- ドライバーに対する方向指示サインであるので矢印は視認性の高いデザインとする。
- 車の走行速度を40km/h程度と想定し10m～20m程度の距離から判読できる様、文字の大きさは5cm□～10cm□以上とする
- 道路愛称を英文併記で表示する。

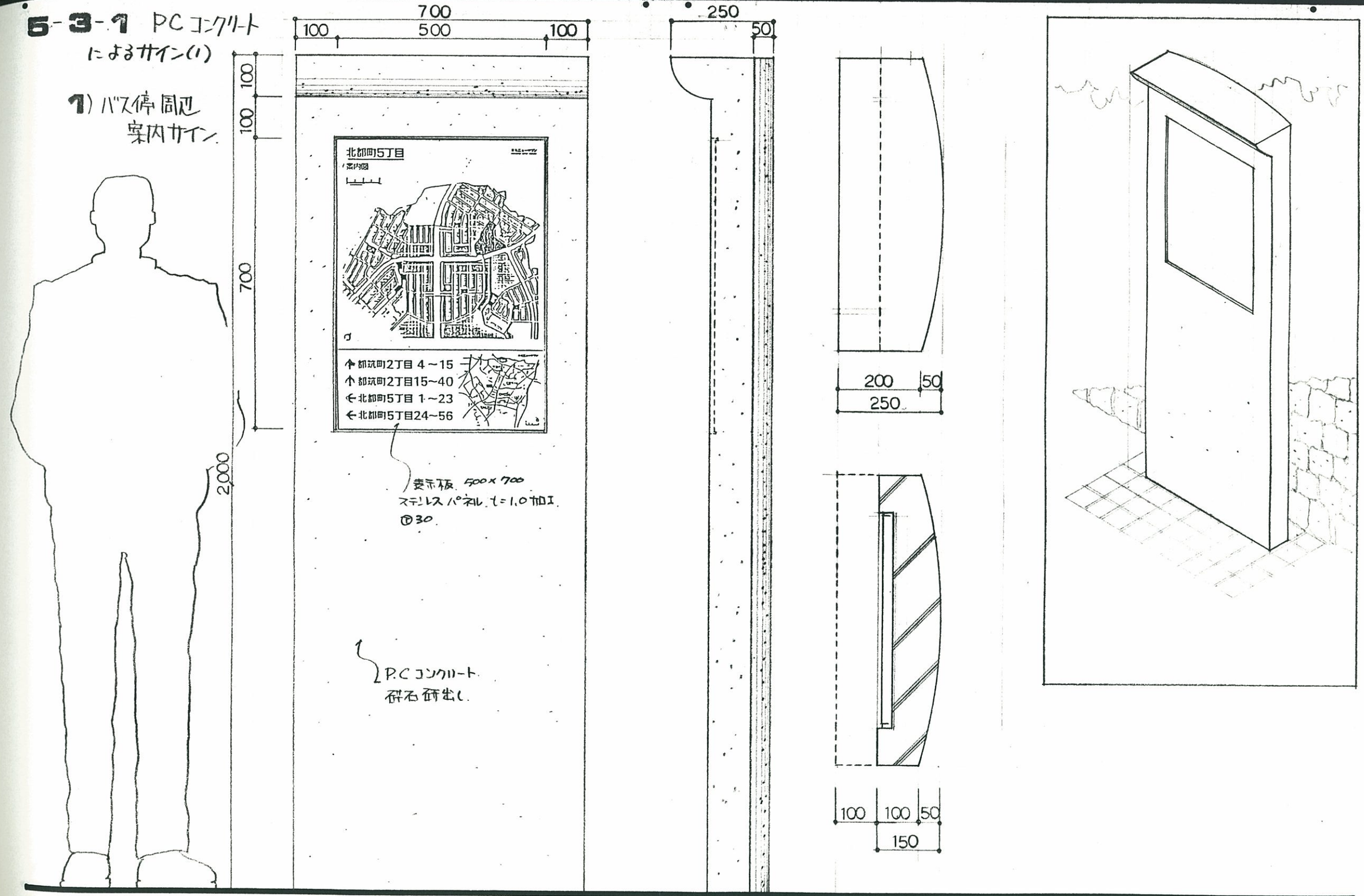
■ まちかどサイン（ハ-2）歩道・緑道内方向指示サイン案



(S:1/2)

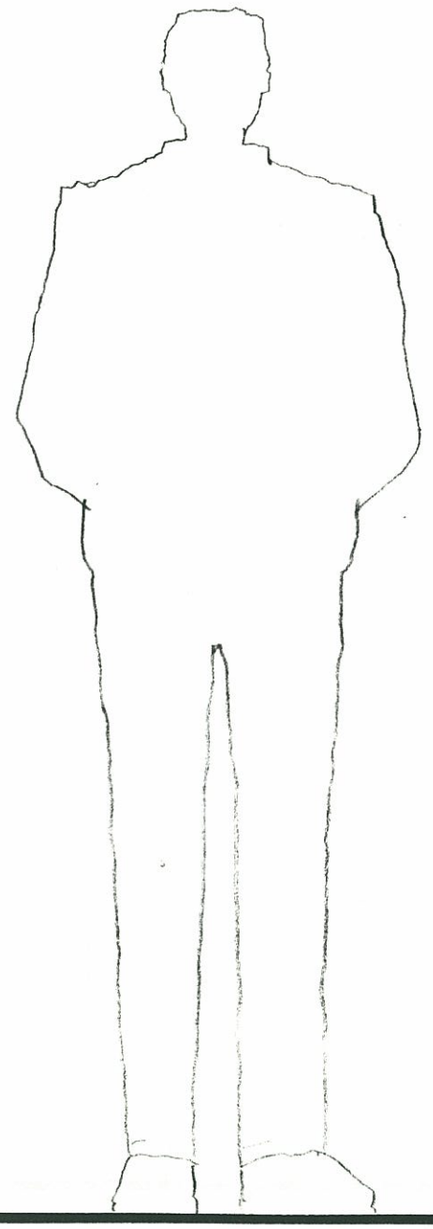
5-3-1 PCコンクリートによるサイン(1)

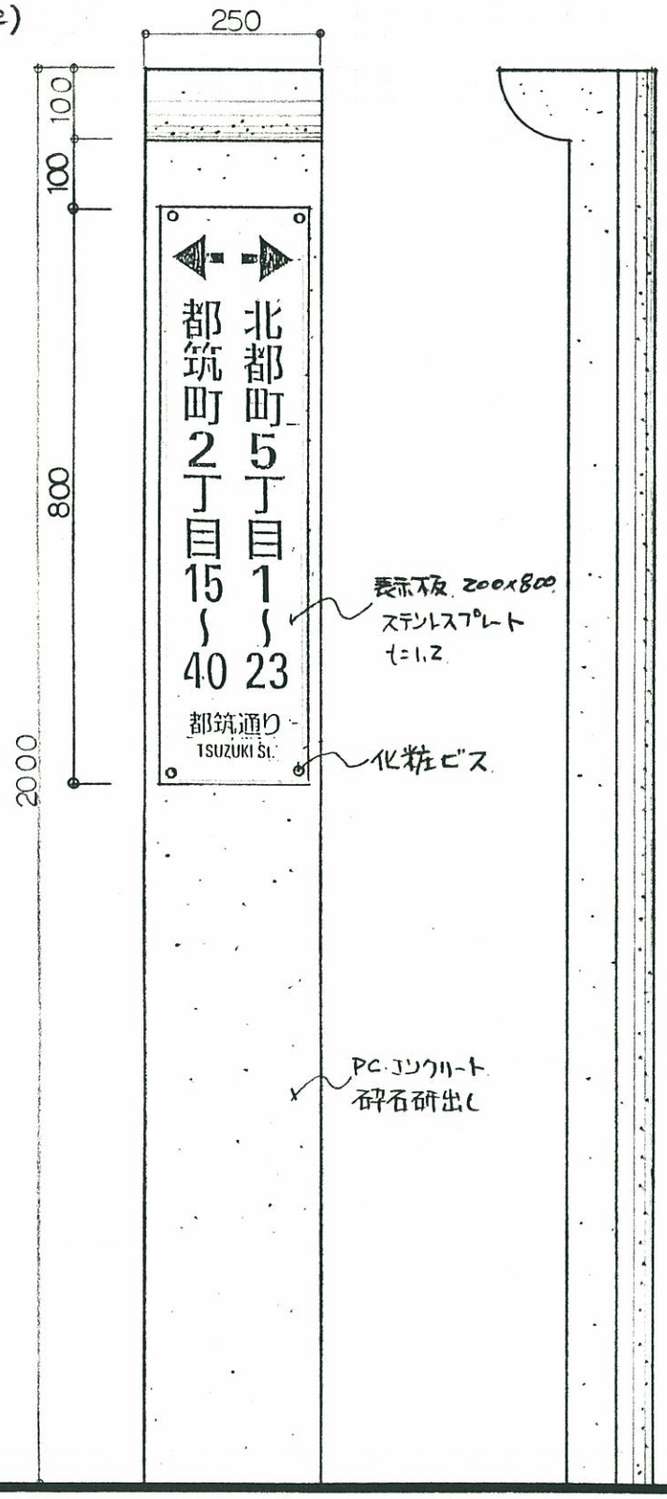
1) バス停周辺案内サイン

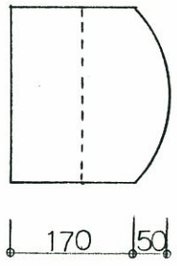


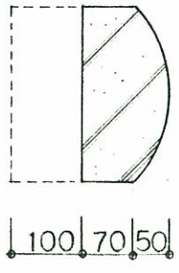
5-3-1 PCコンクリートによるサイン(2)

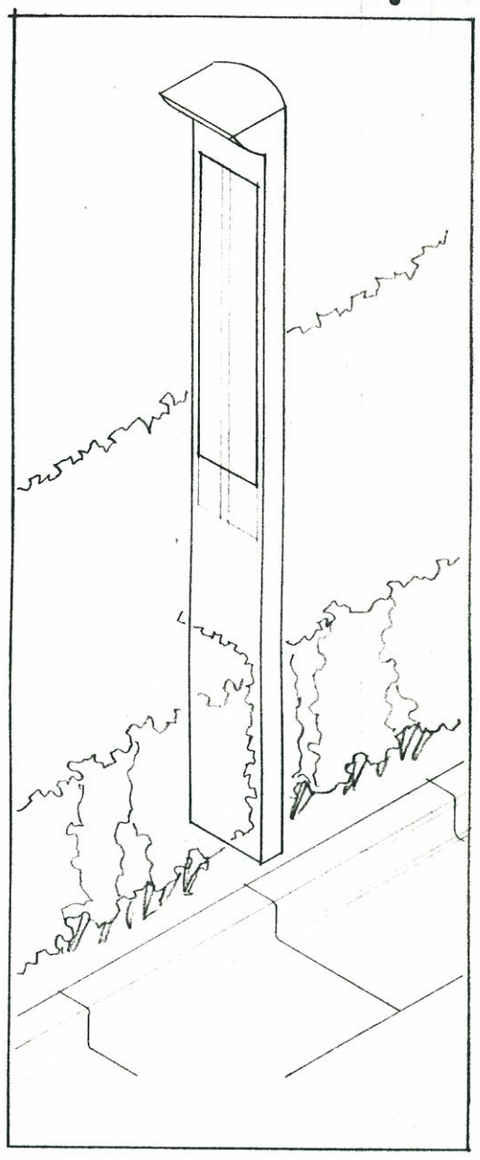
2) まちかどサイン(ホーム)
－コレクター道路誘導サイン－





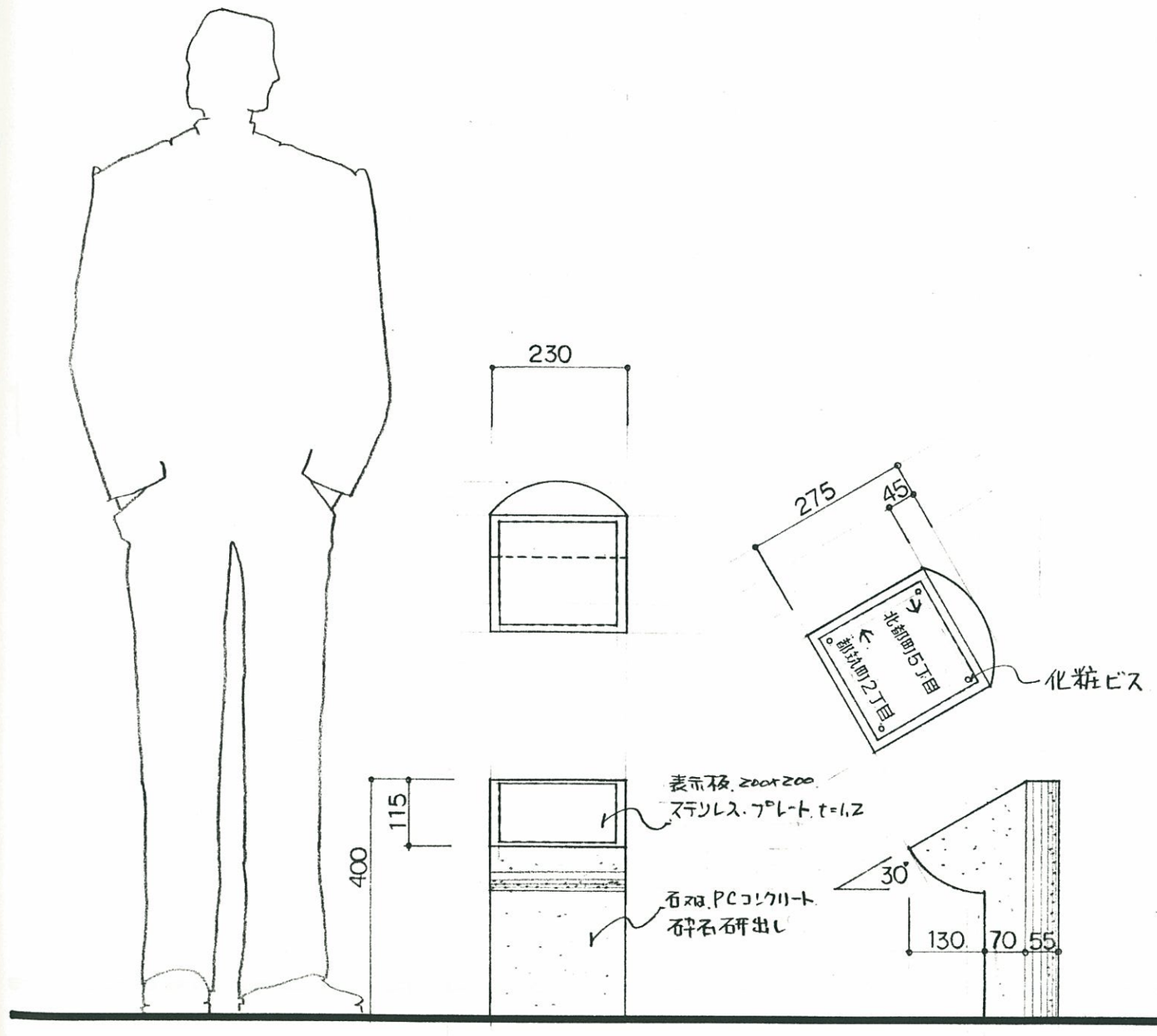


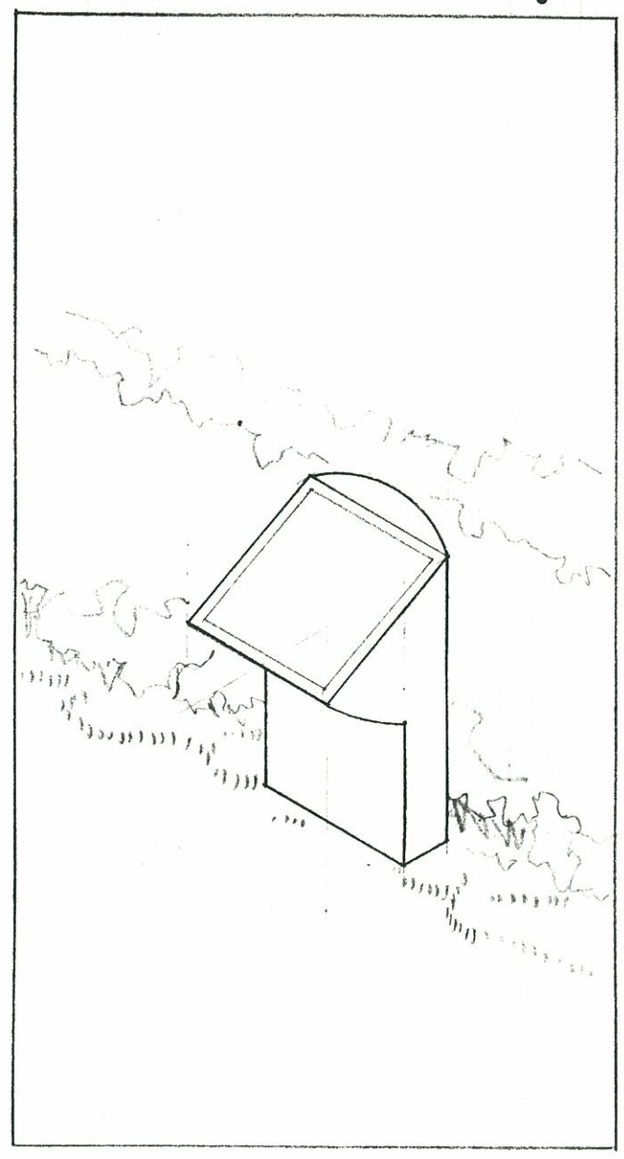




5-3-1 PCコンクリートによるサイン (3)

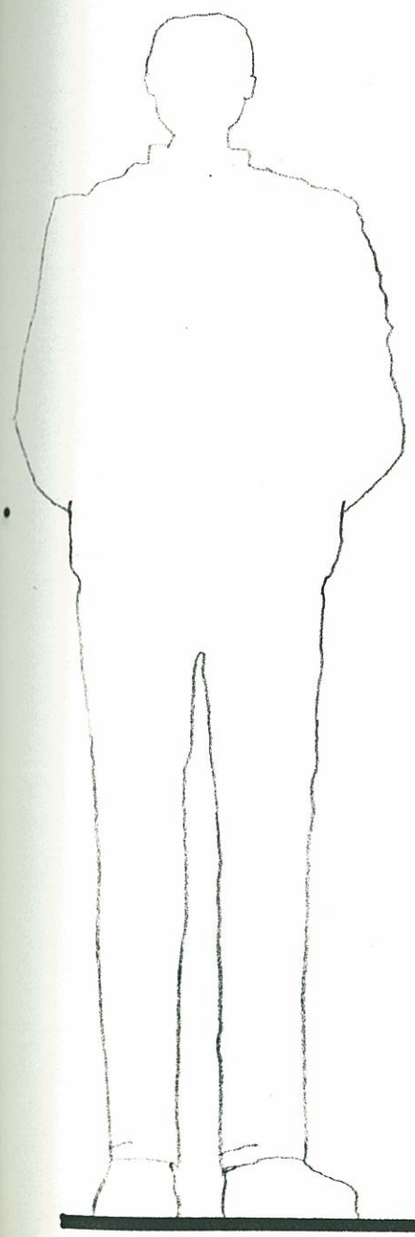
3) まちかどサイン (ホ-2) - 歩専道及び緑道内誘導サイン -

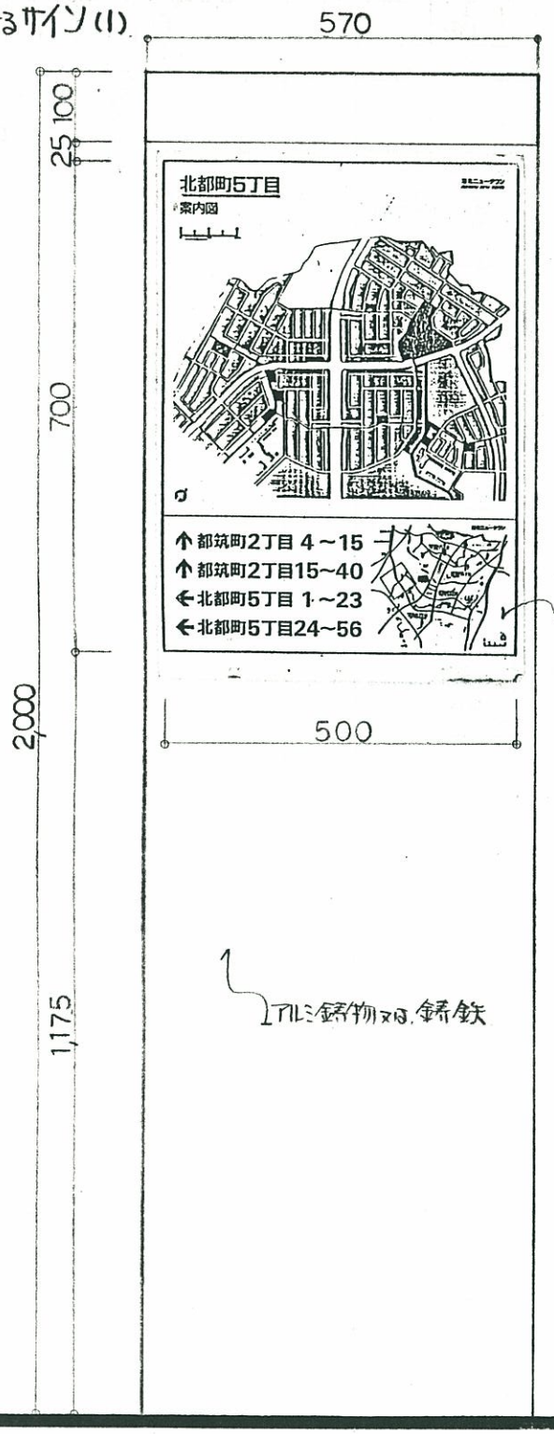


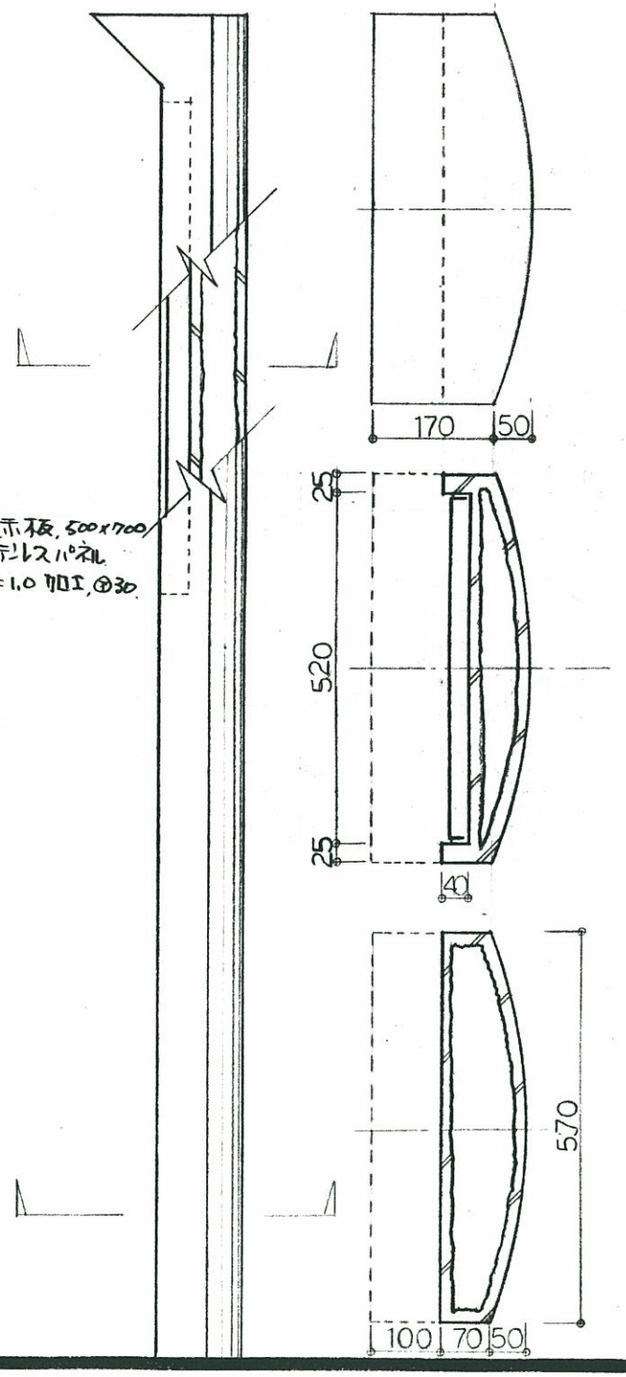


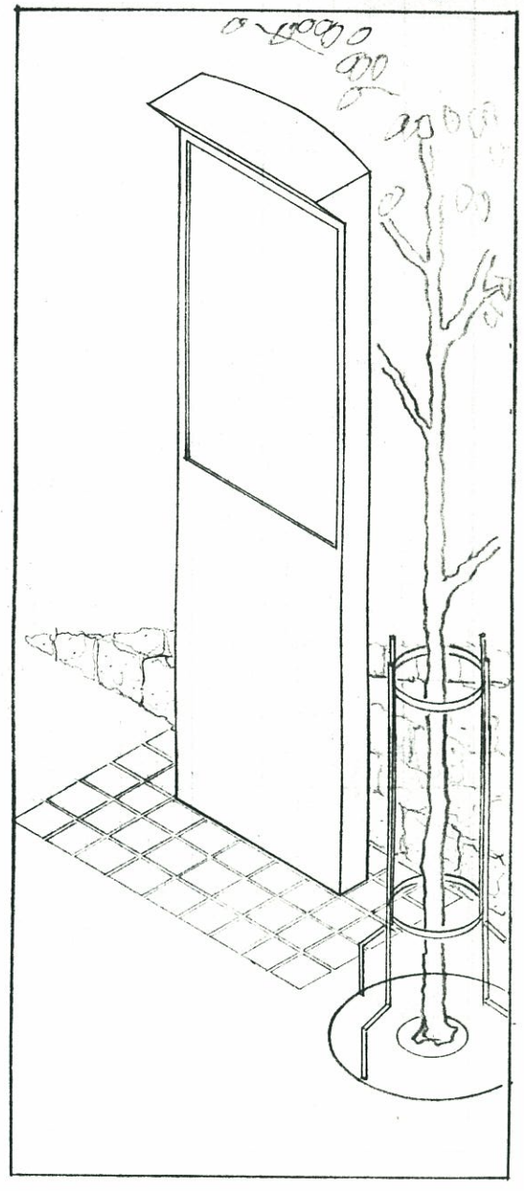
5-3-2 メタルキャストによるサイン(1)

1) バス停周辺案内サイン



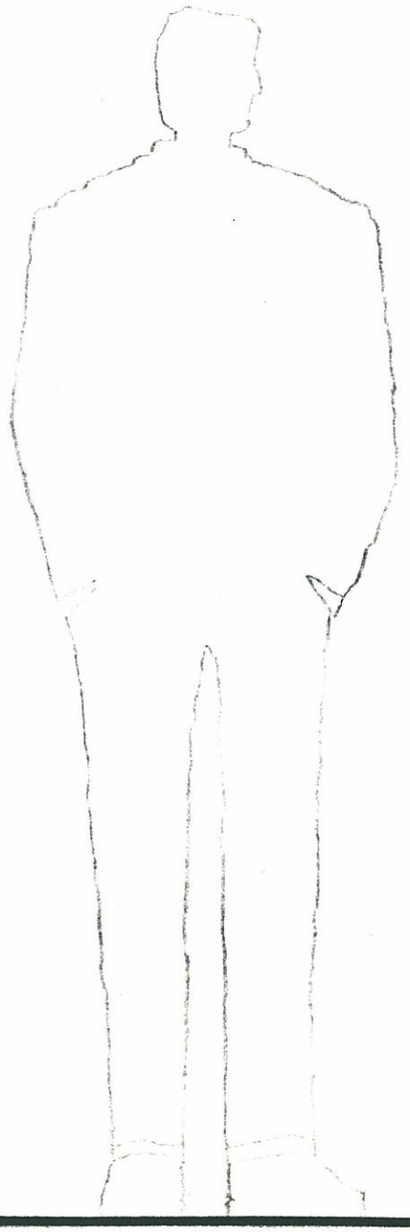


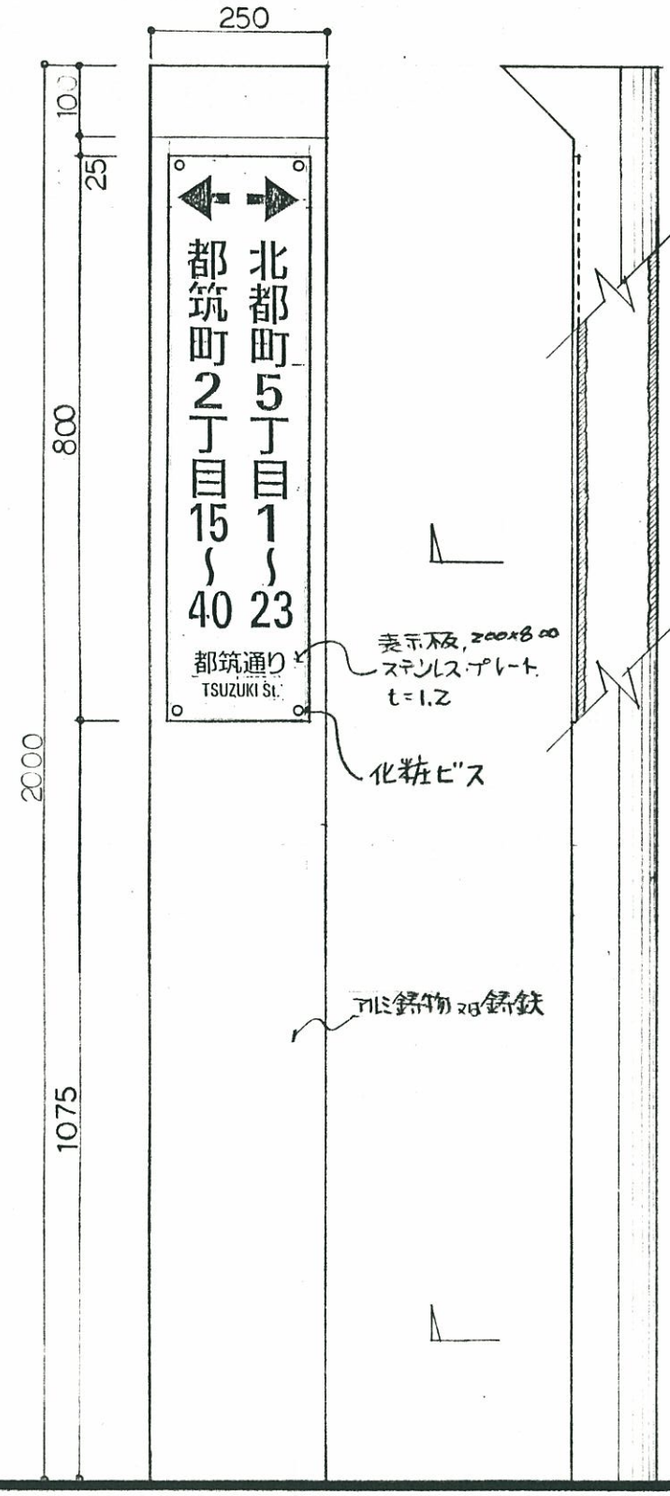


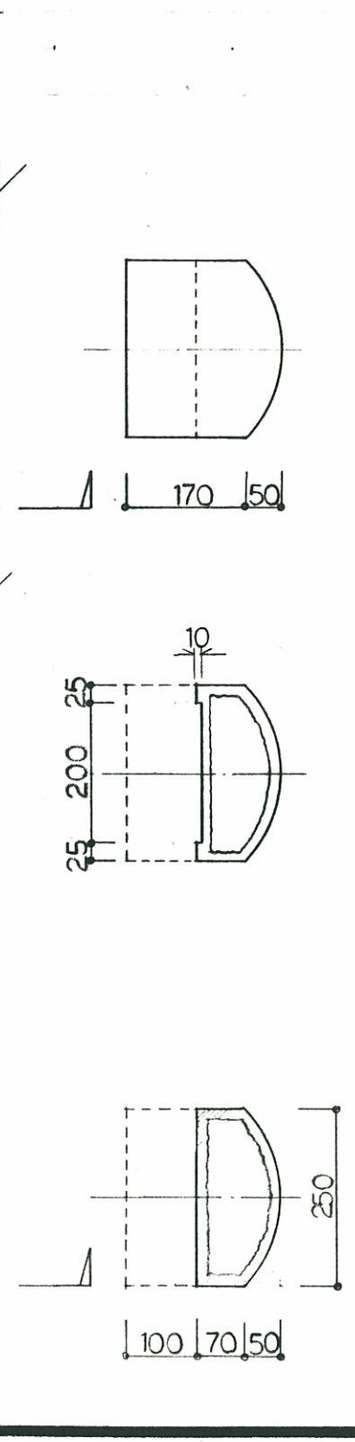


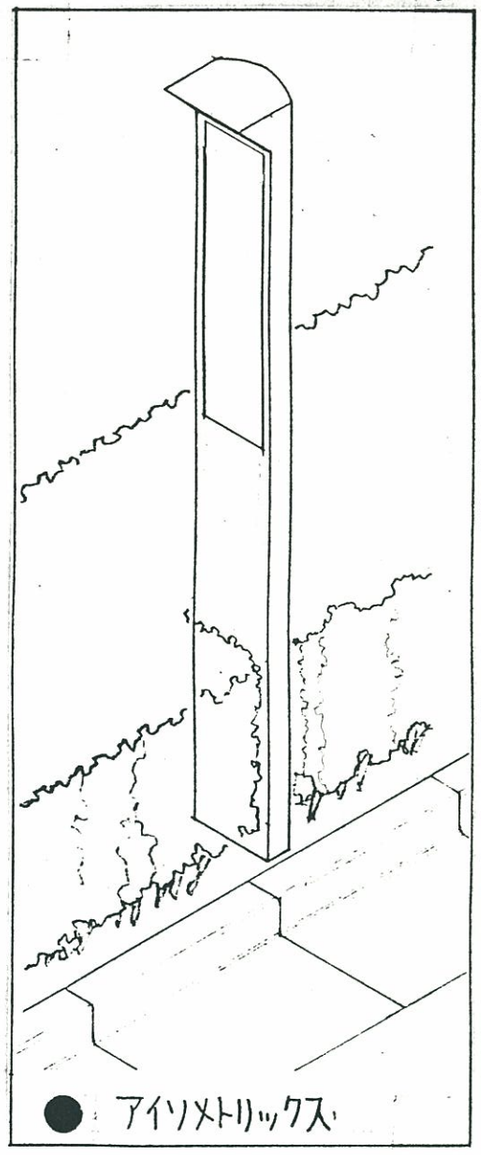
6-3-2 メタルキャストによるサイン (2)

2) まちかどサイン（ホ-1）
- コレクター道路 誘導サイン -



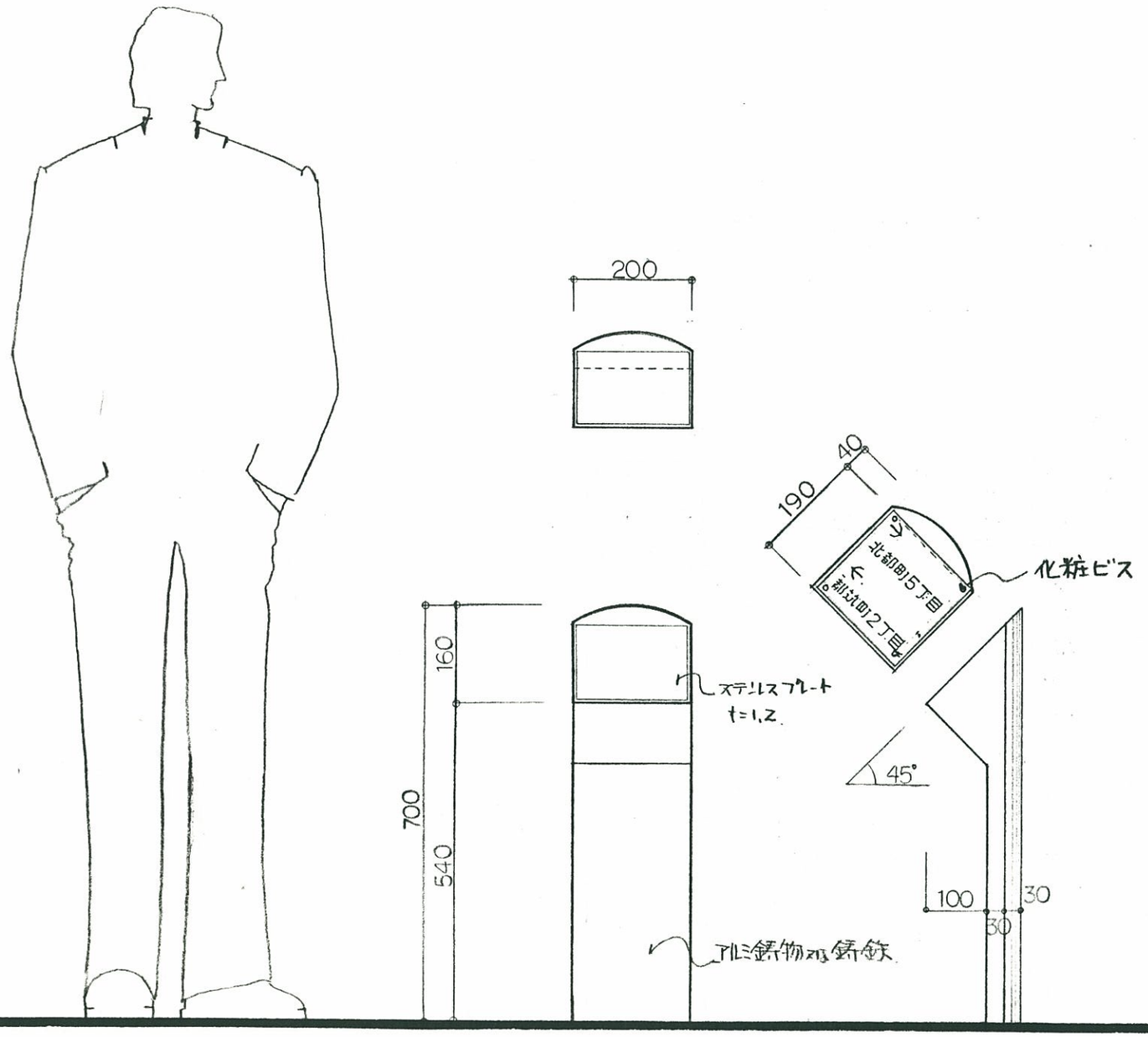


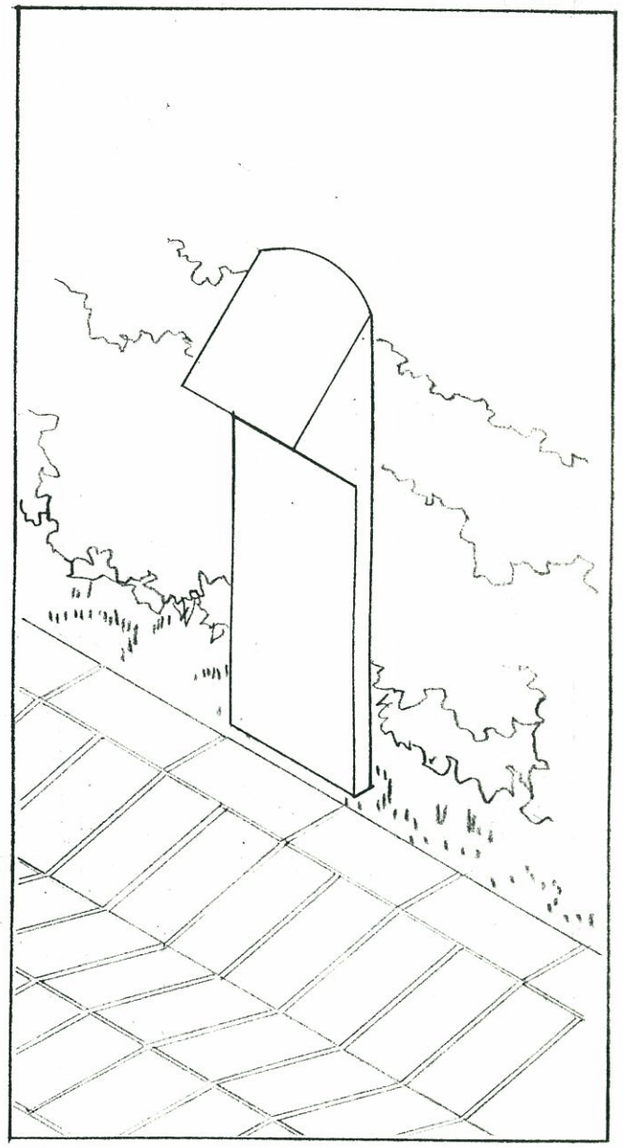




6-3-2 メタルキャストによるサイン (3)

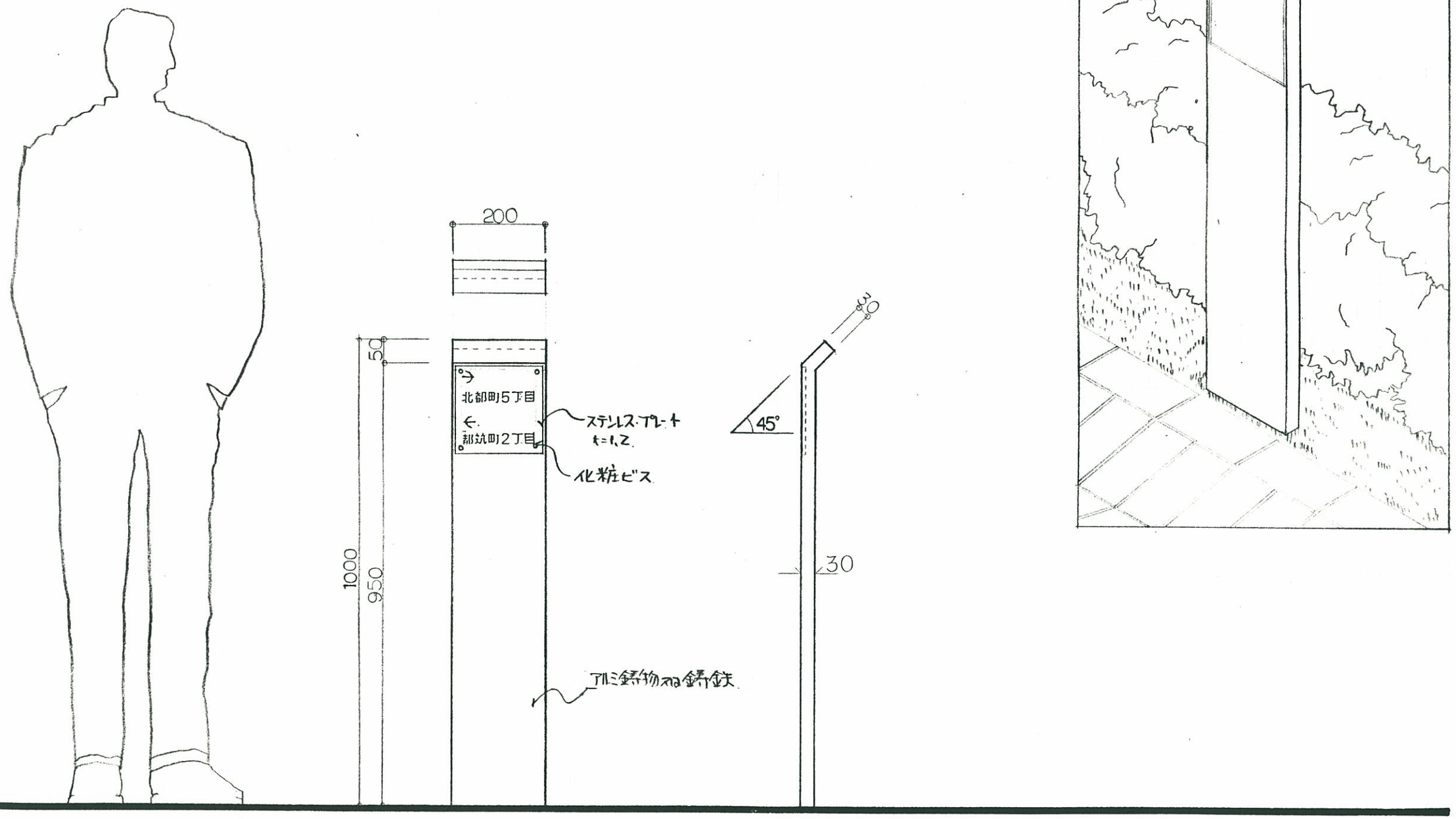
3) まちかどサイン (小-2) - 歩専道及び緑道内誘導サイン

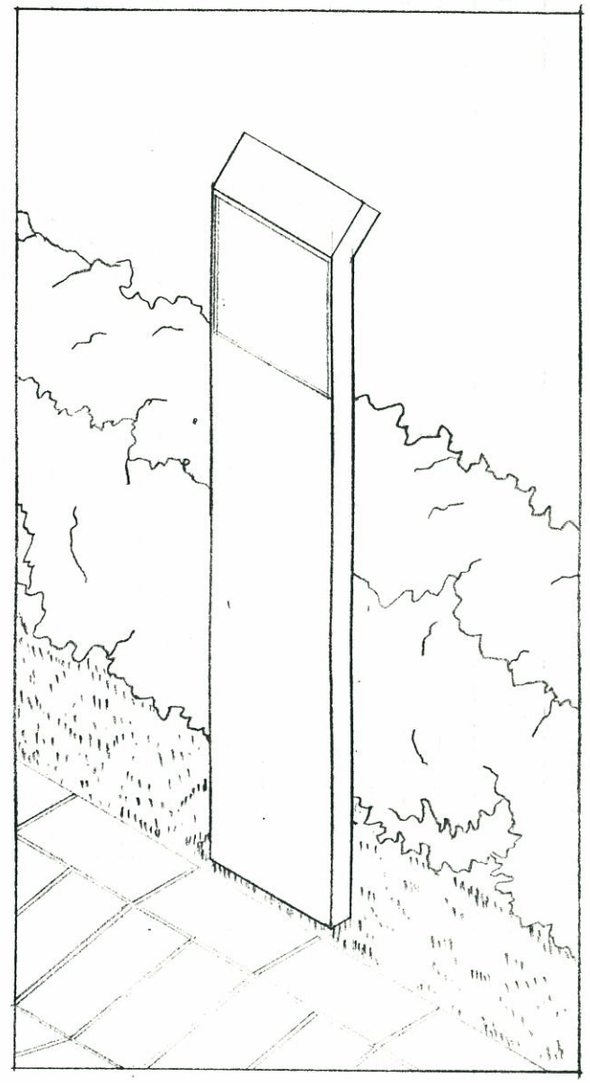




5-3-2 メタルキャストによる サイン (4)

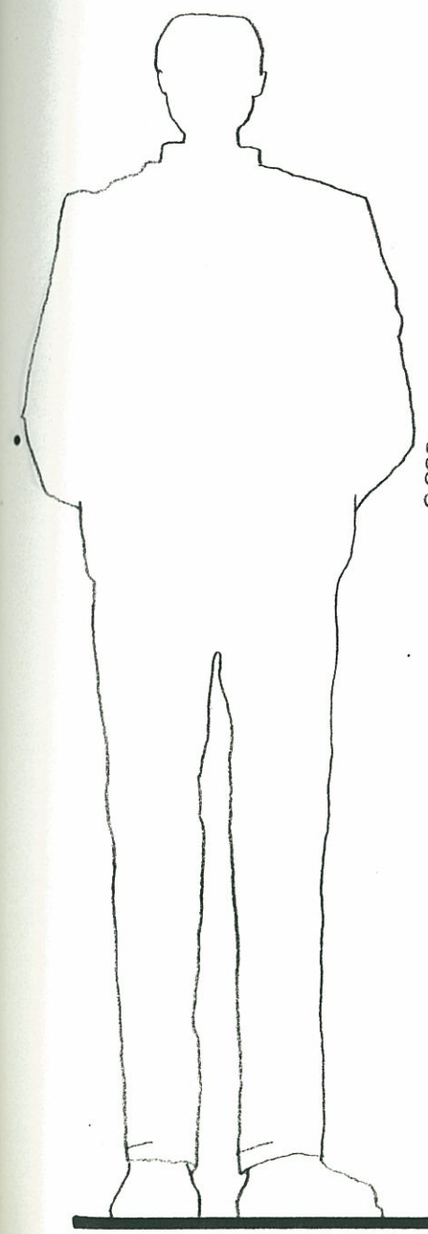
4) まちかど サイン (小-3)

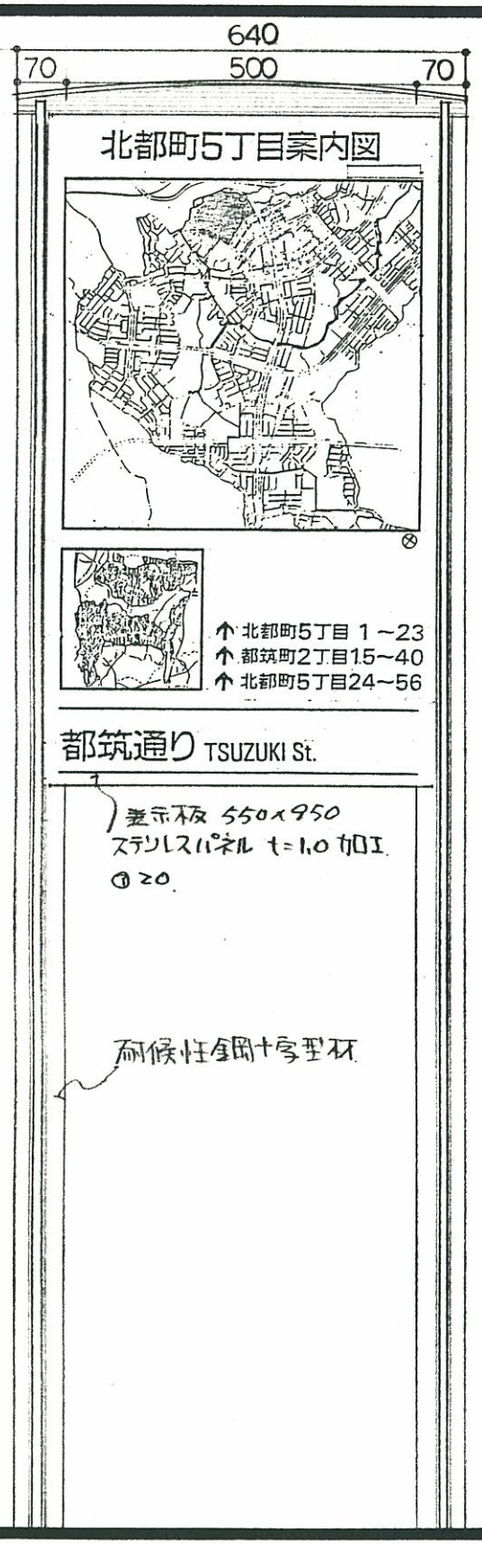


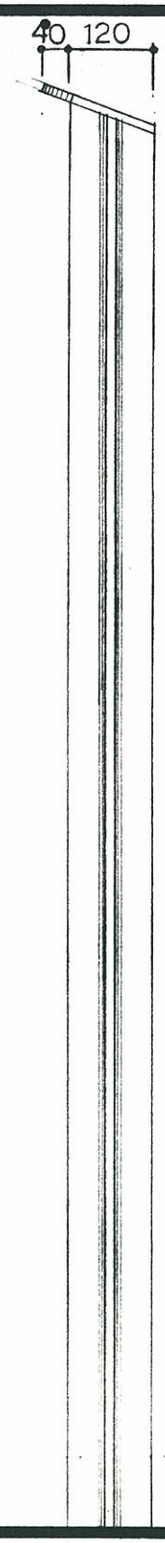


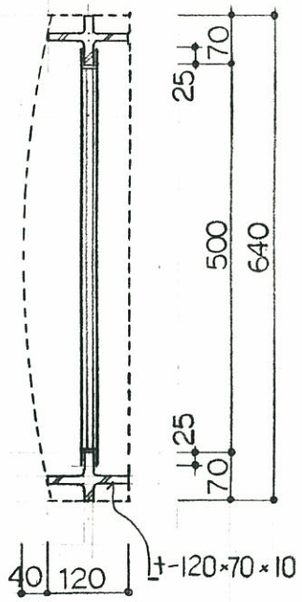
5-3-3 耐候性鋼板によるサイン(1)

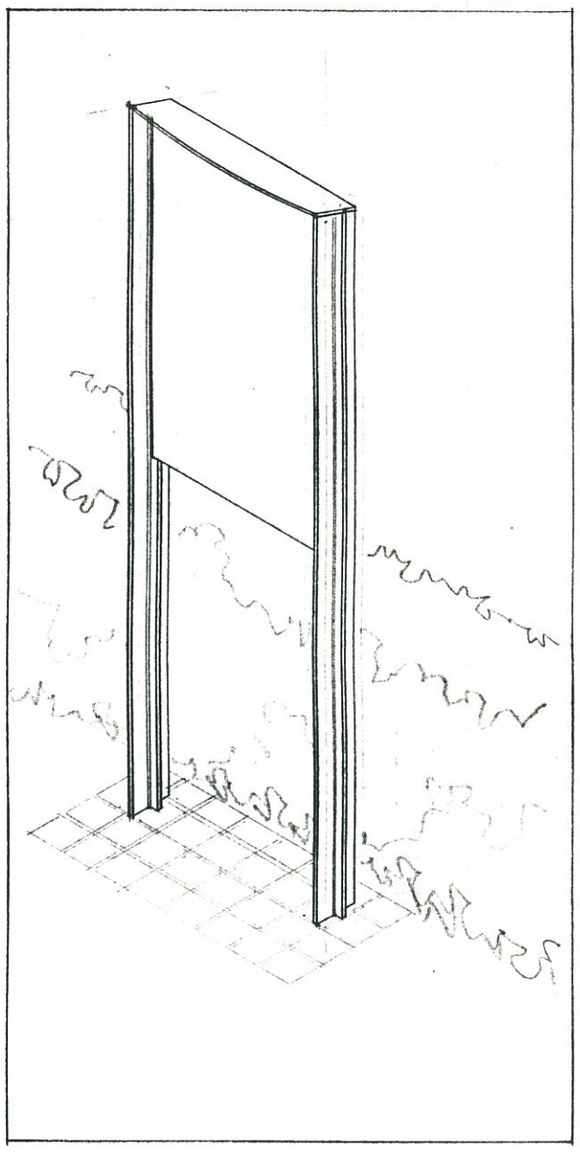
1) バス停周辺案内サイン





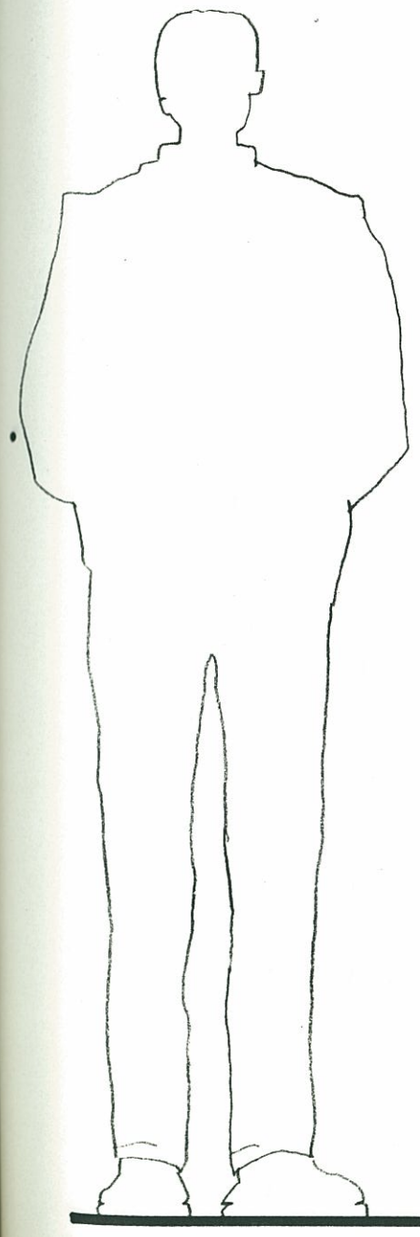


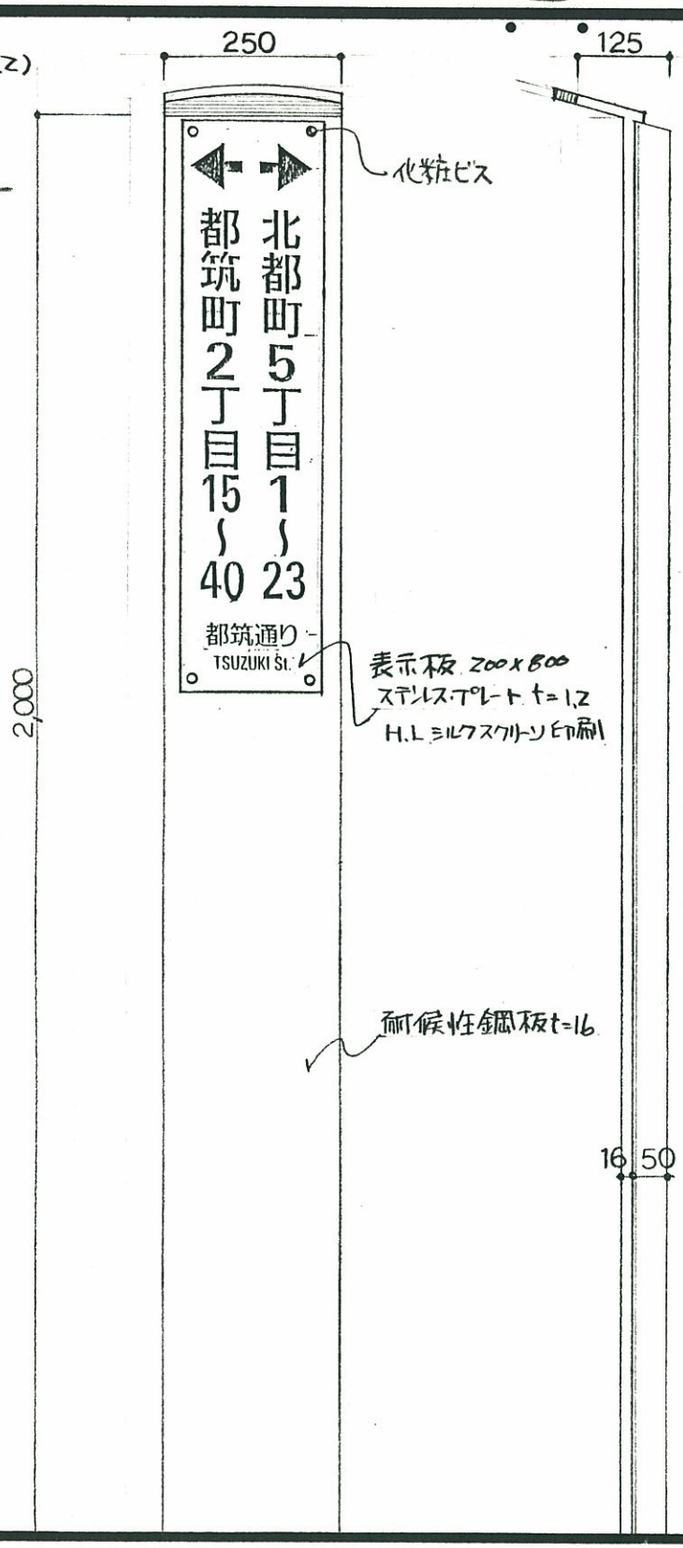




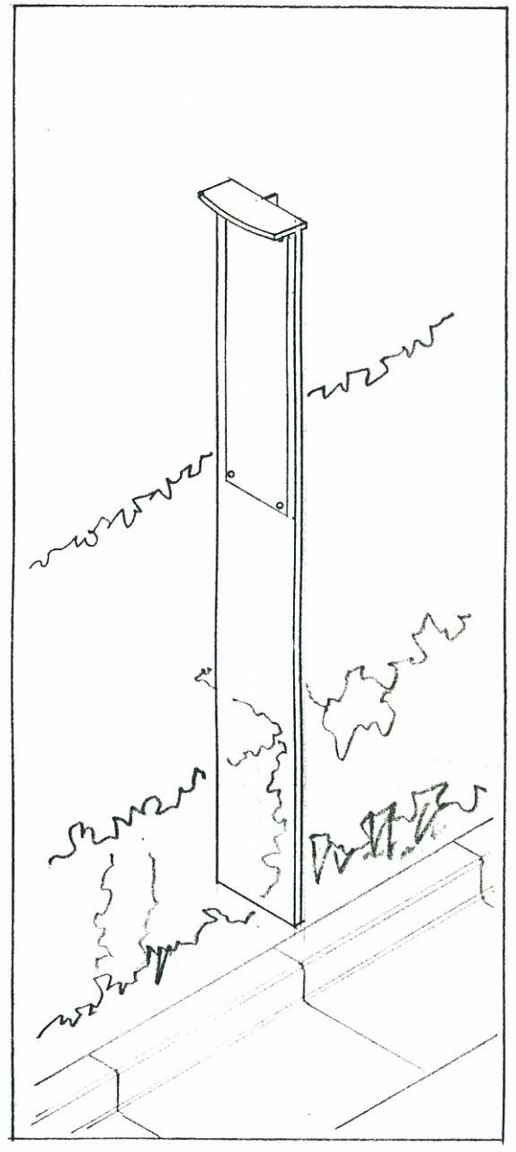
5-3-3 耐候性鋼板によるサイン(2)

2) 地かたサイン(小-1)
－コレクター道路 誘導サイン－



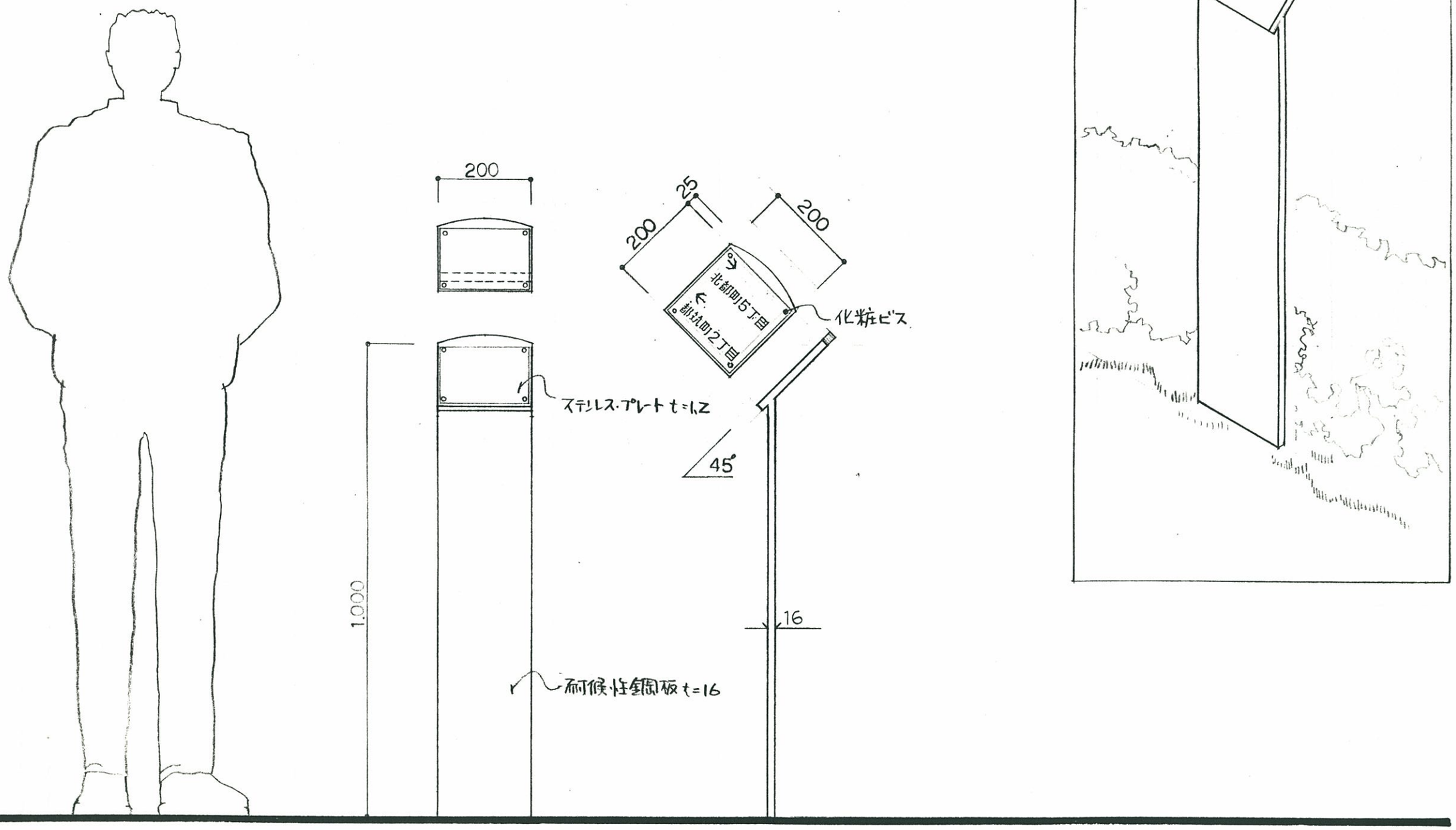


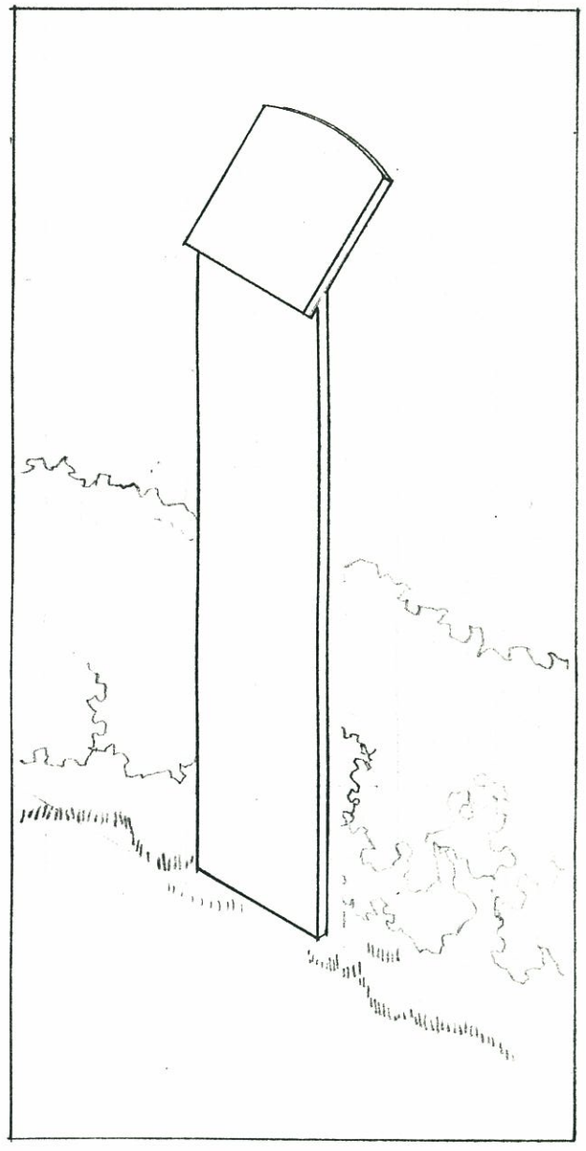




5-3-3 耐候性鋼によるサイン (3)

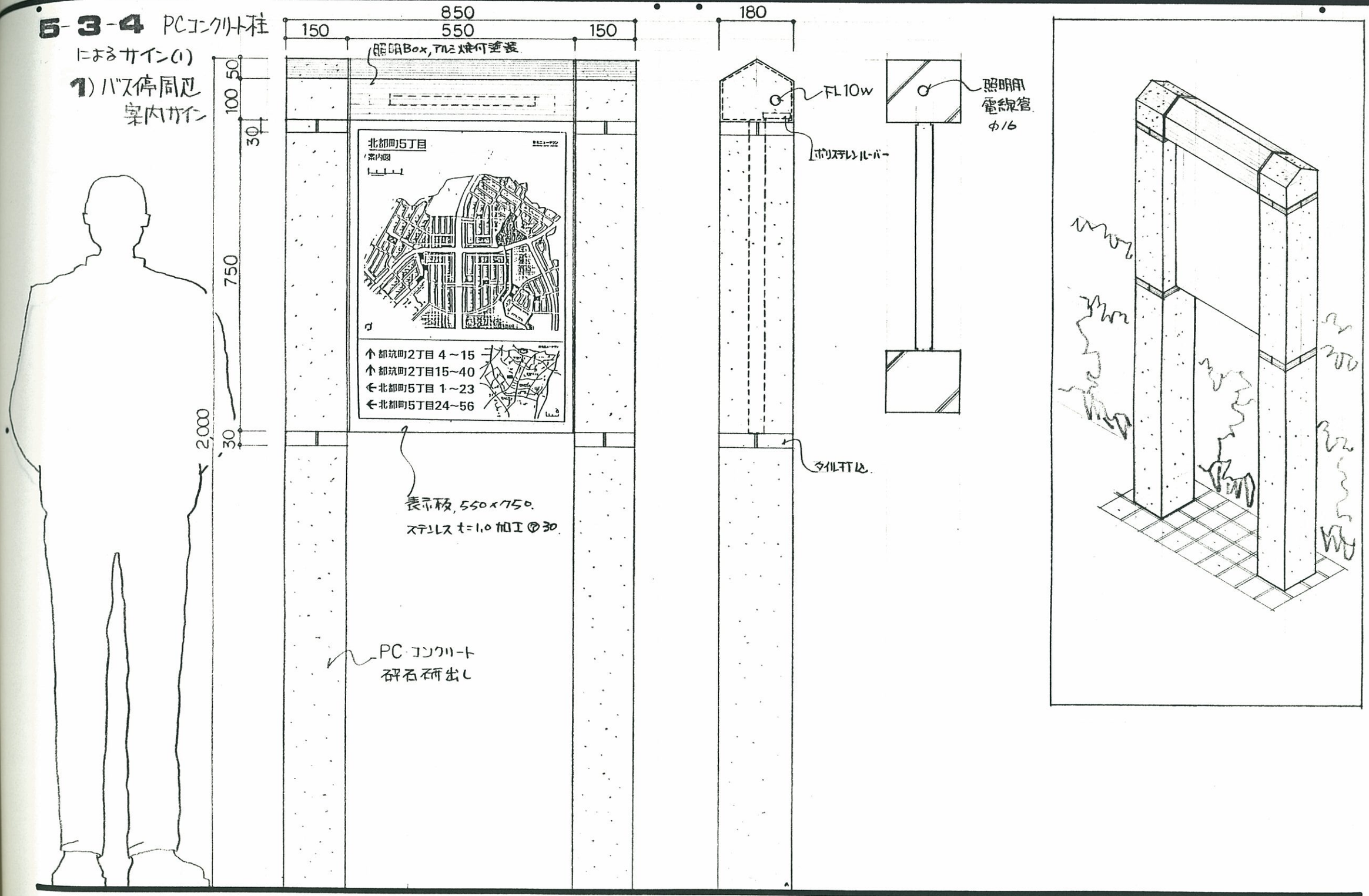
3) まちかどサイン (小-2)
－歩専道及び緑道内 誘導サイン－





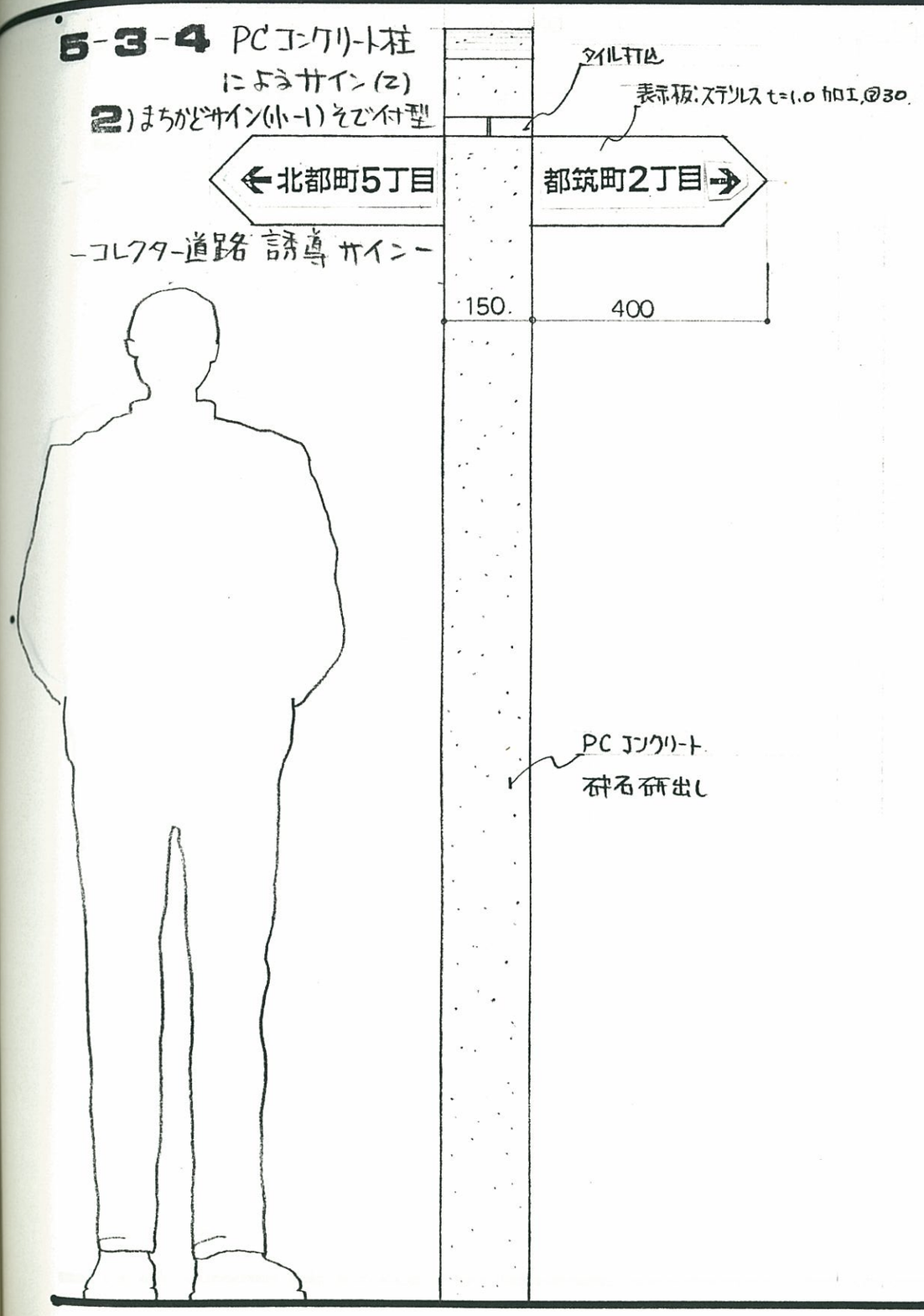
5-3-4 PCコンクリート柱によるサイン(1)

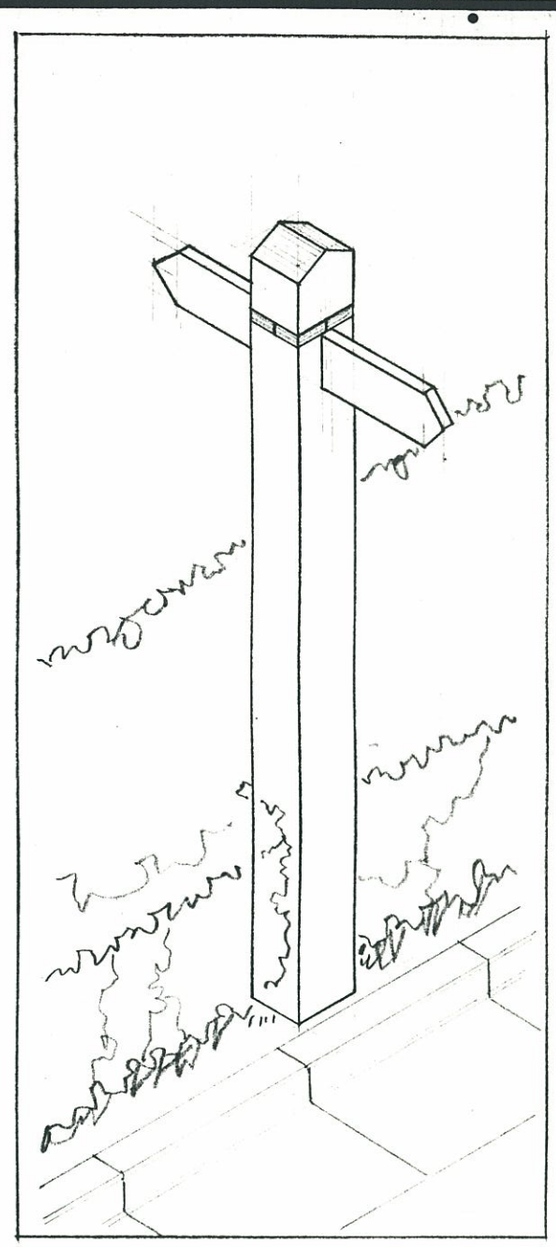
1) バス停周辺案内サイン



5-3-4 PCコンクリート柱によるサイン(2)

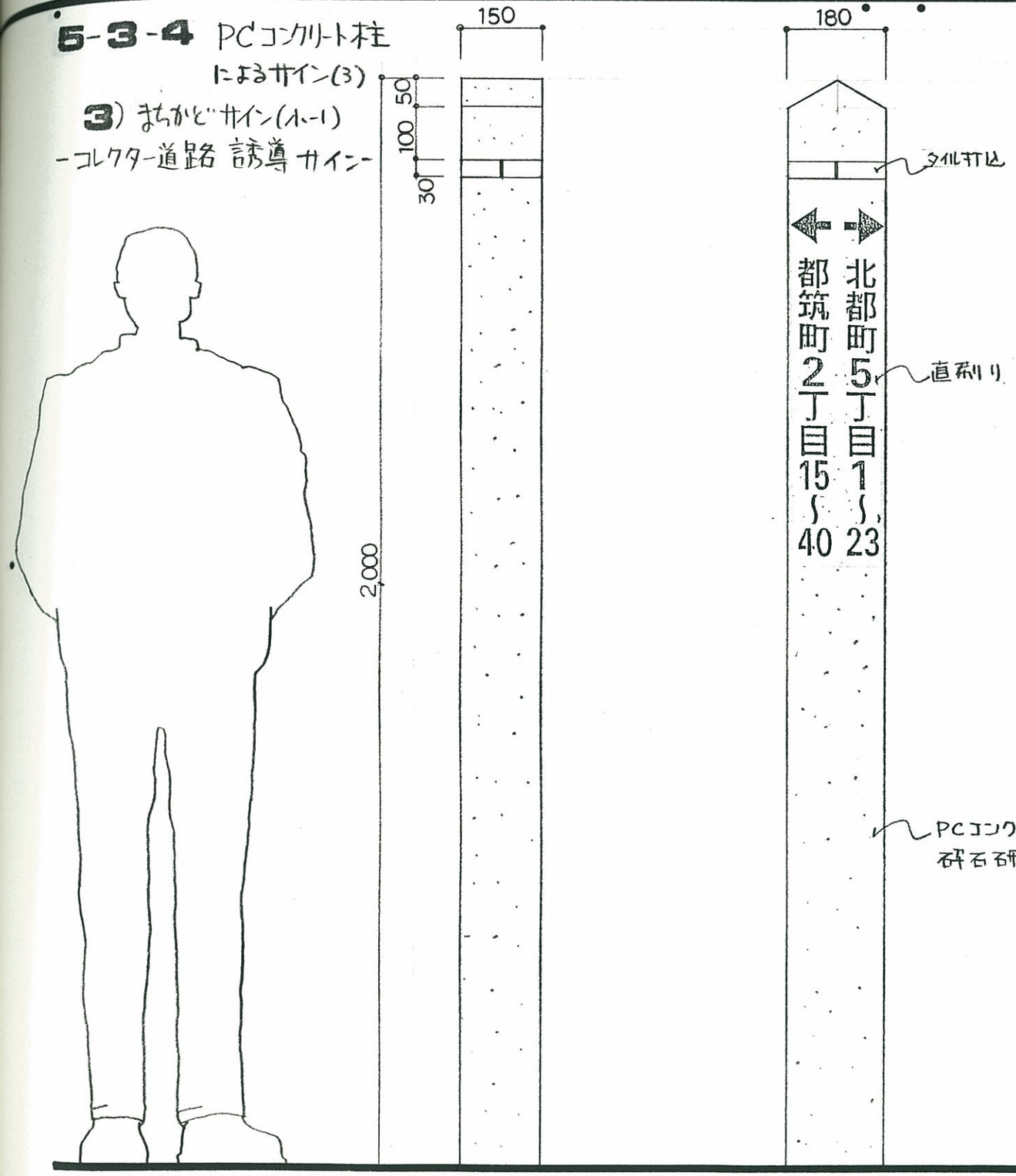
2) まちかどサイン(小-1)そで付型

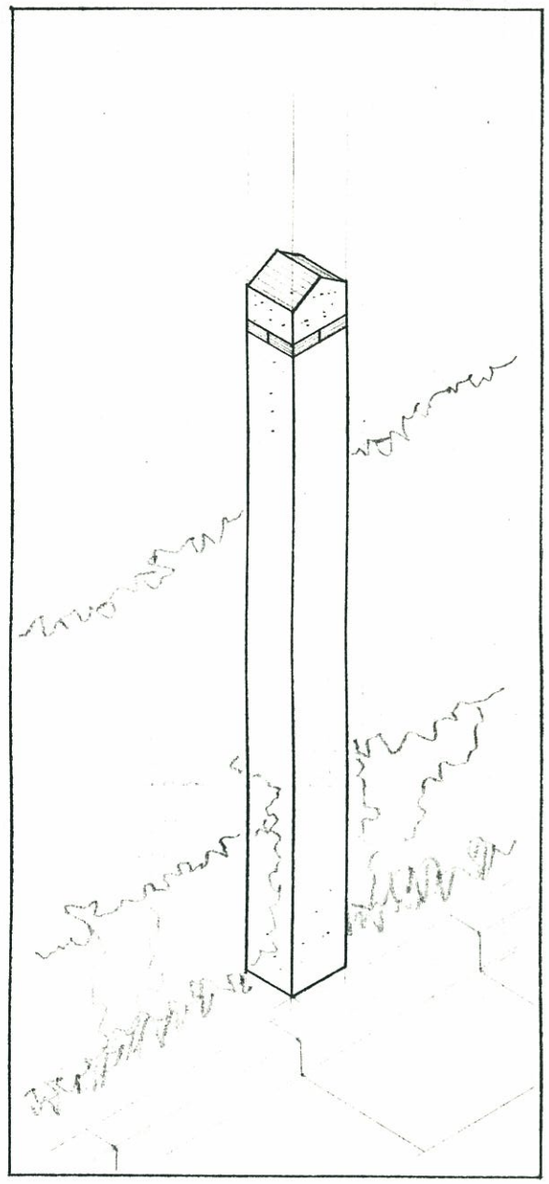




5-3-4 PCコンクリート柱によるサイン(3)

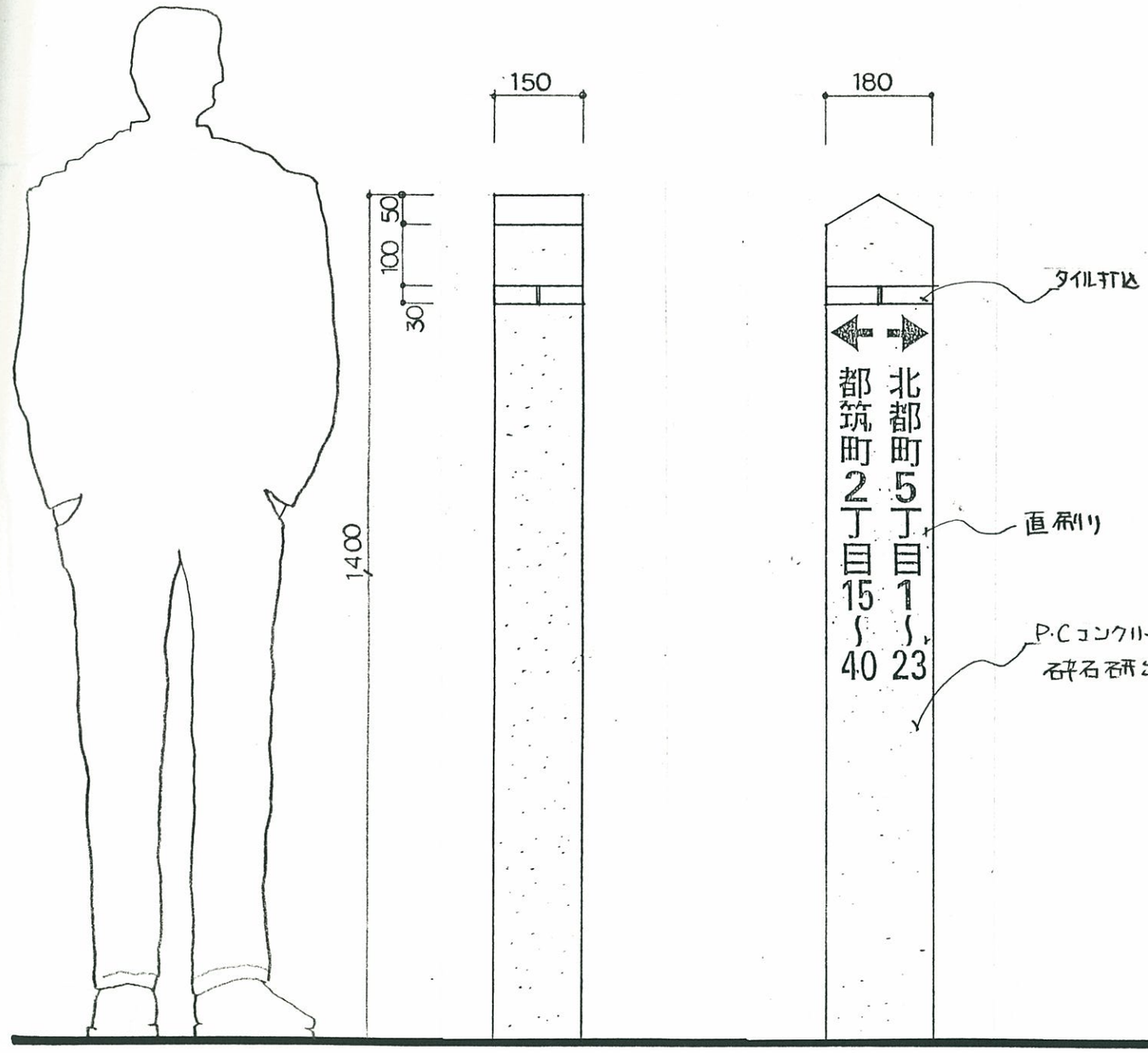
3) まちかど サイン(ホール)
-コレクター道路 誘導 サイン-

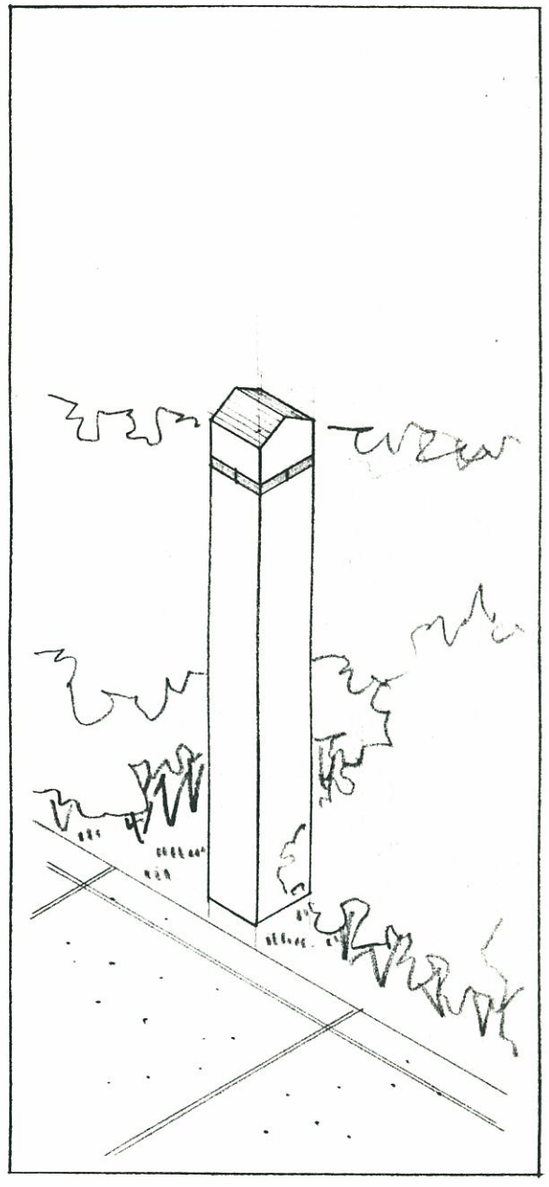




5-3-4 PCコンクリート柱によるサイン(4)

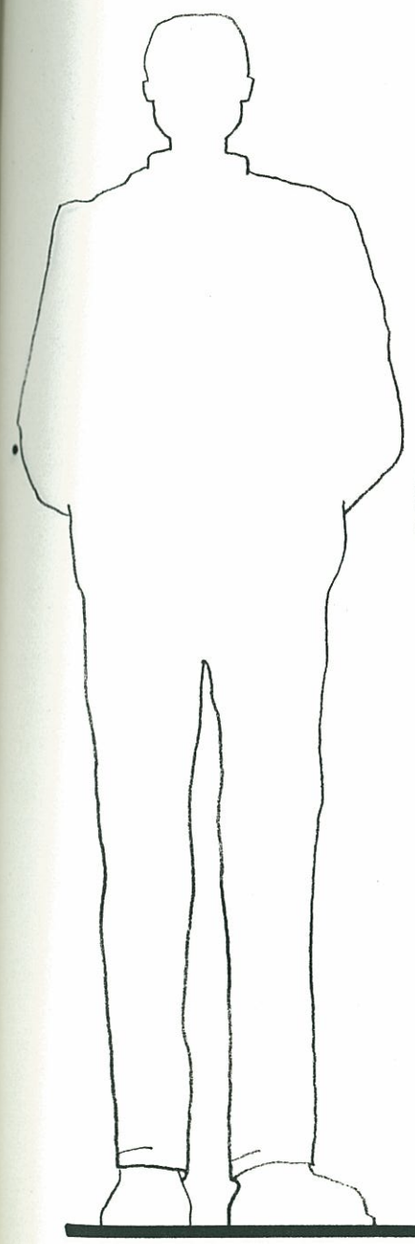
4) まちかどサイン(小-2) - 歩専道及び緑道内誘導サイン.

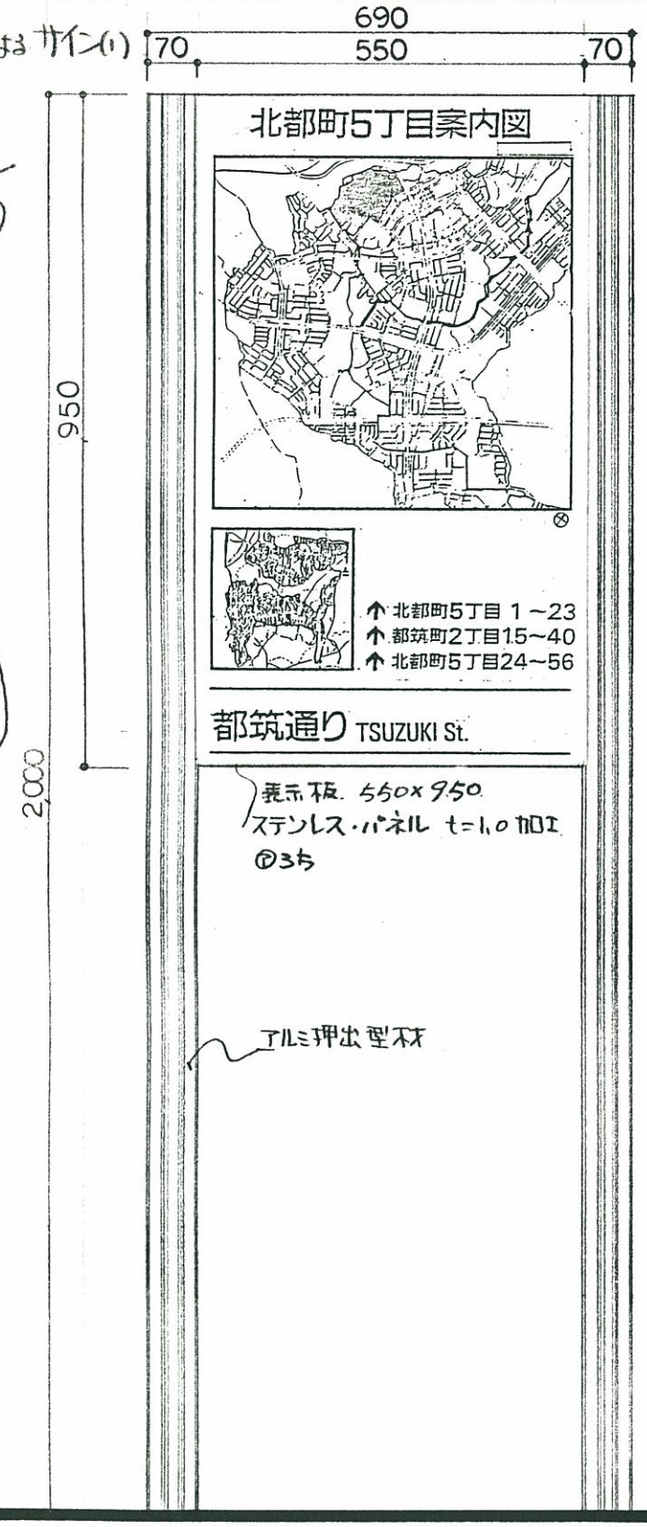




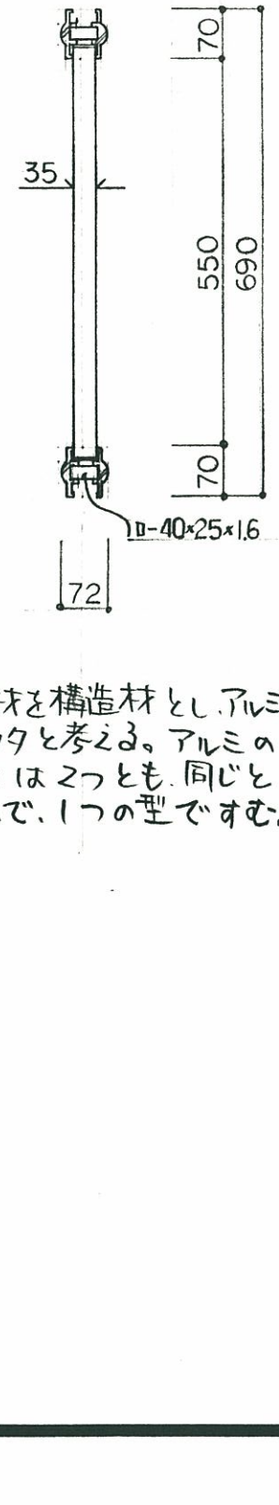
5-3-5 アルミ型材によるサイン(1)

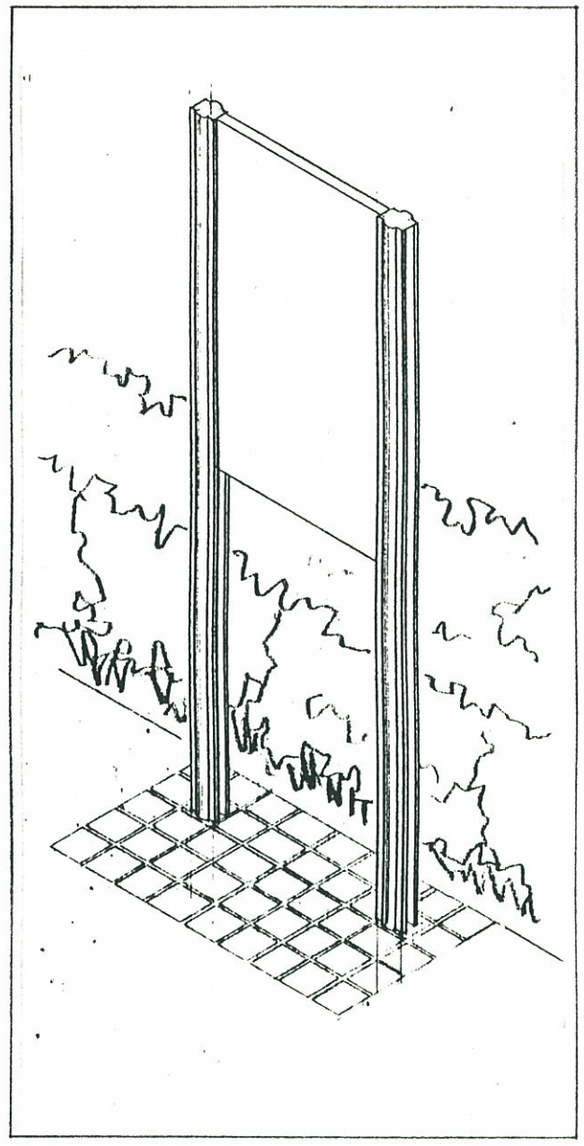
1) バス停周辺案内サイン (A案)







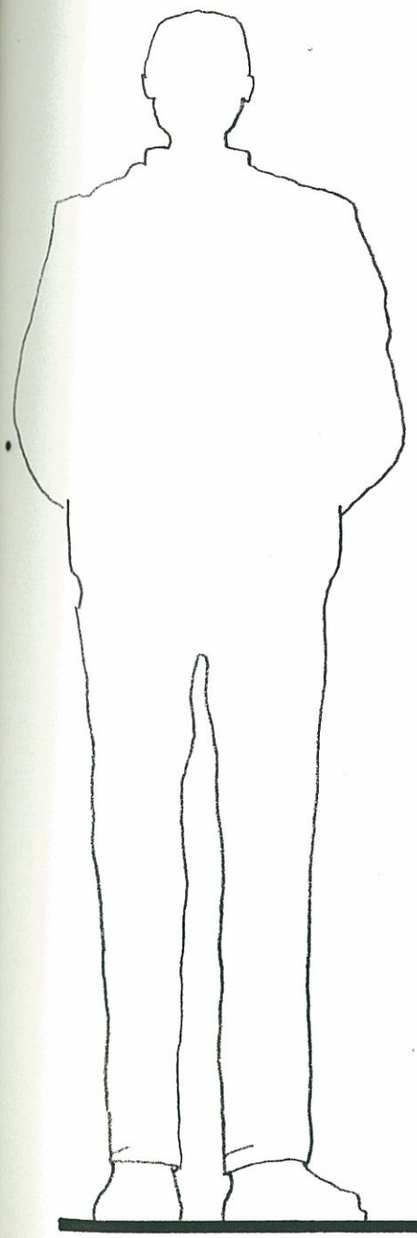


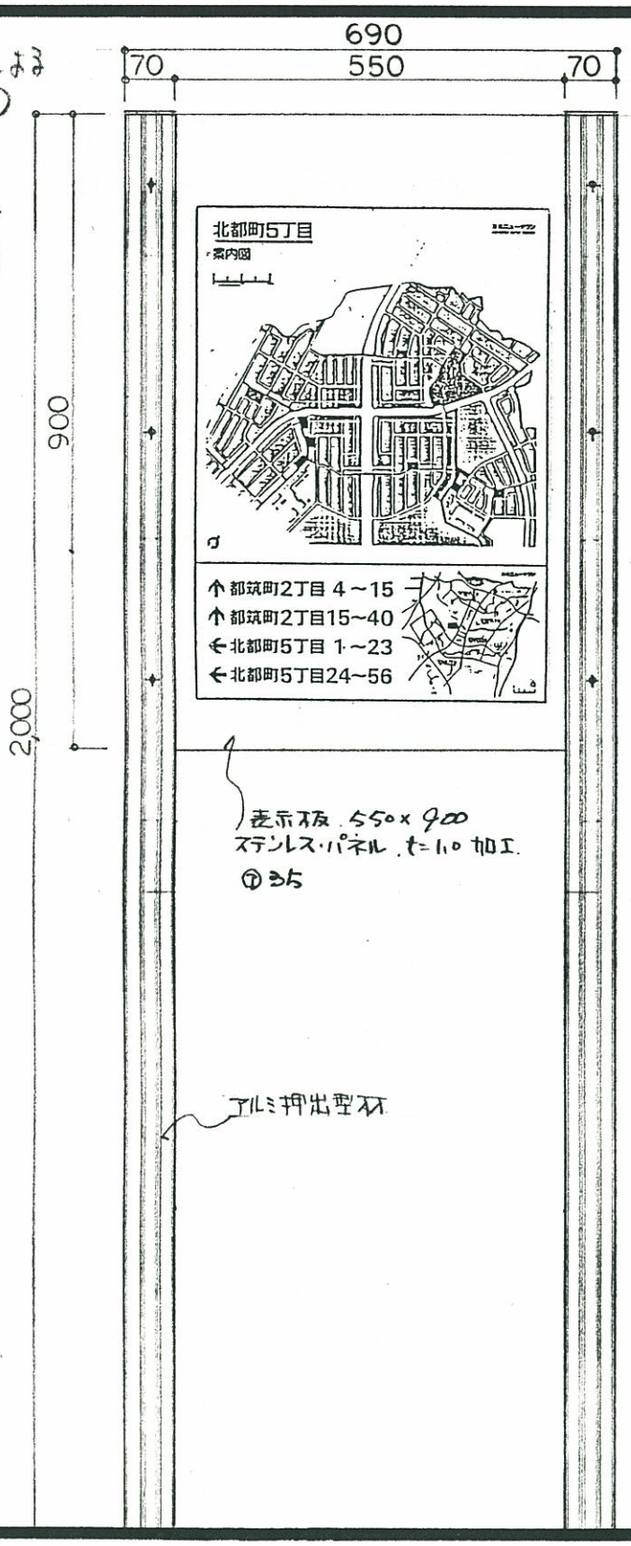


- 鋼材を構造材とし、アルミは、フタと考える。アルミの断面は2つとも同じとなるので、1つの型ですむ。

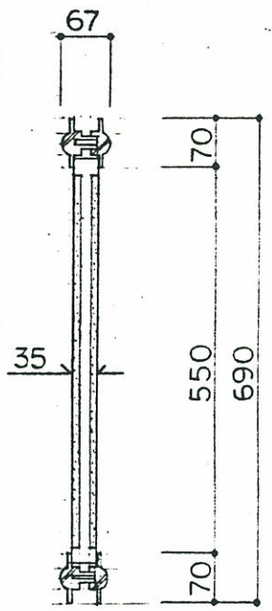
5-3-5 アルミ型材によるサイン(2)

2) バス停周辺案内サイン(B案)

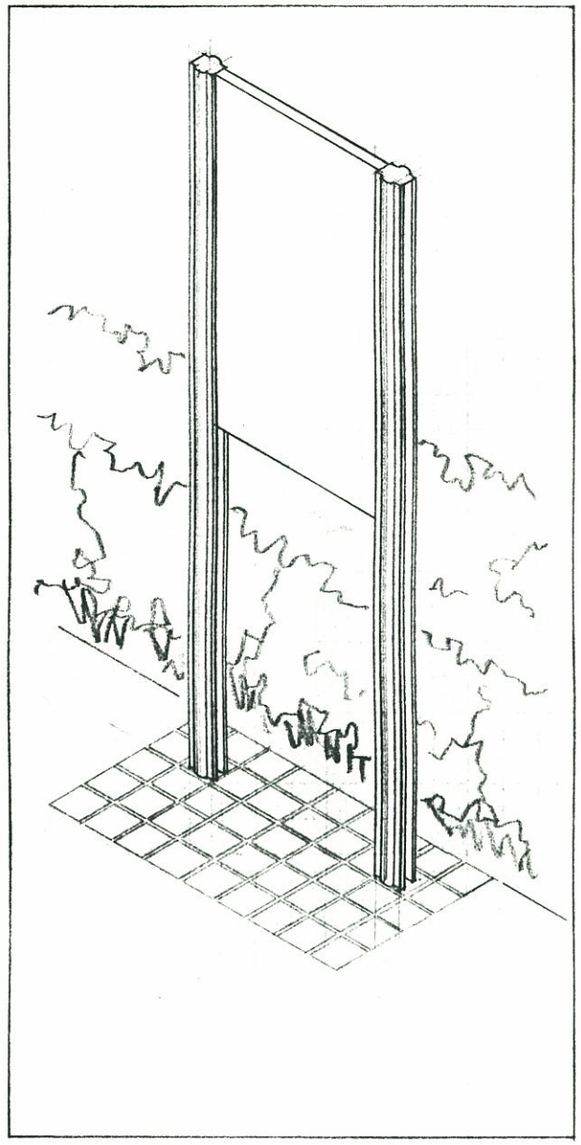






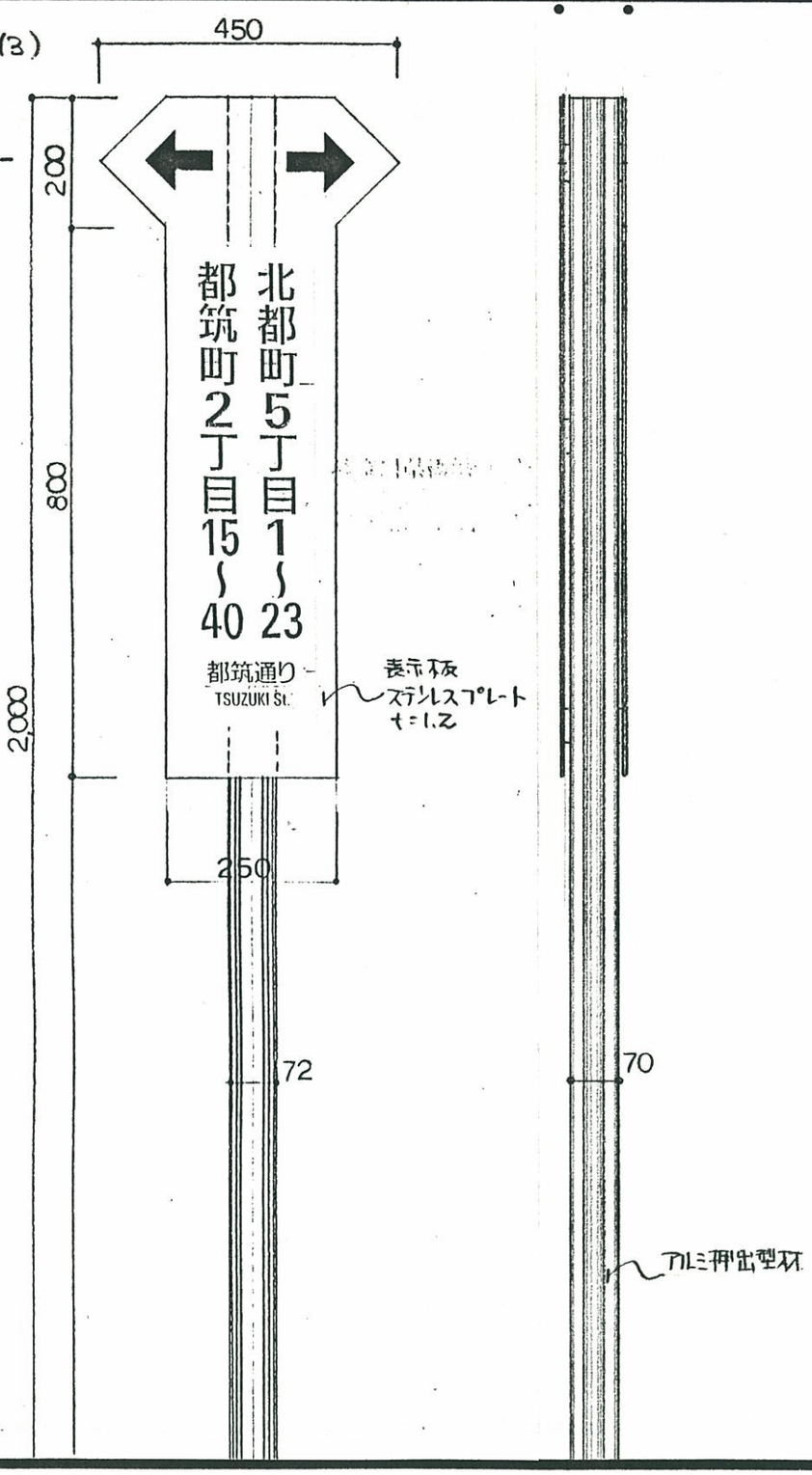


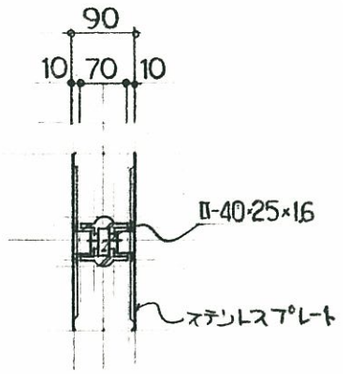
- アルミ型材を構造材とする。構造を受ける部材とフタとなる部材の2つの型が必要となる。

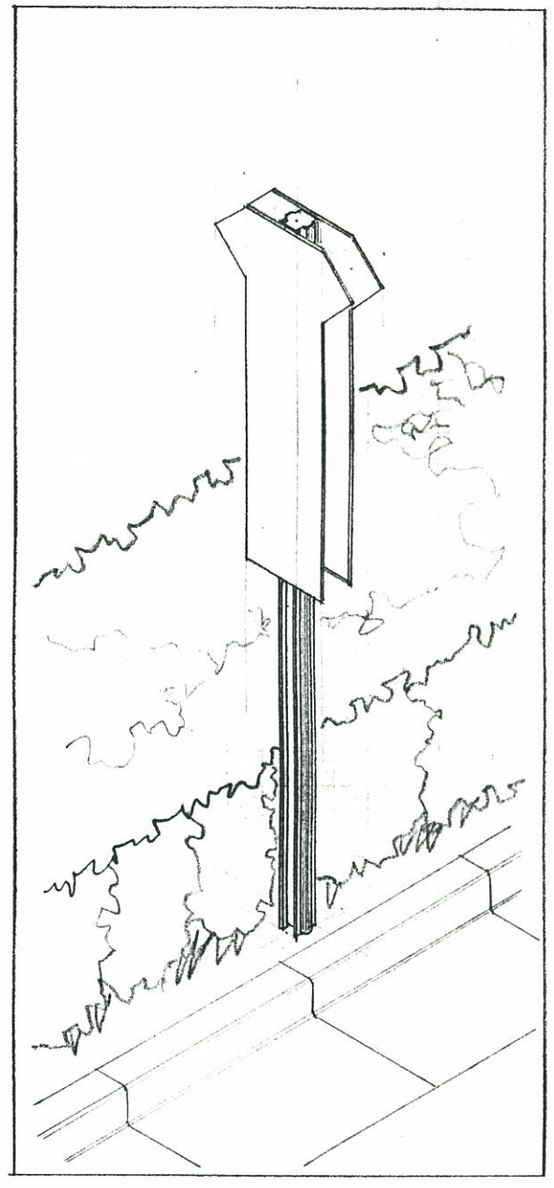


5-3-5 アルミ型材によるサイン (3)

3) まちかどサイン (ホール)
- コレクター道路誘導サイン -

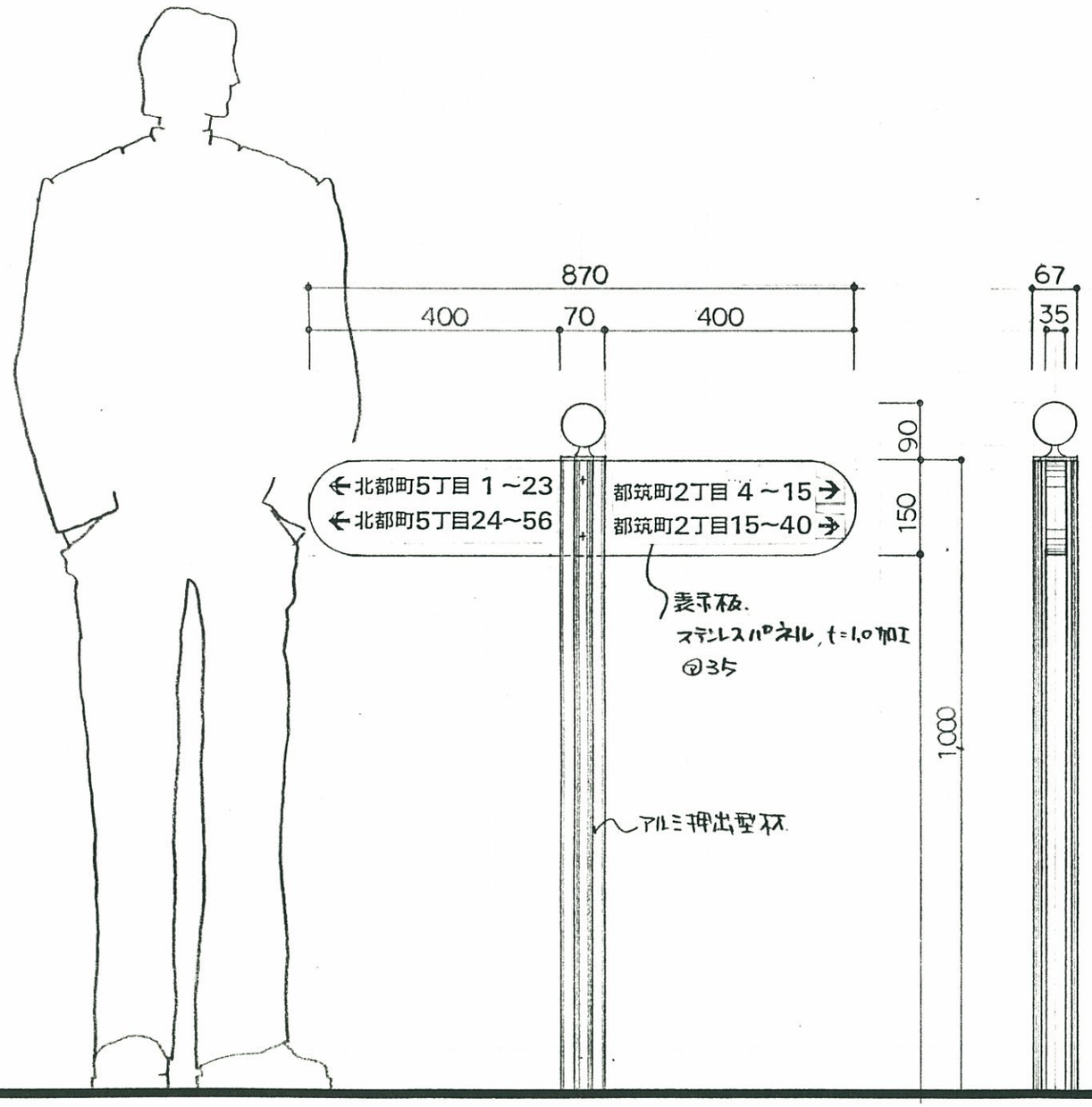


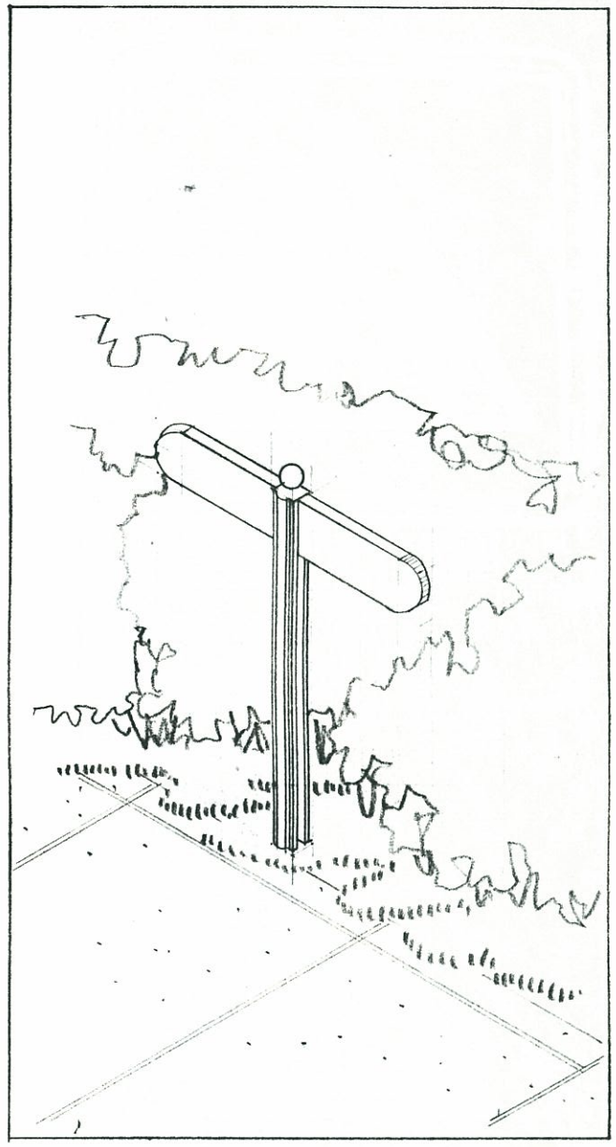




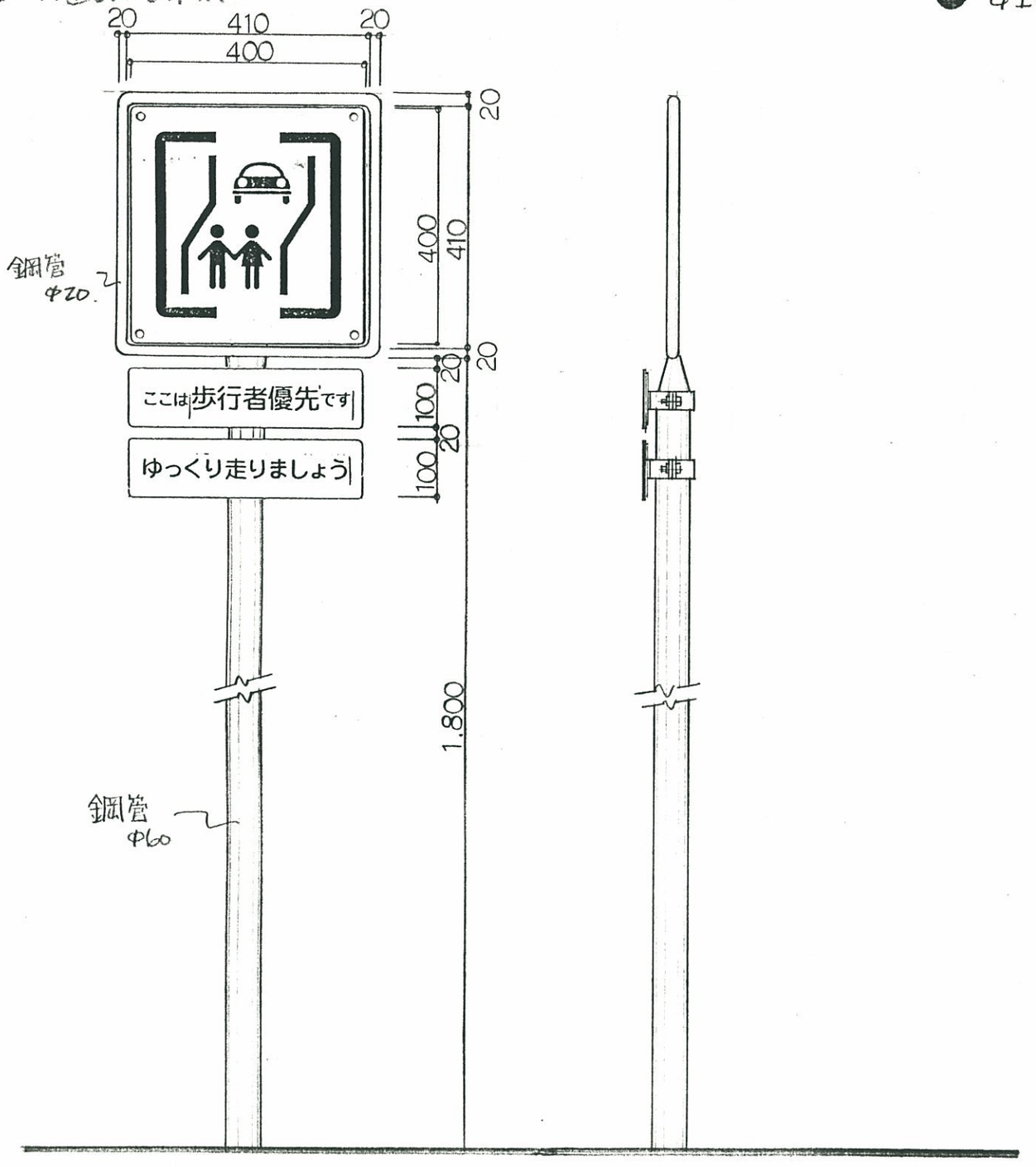
5-3-5 型材によるサイン (4)

4) まちかどサイン (ホーエ) - 歩専道及び緑道内誘導サイン

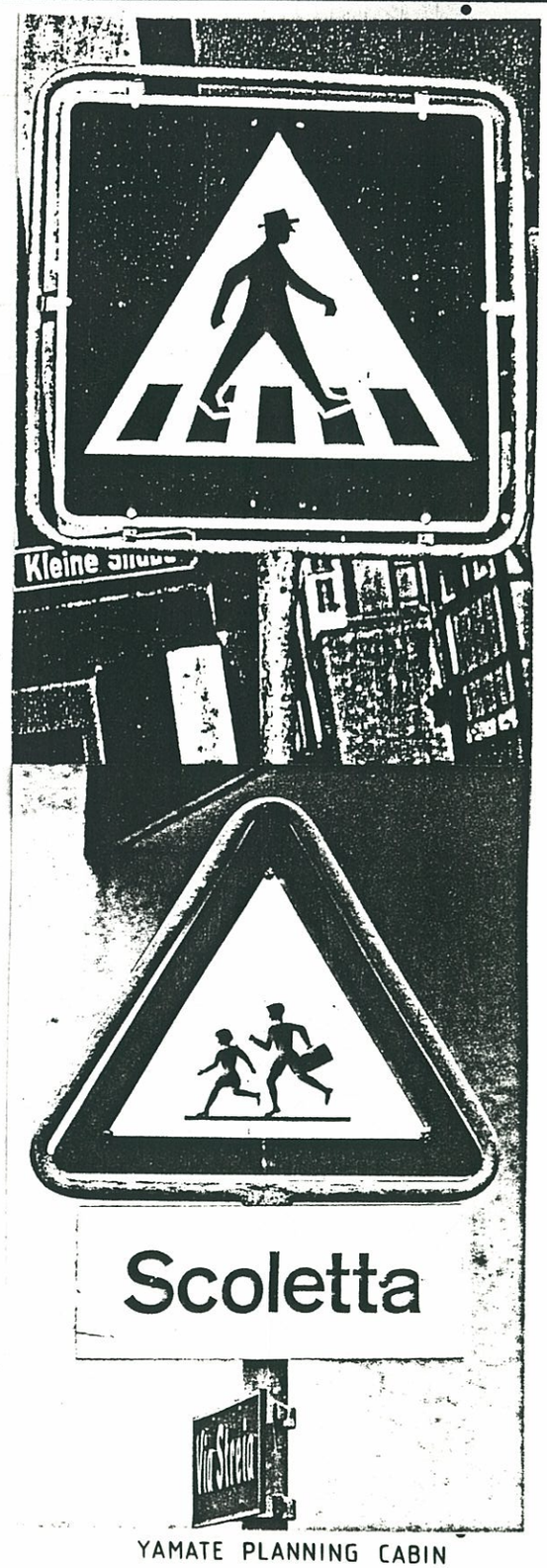




5-3-6 コミュニティ道路表示サイン

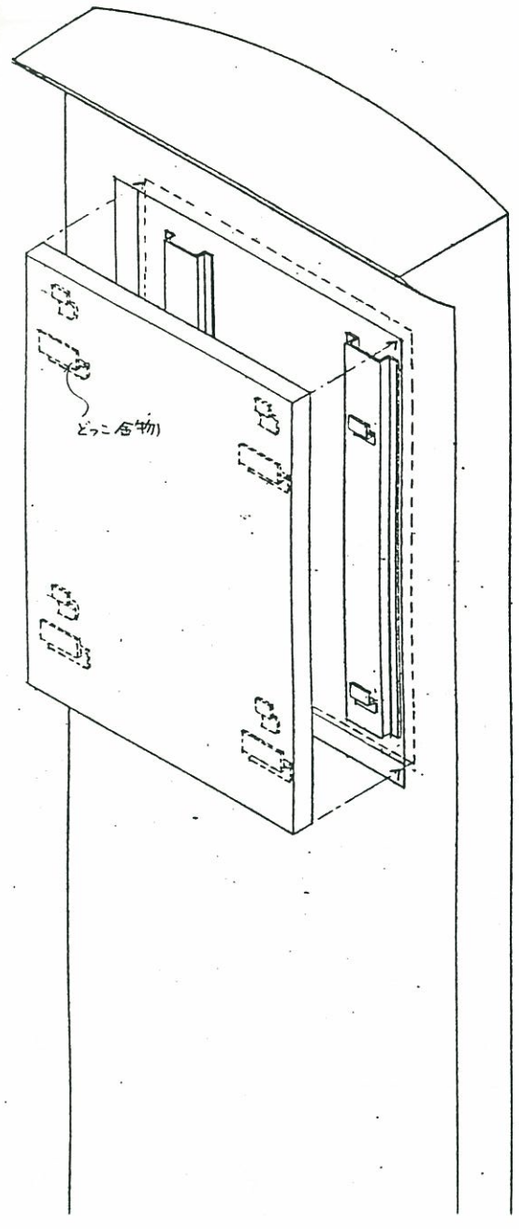


● 安全標識の例

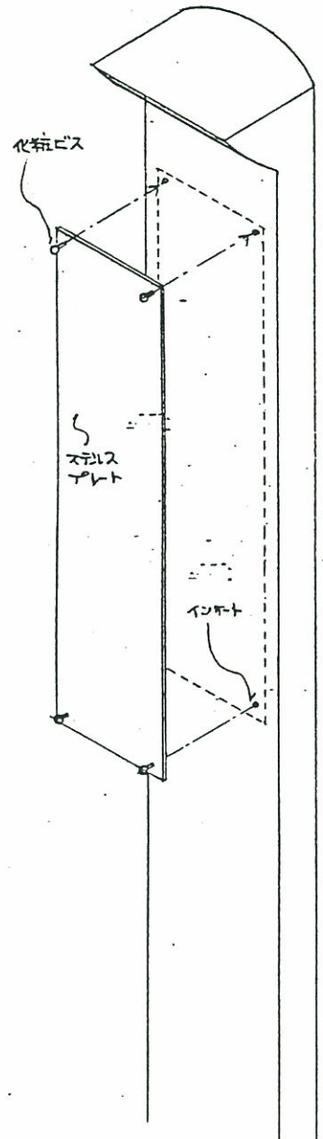


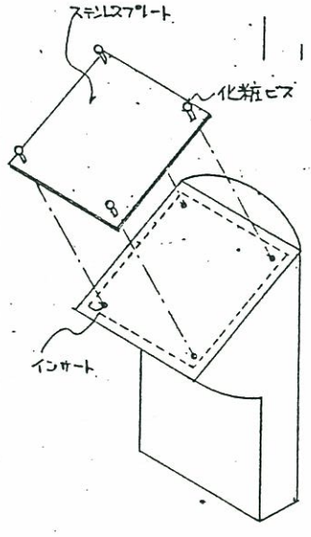
5-3-7 表示板の取付け詳細

1) ステンレスパネルの取付け詳細

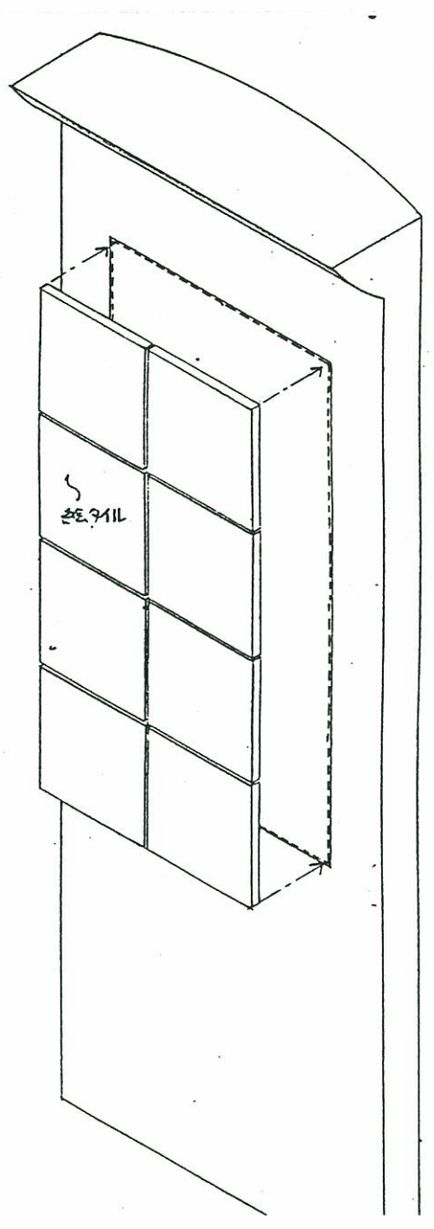


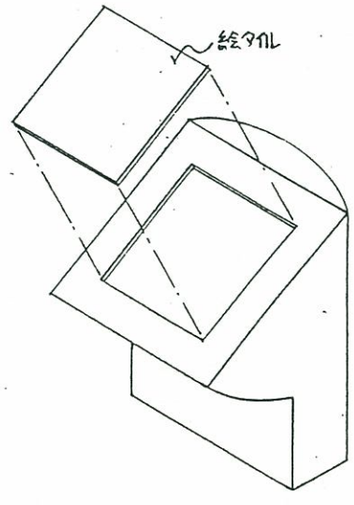
2) ステンレスプレートの取付け詳細





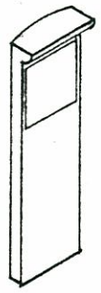
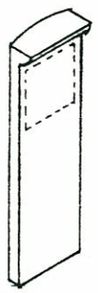
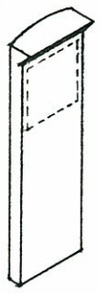
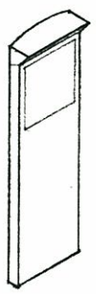
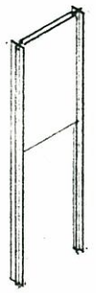
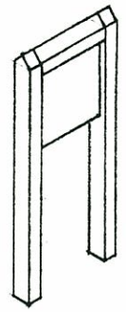
3) 陶板タイルの取付け詳細





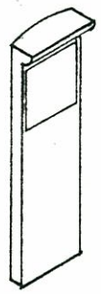
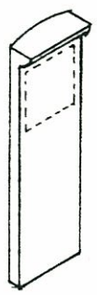
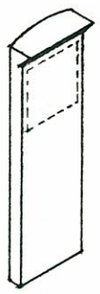
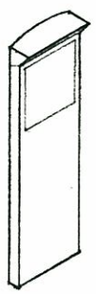
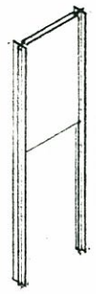
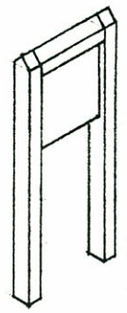
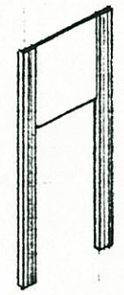
5-3-8 一般道及び歩車道内サインのコスト比較 (1)　(製作数量をモデル地区での数量程度として試算した。)

1) バス停周辺案内サインのコスト比較

	A タイプ(壁型)					B タイプ(柱型)		(柱型)
	1 (コンクリート+ステンレス)	1 (コンクリート+塗刷り)	2 (アルキャスト+塗刷り)	2 (鋳鉄+ステンレス)	3 耐候性鋼+ステンレス	1 (コンクリート柱+ステンレス)	2 (アルキャスト+ステンレス)	(ステンレス)
姿図								
版下 製版	1, 地図等の表示デザイン版下, 300,000- 2, 地図製版(4色) 160,000- 3, 文字製版(1色) 45,000- 4, 側面用製版(2色) 30,000- 計 535,000-					◦同版でら基製作まる 535,000÷5 = 107,000円/基		
印刷	85,000-							
照明	———	———	———	———	———	100,000-	100,000-	000-
表示板	ステンレスパネル 120,000-	———	———	ステンレスパネル 120,000-	◦ステンレスパネル 200,000-	◦ステンレスパネル 200,000-	◦ステンレスパネル 200,000-	◦ネル 000-
本体	300,000-	300,000-	250,000-	450,000-	38,000-	240,000-	300,000-	000-
合計	612,000-	492,000-	642,000-	762,000-	430,000-	732,000-	792,000-	000-
備考								

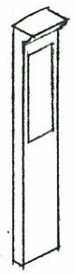
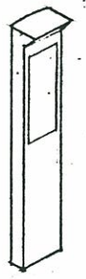
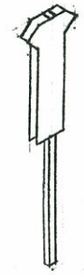
一般道及び歩専道内サインのコスト比較 (1)　(製作数量をモデル地区での数量程度として試算した。)

周辺案内サインのコスト比較

	A タイプ(壁型)					B タイプ(柱型)			C タイプ(単材柱型)
	1		2		3	1	2		1
	(コンクリート+ステンレス)	(コンクリート+直刷り)	(アルキャスト+直刷り)	(錆鉄+ステンレス)	耐候性鋼+ステンレス	(コンクリート柱+ステンレス)	(アルキャスト+ステンレス)	(錆鉄+ステンレス)	(アルミ型材+ステンレス)
図									
下版	1, 地図等の表示デザイン版下, 300,000- 2, 地図製版(4色) 160,000- 3, 文字製版(1色) 45,000- 4, 側面用製版(2色) 30,000- 計535,000-					◦同版でら基製作する 535,000÷5 = 107,000円/基			
刷	85,000-								
明	———	———	———	———	———	100,000-	100,000-	100,000-	100,000-
板	ステンレスパネル 120,000-	———	———	ステンレスパネル 120,000-	◦ステンレス・パネル 200,000-	◦ステンレスパネル 200,000-	◦ステンレスパネル 200,000-	◦ステンレス・パネル 200,000-	◦ステンレスパネル 200,000-
体	300,000-	300,000-	250,000-	450,000-	38,000-	240,000-	300,000-	270,000-	260,000-
計	612,000-	492,000-	642,000-	762,000-	430,000-	732,000-	792,000-	762,000-	752,000-
考									

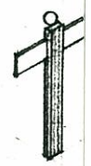
5-3-8 一般道及び歩専道内サインのコスト比較（2）（製作数量をモデル地区での数量程度として試算した。）

2）まちかどサイン（ホール）～コレクター道路誘導サイン～ のコスト比較

	A タイプ（壁型）				B タイプ（庇袖型）			C タイプ（型材庇袖型）
	1	2		3	1	2		1
	コンクリート＋ステンレス	アルキャスト＋ステンレス	鋳鉄＋ステンレス	耐候性鋼＋ステンレス	コンクリート＋ステンレス	アルキャスト＋ステンレス	鋳鉄＋ステンレス	アルミ型材＋ステンレス
姿図								
版下製版	55,000-	55,000-		55,000-	60,000-	60,000-	60,000-	55,000-
印刷	15,000-	15,000-		15,000-	18,000-	18,000-	18,000-	15,000-
表示板	・ステンレスプレート 10,000-	・ステンレス・プレート 10,000-		・ステンレス・プレート 10,000-	・ステンレスパネル 60,000-	・ステンレスパネル 60,000-	・ステンレスパネル 60,000-	・ステンレス・プレート 60,000-
本体	150,000-	290,000-	250,000-	95,000-	170,000-	200,000-	180,000-	170,000-
合計	230,000-	370,000-	330,000-	175,000-	308,000-	338,000-	318,000-	300,000-
備考								

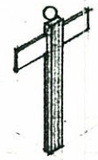
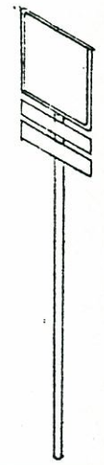
5-3-8 一般道及び歩専道内サインのコスト比較（3）（製作数量をモデル地区での数量程度として試算した。）

3）まちかどサイン（ホーム）－歩専道・緑道内誘導サイン－のコスト比較

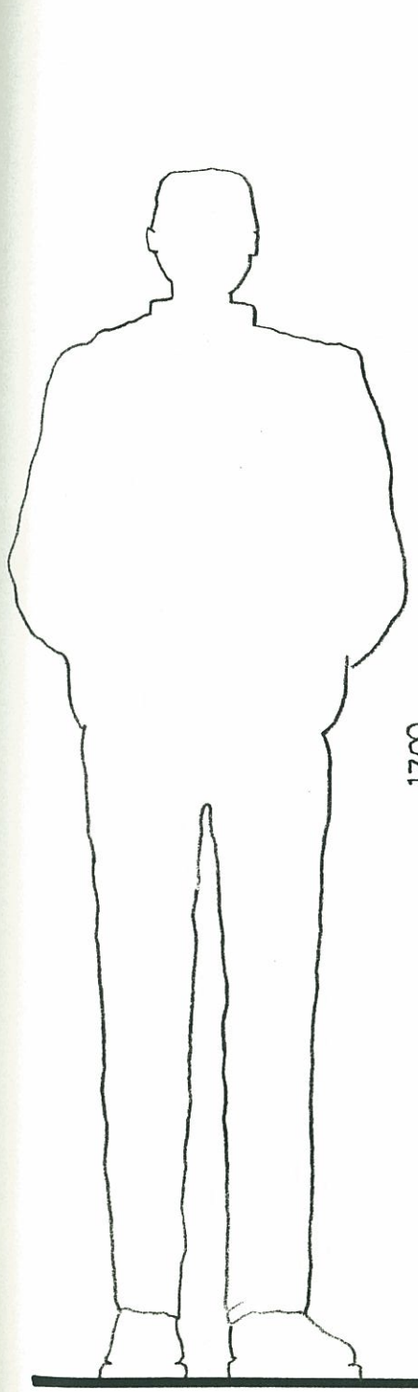
	A タイプ（壁型）				B タイプ（柱型）				C タイプ（柱
	1	2		3	1	2			1
	（コンクリート＋ステンレス）	（アルミ鋳物 ステンレス）	（鋳鉄 ステンレス）	耐候性鋼 ＋ステンレス	（コンクリート＋直刷り）	（アルキャスト＋直刷）	（鋳鉄＋ステンレス）		（アルミ型材＋
姿図									
版下 製版	45,000-								37,
印刷	12,000-								15,
表示板	・ステンレスプレート 7,000-	・ステンレスプレート 7,000-		ステンレスプレート 7,000-	—	—	・ステンレス・プレート 7,000-		ステンレスパネ 60,
本体	100,000-	120,000-	105,000	40,000-	100,000-	120,000-	105,000-		85,
合計	164,000-	184,000-	169,000	104,000-	157,000-	177,000-	169,000-		197,
備考									

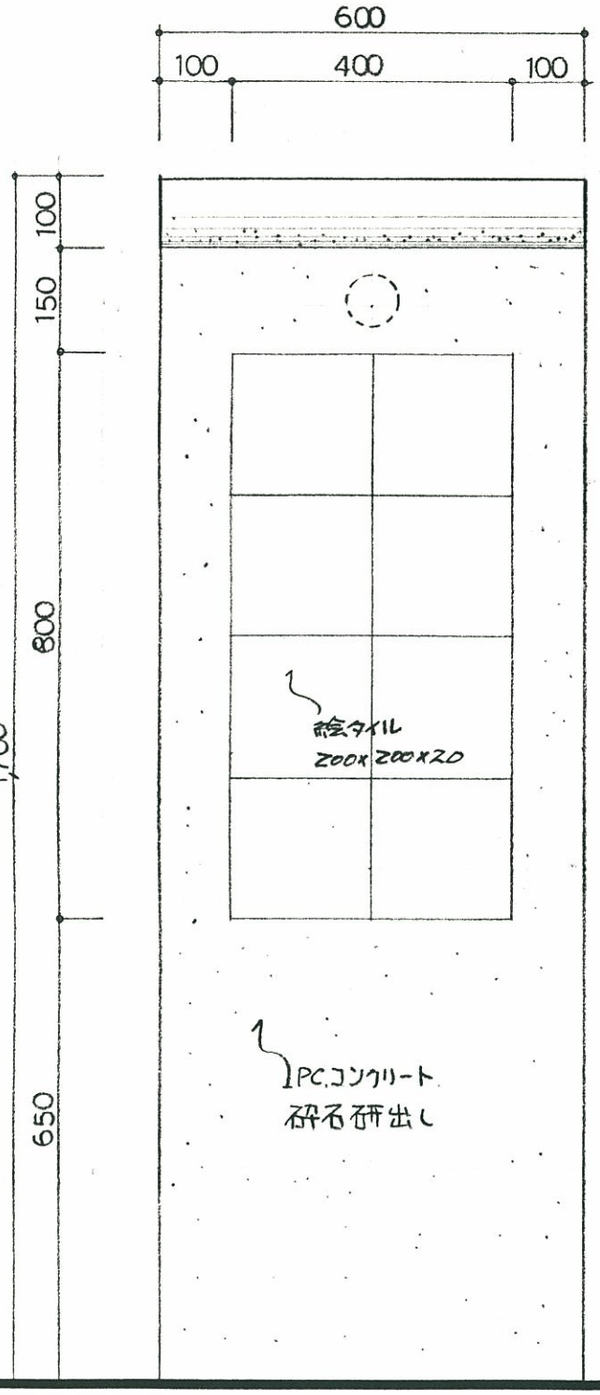
一般道及び歩車道内サインのコスト比較（3）（製作数量をモデル地区での数量程度として試算した。）

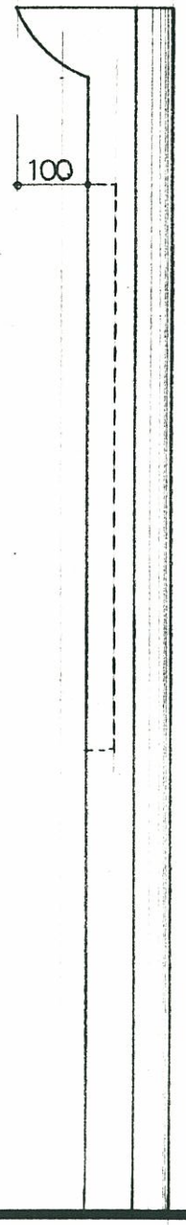
'サイン(ホ-2)-歩車道・緑道内誘導サイン-'のコスト比較

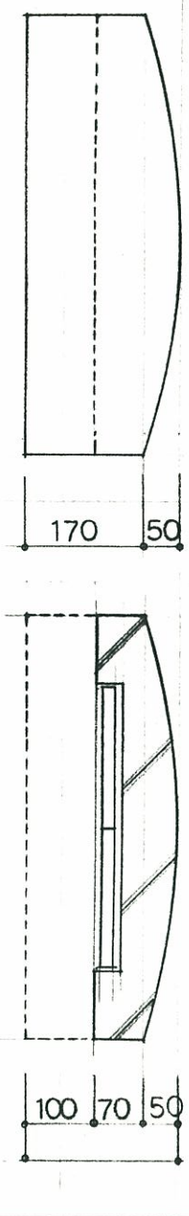
	A タイプ（壁型）			B タイプ（柱型）			C タイプ（型材型）	コミュニティ道路表示サイン
	1	2	3	1	2		1	
	（コンクリート＋ステンレス）	（アルミ鋳物 ステンレス）	（錬鉄 ステンレス）	耐候性鋼 ＋ステンレス	（コンクリート＋直刷り）	（アルキャスト＋直刷）	（錬鉄＋ステンレス）	（アルミ型材＋ステレス）	
								
	45,000-						37,000-	
	12,000-						15,000-	
	・ステンレスプレート 7,000-	・ステンレスプレート 7,000-		ステンレスプレート 7,000-	—	—	・ステンレスプレート 7,000-	ステンレスパネル 60,000-	40,000
	100,000-	120,000-	105,000	40,000-	100,000-	120,000-	105,000-	85,000-	110,000
	164,000-	184,000-	169,000	104,000-	157,000-	177,000-	169,000-	197,000-	150,000

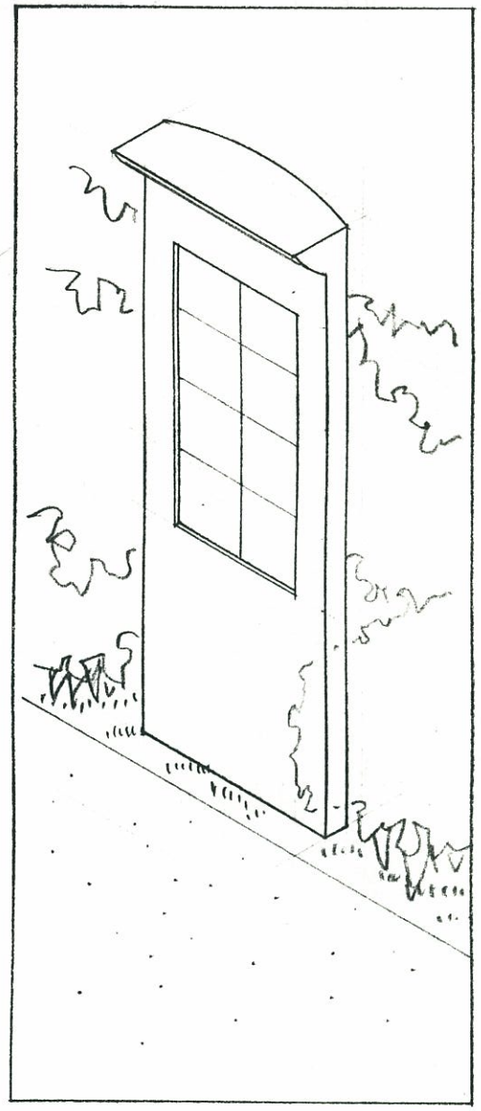
5-4-1 読切連載解説サイン （※公園の名称及び案内サインとしても用いることが出来る）



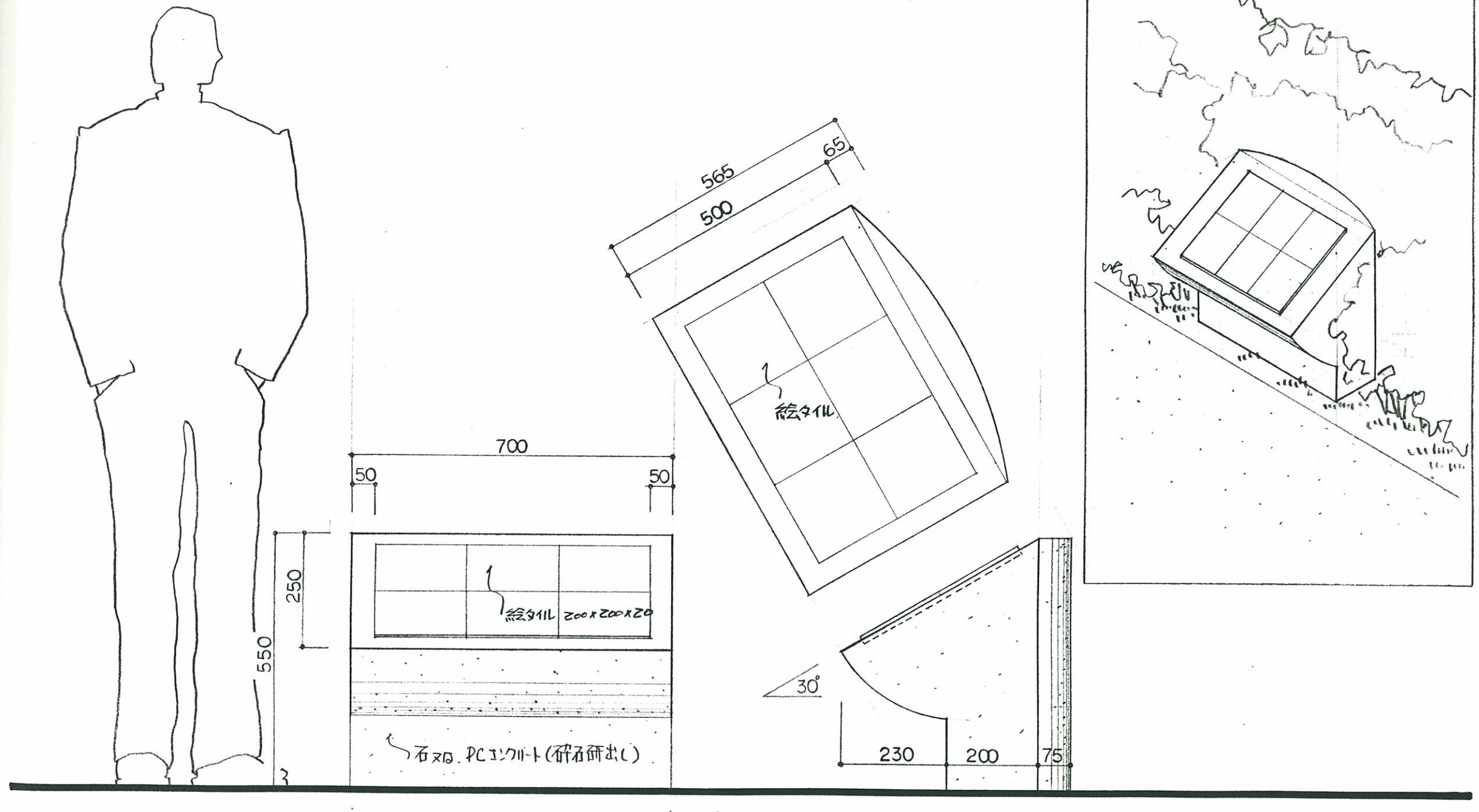


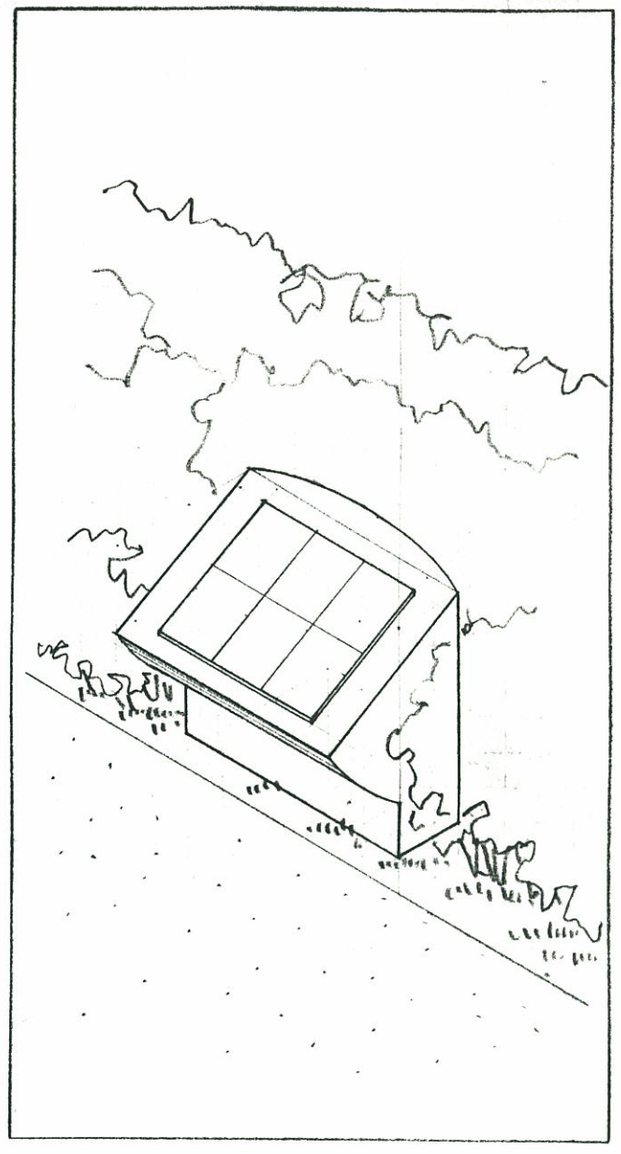




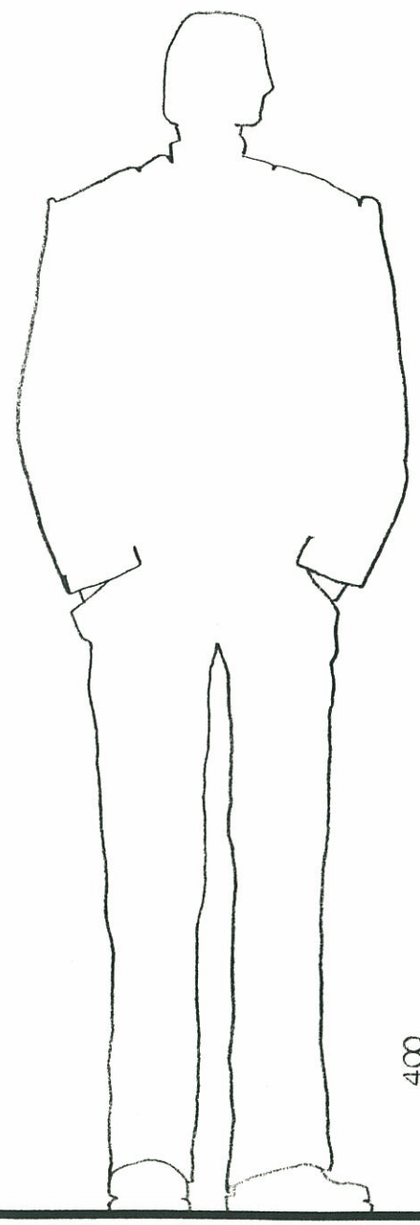


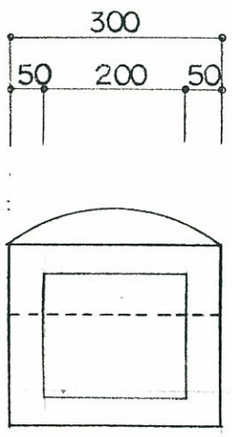
5-4-2 史蹟解説サイン・緑道名称サイン

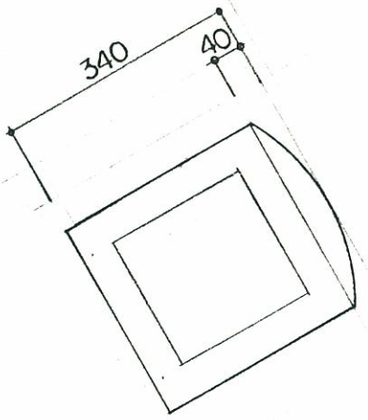


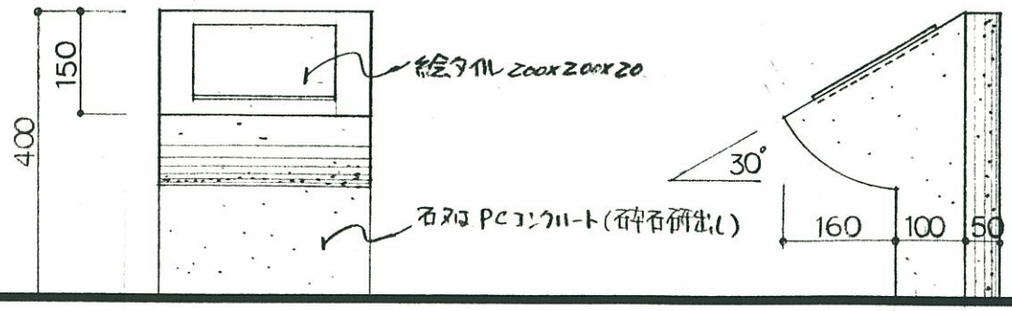


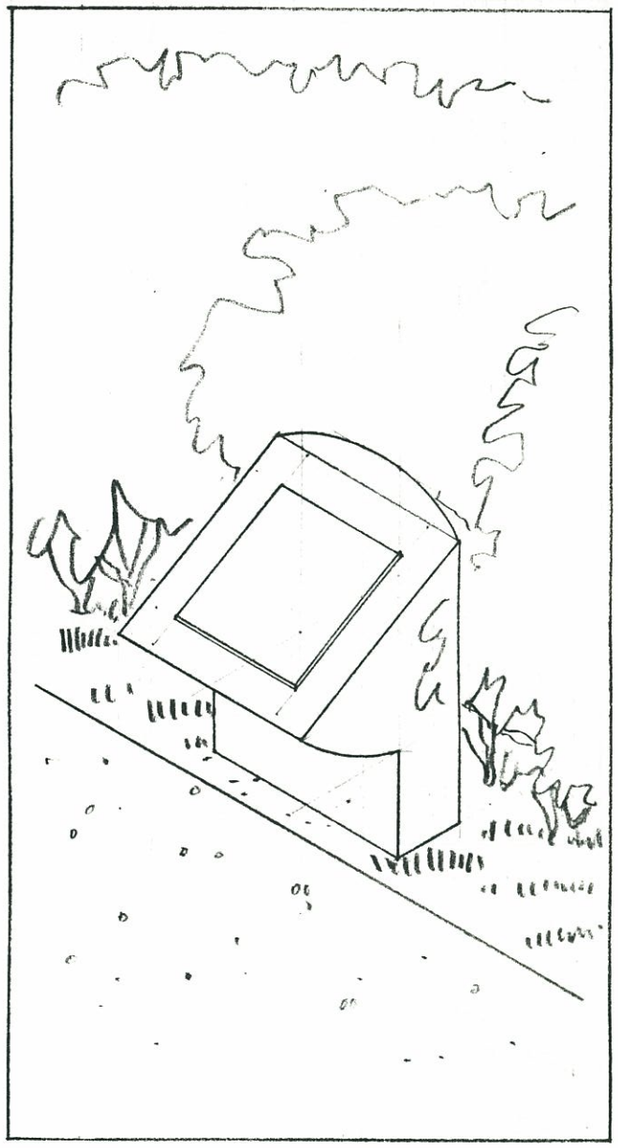
5-4-3 樹名,小動物名等解説サイン(A案)



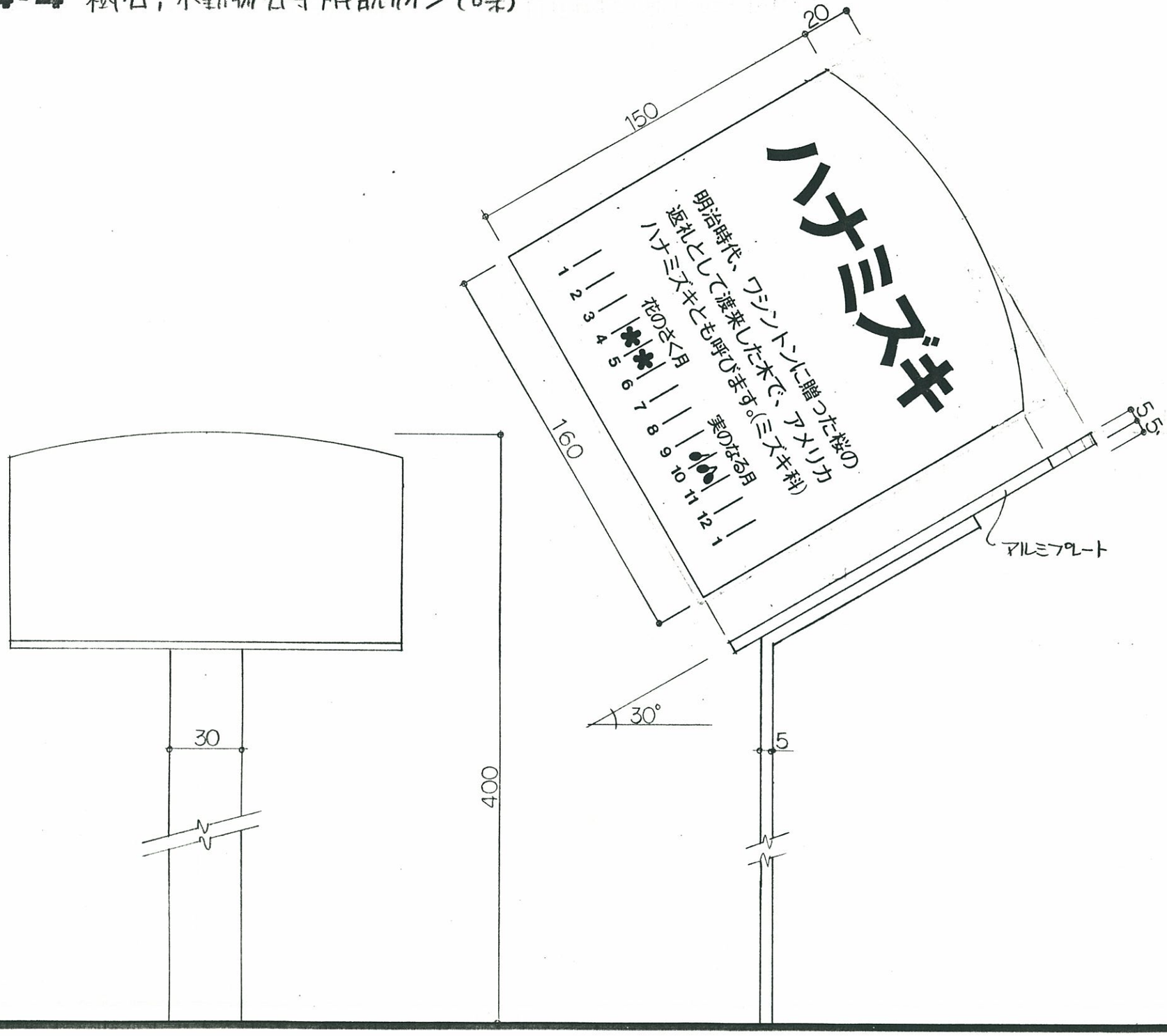


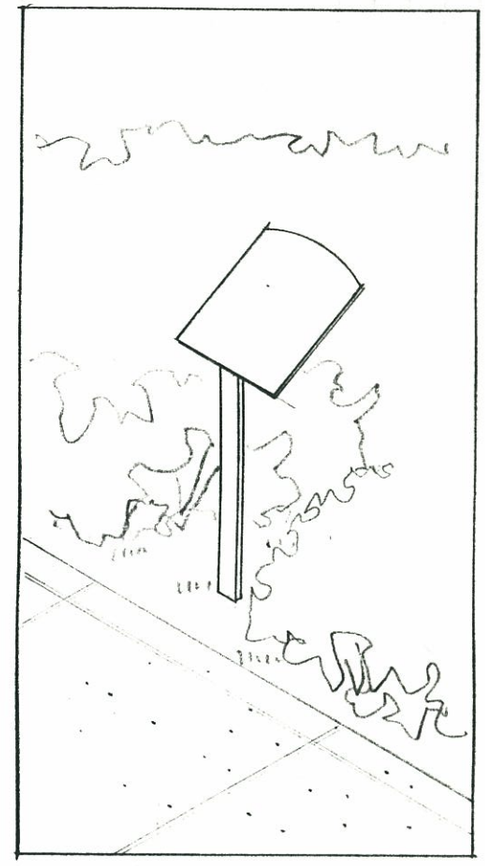






5-4-4 樹名，小動物名等解説サイン（B案）





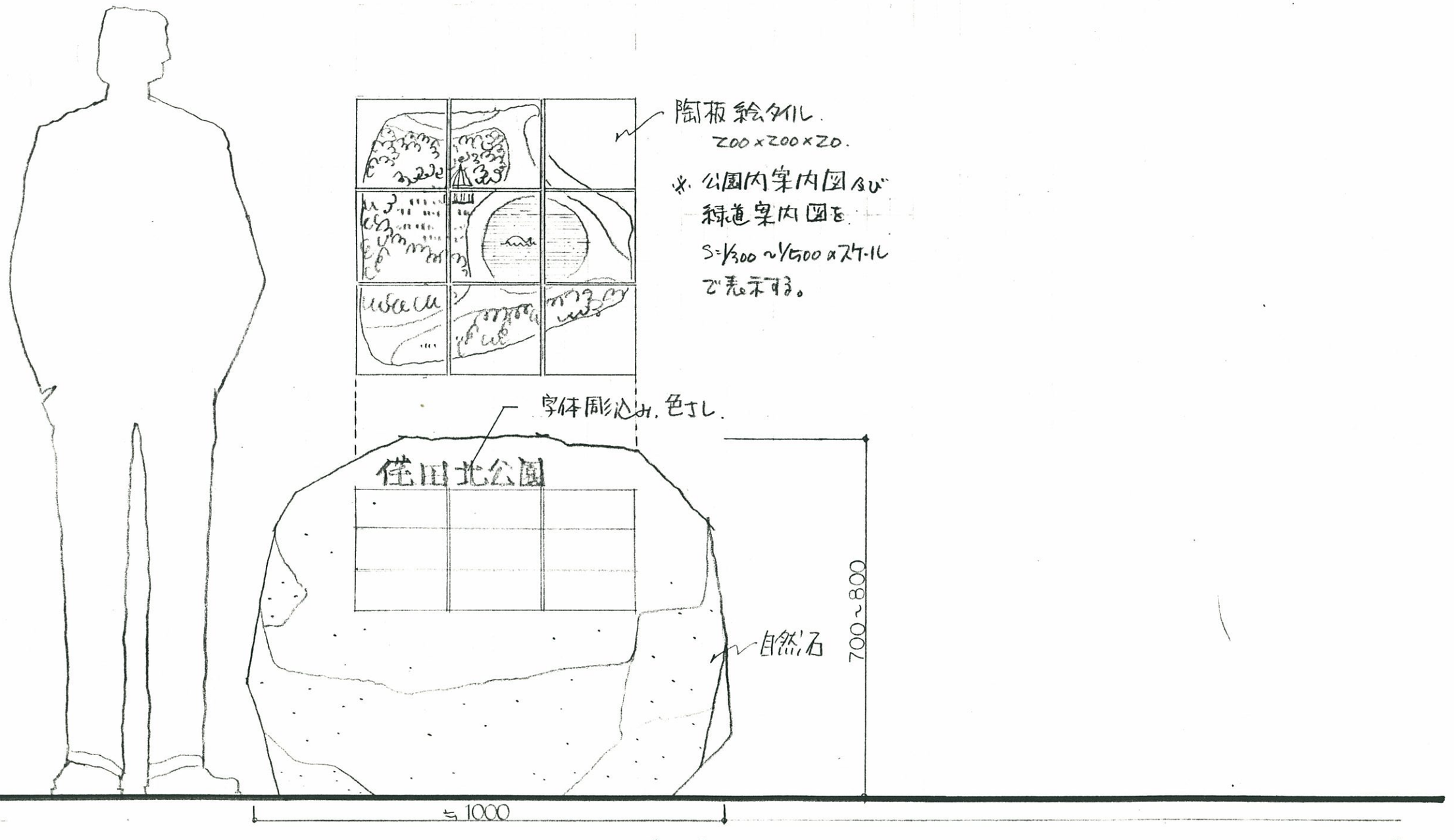
※ 表示板の形状については、
小動物のものと かえることも考えたい。

例



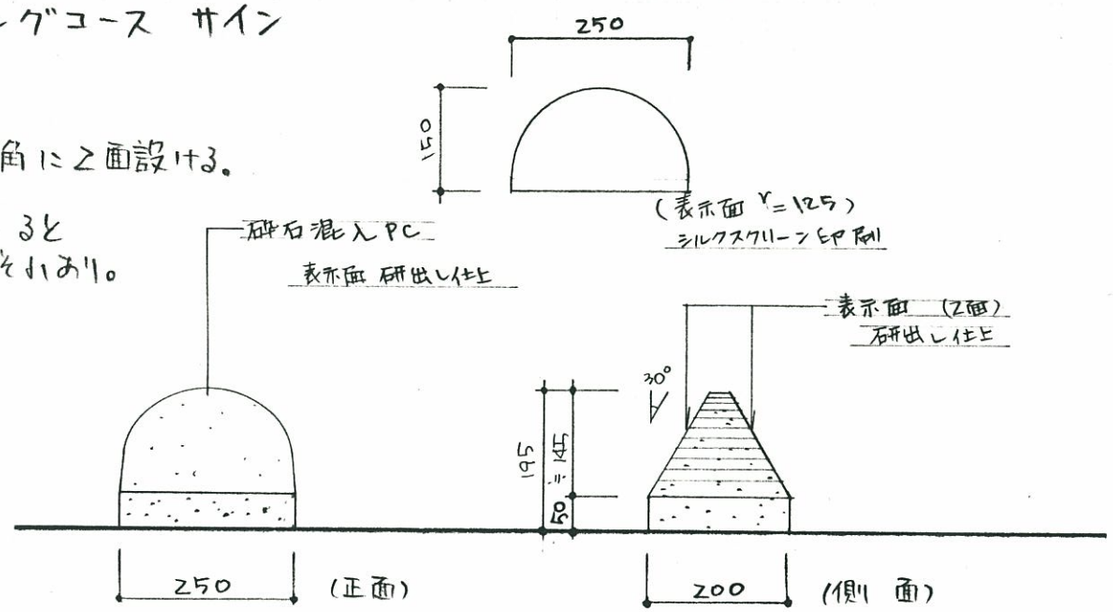
(S=1/2)

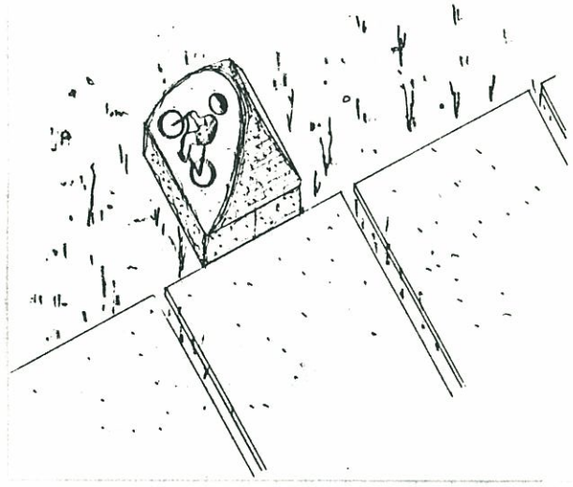
5-4-5 自然石による、公園名称(公園案内)及び緑道名称(緑道案内)サイン



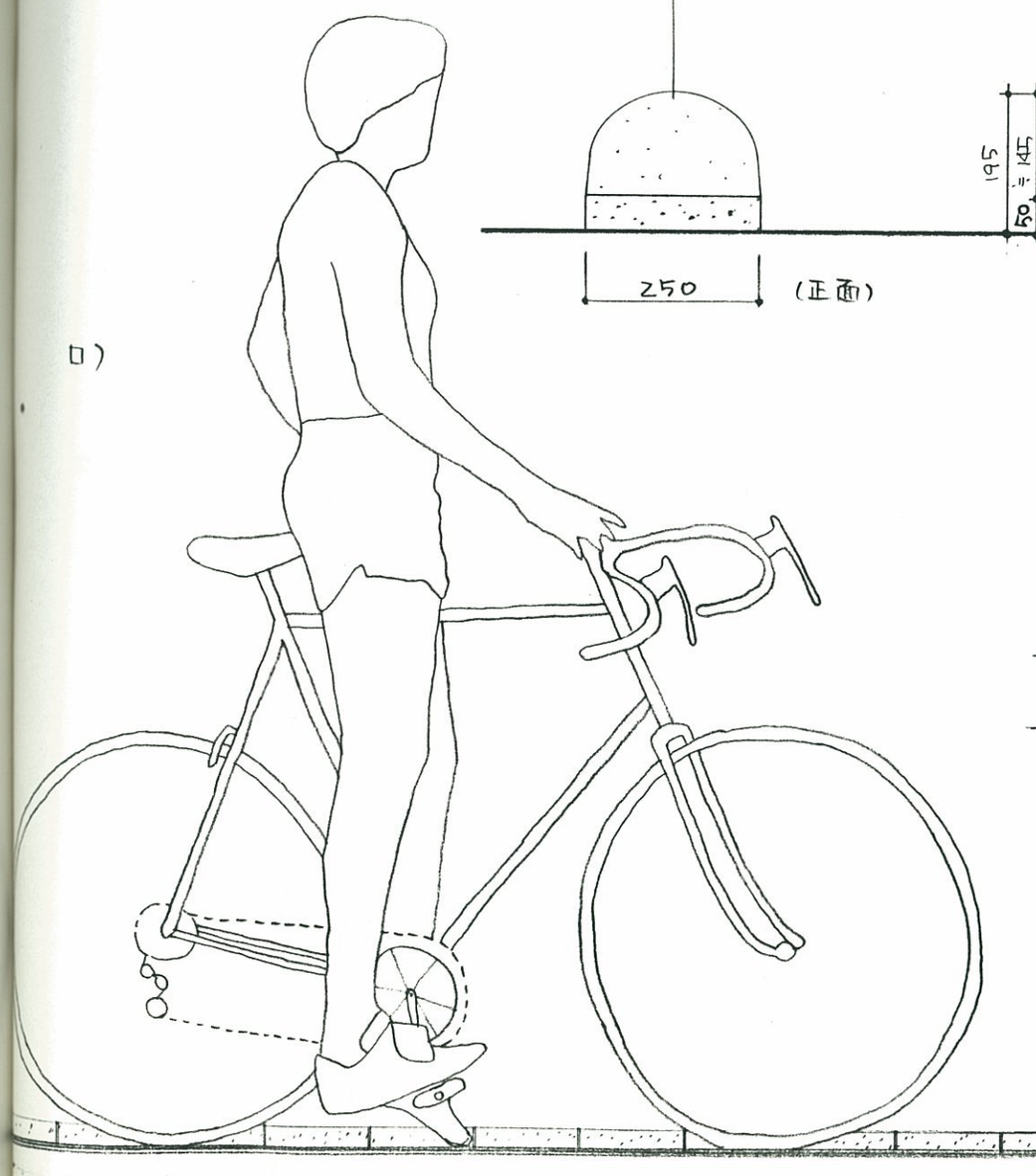
5-4-6　サイクリングコース　サイン

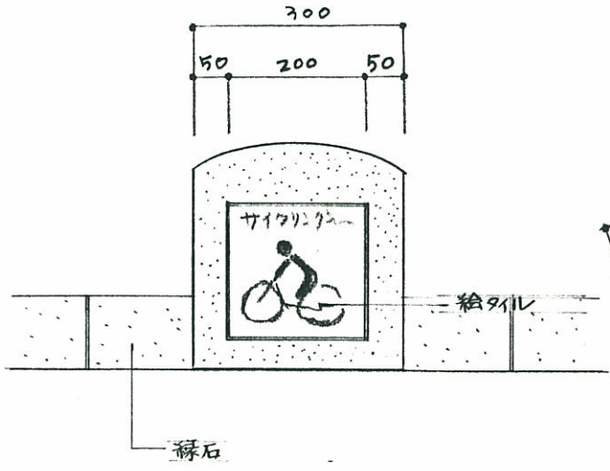
イ）
※ 道に対し、表示面を直角に2面設ける。
※ まわりの草の手入れを怠ると
表示面が見にくくなるおそれあり。

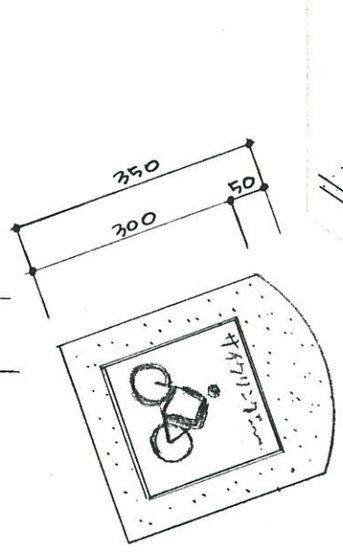


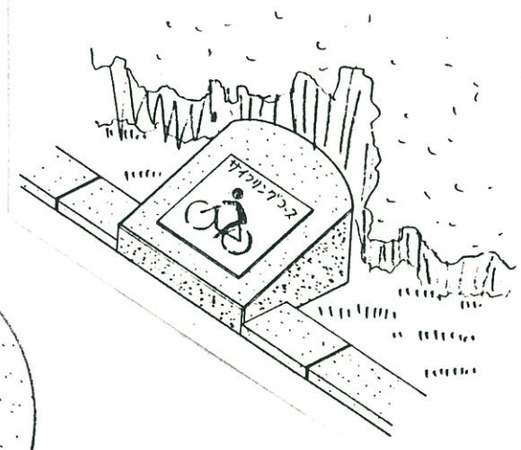


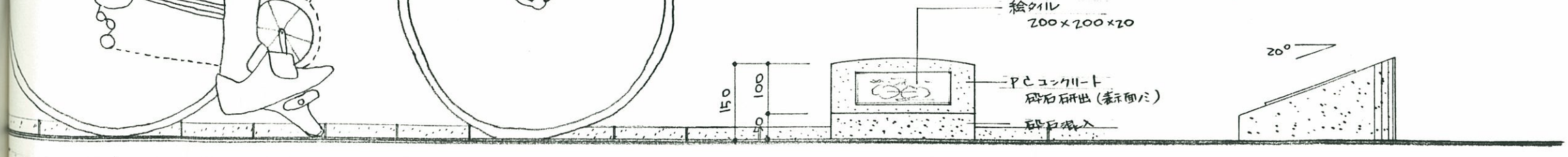
ロ）





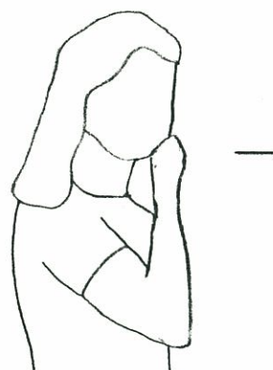




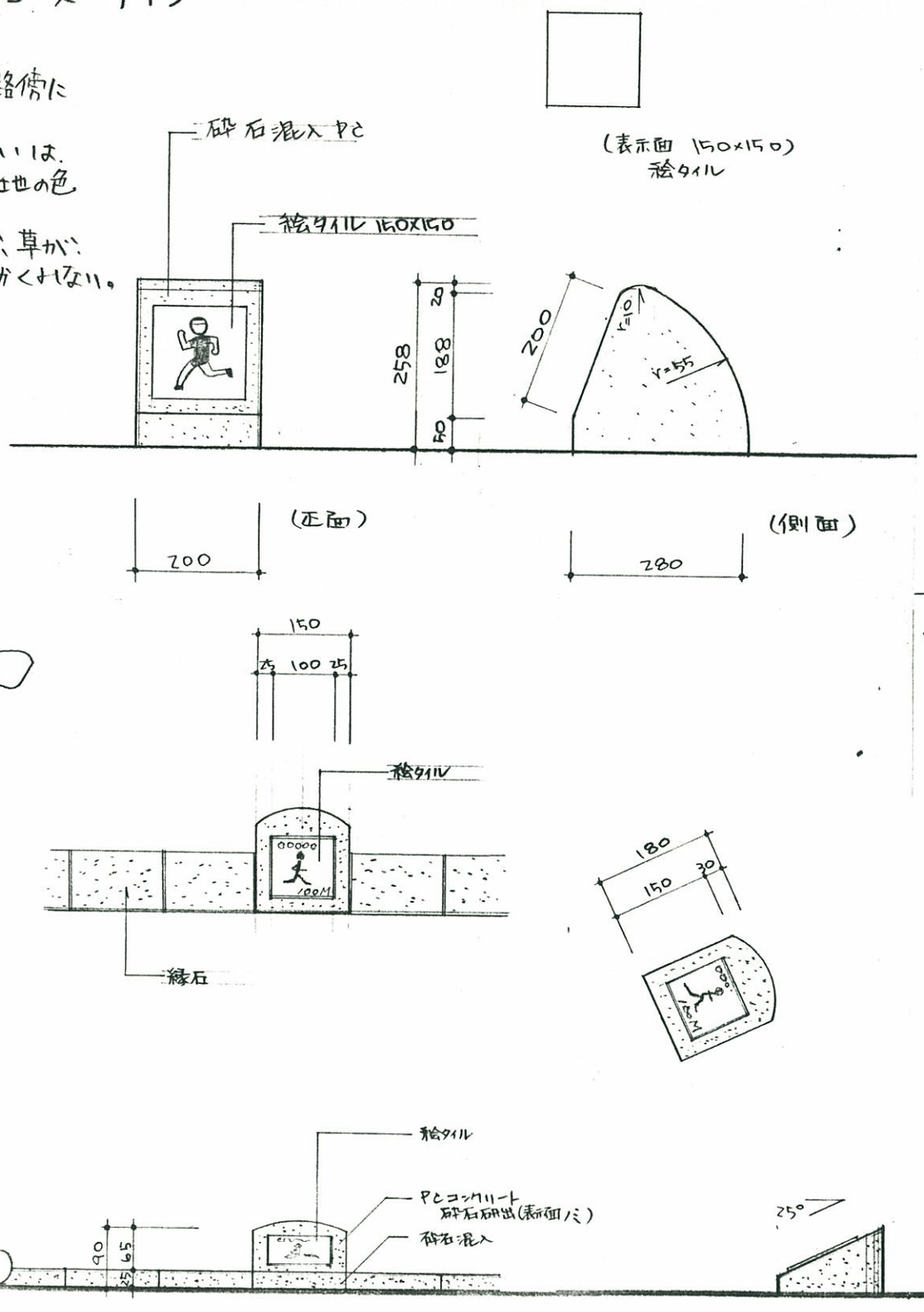


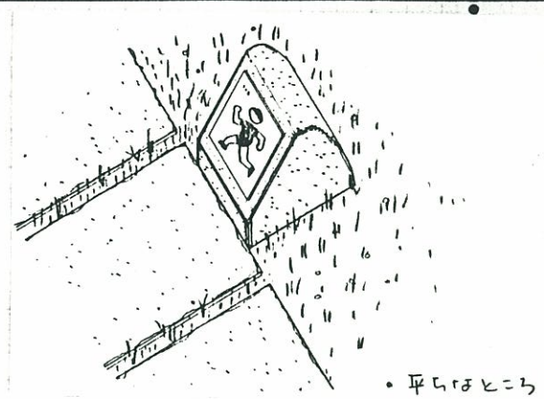
5-4-7 ジョギングコース サイン

イ) ※ 石のイメージの楕円を切りとり、路傍にごろっと転がした形。
※ ジョギングとサイクリングの違いは、絵タイルのピクトグラムとその地の色の違いによって出す。
※ 道の縁に接して設ければ、草がまわりを囲んでも表示面はかくれない。

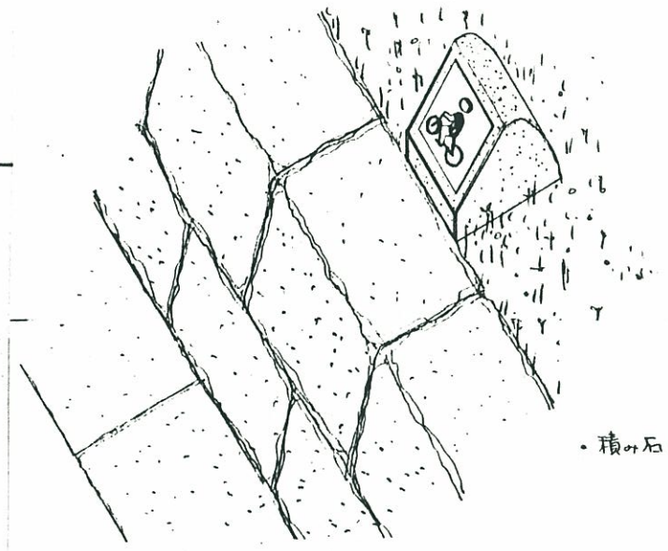


ロ)

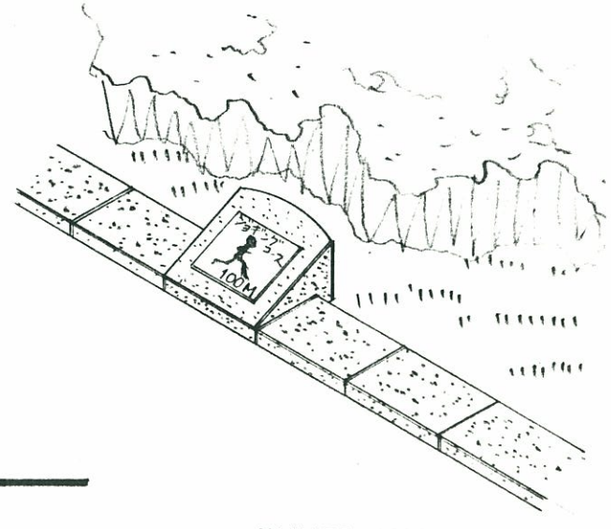




・平らなところ

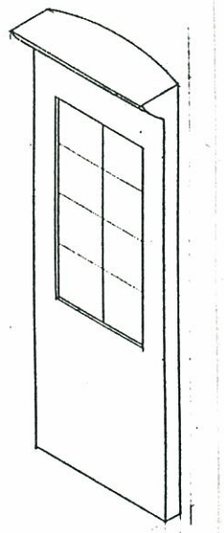
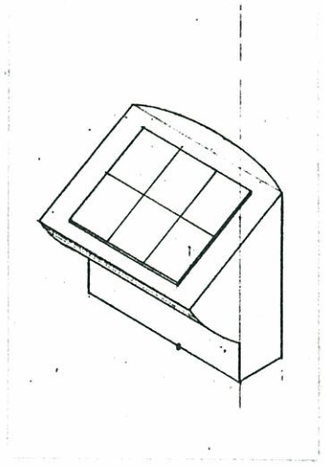
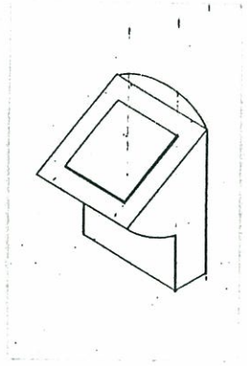
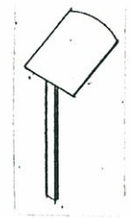


・積み石のあるところ



YAMATO ASSOCIATED ARCHITECTS

5-4-6 コミュニティしるべのコスト試算（製作数量をモデル地区内での数量程度と仮定して試算した。）

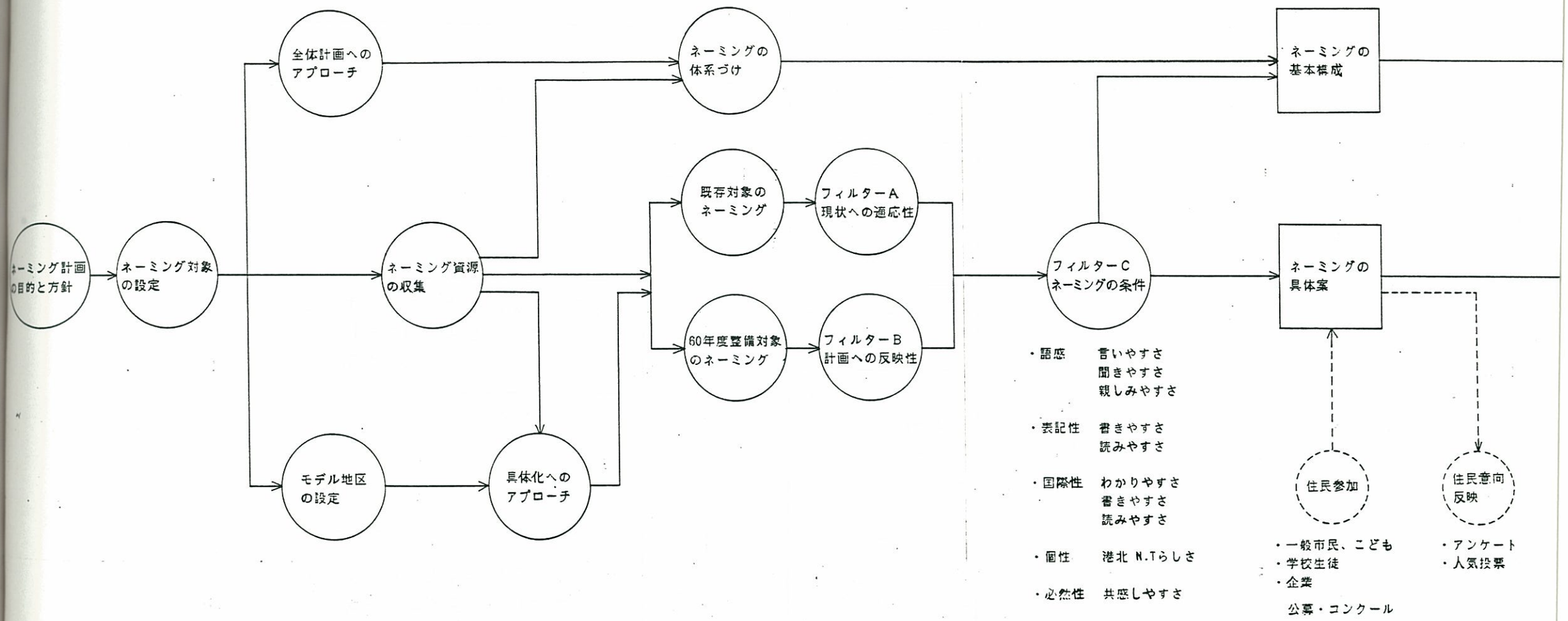
	説明板載解説サイン	みち名、みちの案内	方向指示及び樹名・動物サイン	樹名・動物解説サイン
姿　図				
表　示　板 （絵タイル と色刷）	30,000 × 8 枚 = 240,000	30,000 × 6 枚 = 180,000	30,000 × 1 枚 = 30,000	20.000 （アルミプレート と色刷）
本　体 （運搬・据付等込み）	プレキャスト・コンクリート 300.000	プレキャスト・コンクリート 200.000	プレキャスト・コンクリート 100.000	20.000
合　計	540.000	380.000	130.000	40.000

第6章　ネーミング基本計画

1. ネーミング計画 ワークフロー
2. ネーミング計画の目的と基本方針
   1. ネーミング計画の目的
   2. ネーミングの基本方針
3. ネーミング資源
   1. 町名・字名現状
   2. 港北区・緑区の旧村名及び史跡等
   3. 港北区に関する地誌
   4. 緑区に関する地誌
   5. 周辺をテーマとした文学作品より
   6. 周辺の庶民生活史「長津田のあゆみ(大明堂版)」より
   7. 横浜ゆかりの外国文化・歴史・人物等より
4. 参考資料
   1. 参考資料
   2. 出典文献一覧
5. ネーミング対象の設定とネーミングの方向づけ
   1 ネーミング対象の設定とネーミングの方向づけ
   2 港北第一・第二地区内の公園・緑地についての命名方針
6. 具体化へのアプローチ
   1 公園名
   2 児童公園命名にあたってのゾーン区分
   3 緑道緑地・都市緑地
   4 橋　梁
   5 その他の対象施設に関する参考案

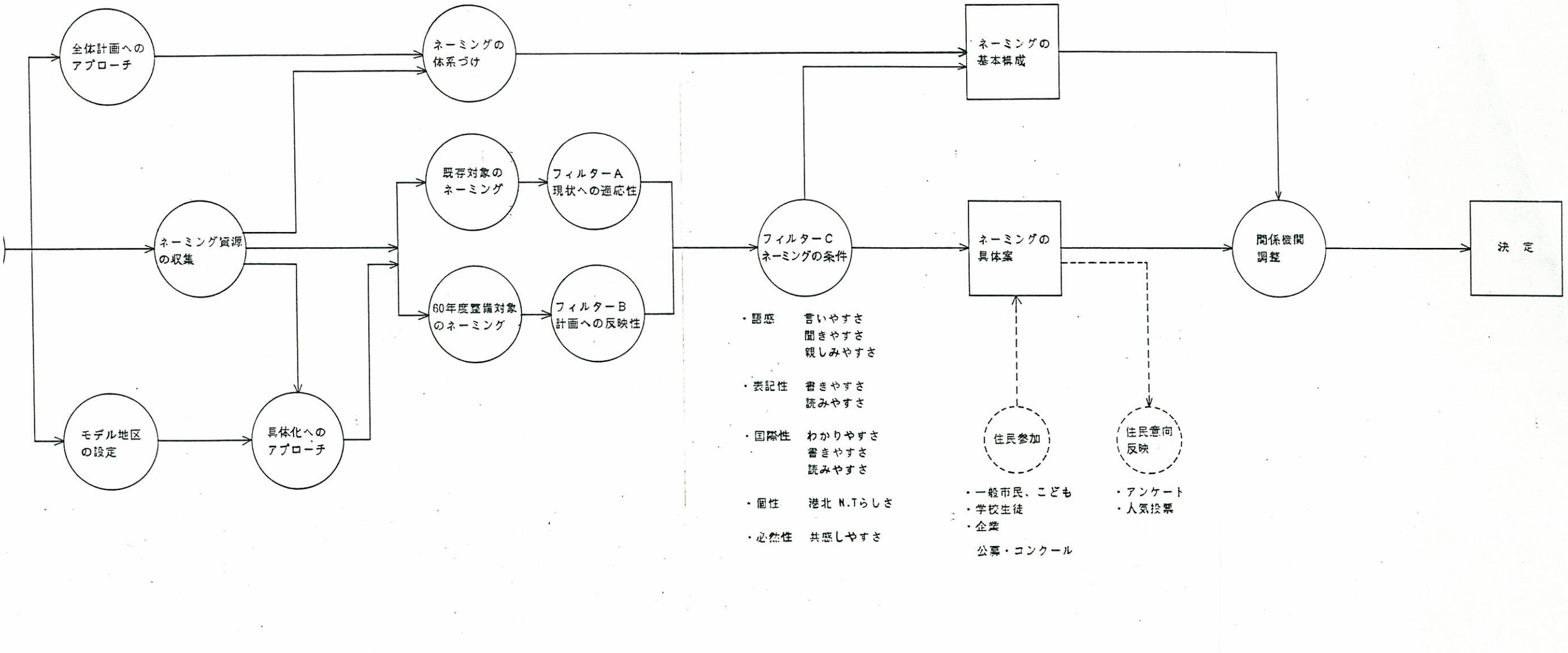
6-1 ネーミング計画　ワークフロー

港北ニュータウンのネーミング計画に対する課題は港北ニュータウン全域について対象別にネーミングの体系づけを行なうことと、60年度整備対象のものについては具体的にネーミングを設定することである。
作業はこのような条件をもととして、次のようなフローで行なうこととした。



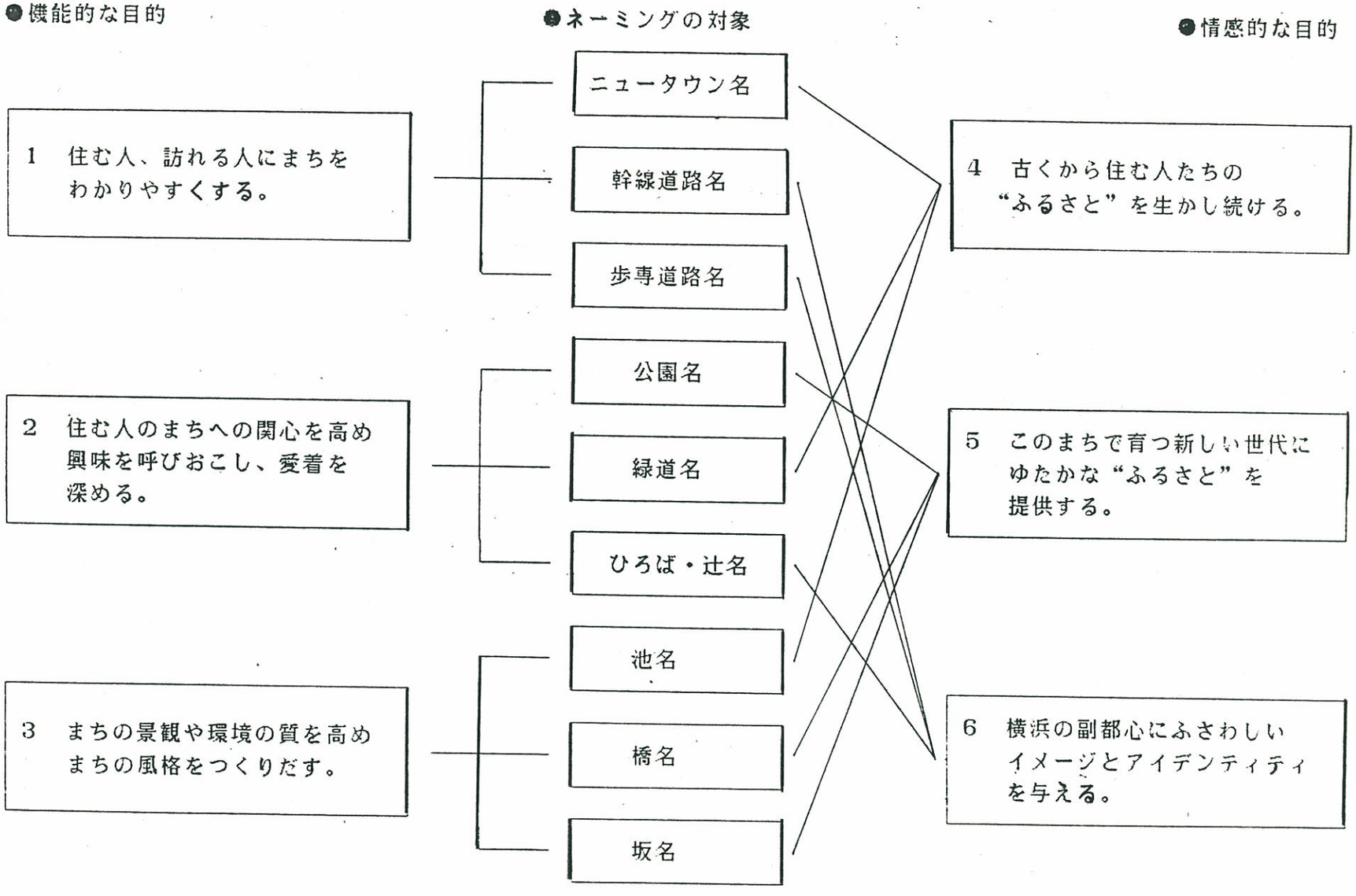
ング計画　ワークフロー

ウンのネーミング計画に対する
ニュータウン全域について対象別
の体系づけを行なうことと、60
のものについては具体的にネー
することである。
うな条件をもととして、次のよ
行なうこととした。



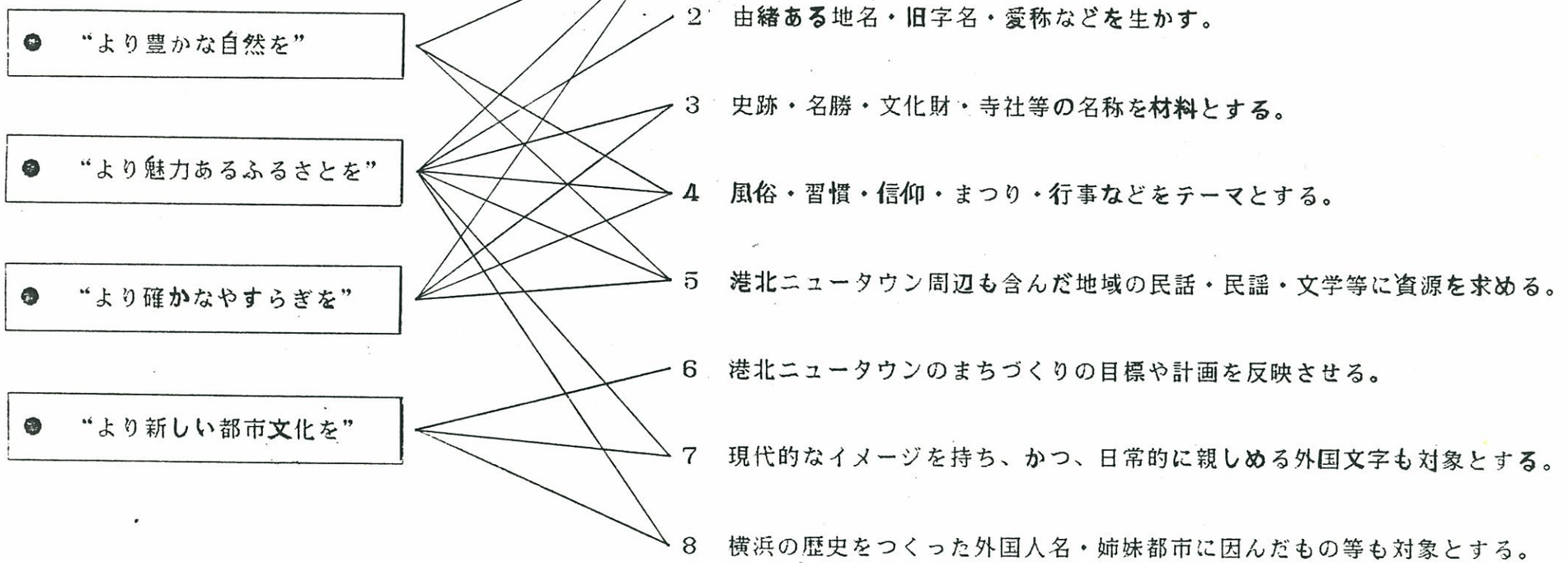
6-2-1 ネーミング計画の目的

ネーミング計画については機能的な目的と情感的な目的が考えられる。これらをネーミングの対象別に整理してそれぞれの目的にあわせた方法をさぐることにした。



6-2-2 ネーミングの基本方針

港北ニュータウンのまちづくりの目標をネーミング計画をすすめるにあたって再整理をしそれぞれの目標に適合したネーミング資源を求めることとした。



6-3-1 町名・字名現状

＊－2（　）内は旧地名・俗称　＊－1 港北区S55.4.1、緑区S55.9.1

区	町名	面積	人口＊－1	世帯	地区内字数	字名（地区内）	字名（地区外周辺）
		ha	人	世帯			
港北区	東山田町	176.0	6,884	1,848	1 (6)	東山田（殿谷、下根、日面、城山、打越、徳持）	
	北山田町	119.6	1,065	260	1	北山田（稲荷谷、芝生、滝ヶ谷、二十歩、神無、権現堂、十代、富士塚）	
	南山田町	116.3	3,478	901	1	南山田（堀ノ内、弥兵次、宮ノ下、権田、東、西谷戸、不動谷戸、徳生）	（南堀）
	すみれが丘	38.0	3,465	941	1	すみれが丘	
	牛久保町	185.4	1,282	321	6	上小山田、下小山田、金子入、請地、古梅 （上金子、下金子）	
	大棚町	63.5	1,435	371	3	杉ノ森、才勝土、矢東	鵜ノ目
	中川町	154.5	1,762	468	4 (7)	老馬、宿之入、山崎、中邑 （鍛冶山、雁山、大塚）	中耕地 池田
	新吉田町	405.9	21,989	6,216	3	北川、西、神隠	
	新羽町	361.7	7,902	2,022	2	（新田谷）北原	（北ノ谷） （間門谷）
	勝田町	104.4	6,849	1,882	4	谷、丸沢、権田、蛇山	出口、宮下
	茅ヶ崎町	172.7	1,493	373	6	境田、中村、中丸、東前、大原、貝塚、（耕地）	下耕地、中耕地
緑区	荏田町	533.0	8,431	2,243	10	泉田向、折田、華蔵台、中村、牛ヶ谷、矢崎、中瀬、池田、京塚、大谷、 （渋沢、柚木）	泉、関耕地、宿裏、宿、 原根、宮前、権現谷、 池尻、袖振
	大熊町	111.0	2,463	684	2	仲町、大谷	上川根
	折本町	124.2	1,475	329	3	蛇谷（新田）、観音、（前ヶ谷、貝がら塚）	屋敷前
	東方町	228.2	1,811	423	5 (7)	平台、向原、長坂、葛谷、たたら沢、（蛇谷、新道向）	星谷台、甚九郎谷 石原、新道下
	池辺町	394.7	8,578	2,067	10	大丸、小丸、高山、葛ヶ谷、前高山、三ノ丸、二ノ丸、奥谷、不二塚、 擂場這谷	中星谷、清水上、清水、 滝ヶ谷戸
	川和町	229.8	9,037	2,234	17	稲荷谷、原出口、四枚畠、脇松、大原、寅ヶ谷、影谷、小谷戸、天ヶ谷、 権現坂、狢谷、賀々原、猫谷、伊勢原、伊勢森原、花見山、中丸	（大塚根原）、河輪森、中村 （大元天山）、上サ上村、向台 屋敷、赤松、薬師堂、曲松、 中村下、、山王原、（能見処）
	佐江戸町	139.0	3,257	629	4	大坂台、長谷、加賀原、山王前	

6-3-2 港北区・緑区の旧村名及び史跡等

全体　豆々岐（古名）→都筑郡
石川・立野　→牧（左馬寮所管）、思田厨、御厨

茅ケ崎村　［血ケ崎］寿福寺（長福寺）、正覚寺、杉山神社（スキヤマノとの説あり）、貝塚、綱崎山遺跡、茅ケ崎城（多田行綱館）

山田村　［やまた］（東、南、北山田、すみれが丘）長瀬山、太子堂山、諏訪山、権現山、南堀貝塚、長泉寺

牛久保村　［牛窪］（牛久保、すみれが丘）南北に山、長徳寺（常仙寺）

大棚村　（大棚下山田村）矢倉沢往還、中原道、慈眼寺（大徳寺）、専善寺、歳勝土遺跡、大塚（中川町）

吉田村　（新吉田町）早淵川、表吉田、裏吉田、天台宗正福寺……釈迦如来像（平安～鎌倉）、十一面観音、北川貝塚（先土器、縄文、弥生平安の遺跡）、宮ノ原貝塚、神隠丸山遺跡

新羽村　［にっぱ］（新羽町）西方寺……注大般涅槃経　巻30（唐の韋詮）、木造大吉祥菩薩立像、鷹の捉飼場

勝田村　［鍛治田］（勝田町）丸山、蛇山、玄蕃山、八段山、権太池（かつてミヤコタナゴ棲息）

川和村　［川輪・河和］（川和町）佐江戸との境を貝の坂、花見山遺跡、精進場橋、地蔵渡

荏田村　（荏田町）渋沢谷、柚木谷、和泉谷、下宿、中宿、上宿、剣神社、荏田城跡、華蔵台遺跡、矢崎山古墳、富士塚遺跡、長者原遺跡

大熊村　（大熊町）大熊仲町遺跡

折本村　（折本町）前ケ谷、蛇谷、新富権現、淡島社、折本貝塚、折本西原遺跡

東方村　［池辺の東］（東方町）江川（大熊川）、殿山、しこ山、ほしや嶺、ヘビ谷、狸窪、長坂

池辺村　［いこのべ］［伊子野辺］（池辺町）かみあい谷、をきか谷、滝ケ谷、葛ケ谷、猫ケ谷、虎ケ谷、三の丸遺跡、池辺第14遺跡

佐江戸村　（佐江戸町）谷本川＝恩田川と合流、田の付く地名が多い、ちぢろけ谷、御所ケ谷、平台、御祓山、猿山渡戸、中原道馬継場落合橋、阿弥陀坂、坂町坂、出崎坂

6-3-3 港北区に関する地誌

①植物 ―――― スダシイ、アカガシ、アラカシ、シラカシ、クヌギ、コナラ、しいたけ、セイダカアワダチソウ、ヒメジオン
カントウタンポポ、スギ、ウメ、ボケ、サクラ、ショウブ

②昆虫 ―――― アゲハ、キアゲハ、スジグロチョウ、モンシロチョウ、ベニシジミ、ヤマトシジミ、キタテハ、コミスジ
サトキマダラヒカゲ、ジャノメチョウ、イチモンジセセリ、チャバネセセリ、オニヤンマ、ギンヤンマ、シオカラトンボ
ニーニーゼミ、アブラゼミ、ヒグラシ、ミンミンゼミ、ツクツクホウシ、クワガタ、カブトムシ、ヘイケボタル
ゲンジボタル

③野鳥 ―――― オナガカモ、コガモ、タマシギ、ヒクイナ、バン、コサギ、アマサギ、チュウサギ、イソシギ、オオヨシキリ、タヒバリ
ハクセキレイ、モズ、ツグミ、シジュウカラ、ヒバリ、ジョウビタキ、コジュウケイ、ヒヨドリ、ムクドリ

④魚 ―――― 鶴見川、早淵川　スナヤツメ、シマドジョウ、キバチ、アユ、ウグイ、ウナギ、オイカワ、フナ、コイ、カダヤシ
ドジョウ

⑤伝説・民話 ―― 乞食地蔵、鳥山の馬頭観音、池月、琵琶橋、枕がえしの琵沙門堂、石ざる（蓮勝寺）、七福神（金蔵寺、興禅寺、東照寺
西方寺、蓮勝寺、正覚寺、菊名池大明神）

⑥港北十選など ―― 師岡熊野神社、大倉山記念館、鶴見川、港北ニュータウンの埋蔵文化財（大塚遺跡、歳勝土遺跡など）、関家住宅
倉部谷戸周辺の雑木林と農地、西方寺、小机城跡、北山田の富士塚、七富士巡り（荏田、川和、池辺、茅ケ崎、北山田
新羽、篠原）

⑦寺社・仏閣 ―― 専念寺、金蔵寺、篠塚八幡神社、山田神社、正覚寺、師岡熊野神社、杉山神社、貴雲寺、泉谷寺、真福寺（下田地蔵尊）
西方寺、興禅寺、東照寺、蓮勝寺、正覚院、菊名池大明神、光明寺、大聖院、駒林神社、西蓮寺、諏訪神社、長福寺
陽林寺（田代観音）、来迎寺、菊名神社、熊野神社、観音寺、東林寺、慈雲寺、妙蓮寺、馬頭観音、将軍地蔵、鳥山八幡宮
三会寺、乞食地蔵、雲松院、本法寺、泉谷寺、金剛寺、蓮華寺、善教寺、浅間神社、常真寺、浄流寺、若雷神社、正福寺
円応寺、天満宮、塩谷寺、長円寺、地蔵院、古梅堂、清林寺、竜福寺、寿福寺、最乗寺

⑧公共施設・道路 ― 綱島街道、太尾新道、大綱橋、新羽橋、綱島公園、大倉山公園、新羽緑道、港北高校、篠原中学校、大綱中学校
大曽根小学校

⑨歳時記 ―――― １月－初詣、熊野神社の筒粥(1/14)、２～３月－大倉山梅林の梅、４月－専念寺のボケ、綱島公園の桜、５月－植木市
バードウィーク、オオヨシキリ渡来、正覚寺の菖蒲、６月－茅ケ崎町周辺のゲンジボタル、夏越祓、７月－虫送り
綱島の七夕、鶴見川の花火大会、８月－光明寺のヘイケボタル、９月－八幡宮の行道獅子(9/15)
10月－オナガカモなど冬鳥渡来、11月－慶大イチョウ並木、12月－大祓、除夜の鐘

6-3-4 緑区に関する地誌

①歴史 ――― 十日市場の霧ケ丘（石器）、貝塚、朝光寺原遺跡、方形周溝墓、古墳、鉄剣、鉄刀、鉄鏃、甲冑、武蔵国、都筑郡
国分寺、御牧、武士、鎌倉街道、畠山重忠、千葉常胤、鴨志田十郎、奈良五郎、奈良弥五郎、江田小次郎、上杉禅秀
足利持氏、室生寺、小田原北条氏、天領、旗本領、陣屋、荒川氏、岡野氏、上原氏、大曽根氏、助郷制、榎下郷、榎下城
久保城、喰い違いの虎口、上陣場、下陣場、下屋敷、馬久保、上仙ケ谷、上杉憲清、上杉憲直、久保山医王院、無限薬師
庚申塔、二十三夜塔、六地蔵、荏田城、江田源三、小黒谷戸、横穴古墳群、谷本川、早淵川、朝光寺原、金環、なつめ玉
水晶切子玉、刀、土器、稲荷前古墳群、渡辺華山、在原業平

②神社・仏閣 ――― 鷲神社、剣神社、杜、王子神社（王子権現）、大石神社、住吉神社、かまど神社、神明社、住吉社、杉山神社、西八朔の社
上谷本の社、恩田の社、佐江戸の社、震災記念碑、富士講、真福寺、釈迦立像、無量寺、千手観音立像、真照寺、宝命寺
慈性寺、恭拙鱗善大和尚、祥泉院、万葉歌碑、常光庵、寒念仏碑、服部於田、大林寺、殿様墓、観護寺、印融法印、宝形造り

③民俗芸能 ――― 牛込獅子舞、剣角、巻角、雌獅子が笛、ほら貝、双盤講、鉦、太鼓、トウカン、お十夜、十夜講、寅薬師、池辺あやめ踊り
粉屋踊、新川踊、伊勢音頭、浮島踊

④古道・旧道 ――― 鎌倉道、上ノ道、仲ノ道、下ノ道、中原街道、お酢街道、矢倉沢往環（青山街道、大山街道、厚木街道）

⑤民話・伝説 ――― 「河童の詫証文」谷本川、平六、「霧が池のぬし」大蛇、「早苗地蔵」

6-3-5 周辺をテーマとした文学作品より(1)

①佐藤春夫　田園の憂鬱（日本の詩歌）より

- 雑木林
- 柿の樹
- 灌水
- 紫陽花
- 榊
- 雨月草舎
- 黒竹
- 梢
- 霧島躑躅(つつじ)
- 常磐木
- 草雲雀
- 蝗(いなご)
- 穹窿形の空間
- 花を摘む
- ひらひら
- 歯朶(しだ)
- 神聖な海賊船
- 蒼穹
- だらだらの坂
- 白樺の芽生
- 雲雀の村
- 武蔵野南端
- パラソル
- 空の夕焼け
- 緑色の領土
- 青い花
- フラテ
- 小さな丘
- 野茨
- 柿の木
- 狐狸の住家
- 日向
- 枝垂れ桜
- 百合
- 芙蓉
- 猫楊
- 葵
- 蛇苺
- 緑の天鵞絨(ビロード)
- 紫色の土
- オルガン
- 青い花
- こだま
- つぼみ
- 見晴らし
- 小さい紅薔薇
- 雑木原
- 緑と銀との清麗な秋
- 土橋
- 夕映
- フェアリイランドの王
- レオ
- 旋風
- 土耳古玉
- 寄生木
- 縮緬
- 白木蓮
- 花柘榴
- 棗形
- 高野槇
- 轡虫(くつわ虫)
- シルクハット
- 石竹色
- 大名縞
- 火鉢
- ノスタルジヤ
- 鍋わり
- 稲穂
- 新花対白日
- 雲と霞
- リップ・ヴァン・ウィンクル
- 空の空
- 空色の花の月草
- 路傍の花
- 遠い水車の音
- 青い月
- 西班牙犬の家
- 雲雀
- トンボ
- こんぺいとう
- 桐
- 玉椿
- 夾竹桃
- 羅漢柏
- 荻
- 蜱(におろぎ)
- 馬追い
- 雫
- 青葉
- せせらぎ
- 虹
- 碧瑠璃の渦
- 色ガラス
- 夕空の紺青
- 優しい春の日ざし
- ぽかぽかと
- 深緑
- 赤いランプ
- 水時計
- 野面
- コットンコットン
- 断れ雲
- 萱葺屋根
- 赤いランプ
- 宝玉
- 赤まんま
- 浅茅が宿
- 槇
- 蘭
- 山茶花
- 蔦尾
- 村祭
- 渚
- 吊りランプ
- 透明な心
- やまびこ
- 王禅寺
- 百日紅
- 紫の羅
- 夕餉の煙
- イチイ
- 春の日の
- そはそはとした
- 桐畑
- 清新な泉
- 遠眼鏡
- 月の光
- 銀色の犲犬
- 草屋根
- 小渠
- 蟬
- 蛍の宿
- こおろぎの家
- 秋海棠
- 藤蔓
- 沈丁花
- 白樫
- 唐草模様
- 稲田
- 提灯
- 天気の光
- 灰色の絖絹(ぬめ絹)
- 饗宴
- 神屏風
- イルミネーション
- 星座（同人誌）
- 樫
- この丘のつづき
- 夏の朝の光
- 草のトンネル
- ガラスの壺
- 紫の領土
- 銀糸の点

6-3-5 周辺をテーマとした文学作品より(2)

②佐藤春夫　詩集（日本の詩歌）より

- 月かげ
- 海辺の恋
- くらき下かげ
- 憂愁
- 恋慕の秘曲
- 影の影
- ほし草のにほひ
- しぐれ
- 香りなき安煙草
- 忘却の檜
- 月の眉
- 使い果したる日ざし
- 葱冬は四季咲き
- 天離（さか）る
- 鄙少女
- 一片の花
- 夕ぐもは涯なく栄え
- いとほしの小夜
- にぎりこぶしの雲
- 月の窟（いわや）
- 白良（しらら）の浜
- たまゆらの火
- 庭のコスモス
- わかき梧桐
- 夕べは月のカサ
- 廃虚
- 水のひかり
- よしなき野べ
- うす濁るながれ
- 葉日の光
- 野路の果
- 城の櫓
- 木芙蓉の萼（つぼみ）
- 頸に柳葉
- 空気のやうな唄
- まばゆき春
- 酔いざめの日
- 旅路を終えし女
- 天つ羽音
- 岩ばしる垂水
- 丘の夕けむり
- 紗を滾ぐ(そそぐ)
- 行く水の翳
- 朝（あした）の縄
- 樹々（きぎ）涼し山
- 土偶の馬
- 汀（みぎは）の水泡（みなわ）
- 濯ぐべき人
- 錆びて黒き
- 白っちゃけた花すみれ
- こぼれ松葉
- うつり香
- 素直なる花
- 黄昏の山
- 遠樹の上
- 異端の弓櫓
- りんだうの花
- 秋のまがき
- 常若の海
- おどろ髪
- 冬の湖（うみ）
- 花のある杜
- 波の穂
- 早わらび
- 野菊
- 麗日（うつひ）さす都の春
- 九月（ながつき）の風
- 生きがたき手弱女（たをやめ）
- 騒愁（さうしう）の人
- 月かげさやか
- 冬の太陽
- 秋のあはれ
- 囚はれの天つ少女
- をとめ
- 明るいバルコン
- 吐息
- つぶら瞳の君
- 昼の日
- 青き密柑の酸
- 影踏む
- 釣鐘の花
- 陸（くが）の妻
- 花を臥戸（ふしど）
- 腐林檎
- 鄙ぶりの山
- 霜の宿
- 夕ぐもにほい
- 茸（きのこ）
- 白玉の銜（はみ）
- ふるさとの菊
- ざはめかし名
- 涼風（すずかぜ）
- 広葉の木洩れ日
- 天の伯楽
- 陽台に一片の雲
- 一片の雪
- 楼の日々
- 山かげの春
- 渚の薔薇

③佐藤惣之助　詩集（日本の詩歌）より

- 満月の川
- 川淵
- 木の芽草の芽
- 八重桜
- 雲に彩られた
- 星屑
- 星の望遠鏡
- 月夜の露地
- 螺施形星雲
- 星の子供等
- 月光
- 美しい氷の娘
- 氷馬車
- 水の妖精
- 雪の姉妹
- 銀河の街々
- 水と風の夏水仙
- 彩紅
- 赤楊（はん）
- 果樹園
- 四季の車
- ひかりと水の展覧会
- 風車
- 夢いろの港
- のっぺらぼう
- 水先案内
- 北十字星
- 天ノ川
- 正義の兜
- 深紅の人

6-3-5 周辺をテーマとした文学作品より(3)

④西条八十　詩集

・木犀の林
・幻の獣
・蠟人形
・媚きわたる
・匂はしき12の房
・白きボンネット
・黄金の洋灯
・原始の渚
・肋の畝
・寂しき愛蘭土
・白い星の花束
・空の羊
・マジョリカの筆筒
・蛍籠
・紫雲英
・月細き夜
・合歓の葉
・夕の雲に似る綿羊
・晴れし野
・鈴蘭の匂
・黄色の梯子
・花片幽か
・素絹の糸
・柚の林
・騾りゆく大地
・浜槿の花(はまごう)
・青芒(あおすすき)
・狭霧の晴れゆく
・そよぐ青麦
・春そぞろ
・水の上の簾椅子
・黄金の鈴
・臥椅子の甍
・燐火
・柏木のあぜみち
・土偶
・苔蒸した街路
・雪花石膏
（アラバスタ）の棺
・斑羽根
・瑪瑙の梯子
・埋れし女の跫音
・恋びとの彿は遠し
・夕陽の朱
・白昼の星宿
・芒の中に海
を聴く
・花片の小舟
・仄かなる空
・古き時計
・花束の雹
・さむきひかりの
丘の上
・色褪せた紫陽花
・馬酔木の小径
・古い追憶の丘
・青い生絹の春の空
・西班牙生れの軽子
・月夜の大河
・沈黙(しじま)
・鸚哥(インコ)
・綺羅びやか
・大理石の湯槽
・白鞣
・金の燈台
・丹塗の小櫛
・桃花心木の
回転椅子
・冴えわたる月の
おもて
・さざなみ
・青き花のみ
咲きみちし
・林檎の白い花咲く
北国
・遠い遠い山河の旅
・大空に埋もれし
黄金の檻
・灰色のすずめ
・白孔雀
・野薔薇の実
・桐の花
・渚辺
・青白い花
・昨日の唱
・可憐のロベリヤ
・胸の上の孔雀
・白き繊雲
・老いしガ鳥
・月の上の蝶
・空はろばろと
・ながく柔らかい
丘の草
・シャトオブリアン
・月の射す白い李林
・明るき斑紋のある
虎豹
・青日雀
・遠い響
・あをく燻る大空
・月の暈
・青き柚の実
・砂山の幻
・濃青のみ空
・朧に泛ぶ小舟
・しろき月
・吾児の唇
・月老いぬ
・春の夜のアラレ
・青い粗羅紗
・夕星
・旅人の旅
・曇り陽の緑
・野薔薇が雪のように
咲いている
・鶯
・老松の梢

6-3-6 周辺の庶民生活史「長津田のあゆみ（大明堂版）」より

①歴史 ――― なすな原遺跡、妹背、小笠原能登守、岡野恒房、陣屋、谷田の村、長津田宿、助郷、問屋主人、年寄、帳付、人足
馬方指図、蚕、繭、ローレル英学塾、頼母子、恩田川、高尾池、竹の内用水池、新林水田、岩川用水池
あざみ沢

②動物・植物 ――― カンゾウ、ナデシコ、オミナエシ、ボケ、百合、麦畑、菜の花、甘藷畑、、鯉、フナ、ハヤ、ヤマベ、セリ、ゼンマイ
ワラビ、すすき、ドジョウ、ゲバチ、メダカ、ウナギ、モワタガニ、カメ、シジミ、杉、サワラ、れんげ、蛙、ホタル
カブト虫、チョウ、キリギリス、セミ、クツワムシ、スズムシ、コオロギ、マンジュウシャゲ、リンドウ、シュンラン
かや、竹、芝、いちはつ、岩松、つくし、ふきのとう、よもぎ、ぼけの花

③衣・食・住 ――― イロリ、茅ぶき、ひきわり、花だんご、小豆飯、きのこめし、くりめし、ごじる、ボタモチ、じざいもち、豆粕
やきもち、にだんご、しまもの、お大尽カスリ

④神社・仏閣 ――― 大石神社、大山詣り、天王様、琴比羅宮、稲荷様、庚申塔、地神塔、地蔵塔、才の神、ツトツコ、随流院、福泉寺
大善寺の琴比羅宮、大明王院（身代り不動）、阿夫利神社（雨乞い）、秋葉山（火伏の神）、地神講、稲荷講、念仏講

⑤歳時記 ――― 若水汲み、七草、(1/7)、お飾りおろし(1/7) ない初め(1/11)、ドンド焼(1/14)、あずきがゆ(1/15)、まゆだま(1/15)
えびす講(1/20,11/20)、秋葉代参講(1/4)、節分、ヤツカガシ(2/3)、初午(2/4)、ミミヤ、オコモリ、稲荷講(2/9)
おけだんご、地神講（春秋の社日）、花祭(4/8)、甘茶、草の花だんご、灌仏念、施餓鬼、盆棚飾り、マコモのゴザ
ほおずき、迎い火、送り火

⑥長津田のまつり ――― かさぼこ、神代神楽、例祭日、(10/10)、庚申待（春秋の彼岸）、十五夜、十三夜、オトコエシ、カルカヤ
長津田菊花会(11/6)、すすはき、おかざり(12/30)、カマジメ、王子神社（若一王子神社）、神明社、飯縄神社
天王様（中村の天王様、東向の天王様、下長津田の天王様）、金比羅様（東向地の金比羅様、下長津田の金比羅様）
諏訪神社、耕雲堂、御野立の跡

⑦遊び ――― 虫とり、栗ひろい、きのことり、凧あげ、羽根つき、メンコ、おてだま、ましゃご、貝あそび、百人一首、雪合戦
雪すべり、小鳥とり、ブッチメ、ブッパライ、鬼ごっこ、じんどり、すいらいかんちょう、田奈式野球、竹でっぽう
竹とんぼ

⑧祭ばやし ――― カンダマル、キリンカメイド、ショウデン、宮ショウデン、ブッチゲショウデン、シチョウメ、シチョウメクズシ
ハヤランビョウシ、カマクラ、宮カマクラ、クニガタメ、コモリウタ、カゾエウタ、ニチョウ太鼓

⑨踊り ――― 獅子舞い、両面おどり、テンタ、ヒョットコ、バカ面おどり、三島神社の神宮おどり、権兵衛のたねまき

6-3-7 横浜ゆかりの外国文化・歴史・人物等より（1）

①歴史・文化より

建物　クラブホテル、外人家屋普請方、吉田橋（鉄橋のはじめ）、シェイクスピア・イン（戸塚柏尾）、ユニオン・チャーチ、仏語学校
英語塾（ヘボン、ブラウン）、ウィンザーキャッスル（マーシャ夫人の家）、グランドホテル、ベルビューガーデン

飲食物　氷水（町田房蔵）、牛乳、牛鍋、ラムネ、西洋料理、スプリングヴァレーブルワリー（２番目のビール）、レモネード
ジンジャエール＝［カー・メンガール］、山手（ブラフ）46番（ビール）

新聞　邦字（海外新聞、万国新聞紙、横浜新報もしほ草、横浜毎日新聞、金港雑報、五州雑報、かなよみ、横浜貿易日報、京浜新聞
横浜毎朝新聞、横浜新報）
外字（ジョセフ・ヒコ「海外新聞」、「ジャパン・ヘラルド」、「ジャパン・コマーシャル・ニュース」、「ジャパン・タイムス」
「ジャパン・ガゼット」、「ジャポン・メール」、「ボックス・オフ・キュオリオス」、「ジャパン・アドバタイザー」
「ドイッチ・ジャポン・ポスト」、「イースタン・ワールド」）

本　ワーグマン「ジャポン・ポンチ」、ビゴー「トバエ」、ヘボン辞書

娯楽　クリケット、テニスクラブ、ドイツクラブ、ユナイテッドクラブ、ゲーテ座、競馬、西洋花火、小銃射的、放鳥、写真師（下岡蓮杖）

交通　ミシシッピーベイ（根岸湾）、日本初の遊歩道（レイ少佐）桜道、競馬場、Ｐ＆Ｏ汽船、ジャーディン＆マセソン、バンド（海岸通り）
クリッパー、ウォーター・ストリート、蒸気船、乗合馬車、人力車、自転車、鉄道、電信

［戦後入港した主な豪華客船］クィーンエリザベスⅡ、キャンベラ、オリアナ、ロッテルダム、カロニア、オイローパ、エウゲニオＣ
アーケィディア、アイベリア、オルソバ、ダナエ、オデッサ、サガフィヨルド、イワン・フランコ
ミハイル・レールモントフ、ロイヤル・バイキング・スター

［ペリー横浜上陸の艦隊］　ポーハタン号、ミシシッピ号、サスケハンナ号、マセドニアン号、バンダリア号、レキシントン号
サザンプトン号、サラトガ号、サプライ号

工業　製鉄所、活版、石版、西洋洗濯、潜水業、ガス燈（ブレグラン）

6-3-7 横浜ゆかりの外国文化・歴史・人物等より(2)

②人名より

・マリー・キダー（フェリス創設）
・ジュリア・クロスビー
・ウィリアム・カーティス
・W・H・スミス
・デント
・レオン・ロッシュ（仏大使）
・ゴーグル（宣教師）
・ラウダー夫人（ブラウンの長女）
・エリアノ・バブロア
・ベルクール（総領事）
・ヘンリー・パーマー（波止場）
・ブーティ
・M．P．ジェラール
（山手カトリック教会）

・メリー・ブライアン
・アイザック・フェリス
（リフォードミッション）
・ジヤーディン
・ラザフォード・オールコック
（初代英国大使）
・ヘボン＆クララ
・ガーティ（ブルークの娘）
・エドモンド・モレル（国鉄の父）
・ヘルマン・ルードウィヒ・
グラウェルト
・R．P．ブリジェンス
（横浜停車場）

・ルイセ・ピアソン
・ジョージ・ポンスフォート
・ブルーク（ヒマラヤ杉）
・マセソン
・ウィリアム・ケズウィック
・フィッシャー（米領事）
・バラ＆マーガレット
・マーシャル夫人
・ウォルター・ウェストン
・アーネスト・サトウ
・ピエール・ロティ
・H．ブラントン（吉田橋）
・C．グリフィン
（日本初のボーイスカウト）

・岡倉天心
・有島生馬
・吉川英治
・大仏次郎
・里見弴

6-3-7 横浜市ゆかりの外国文化・歴史・人物等より(3)

③姉妹都市より

サンディエゴ（アメリカ）	[通り] テイラー通り、メイスン通り、ジュアン通り、サンディエゴ大通り、コングレス通り、ジェファースン通り バルボア通り、ミラマー通り、ファン通り [公園] バルボア公園、ミッション・ベイ・パーク、オールド・タウン、プレシディオヒル、トーレイパインズ公園 シーワールド、アンザ・ボレゴ砂漠州立公園、友情の鐘（シェルターアイランド）、サンセットクリフ
リヨン（フランス）	[通り] ビトン通り、シャリテ通り、レピュブリック通り、エリオ通り、ジェイベリ通り、レヌリ通り、ガダニュ通り ビクトル・ユーゴー通り、フランクリン通り、デ・ラ・バラ通り、セバスチャン通り [公園] カルノ広場、ベルクール広場、テロー広場、パール・デュ地区、ローヌ
オデッサ（ソ連）	[通り] ブリヴァール通り、プーシキン通り [公園] ポベダ公園、レーニン公園、トルストイ公園、ポチョムキン
マニラ（フィリピン）	[通り] ロハス大通り、タフト大通り、ボニファシオ通り、ブルゴス通り、アドゥアナ通り、エスコルタ通り、リサール通り ケソン大通り、オンピン通り、イダルゴ通り、エスパーニャ通り、マビニ通り、ハリソン大通り、アヤラ通り マカティ通り、ブェンディア通り、パサイ通り、リヘルタド通り、デロス・サントス大通り、フランシスコ通り [公園] ツーリズム・パビリオン、リサール・パーク（ルネタ・パーク）、パコ・パーク、マラカニアン庭園
ボンベイ（インド）	[通り] マリーンドライブ（“女王のダイアのネックレス”）、ゲートウェイ・オブ・インディア、モハメッド・アリー通り ホーンビー通り、ナオロージー通り [公園] アジャンタ、ネール公園、ラバール・ヒル
バンクーバー（カナダ）	[通り] ジョージア通り、グランビル通り、ヘイスティング通り、ウォーター通り、キャンビー通り、オーク通り カピラーノ通り、ホーンビー通り、バラード通り、ハウ通り、ロブソン通り、ダンズミュアー通り [公園] クィーン・エリザベス・パーク、スタンレー・パーク、カピラーノ公園、ギャスタウン、アンゴルサイド・パーク キチラーノ・パーク、ヒルクレスト・パーク、スパニッシュバンクス・パーク、トーテム・パーク マスキーム・パーク
上　海（中国）	[通り] 人民（レンミン）路、河南（ヘンアン）路、中華（ツォングア）路、中山（ツォンシャン）路、西蔵（チザン）路 四川（シッチュアン）路、四平（シピン）路、南京（ナンキン）路、北京（ペキン）路 [公園] 虹口（ハンコウ）公園、黄浦（ファンポウ）公園、人民（レンミン）公園、中山（ツォンシャン）公園
コンスタンツァ（ルーマニア）	[通り] ママヤ・エフォリエ・マンガリア [公園] オヴィディウス公園

6-4-1 参考資料

付近にみられるニュータウン名・団地名

つつじが丘、藤が丘、梅が丘、松風台、青葉台、榎が丘、しらとり台、桜台、千草台、美しが丘、さつきが丘、もえぎ野、たちばな台、若葉台
いぶき野、すすき野、もみの木台、柿の木台、みたけ台、すみよし台、緑山、霧が丘、桂台、見花山、若葉台、すみれが丘、都筑が丘

付近にみられる地名・施設名等

たまプラーザ	新石川スポーツ会館、美しが丘公園、嶺山公園、峠食堂
あざみ野	山内図書館、山内地区センター、不動滝、鍛治山不動尊
青葉台	桜台公園、たちばな第４公園、青少年図書館、榎が丘小学校、もみじ保育園、民菜園
江田	常夜燈、庚申堂、下宿橋、鍛治山橋
市が尾	くろがね青年の家、市が尾横穴古墳、稲荷前古墳、市が尾第５公園、野外活動センター、稲荷前橋、薬王寺、竹の下、八雲神社、川間橋、朝光寺、中里青少年の家
田奈	神鳥（しとど）前川神社、下恩田ばやし、地蔵堂、チビッ子の家
藤が丘	藤が丘公園、もえぎ野公園、千草台公園プール
長津田	いぶき野グランド、金比羅神社、悲恋の石、つたのは学園、お野立ちの碑、大石神社、王子神社、大林寺、森村学園、こどもの国

政令指定都市における区名

横浜市	神奈川区、旭区、瀬谷区、保土ケ谷区、西区、中区、南区、磯子区、港南区、戸塚区、金沢区、緑区、港北区、鶴見区
札幌市	東区、西区、南区、北区、中央区、白石区、豊平区
東京	千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区 杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区
川崎市	川崎区、幸区、中原区、高津区、多摩区、麻生区、宮前区
名古屋市	東区、西区、南区、北区、中区、守山区、名東区、千種区、天白区、緑区、昭和区、港区、熱田区、中川区、中村区、瑞穂区
京都市	北区、左京区、上京区、右京区、中京区、東山区、下京区、西京区、南区、山科区、伏見区
大阪市	西淀川区、東淀川区、淀川区、大淀区、旭区、都島区、城東区、鶴見区、東成区、生野区、平野区、東住吉区、住吉区、住之江区 西成区、阿倍野区、大正区、港区、浪速区、天王寺区、此花区、福島区、東区、西区、南区、北区
神戸市	東灘区、灘区、葺合区、生田区、兵庫区、長田区、須磨区、垂水区
北九州市	門司区、小倉北区、戸畑区、小倉南区、八幡東区、八幡西区、若松区
福岡市	博多区、東区、中央区、南区、西区、城南区、早良区

6-4-2 出典文献一覧

- 「神奈川県の地名」（平凡社）
- 「神奈川県の歴史」（角川書店）
- 「神奈川県の歴史散歩」（山川出版社）
- 「かながわの古道」（かもめ文庫）
- 「旧鎌倉街道探索の旅」（さきたま出版会）
- 「横浜の歴史」（横浜市教育委員会）
- 「横浜歴史散歩」（横浜郷土研究会）
- 「横浜市史」（横浜市）
- 「横浜史話散歩」（創元社）
- 「ヨコハマ歴史散歩」（暁印書館）
- 「ヨコハマ散歩」（横浜市観光協会）
- 「ポケットガイドブック」（日本交通公社）
- 「今日のソ連邦」（ソ連大使館）
- 「港北区ウォーキングマップ」（横浜市港北区役所）
- 「みどり区ガイド」（横浜市緑区役所）
- 「緑区を訪ねて」（緑区役所福祉部市民課編）
- 「横浜山手」（草思社）
- 「横浜山手外人墓地」（暁印書館）
- 「田園の憂鬱」（角川書店）
- 「日本の詩歌」（中央公論社）
- 「野田宇太郎文学散歩　湘南・相模野篇」（文一総合出版）
- 「激変の庶民生活史　長津田のあゆみ」（大明堂）
- 「港北ニュータウン地域内民俗調査報告」（横浜市埋蔵文化財調査委員会）
- 「港北ニュータウン地域内文化財調査報告」（横浜市埋蔵文化財調査委員会）
- 「港北地区町会町名施設名に関する調査研究」（「資料編」「報告書」）

6-5-1 ネーミング対象の設定とネーミングの方向づけ

ネーミング計画については機能的な目的と情感的な目的が考えられる。これらをネーミングの対象別に整理してそれぞれの目的にあわせた方法をさぐることにした。

	ネーミング対象	方向づけ
	公園名	後述の「横浜市公園命名準備委員会」の命名方針に基づく。
②	緑道名	
③	都市緑地名	
④	橋名	旧字名・旧町名、文学、民話等がテーマとなる。また、橋のデザイン、素材等からの反映も配慮したい。
⑤	幹線道路名	原則として都市計画道の起・終点をネーミングの単位とする。起・終点の町名、計画された街路樹名、または姉妹都市等が要素となる。
⑥	歩専道路名	センター付近や特徴のある通りを対象とする。横浜らしさ、都市性、国際性をもつものとし、英文名も考えられる。
⑦	ひろば・辻名	ひろばは、地域が生み出した文学、横浜ゆかりの外国客船や港町等の名称を対象とする。また、辻名は、旧字名等からアプローチする。
⑧	池名	歴史や地誌、動植物、文学、史跡、名勝等がテーマとなる。
	ニュータウン名	まちづくりコンセプト、まち全体のイメージ、地域の特性を象徴するファクター、横浜市全体との関連等からニュータウン名を再検討する。将来、新区として独立する場合、区名として使用できるものが望ましい。

6-5-2 港北第一・第二地区内の公園・緑地についての命名方針（横浜市公園命名準備委員会による）

● 命名にあたっての諸要件

(1) 地区全般に関わり、広く一般住民の共有の財産であり又、日常生活とも密接な関係にある他の公的施設（道路・駅・バス停・橋など）の名称・愛称との共通性・関連性を持たせる。

(2) 旧町名・旧字名及び地形・地物等についての従来からの呼び名を可能な限り活用する。

(3) 港北ニュータウンの計画理念である「市民参加のまちづくり」を踏まえて、住民の意向の尊重及び命名についての住民参加も可能にするなど計画理念を極力尊重する。

(4) 事業主体である住宅・都市整備公団からの施設の引き継ぎ時には、命名しておく。

● 公園・緑地種別毎の命名方法

(1) 総合公園（１ケ所）

市域に存する他の都市基幹公園との整合を図りながら、公団の意見も参考にして市が命名主体となり別途決定したい。

(2) 地区公園（４ケ所）

旧町名・旧字名及び地形・地物等についての従来からの呼び名など地域の施設にふさわしい名称としたい。

(3) 近隣公園（14ケ所）

地区公園に準ずる。

(4) 児童公園（65ケ所）

中学校区毎、駅勢圏域毎又は水系別などの様に地区をいくつかに地域割りし、その地域毎にテーマ（虫、花、こどもの遊びなど）を設定し、町名もしくは旧字名との組合せによる名称としたい。ただし、公園の整備方法として住民参加を導入したケ所については、命名に際しても住民参加を予定したい。

(5) 緑道緑地（５路線）

地形・水系等から連想される言葉を用いて命名したい。又、ひとつの路線が公園等で細分化される場合、その区間毎に管理上からも明確な様に区間名を附与したい。

(6) 都市緑地（２ケ所）

地区のタウンセンター関連施設であり、その具体的イメージが明らかとなる時点で、タウンセンターに存する「緑」にふさわしい様な命名をしたい。

6-6-1 公園名(1)

前項の横浜市公園命名準備委員会による命名方針をうけて、公園名等に使用する字名を採集。その際、字名、地形上の特徴等については、横浜市教育委員会指導主事三宅正吉氏の助言を受けるなどして選択を行なった。地域の明確な位置的指標となっていたもの、歴史的、文化的に重要な意味を持つもの、寿（ことぶき）的意味を持つものを優先的に生かし、暗い意味、語感（音）を持つものについてはさける方向とした。また、公園名、緑道名では拾いきれない字名については、橋梁名に採用して将来的にも残されるよう配慮する方向とした。

◎ 総合公園（1ヶ所）
茅ヶ崎町
緑区荏田町
面積18.9ha

市が命名主体となり別途決定
（かつての郡役所に近い地点に位置することもあり、都筑＝郡名を感じさせるもの、あるいは、荏田・茅ヶ崎の境界(新道路計画では変更される)であった位置的な名残りをのこせるようなもの、例えば「境田○○公園」とする方向も考えられようか）

◎ 地区公園（4ヶ所）

旧町名、旧字名を積極的に保全する方針とし、さらに、歴史的、文化的、地理的特徴のあるものについてはそれを加味したものとした。

対象	所在地	面積	名称	命名のポイント
地区1号公園	港北区北山田町	4.6 ha	北山田富士塚公園 (きたやまだふじづか)	地域の町名＋文化財名 港北七富士の1つが園内に残され、文化財的にも価値あるものであり、公園名にも継承したい。
地区2号公園	港北区中川町・牛久保町	6.7 ha	宿之入公園 (しゅくのいり)	地域の字名 金子入・宿之入の両名が考えられる地点だが、かつての荏田宿への入口であった場所の由緒が感じられる「宿之入」を採用したい。
地区3号公園	港北区茅ヶ崎町	9.5 ha	大原公園 (おおはら)	地域の字名
地区4号公園	緑区荏田町	8.8 ha	池田公園 (いけだ)	地域の字名

6-6-1 公　園　名(2)

◎近隣公園
（１４ヶ所）

地区公園に準じ、公園のおかれる地点の字名を優先して命名を行ったが、地区公園と重複するもの、及び近隣によりよいイメージの字名等があるものについてはそちらを選択した。また字名に加えて、従来の呼び名(地域の愛称)、史蹟名等をプラスした命名もおこなった。

対　象	所在地	面積	名　称	命名のポイント
近隣 1号公園	港北区東山田町	2.0ha	東山田・打越公園 (ひがしやまた・おっこし)	字名から。茅ヶ崎町にも打越の小字があるが、地域の指標性の高さから採用、頭に東山田をつけて混同をさける。
近隣 2号公園	港北区北山田町	1.9ha	滝ヶ谷公園 (たきがやと)	字名から。
近隣 3号公園	港北区南山田町 牛久保町	4.0ha	請地公園 (うけぢ)	字名から。徳生(とくしょう)も候補となりうるが、請地(年貢をまけてもらえた田畑の意か)の歴史的意味を残したい。
近隣 4号公園	港北区大棚町	2.2ha	歳勝土公園 (さいかちど)	歳勝土遺跡等で名高い字名から。歳勝土＝良く肥えた土地の意。
近隣 5号公園	港北区牛久保町	4.6ha	金子入公園 (かねこいり)	字名から。
近隣 6号公園	港北区中川町	3.2ha	矢崎公園 (やざき)	字名から。中村も考えられるが、地形の特徴(早渕川がカーブした地点)を表していた矢崎を採用したい。
近隣 7号公園	港北区中川町	1.9ha	雁山公園 (かりやま)	字名から。
近隣 8号公園	港北区南山田町 大棚町 新吉田町	2.6ha	権太原公園 (ごんたっぱら)	権太(字)のエリアであるが、当地域の地元愛称「ごんたっぱら」を採用したい。
近隣 9号公園	港北区新羽町	3.7ha	北原せせらぎ公園 (きたはら)	字名 北原に、公園の特徴であり、すでに愛称名化しつつあるせせらぎ公園をプラス。
近隣10号公園	港北区茅ヶ崎町 緑区東方町	2.4ha	長坂公園 (ながさか)	字名から。
近隣11号公園	緑区荏田町 池辺町 東方町	2.5ha	葛ヶ谷公園 (くずがやと)	字名から。
近隣12号公園	緑区荏田町	2.0ha	折田・不動公園 (おりた・ふどう)	字名プラス公園内に残される不動尊から。
近隣13号公園	緑区川和町	2.2ha	川和富士公園 (かわわふじ)	該当する小字は猫谷戸台であるが、移転・復元し、公園のシンボルともなっている川和富士をネーミングにも採用したい。
近隣14号公園	緑区川和町 佐江戸町	2.6ha	月出松公園 (つきでまつ)	該当する小字は四枚畠(しまいばた)であるが、隣接する小字でロマンチックなイメージを持つ月出松を採用したい。

6-6-1 公園名(3)

◎児童公園
（65ヶ所）

駅勢圏域毎7ケ所のゾーニングを行ない、各区域毎にテーマを選定し、新町名との組合せによる命名を行なう。ゾーン毎のテーマには子どもたちになじみの深い遊び、動植物、自然現象を選び、語感等も考慮しながら候補案を抽出した。

※ただし、公園の整備方法として住民参加型を導入した児童公園については、命名の際にも住民参加を予定したい。

新町名＋○○公園（例）荏田木のぼり公園

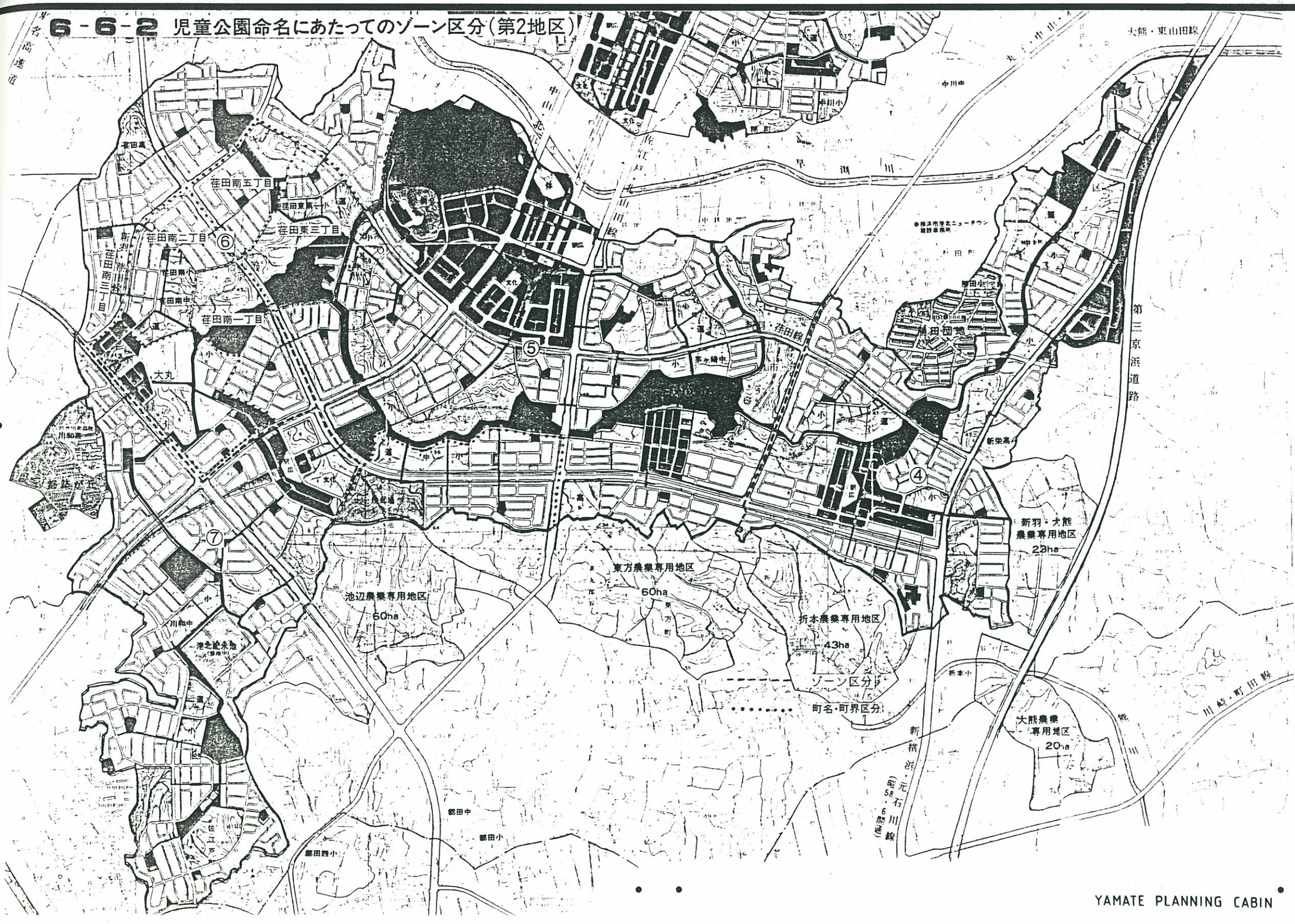
各ゾーンテーマ資源

こどもの遊び	動物	昆虫・小動物	小鳥	草花	樹木	自然現象
チャンバラ公園	こうま公園	てんとう虫公園	すずめ公園	タンポポ公園	ネムノキ公園	あさかぜ公園
たけうま公園	こうし公園	とんぼ公園	つばめ公園	レンゲ公園	サクラ公園	あさやけ公園
なわとび公園	こやぎ公園	くわがた公園	うぐいす公園	チューリップ公園	アジサイ公園	そよかぜ公園
おすもう公園	こひつじ公園	くまぜみ(ひぐらし)公園	おなが公園	スミレ公園	モクレン公園	かげろう公園
かけっこ公園	こぎつね公園	かみきり公園	あひる公園	ヒマワリ公園	ボタン公園	さぎり公園
かげふみ公園	こだぬき公園	こおろぎ公園	かっこう公園	アサガオ公園	ツツジ公園	ゆうばえ公園
いじけり公園	こうさぎ公園	バッタ公園	めじろ公園	キキョウ公園	モクセイ公園	ゆうやけ公園
うまのり公園	こいぬ公園	あげは公園	ひよどり公園	ナデシコ公園	クチナシ公園	流れ星公園
きのぼり公園	こねこ公園	すずむし公園	フクロウ公園	ヤマユリ公園	ツバキ公園	ひだまり公園
まりつき公園	こねずみ公園	キリギリス公園	キジバト公園	アヤメ公園	サザンカ公園	いちばん星公園
たかおに公園	こぐま公園	あめんぼ公園	モズ公園	パンジー公園	カエデ公園	すずかぜ公園
カンケリ公園	こぞう公園	まつむし公園	カラス公園	ヒヤシンス公園	イチョウ公園	あやぐも公園
へんしん公園	こりす公園	みつばち公園	ヒバリ公園	スズラン公園	ドングリ公園	わたぐも公園
シャボン玉公園	こざる公園	ほたる公園	ホホジロ公園	スイセン公園	カシノキ公園	ひなた公園
かくれんぼ公園	こじか公園	ゲンゴロー公園	カケス公園	ヒナギク公園	シイノキ公園	松風公園
		いなご公園	カナリヤ公園	クローバ公園	マツボックリ公園	やまびこ公園
	ワニ公園	ちょうちょ公園	ムクドリ公園	ツクシ公園	竹の子公園	もえぎ公園
	カバ公園	かえる公園		コスモス公園	シラカバ公園	こだま公園
	シロクマ公園	かたつむり公園		フジ公園	マツノキ公園	あさつゆ公園
	ヒョウ公園	どじょう公園		ススキ公園	アンズ公園	あけぼの公園
	ライオン公園	めだか公園		スイレン公園	カラタチ公園	落ち葉公園
	キリン公園	こぶな公園				秋の晴れ公園
	サイ公園	きんぎょ公園				うららか公園
	ゴリラ公園	とかげ公園				
	ラクダ公園	ざりがに公園				
	トナカイ公園	ありさん公園				
	シマウマ公園	かめさん公園				
	カモシカ公園					
	チーター公園					
	クジラ公園					
	カンガルー公園					
	コアラ公園					
	パンダ公園					
	イノシシ公園					

6-6-2 児童公園命名にあたってのゾーン区分（第1地区）



6-6-2 児童公園命名にあたってのゾーン区分(第2地区)



YAMATE PLANNING CABIN

6-6-3 緑道緑地・都市緑地

◎ 緑道緑地
（5路線）

各緑道の全体名称としては、各緑道と密接に関連する水系をテーマとし、さらに水のイメージを連想させる言葉をサブにプラスして名称とする。

但し、5号緑道緑地は関連する水系を有さないため、緑道の主たる区域となる町名・川和と、緑道のシンボルポイントとなりうる富士塚との融合によってネーミングを行った。

対　象	水　系	所　在	名　称
緑道1号緑地	山田水系	港北区東・北・南山田町	山田　かわせみの道
緑道2号緑地	牛久保水系	港北区南山田町 牛久保町	牛久保　つゆくさの道
緑道3号緑地	茅ヶ崎水系 新羽水系	港北区新吉田町、勝田町、 新羽町、茅ヶ崎町	新羽・茅ヶ崎　せきれいの道
緑道4号緑地	渋沢水系 東方水系	港北区茅ヶ崎町 緑区東方町、荏田町	渋沢・東方　蛍火の道
緑道5号緑地		緑区池田町、川和町	川和　富士塚の道

◎ 都市緑地
（2ヶ所）

2ヶ所の都市緑地については、タウンセンターの建設と一体化して考える方向とする。

6-6-4 橋梁 (1)

橋梁名は、主として、公園名称としては採り上げられないが、ぜひとも残しておきたい字名を拾いあげ、保存していくこととする。また字名でフォローできないものについては、周辺の寺社、史跡あるいは地域の文学、民話、伝説等にモチーフを求めて命名する方向も考えられる。

さらに、タウンセンター、駅前センターゾーンの橋梁名については、それぞれの整備のイメージに合わせて一体化して検討、命名することとしたい。

第一地区橋梁

ＦＣ－３　鍛治山橋
ＦＣ－４　小山田橋
ＦＣ－８　金子橋
ＦＣ－９　中川橋
ＦＣ－１４　編笠谷橋
ＦＣ－１５　下金子橋
ＦＣ－２２　重代橋
（十代の表記もあり）
ＦＣ－２３　二十歩橋
（にじっぷ）
ＦＣ－２４　請地橋
ＦＣ－２７　西之谷橋
ＦＣ－２８　徳持谷橋
ＦＣ－３３　根上谷橋
ＦＣ－３４　滝ケ谷橋
ＦＣ－３５　寺窪谷橋
ＦＣ－３６　諏訪原橋
ＦＣ—３７　道場坂橋

ＦＢ－４　金子入橋
ＦＢ－５　徳生橋
ＦＢ－６　沖ノ谷橋
ＦＢ－７　神明橋
（近くに神明神社あり）
ＦＢ－８　杉ノ森橋
ＦＢ－１０　徳生橋
ＦＢ－１１　長泉寺橋
（近くに長泉寺あり）

ＦＡ－１　稲荷谷橋
ＦＡ－２　富士塚橋
（地区１号公園の富士塚に近い）
ＦＤ－１　掘之内橋

中川駅前センター地区橋梁
ＦＣ－１、ＦＣ－２、ＦＣ－５、
ＦＣ－６、ＦＣ－７、
ＦＢ－１、ＦＢ－２、ＦＢ－３

タウンセンター北地区橋梁
ＦＣ－１０、ＦＣ－１１、ＦＣ－１２
ＦＣ－１３、ＦＣ－１６、ＦＣ－１７
ＦＣ－１８、ＦＣ－１９、ＦＣ－２０
ＦＣ－２１、

北山田駅前センター地区橋梁
ＦＣ－２６、ＦＣ－２９、ＦＣ－３０
ＦＣ－３１、
ＦＢ－９

※正式な命名にあたっては専門家によるチェックが必要となるものと考えられる。

6-6-4 橋梁(2)

第二地区橋梁

C－1	折田橋
C－2	泉田向橋
C－3	牛ヶ谷橋
C－4	川和橋
C－5	寅ヶ谷橋
C－6	七面山橋
C－7	山王橋
C－8	能見堂橋
C－9	不動橋 (折田不動に近い)
C－10	華蔵台橋
C－12	前高山橋
C－13	京塚橋
C－14	渋沢橋
C－15	(字名・大谷)
C－16	池ノ辺橋
C－17	二ノ丸橋
C－19	中耕地橋
C－20	葛ヶ谷橋
C－21	たたら沢橋
C－36	長坂橋
C－41	阿弥陀橋
C－43	向原橋
C－44	下耕地橋
C－45	新田橋
C－46	観音山橋
C－47	新羽橋
C－48	北原橋
C－49	新田谷橋
C－50	権太橋
C－51	(字名・神隠)
C－52	西の橋(字名・西)
C－53	大原橋
B－1	花見山橋
B－2	中丸橋
B－4	山崎橋
B－5	清水谷橋
B－6	心行寺橋 (心行寺近く、字名・中村)
B－7	中村橋
B－10	東前橋
B－11	貝塚橋
B－12	丸沢橋
B－13	(字名・大谷)
B－14 B－15	(字名・北川、北川橋既存)
D－1	大丸橋
D－2	加賀原橋 (賀ヶ原表記も)
D－3	中瀬橋
D－4	池田橋
D－5	境田橋
D－6	谷　橋
D－7	蛇山橋
A－1	伊勢原橋
A－3	(字名・矢崎、矢崎橋既存)
A－4	平台橋
A－5	宮下橋
A－6	仲町橋
A－7	(字名・北川)

タウンセンター南地区橋梁

C－22～C－35
C－37～C－40
B－8～9

大熊駅前センター地区橋梁

C－45　C－46　C－49
A－6

川和駅前センター地区橋梁

C－11．A－2

6-6-5 その他の対象施設に関する参考案 (1)

◎幹線道路名

ネーミング対象	① 都市計画道の起・終点及び既存の愛称	② 街路樹
日　吉・元石川線	日元(ひもと)街道	ハナノキ通り
新横浜・元石川線	新元(しんもと)街道	クスノキ通り
横　浜・上麻生線	上麻生(かみあそう)街道	イチョウ通り
中　山・北山田線	中北(なかきた)街道	ケヤキ通り
新　羽・荏田線	新荏田(しんえだ)街道	シラカシ通り
佐江戸・北山田線	佐山田(さやまだ)街道	アキニレ通り(エルム)
丸子・中山・茅ヶ崎線	中原(なかはら)街道	ハナミズキ通
大　熊・東山田線	大東(おおひがし)街道	トチノキ通り(マロニエ)
牛久保・中川線	川久保(かわくぼ)街道	アラカシ通り

海とつながりのある人名

コロンブス、マゼラン、クック、クストー、ヘンリケ、アメリゴ、ネルソン、ナンセン、スイフト、コンラッド、ジョン万次郎、坂本竜馬、スチーブンソン、ダーウィン、リアス、ステンドレーク、バスコダ・ガマ、バソロミューディアス、フンボルト、ベーリング、ジュールベルグ、ピエル・ロチ

横浜と海のつながり(海)　パシフィック、アトランティック、インディアン、メディテラニアン、カリビアン、ノース、アラビアン、エージアン、タスマン

姉妹都市名　サンディエゴ、リヨン、オデッサ、マニラ、バンクーバー、上海、コンスタンツァ、ボンベイ

未来性・発展性のイメージ(宇宙)　シグナス、オリオン、ギャラクシー、カシオペア、ビーナス、ジュピター、ユニバース、ジェミニ、コメット

6－6－5 その他の対象施設に関する参考案（2）

◎歩専道名

①姉妹都市の道、広場、公園など	②横浜ゆかりの外国人名
ベルクール・レーン	ヘボンのみち
フレンドシップ・レーン	パークスのみち
リサール・レーン	ジェラールのみち
虹口（ハンコウ）・レーン	バーマーのみち
ゲートウェイ・レーン	ビゴーのみち
ヒルクレスト・レーン	ロッシュのみち
バルボア・レーン	グリフィンのみち
フランクリン・レーン	ウェストンのみち
プーシキン・レーン	キダーのみち
ロハス・レーン	ピアソンのみち
アジャンタ・レーン	カーティスのみち
カピラーノ・レーン	モレルのみち
オヴィディウス・レーン	ブラントンのみち
セバスチャン・レーン	オールコックのみち

6-6-5 その他の対象施設に関する参考案（3）

◎ひろば・辻名

①文学・民話・伝説	②世界の有名な港町	③旧字名・神社・仏閣・歴史など	④横浜ゆかりの外国客船
西班牙ひろば	サンパウロひろば	佐江戸ひろば	エリザベスひろば
星座ひろば	リバプールひろば	若雷のひろば	キャンベラひろば
赤ランプひろば	シアトルひろば	雲松の辻	オリアナひろば
パラソルひろば	ケープタウンひろば	天満の辻	ロッテルダムひろば
こおろぎひろば	ナポリひろば	神無の辻	カロニアひろば
涼風ひろば	アテネひろば	請地の辻	オイローパひろば
青い鳥ひろば	バルセロナひろば	山崎の辻	バイカルひろば
赤い鳥ひろば	リスボンひろば	丸沢の辻	エウゲニオひろば
蛍かごひろば	マドラスひろば	大原の辻	アイベリアひろば
月かげひろば	シドニーひろば	観音の辻	オルソバひろば
		長坂の辻	ダナエひろば
		長谷の辻	ロイヤル・バイキングひろば
			ミハイルひろば

6-6-5 その他の対象施設に関する参考案(4)

◎ 池　　名

	対　象	旧字名・旧町名	周辺の社寺、旧跡等
①	総合公園内－1	荏 田 池	法道寺池
②	総合公園内－2	茅ヶ崎池	杉山の池
③	地区1号公園内	北山田池	富士塚の池
④	地区2号公園内	金 子 池 (公園名には宿之入を採用)	――
⑤	地区3号公園内	大 原 池	――
⑥	地区4号公園内	池 田 池	――
⑦	近隣3号公園内	徳 生 池 (公園名には請地を採用)	――
⑧	近隣9号公園内	北 原 池	――

その他文学・民話・伝説等から

浅茅ケ池、青葉の池、瑠璃の池、釣鐘池、おぼろ池、雲雀池、蛍ヶ池、常磐池……等

◎ 坂　　名

坂名については、旧字名を冠につける命名が考えられるが、ここでは、文字・民話・伝説等からの参考例及び社寺・旧跡等からの参考例を数例抽出しておく。

文学・民話・伝説等から　春の日坂、山びこ坂、野鶲坂、きつね坂、たぬき坂、かっぱ坂、こもれび坂、面影坂、はろばろ坂、おぼろ坂、日向坂、桜坂、天ノ羽坂

社寺・仏閣等から　円応坂、富士坂、地蔵坂、心行坂、公園坂、弥生坂、不動坂

6-6-5 その他の対象施設に関する参考案（5）

◎ニュータウン名（将来区名）

ネーミング資源

①領域	②未来性・発展性	③若さ・新しさ	④いこい・やすらぎ
樹多（きた）	常磐（ときわ）	若筑（わかつき）	弥生（やよい）
北都（ほくと）	千歳（ちとせ）	若月（わかつき）	
都筑（つづき）		ひかり	

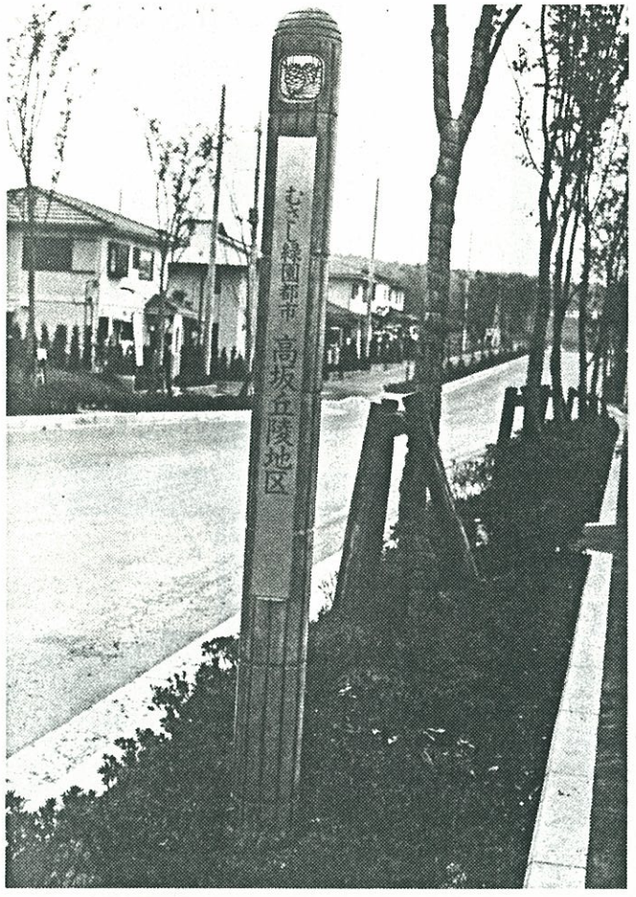
第7章　参考資料

1. サイン事例

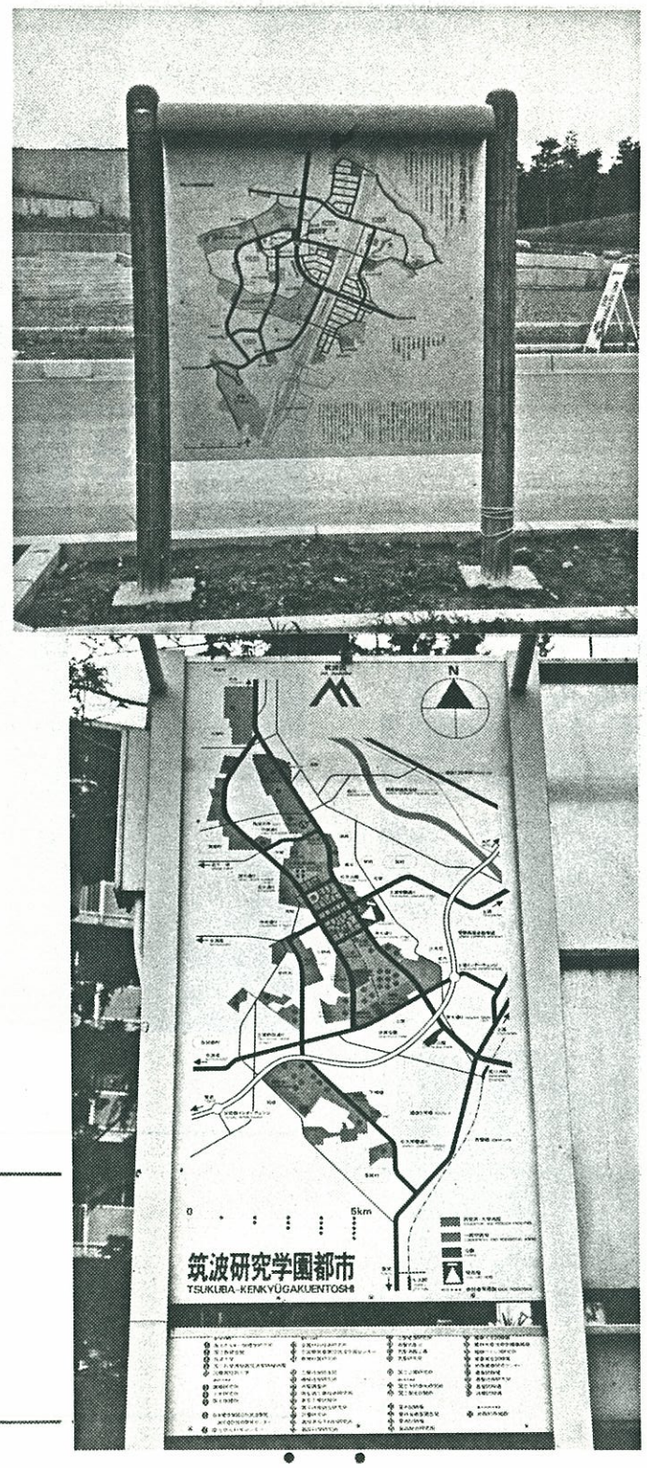
2. 道路標識令

3. 横浜市道路占用物許可基準

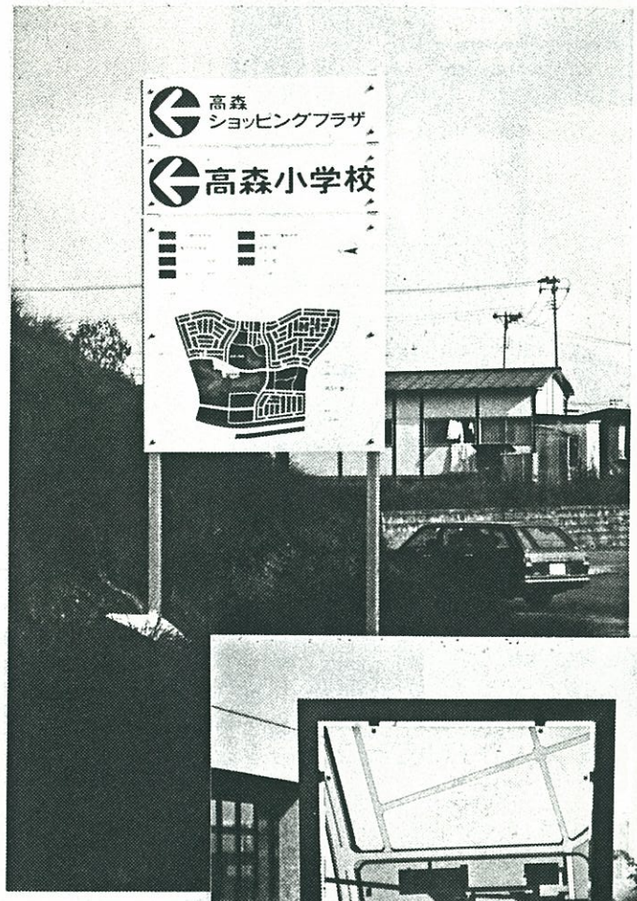
1) ゲートサインの例

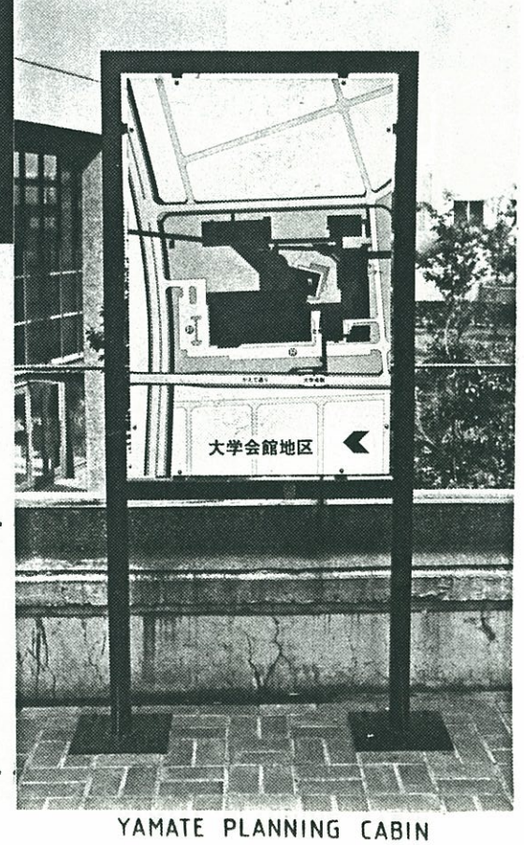


2) 総合案内サインの例



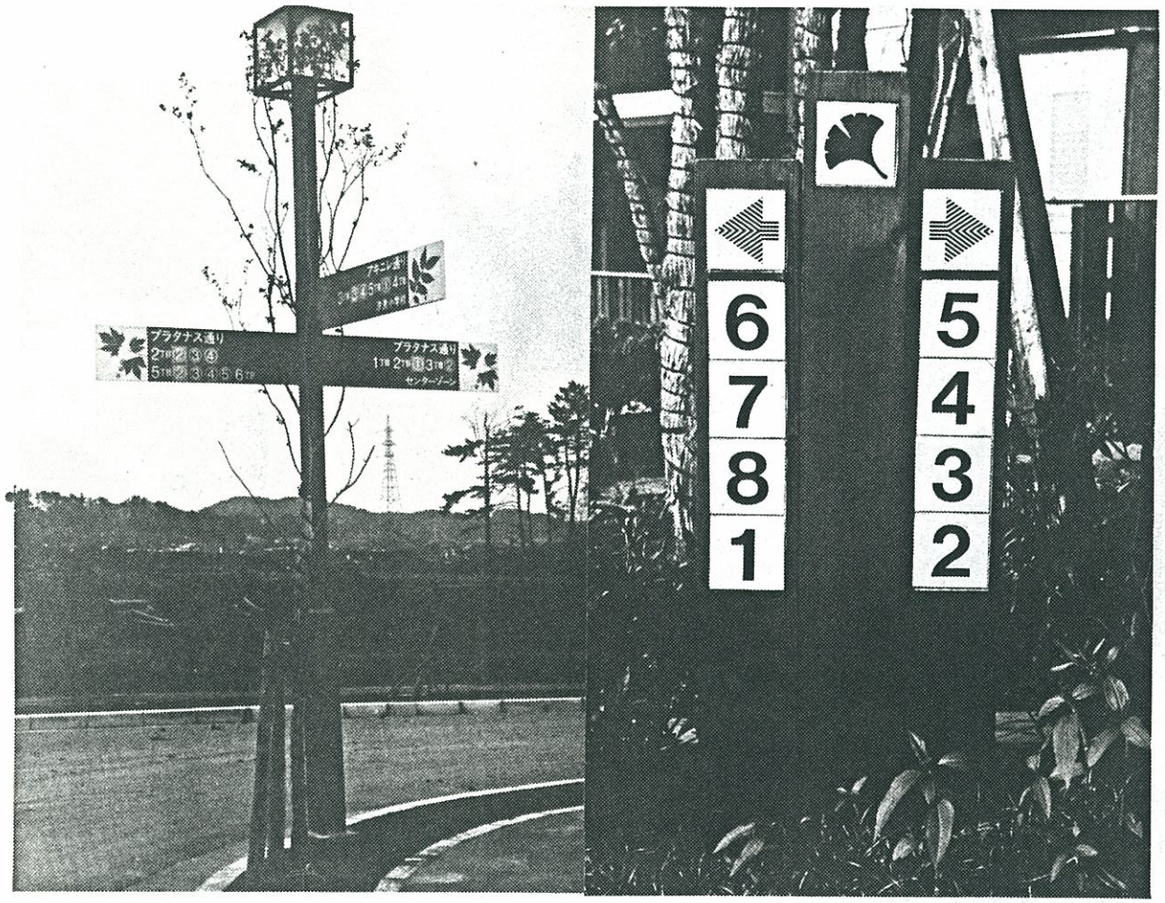
3) 地区案内サインの例





YAMATE PLANNING CABIN

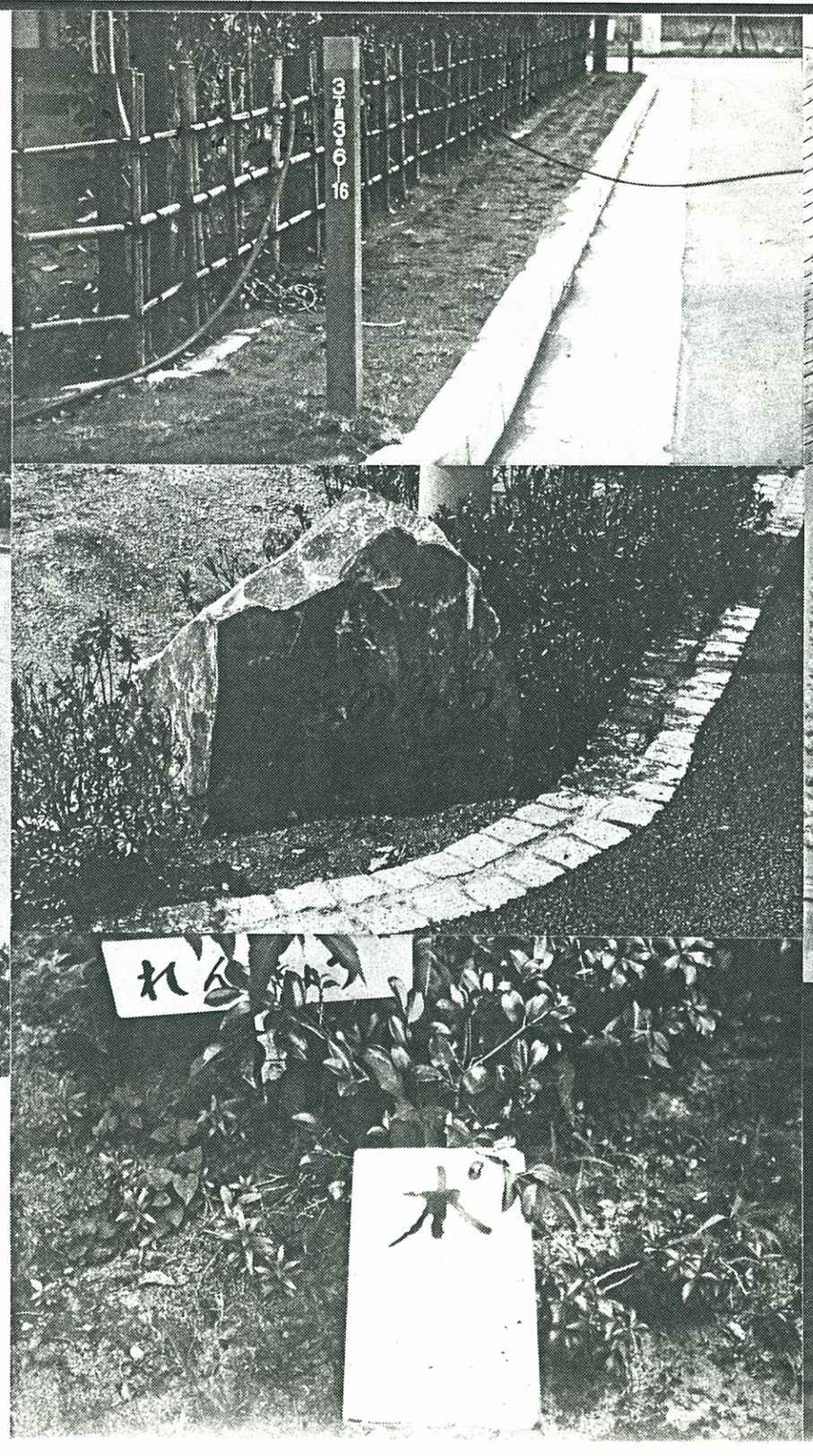
4） まちかどサインの例


プラタナス通り
2丁目② ③ ④
5丁目② 3 4 5 6丁
プラタナス通り
1丁目 2丁目① 3丁目②
センターゾーン
6
7
8
1
5
4
3
2

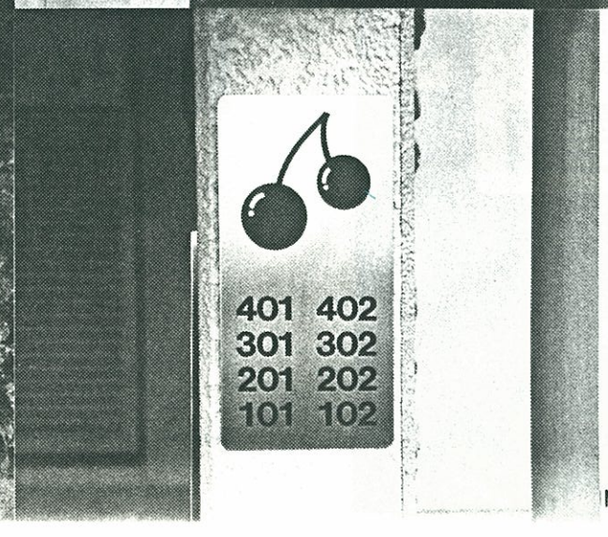

ひばり緑道
プラタナス通り センターゾーン
3丁目②
3丁目③
3丁目④ 4丁目
桜山台8~16
フローラルハイツ
住之江 高
ひかりの団地
外科・産婦人科
わかぎの団地 南港中住宅

5) その他 みちしるべ



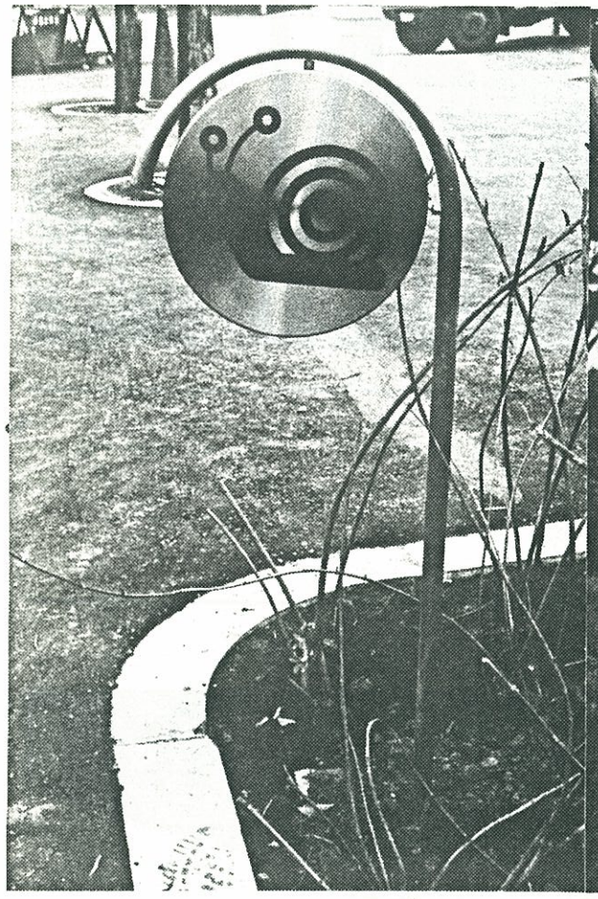




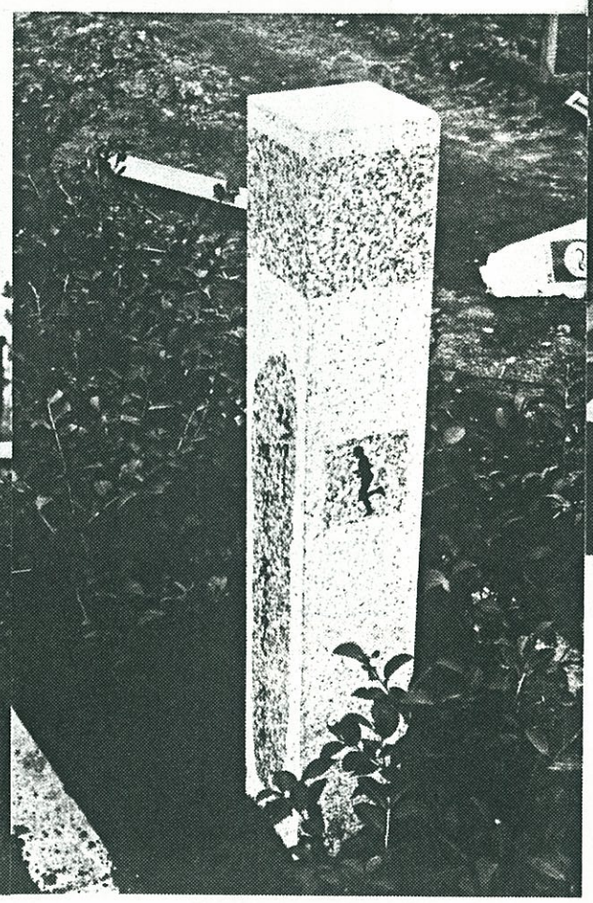


NING CABIN

6)-1　コミュニティーしるべの例



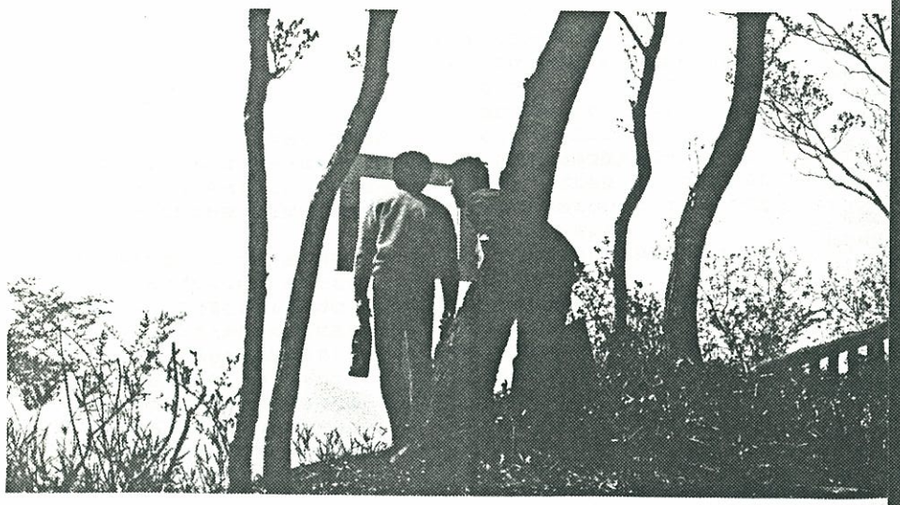








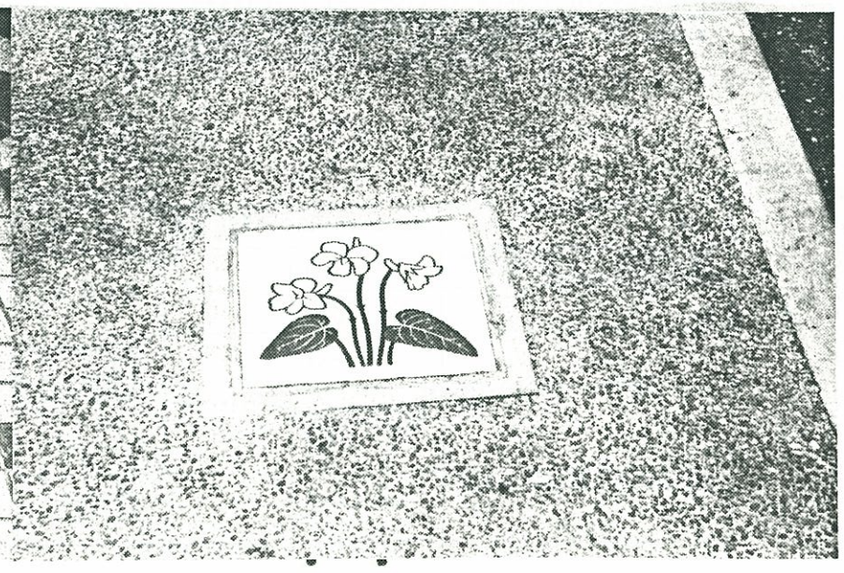
6)-2 コミュニティーしるべの例













YAMATE PLANNING CABIN

「道路標識・区画線及び道路標示に関する命令」より抜粋

○道路標識の設置基準

1—3 設置基準

道路標識が，安全円滑にして快適な交通を確保すべく真に役立つためには，ルートに沿って一貫した情報や指示が与えられるように，十分に統一のとれた合理的な設置計画にもとづいて設置されねばならない。

道路標識の設置にあたっては，必ず前述の法的根拠にしたがわねばならないが，なかでも主として公安委員会が設置権限を有する規制標識および指示標識は，公安委員会が法令の規定に基づいて交通規制を実施する場合の具体的な意思を表わす手段であり，法令の実効を担保するものであるから，このような法律的な面と交通技術的な面とを常に調和させるように留意しなければならない。以下は，道路標識全般について，その設置場所，表示高さ，標識板の寸法等の一般的基準について述べる。

〔1〕 設置場所の選定

道路標識の設置場所は道路利用者に最も見えやすい場所を選定しなければならないが，とくにつぎの事項に留意しなければならない。

（1） 電柱，街路樹，沿道の樹木，沿道広告物，塀，電話ボックス，郵便ポスト，他の道路標識等により，見えにくくなるおそれのない場所を選ぶこと。

（2） 道路標識等の交差点付近への集中を避けるため，必ずしも交差点付近に設置する必要のないものについては，できる限り交差点付近を避けること。

（3） 交通の妨害または危険とならない場所を選ぶこと。

（4） 損傷を受けるおそれのない場所を選ぶこと。

（5） 管理上支障のない場所を選ぶこと。

（6） 道路構造に著しく支障をおよぼさない場所を選ぶこと。

（7） 沿道の住民に対して著しく支障をおよぼさない場所を選ぶこと。

（注） 車両の出入口，商店の客の出入口等の付近に道路標識を設置することによって，生活上の不利益をおよぼすことのないように配意するとともに，道路標識の設置にあたっては，なるべく関係住民の協力を得るよう配意する必要がある。

道路標識の設置に際して，とくに案内標識等については仮設置の期間をおき，一応仮設置された標識を走行中の自動車の中から十分観察し，要すれば一般道路利用者の意見を聞いて設置位置の妥当性を確認したうえで本設置に切替える等の措置をとることが望ましい。

〔2〕 路端に設置する場合の基準

道路標識の設置場所は，標識令別表第1により道路の中央，路端または規制が適用される場所もしくは区間の前面とされているが，これらのうち道路標識を路端に設置する場合は道路構造令に規定する建築限界をおかさないよう設置する必要がある。歩道，自転車，又は自転車歩行者道（以下「歩道等」という）のある道路にあっては，歩道等のもっとも車道寄りの部分に歩道等のない道路にあっては，できる限り道路の側端寄りの部分に標示板の縁が位置するよう設置するものとする。（図—1—1）道路を新設，改築する場合は通常の路肩の外側とする。

〔3〕 標識の高さ

標識令では，標識板の高さについて規定している。

路側方式による場合は，

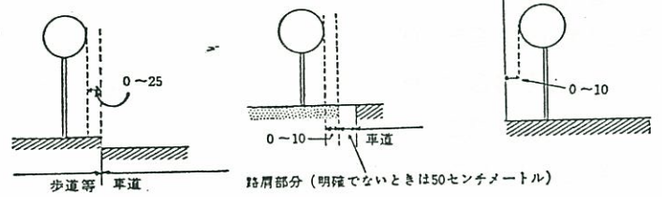
案内標識	180 cm～250 cm（板下端まで）
警戒標識	100 cm～210 cm（板中央まで）
規制標識	100 cm 以上　（板下端まで）
指示標識	100 cm以上（板下端まで）

と規定されている，高さの一般的基準はつぎによるものとする。

図—1—1

（1） 歩車道の区別のある道路の場合

（2） 歩車道の区別のない道路の場合



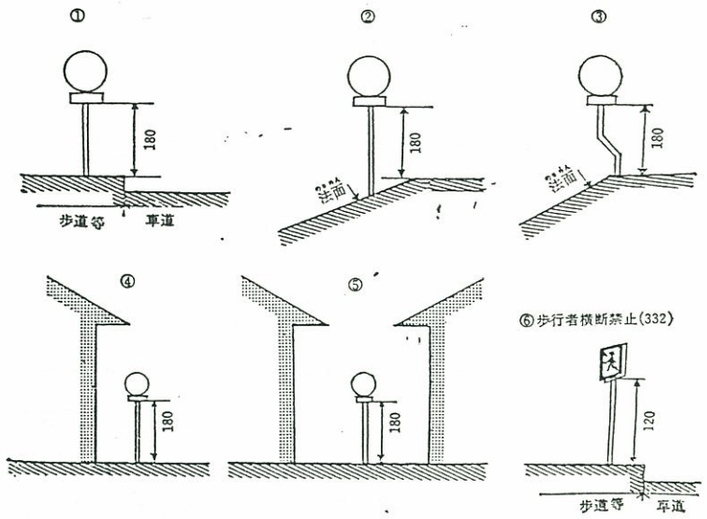
（備考） 1. 単位はセンチメートルとする。以下これと異なる表示をしてある場合を除き，各図において同じ。

2. 道路構造令にもとづいて改良された道路に道路標識を設置する場合にあっては，道路の建築限界をおかさないよう設置する必要がある。なお，すでに他の路上施設（電柱，照明灯等）が設置されている場合には標識板の縁が，それら路上施設よりも車道側に，はみ出ることのないよう注意しなければならない。道路構造令にもとづく改良がなされていない道路に設置する場合にあっては，既存の各種路上施設よりも車道側にはみ出ることのないよう配意しなければならない。

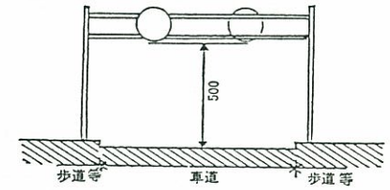
表—1—2 高さの基準）

設置の方法		標識令別表第2で定める高さ	設置高の一般的基準	摘要
1	路側方式	1メートル以上	1.8 メートル	状況により2.5メートルまで高くし，または1.5メートルまで低くすることができる。
			歩行者横断禁止については1.2メートル	
2	門型式（オーバー・ヘッド方式）	4.5メートル以上	5メートル	状況により4.5メートルまで低くすることができる。
	片持式（オーバー・ハング方式）		横断歩道の道路標識は警察庁通達（別添1，2）により5メートル	
	両持式（T型式）			
3	他の工作物を利用する方式		上記 1,2 に準ずる	状況により6mまで高くすることができる。

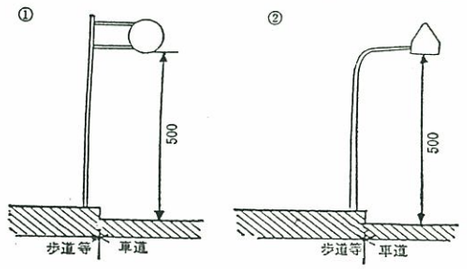
図—1—2 路側方式……次の図の例により道路の中央，路端等に設置するものをいう。



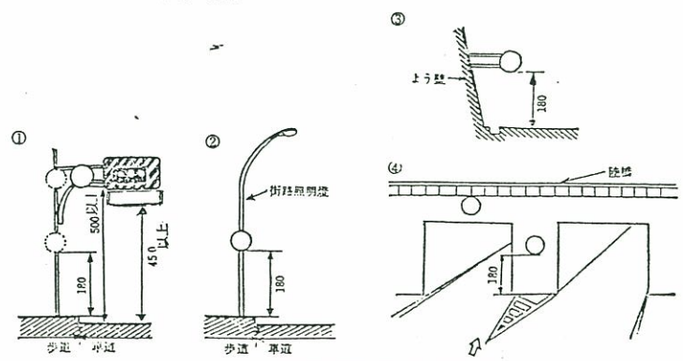
図—1—3 門型式（オーバー・ヘッド方式）……次の図の例により上架方式によって設置するものをいう。



図—1—4 片持式（オーバー・ハング方式）……次の図の例により跳木方式によって設置するものをいう。



図—1—5 他の工作物を利用する方式



YAMATE PLANNING CABIN

横浜市「道路占用許可基準」より抜粋　(1)

3　公衆電話所等の占用

公衆電話所，郵便差出箱の占用については，次の各号に定めるところによらなければならない。

(1)　歩車道区分のある道路においては歩道の車道寄りに，歩車道区分のない道路においては路端寄りに設けること。

(2)　歩道に設ける場合は，歩道の有効幅員が2.0メートル以上確保されていること。

10　彫刻等の占用

彫刻，彫像，碑その他これらに類するものの占用については，次の各号に定めるところによらなければならない。

(1)　地方公共団体が設けるものであること。

(2)　分離帯，法敷その他直接交通に支障とならない道路の部分に設けること。ただし，やむを得ない場合に限り，照明施設がある駅前広場，道路広場等で，かつ，道路の構造又は交通に著しい支障を及ぼすおそれのない場所に設けることができる。

(3)　意匠等は，歴史性，地域性及び都市の美観を十分に配慮したものであること。

11　ベンチの占用

ベンチの占用については，次の各号に定めるところによらなければならない。

(1)　地方公共団体，町内会，商店会その他これらに準ずる団体又は一般乗合旅客自動車運送事業者が設けるものであること。

(2)　照明施設がある駅前広場，道路広場又は上屋を有するバス停留所で，かつ，交通に著しい支障を及ぼすおそれのない場所に設けること。ただし，上屋を有するバス停留所については，一般乗合旅客自動車運送事業者に限り設けることができる。

(3)　歩道の有効幅員は，2.0メートル以上確保すること。

(4)　路面に固定すること。

(5)　長さは3.0メートル以下，幅は0.7メートル以下で，堅ろうなものであること。

(6)　広告物等を表示又は掲出しないこと。ただし，占用者名の表示は，この限りでない。

12　バス停留所の上屋の占用

バス停留所の上屋の占用については，次の各号に定めるところによらなければならない。

(1)　一般乗合旅客自動車運送事業者が，バス利用者の利便を図るために設けるものであること。

(2)　幅員2.5メートル以上の歩道又は駅前広場等の島式乗降場に設けること。

(3)　屋根の幅は2.0メートル以下，長さは12.0メートル以下とすること。ただし，島式乗降場に設ける場合は，この限りでない。

(4)　路面からの高さは，2.5メートル以上3.5メートル以下とすること。

(5)　柱は，歩道の車道寄りのみに設けること。ただし，島式乗降場に設ける場合は，この限りでない。

(6)　主要構造部は，不燃材を用いることとし，他の建築物又は工作物に接続させないこと。

(7)　原則として，壁面を有しないこと。

(8)　意匠及び色彩は，都市の美観を考慮したものであること。

(9)　広告物等を表示又は掲出しないこと。ただし，照明施設又はバスの運行上必要と認められるものについては，この限りでない。

（法第32条第1項第4号に係る施設）

横浜市道路占用許可基準」より抜粋(2)

23　掲示板の占用

掲示板の占用については，次の各号に定めるところによらなければならない。

(1)　国，地方公共団体，町内会，商店会その他これらに準ずる団体が，広報その他の公共的目的のために設けるものであること。

(2)　歩車道区分のある道路においては歩道の車道寄りに，歩車道区分のない道路においては法敷（法敷のない道路においては路端寄り）に設けること。

(3)　高さは2.0メートル以下，長さは1.5メートル以下とすること。

(4)　柱の方径又は直径は，0.15メートル以下とすること。

(5)　ひさしを設ける場合は，その出幅は0.3メートル以下，その最下部と路面との距離は1.7メートル以上とすること。

(6)　広告物件等を表示又は掲出しないこと。ただし，占用者名を表示する場合及び掲示物を掲出する場合は，この限りでない。

24　バス停留所標識等の占用

(1)　バス停留所標識及びタクシー乗場標識の占用については，次に定めるところによらなければならない。

ア　バス停留所標識については一般乗合旅客自動車運送事業者が，タクシー乗場標識については一般乗用旅客自動車運送事業者の団体が，利用者の利便を図るために設けるものであること。

イ　歩車道区分のある道路の歩道の車道寄りに設けること。ただし，バス停留所標識は，やむを得ない場合に限り，歩車道区分のない道路の法敷（法敷のない道路においては路端寄り）に設けることができる。

ウ　標識の上端と路面との距離は3.0メートル以下とし，柱の方径又は直径は0.1メートル以下とすること。

エ　柱の基礎は，原則として，埋め込み式とすること。

オ　広告物等を表示又は掲出しないこと。ただし，占用者名の表示又は利用案内等業務上必要と認められるものについては，この限りでない。

(2)　照明式バス停留所標識については，前号ア及びエによるほか，照明式バス停留所標識（広告付）の道路占用について（昭和49年2月1日建設省道政発第5

25　案内標識等の占用

駐車場案内標識，消火栓標識，消防用水利標識，広域避難場所案内標識その他公共性のある案内標識の占用については，次の各号に定めるところによらなければならない。

(1)　駐車場案内標識については駐車場法（昭和32年法律第106号）による路外駐車場経営者が，消火栓標識，消防用水利標識及び広域避難場所案内標識については地方公共団体が設けるものであること。

(2)　歩車道区分のある道路においては歩道の車道寄りに，歩車道区分のない道路においては法敷（法敷のない道路においては路端寄り）に設けること。

(3)　標識の下端と路面との距離は，4.5メートル以上とすること。ただし，歩道に設ける場合は，2.5メートル以上とすることができる。

(4)　支柱の基礎は，埋め込み式とすること。

(5)　意匠及び色彩は，信号機又は道路標識に類似し，又はこれらの効用を妨げるおそれのないものであること。

(6)　広告物等を表示又は掲出しないこと。ただし，占用者名の表示又は消火栓標識に添加する規格を統一した看板については，この限りでない。